
国分寺市地域福祉計画
障害福祉に関するアンケート
結果報告書

平成 26 年 3 月
国分寺市

目次

第1章 調査の概要	- 1 -
1 調査目的	- 2 -
2 調査方法	- 2 -
3 回収結果	- 2 -
4 報告書を見る際の注意点	- 2 -
第2章 調査の結果	- 5 -
1 ご本人について	- 7 -
2 教育について	- 18 -
3 就労状況について	- 22 -
4 家計について	- 30 -
5 住宅の状況について	- 31 -
6 外出について	- 33 -
7 災害対策について	- 41 -
8 日常生活の状況について	- 45 -
9 障害福祉サービス等の利用状況について	- 75 -
10 福祉に関する制度や事業の認知度について	- 100 -
11 情報の入手, 相談について	- 103 -
12 医療・保健について	- 108 -
13 将来の生活について	- 110 -
14 障害福祉のまちづくりについて	- 112 -
■ 介助者・支援者の方について	- 115 -
第3章 単純集計表	- 119 -
第4章 自由回答	- 159 -
第5章 総括	- 187 -
第6章 調査票	- 195 -

第 1 章 調査の概要

1 調査目的

「地域福祉計画」の中の「障害者計画」を策定するにあたり、障害に関するお考えや実態を把握するとともに、広く市民のご意見、ご要望等をうかがい、計画策定の基礎資料とすることを目的としてアンケート調査を実施しました。

2 調査方法

調査の種類・方法・期間は以下の通りとなります。

調査対象	市内に居住する障害者（身体障害者、知的障害者、精神障害者、難病患者）
標本数	3,600
調査方法	郵送配布－郵送回収
調査期間	平成25年12月10日（火）～12月27日（金）

3 回収結果

回収状況は以下の通りとなります。

配布数	3,600
有効回収数	1,754
有効回収率	48.7%

4 報告書を見る際の注意点

- 1 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100%にならない場合があります。
- 2 図表中の「n」とは、その設問の回答者総数を表しています。
- 3 複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100%を超える場合があります。
- 4 選択肢の語句が長い場合、本文中では省略した表現を用いている場合があります。
- 5 クロス集計の結果の記載にあたり、分析軸となる項目（クロス集計表の左側）の「無回答」は省略しています。そのため、分析軸となる項目の回答者数の合計は、全体の数と一致しない場合があります。
- 6 クロス集計表の見方は以下の通りになります。



…横軸で一番多いもの。



…横軸で二番目に多いもの。

7 障害別の詳細については以下の通りになります。

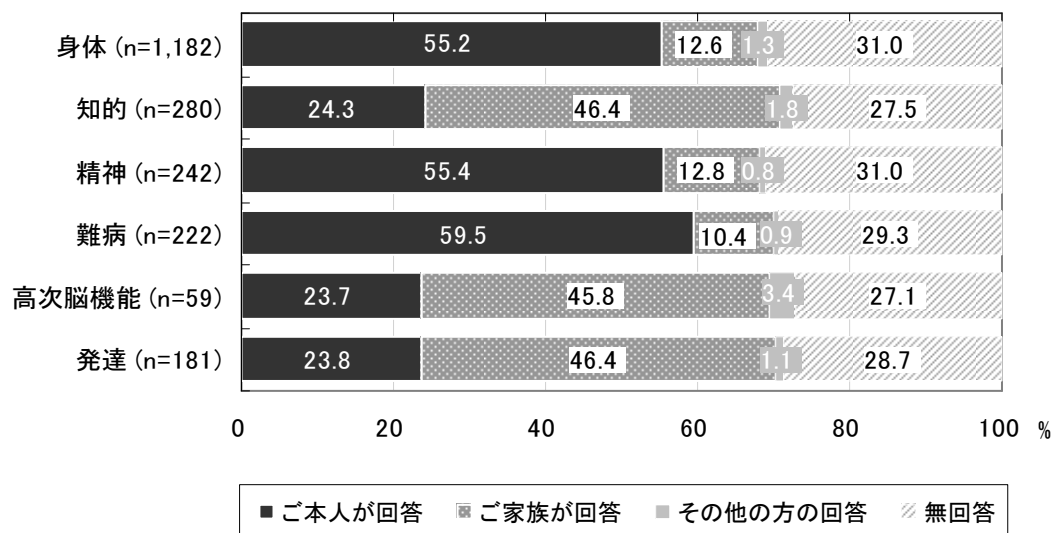
身体障害者	報告書内では「身体」と表記しています。
知的障害者	報告書内では「知的」と表記しています。
精神障害者	報告書内では「精神」と表記しています。
高次脳機能障害	報告書内では「高次脳機能」と表記しています。 高次脳機能障害とは、交通事故・転倒・転落や脳卒中など、脳に損傷を受けて生じる障害であり、性格が変わってしまった、会話が成り立たなくなった、新しいことが覚えられなくなるなどの症状があります。
発達障害	報告書内では「発達」と表記しています。 発達障害とは、他の人と上手くつきあえない、ごっこ遊びができない、じっとしていることができないなどの症状があります。 自閉症・アスペルガー症候群・学習障害・注意欠陥多動性障害等の総称のことです。
難病患者	報告書内では「難病」と表記しています。 難病とは、国の難病対策要綱において「原因不明、治療方針未確定であり、かつ、後遺症を残すおそれが少なくない疾病」「経過が慢性にわたり、単に経済的な問題のみならず介護等に著しく人手を要するために家族の負担が重く、また精神的にも負担の大きい疾病」と定義されています。

第2章 調査の結果

◎この調査票を記入していただける方はどなたですか。次の中からお選びください。

(○は1つ)

回答者は、身体と精神、難病では「ご本人が回答」が5割を超え最も多くなっている一方、知的と高次脳機能、発達では「ご家族が回答」が4割を超えています。



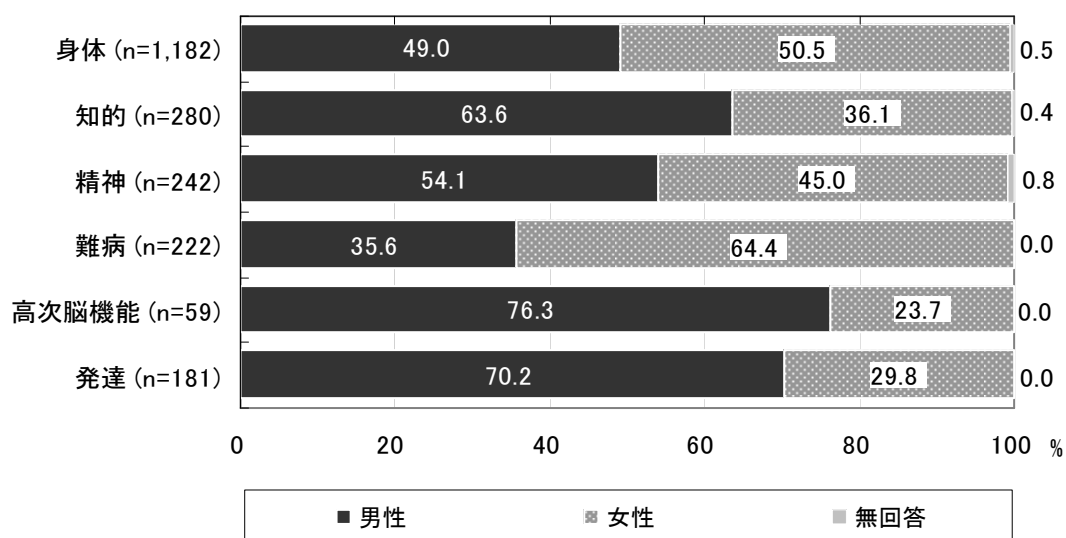
1 ご本人について

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。(平成25年11月1日現在) (〇は1つ)

回答者の性別は、高次脳機能と発達では「男性」が7割を超えている一方、難病では「女性」が6割を超えています。

回答者の年齢は、「70歳以上」が身体では約5割、難病と高次脳機能では4割近くとなっています。また、知的では「10～19歳」と「20～29歳」、精神では「40～49歳」、発達では「20～29歳」がそれぞれ2割を超え最も多くなっています。

【性別】



【年齢】

	n	10歳未満	10歳～19歳	20歳～29歳	30歳～39歳	40歳～49歳	50歳～59歳	60歳～69歳	70歳以上	無回答
身体	1,182	1.9	3.0	2.6	4.8	6.2	9.6	21.7	49.2	1.1
知的	280	12.5	23.9	23.9	15.4	8.2	3.9	5.4	5.4	1.4
精神	242	1.2	2.5	7.0	21.9	24.8	16.5	9.9	15.3	0.8
難病	222	0.5	2.7	3.6	8.6	11.3	12.2	20.7	38.3	2.3
高次脳機能	59	5.1	3.4	3.4	5.1	13.6	8.5	23.7	37.3	-
発達	181	16.0	23.8	25.4	17.7	8.3	5.0	2.2	1.1	0.6

問2 あなたはどなたとお住まいですか。(あてはまるものすべてに○)

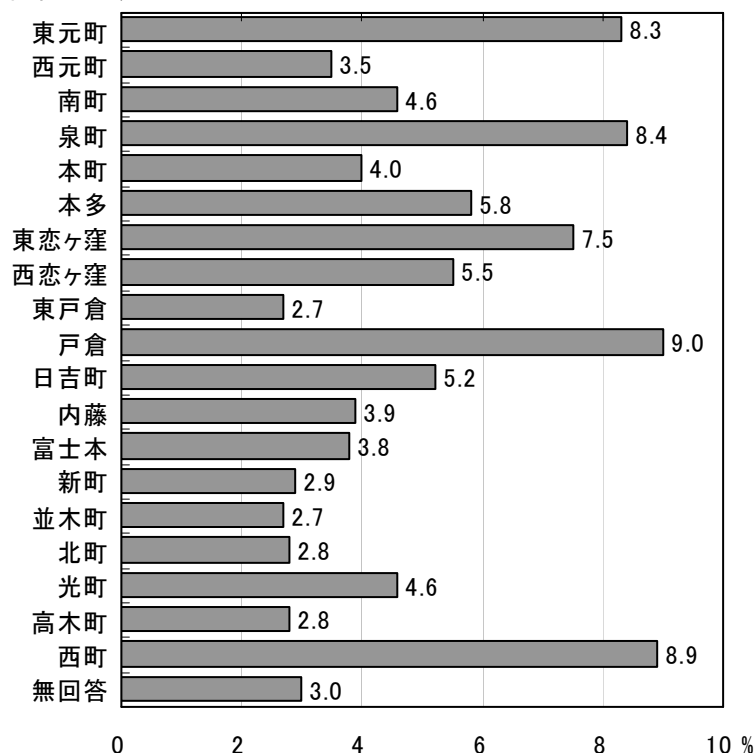
同居人は、「親」が知的では約8割、精神では4割近く、発達では8割を超え最も多くなっています。また、「配偶者(妻、夫)」が身体と難病、高次脳機能でそれぞれ5割を超え、最も多くなっています。

	n	ひとり暮らし	親	兄弟姉妹	祖父母	配偶者(妻、夫)	子ども(子どもの配偶者)	孫	その他の親族	友人・知人	ケアホームの仲間	グループホーム・グループホームの仲間	施設の仲間	その他	無回答
身体	1,182	16.4	15.0	8.2	1.1	52.1	27.5	5.4	1.0	0.3	1.3	1.8	1.6	0.6	
知的	280	5.7	79.3	45.7	9.6	3.6	3.9	1.1	1.1	-	6.8	2.1	0.7	1.8	
精神	242	30.6	37.2	15.7	2.5	17.8	10.3	1.7	0.8	-	1.7	1.7	1.7	1.7	
難病	222	13.5	16.2	9.0	0.5	58.1	37.4	5.9	0.5	0.5	0.5	1.4	2.3	0.5	
高次脳機能	59	11.9	15.3	10.2	1.7	50.8	16.9	3.4	1.7	-	1.7	6.8	3.4	1.7	
発達	181	5.5	83.4	47.5	9.9	3.9	2.2	0.6	-	-	3.3	2.2	1.7	1.7	

問3 あなたのお住まいのまちは次のうち、どれですか。(〇は1つ)

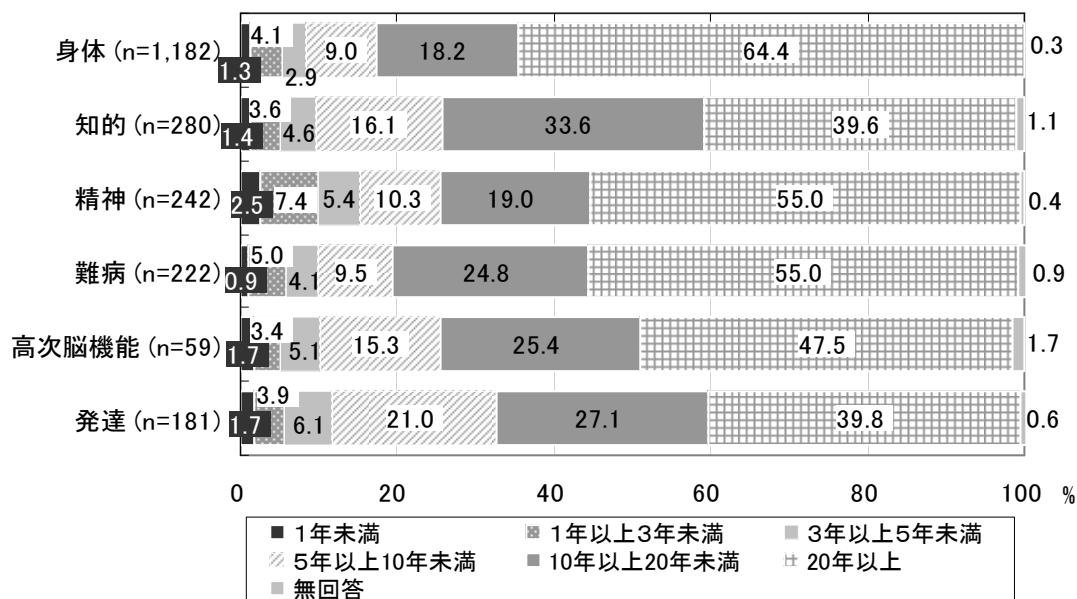
住まいは、身体では「戸倉」が9.0%で最も多く、次いで「西町」が8.9%、「泉町」が8.4%となっています。

(単数回答) n=1,754



問4 国分寺市にどれくらい住んでいますか。(〇は1つ)

居住年数は、「20年以上」が身体では6割以上、精神と難病では5割を超えています。また、知的では「20年以上」が約4割で最も多くなっている一方、「10年以上20年未満」が3割を超えています。

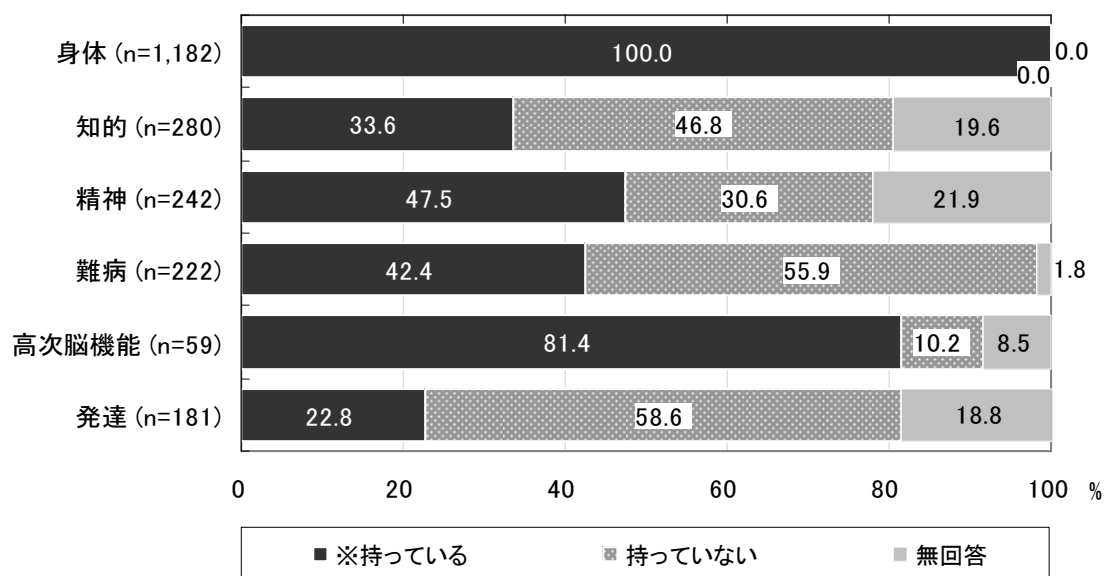


問5 あなたの障害の種類・程度などをおたずねします。

(1) 身体障害者手帳 (〇は1つ)

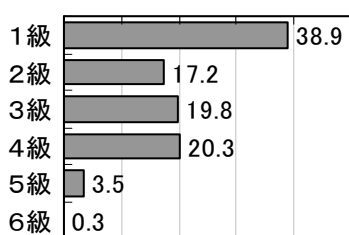
身体障害者手帳の有無については、「※持っている」が高次脳機能で8割以上、精神と難病で4割を超えている一方、難病と発達では「持っていない」が5割半ばを占めています。

等級については、身体では「1級」が38.9%で最も多く、次いで「4級」が20.3%、「3級」が19.8%となっています。また、高次脳機能では「1級」が4割を超えています。



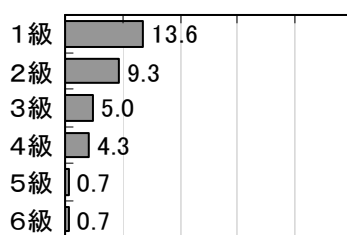
※「1級」～「6級」のいずれかを選択した人の総数

■ 身体 (n=1,182)



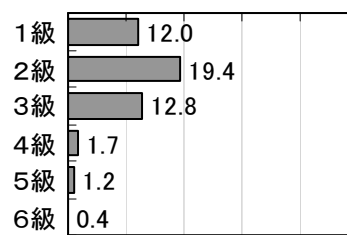
0 10 20 30 40 50 %

■ 知的 (n=280)



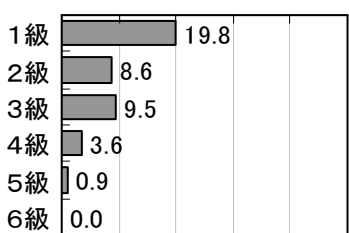
0 10 20 30 40 50 %

■ 精神 (n=242)



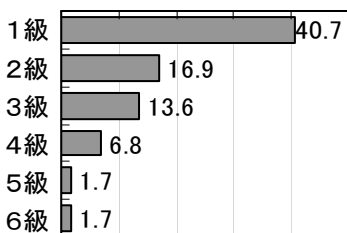
0 10 20 30 40 50 %

■ 難病 (n=222)



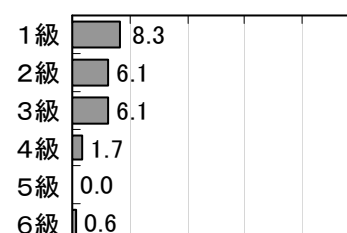
0 10 20 30 40 50 %

■ 高次脳機能 (n=59)



0 10 20 30 40 50 %

■ 発達 (n=181)



0 10 20 30 40 50 %

(1) - 1 あなたの障害の種類、部位について、おたずねします。

(あてはまるものすべてに○)

身体障害者の障害の種類、部位については、全体的に「肢体不自由（下肢）」の割合が多くなっているものの、難病では「内部障害（心臓，呼吸器，じん臓，ぼうこう，直腸，小腸，肝臓）」が4割を超えています。

	n	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	機能障害 音声・言語・そしゃく	肢体不自由 (上肢)	肢体不自由 (下肢)	肢体不自由 (体幹機能)	小腸， 肝臓)	じん臓， ぼうこう， 直腸，	内部障害（心臓，呼吸器， による免疫機能障害	ヒト免疫不全ウイルス	その他	無回答
身体	1,182	6.7	5.6	2.5	6.3	19.8	38.5	13.1	34.8	0.3	10.0	2.0		
知的	280	2.1	3.2	1.8	4.6	9.3	12.5	12.5	5.0	-	16.8	56.1		
精神	242	1.7	0.8	1.7	1.7	6.2	9.9	3.7	9.1	-	38.8	40.5		
難病	222	4.1	0.9	6.3	5.4	10.4	18.9	14.0	40.5	1.8	17.6	12.6		
高次脳機能	59	8.5	6.8	10.2	33.9	55.9	59.3	23.7	11.9	-	18.6	6.8		
発達	181	0.6	2.2	1.7	4.4	8.3	8.8	6.6	2.8	-	25.4	61.9		

【問5(1)-1で回答した方】

(1) - 2 ○をつけた中で、主なものを1つだけ選び、下の□に番号を記入してください。(身体障害者手帳を参考にして、最も障害の程度の重いものについて記入してください。)

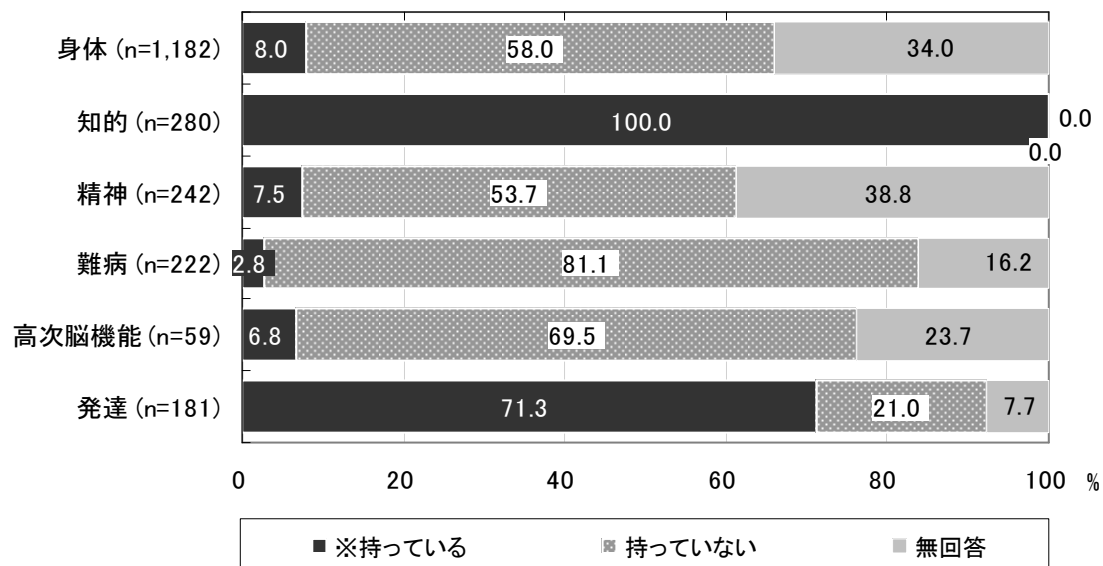
身体障害者の主な障害の種類、部位については、全体的に「肢体不自由（下肢）」の割合が多くなっているものの、身体と難病では「内部障害（心臓，呼吸器，じん臓，ぼうこう，直腸，小腸，肝臓）」，高次脳機能では「肢体不自由（上肢）」が2割を超え最も多くなっています。

	n	視覚障害	聴覚障害	平衡機能障害	機能障害 音声・言語・そしゃく	肢体不自由 (上肢)	肢体不自由 (下肢)	肢体不自由 (体幹機能)	小腸， 肝臓)	じん臓， ぼうこう， 直腸，	内部障害（心臓，呼吸器， による免疫機能障害	ヒト免疫不全ウイルス	その他	無回答
身体	1,158	4.0	3.3	0.8	1.6	6.0	16.5	6.6	22.9	0.3	3.3	34.8		
知的	123	0.8	4.1	0.8	-	5.7	8.1	15.4	5.7	-	7.3	52.0		
精神	144	2.1	0.7	0.7	1.4	1.4	9.7	2.1	7.6	-	26.4	47.9		
難病	194	1.0	-	1.0	-	2.1	10.8	11.3	28.4	0.5	5.7	39.2		
高次脳機能	55	3.6	-	-	9.1	27.3	18.2	12.7	3.6	-	3.6	21.8		
発達	69	-	4.3	-	-	4.3	8.7	7.2	1.4	-	18.8	55.1		

(2) 愛の手帳 (〇は1つ)

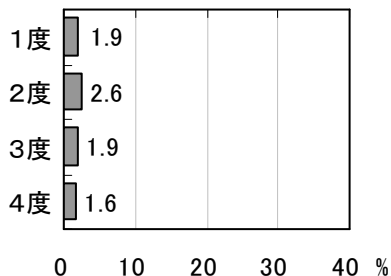
愛の手帳の有無については、「※持っている」が発達で7割を超えています。

等級については、知的では「4度」が38.9%で最も多く、次いで「2度」が30.0%、「3度」が23.2%となっています。

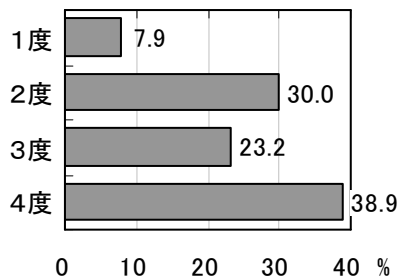


※「1度」～「4度」のいずれかを選択した人の総数

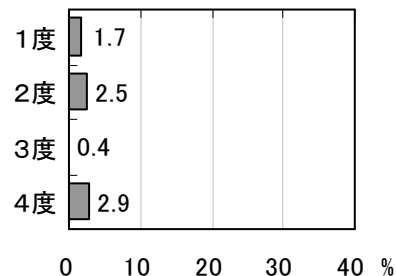
■ 身体 (n=1,182)



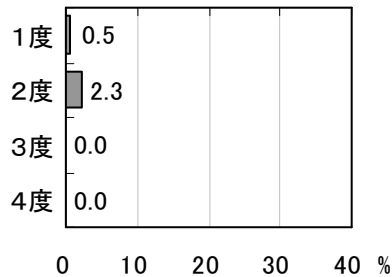
■ 知的 (n=280)



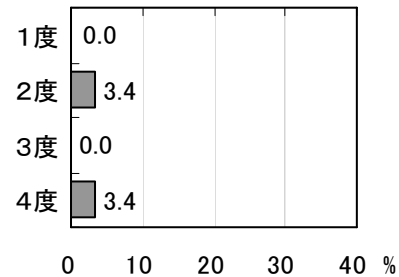
■ 精神 (n=242)



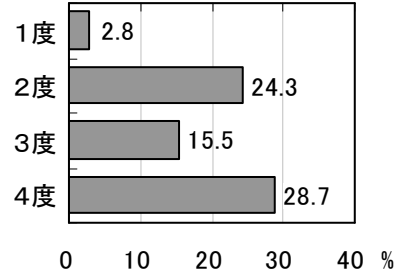
■ 難病 (n=222)



■ 高次脳機能 (n=59)



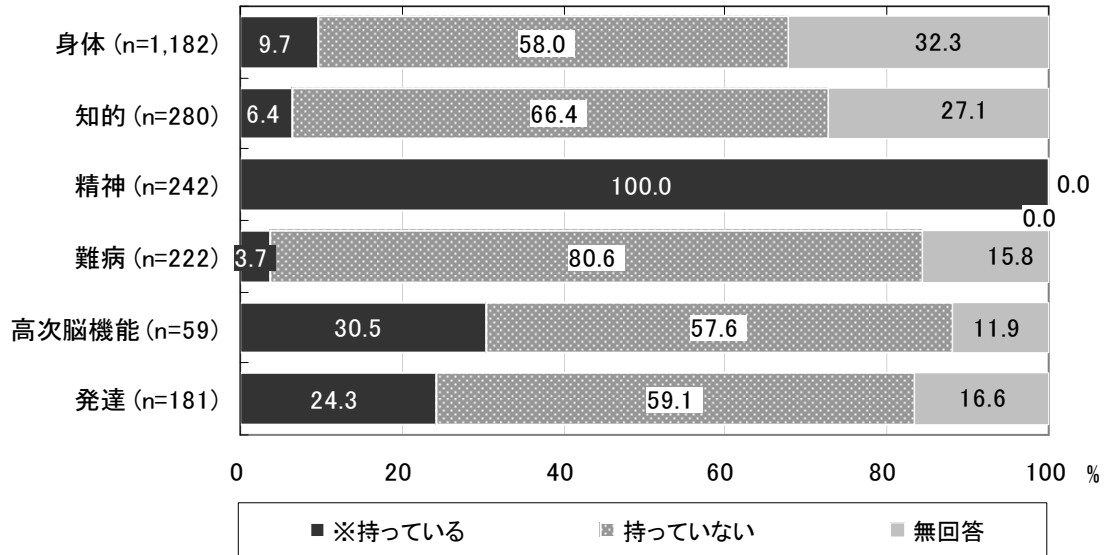
■ 発達 (n=181)



(3) 精神障害者保健福祉手帳 (〇は1つ)

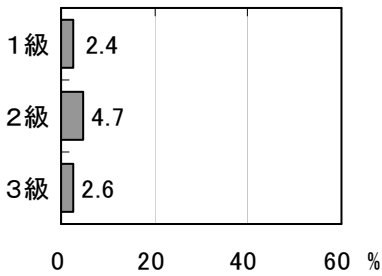
精神障害者保健福祉手帳の有無については、「※持っている」が高次脳機能で3割以上、発達で2割を超えています。また、難病では「持っていない」が8割を超えています。

等級については、精神では「2級」が53.7%で最も多く、次いで「3級」が31.8%、「1級」が14.5%となっています。

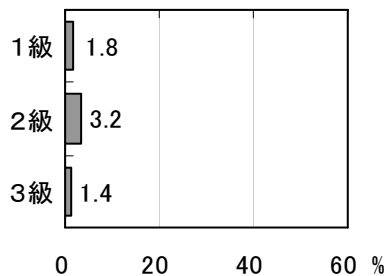


※「1級」～「3級」のいずれかを選択した人の総数

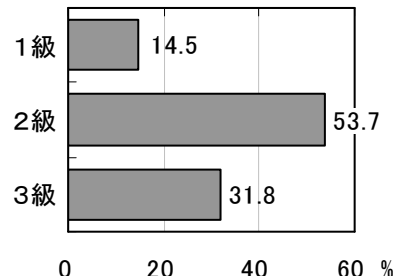
■ 身体 (n=1,182)



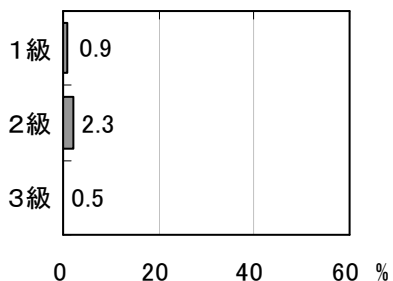
■ 知的 (n=280)



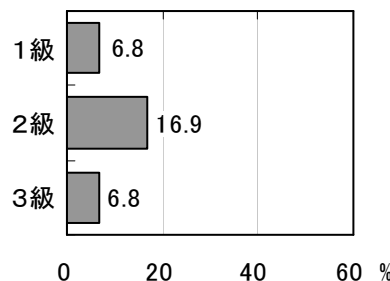
■ 精神 (n=242)



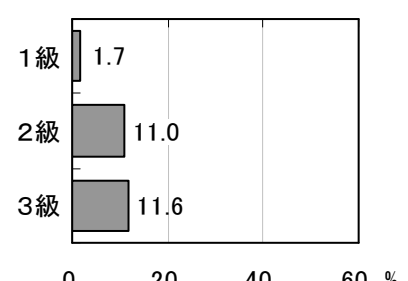
■ 難病 (n=222)



■ 高次脳機能 (n=59)

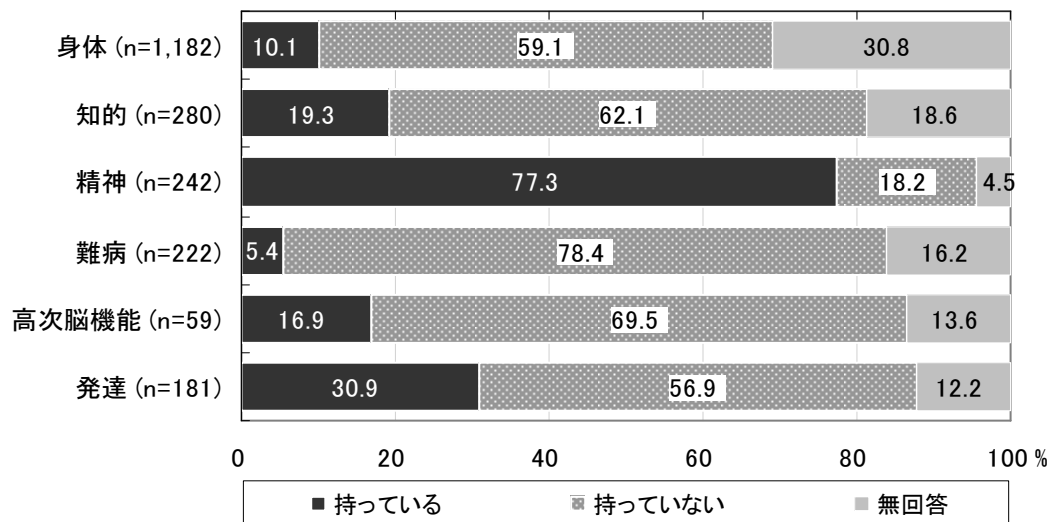


■ 発達 (n=181)



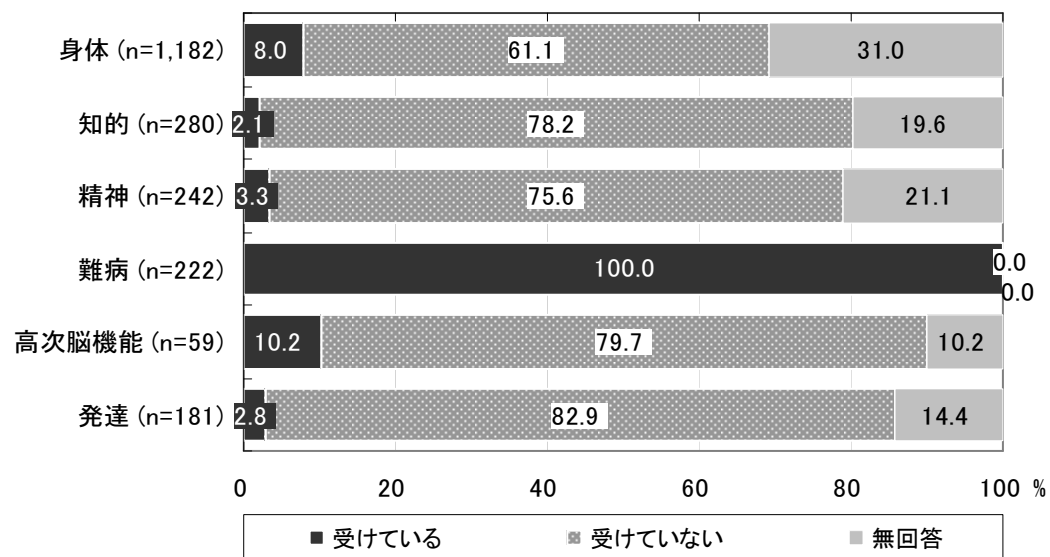
(4) 自立支援医療（精神通院医療）受給者証（〇は1つ）

自立支援医療（精神通院医療）受給者証の有無は、精神では「持っている」が77.3%と7割を超えています。また、「持っている」は発達で3割以上、知的で約2割となっています。



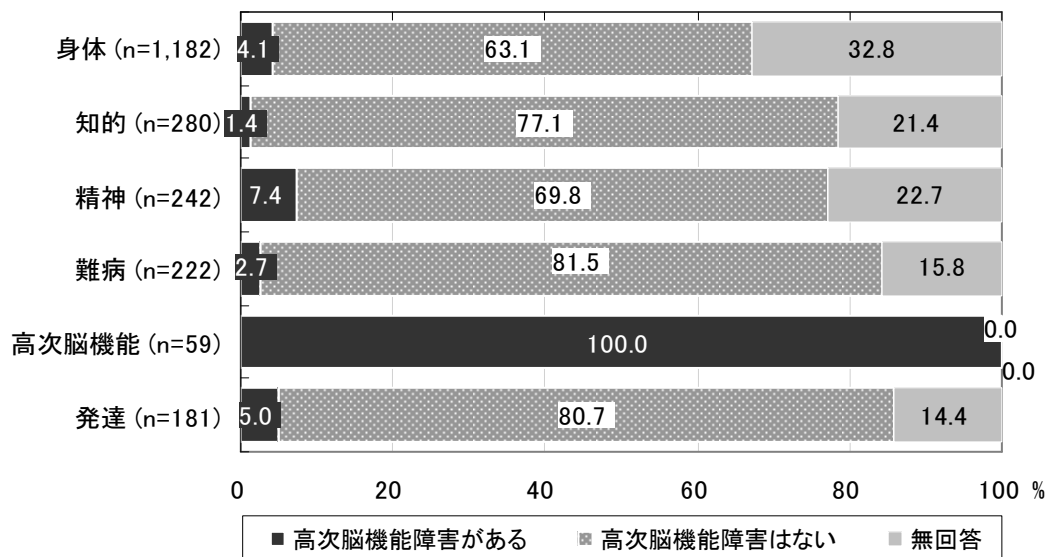
(5) 特殊疾病（難病）者福祉手当（〇は1つ）

特殊疾病（難病）者福祉手当を受けているかについては、高次脳機能で「受けている」が10.2%と1割を超えています。



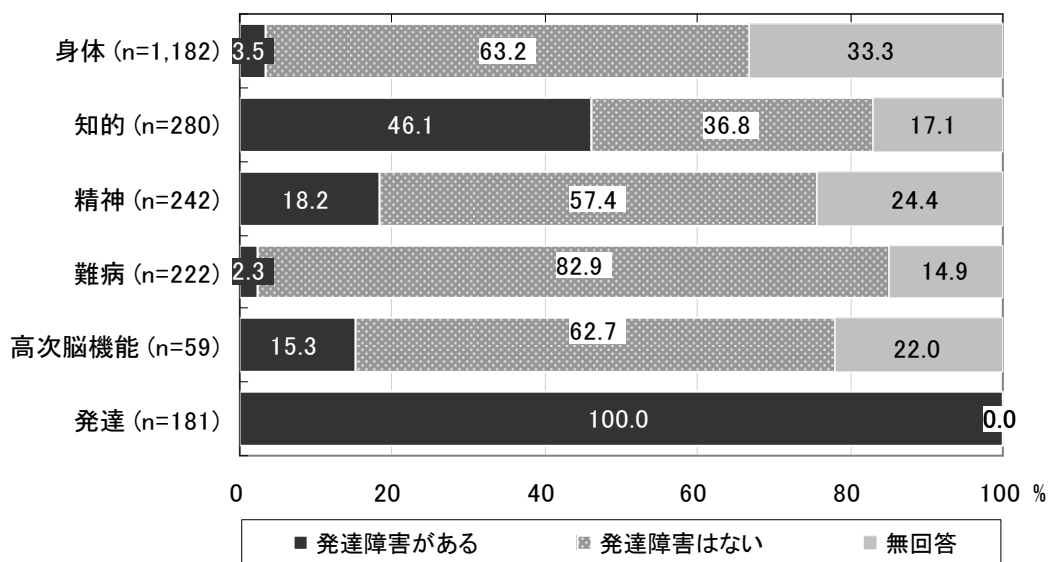
(6) 高次脳機能障害 (〇は1つ)

高次脳機能障害があるかについては、精神で「高次脳機能障害がある」は7.4%となっています。



(7) 発達障害 (〇は1つ)

発達障害があるかについては、「発達障害がある」は知的で4割半ば、精神で2割近くとなっています。

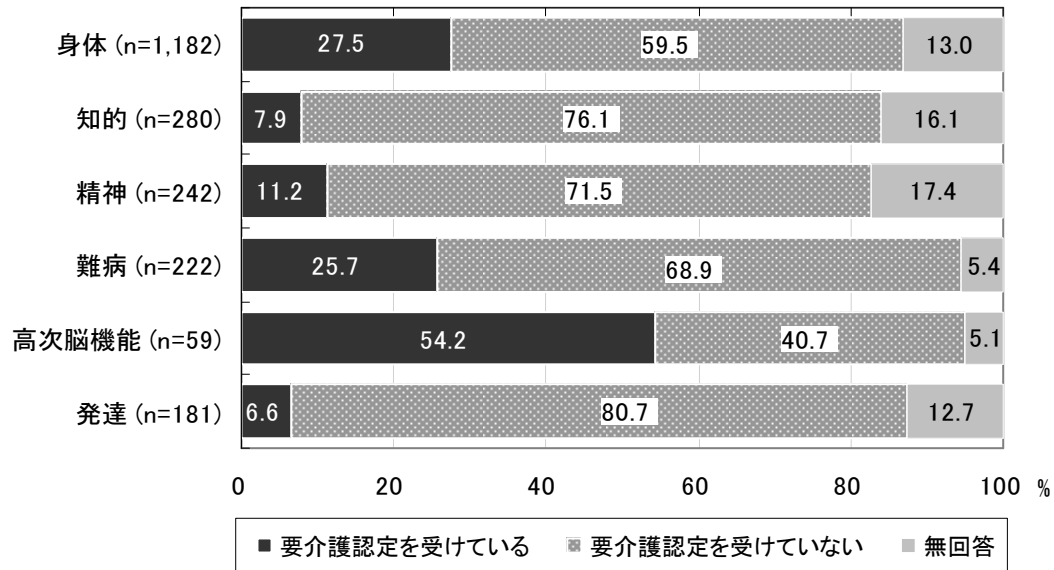


(8) 介護保険制度における要介護認定を受けていますか。受けている方は、認定要介護度の区分もお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

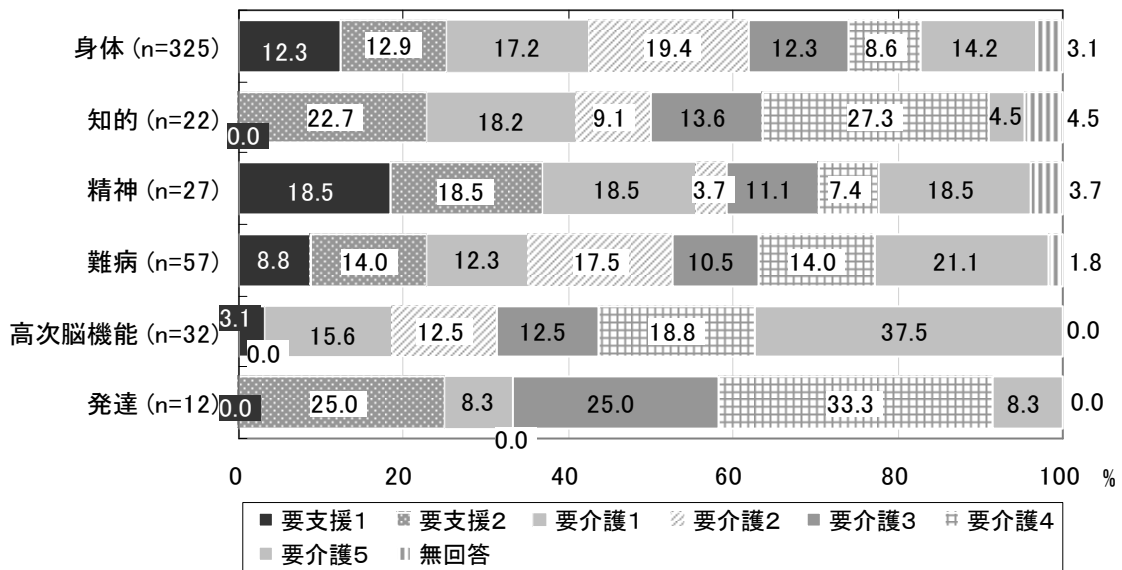
要介護認定の状況は、「要介護認定を受けている」が高次脳機能では5割以上、身体では3割近くとなっています。

要介護認定を受けている人の要介護度をみると、「要介護5」が高次脳機能では4割近く、難病では2割を超え最も多くなっています。

【要介護認定の有無】

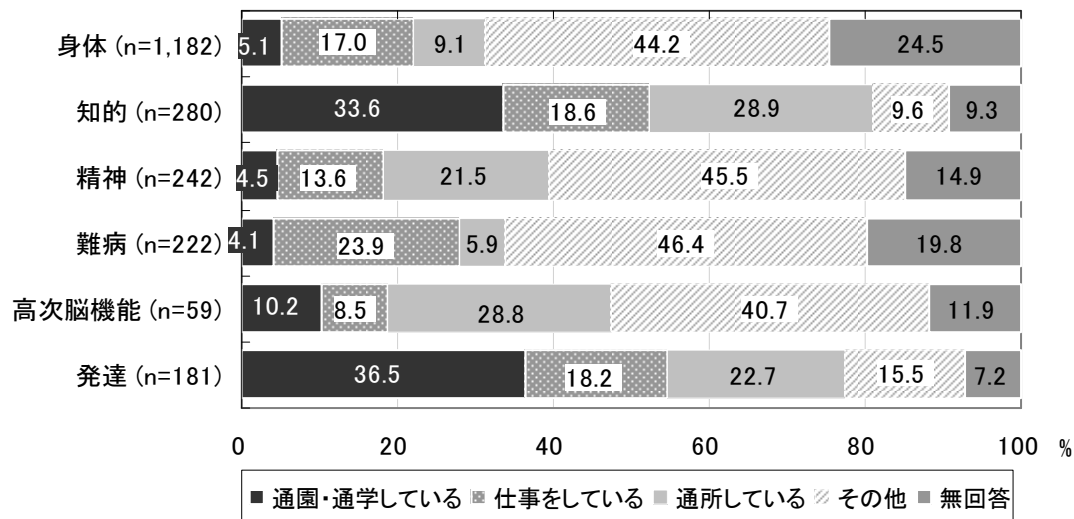


【認定要介護度の区分】



問6 あなたは普段、主にどのような日中活動をしていますか。(〇は1つ)

普段の日中活動は、身体と精神、難病、高次脳機能では「その他」が4割を超え最も多くなっている一方、知的と発達では「通園・通学している」が3割を超え最も多くなっています。また、精神と高次脳機能では「通所している」、難病では「仕事をしている」がそれぞれ2割を超えています



※仕事をしている（※給料等が出ている場合でも通所事業所は含みません）

2 教育について

【問6で「1. 通園・通学している」と回答した方】

問7 現在、あなたが通園・通学しているところはどこですか。(あてはまるものすべてに○)

通園・通学は、「特別支援学校小・中学部」が知的と高次脳機能でそれぞれ3割を超え、最も多くなっています。また、難病では「特別支援学校小・中学部」と「大学・大学院」が2割を超え最も多くなっています。

	n	通園施設(療育施設)	保育所・保育園	幼稚園	特別支援学校幼稚部	こどもの発達センターつくしんぼ	特別支援学校小・中学部	特別支援学校高等部	普通学級(小・中学校)	特別支援学級(小・中学校)	通級指導学級(小・中学校)
身体	60	6.7	3.3	1.7	-	1.7	16.7	16.7	13.3	5.0	1.7
知的	94	8.5	4.3	-	-	2.1	33.0	24.5	1.1	21.3	1.1
精神	11	-	-	-	-	-	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1
難病	9	-	-	-	-	11.1	22.2	11.1	11.1	-	-
高次脳機能	6	-	16.7	-	-	-	33.3	16.7	16.7	-	-
発達	66	6.7	3.3	1.7	-	1.7	16.7	16.7	13.3	5.0	4.5

	盲ろう学校	高等学校(全日制)	高等学校(定時制を含むその他の課程)	職業訓練校	専門学校・専修学校	短大	大学・大学院	その他	無回答
身体	6.7	8.3	1.7	1.7	-	-	8.3	3.3	6.7
知的	-	1.1	2.1	-	-	-	-	1.1	1.1
精神	-	-	9.1	-	-	-	9.1	9.1	27.3
難病	-	11.1	-	-	11.1	-	22.2	-	-
高次脳機能	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7
発達	-	-	3.0	-	-	-	-	1.5	4.5

年齢別でみると、0～5歳では「通園施設（療育施設）」、6～10歳では「特別支援学級（小・中学校）」、11～15歳では「特別支援学校小・中学部」の割合がそれぞれ最も多くなっています。

	n	通園施設（療育施設）	保育所・保育園	幼稚園	特別支援学校幼稚部	こどもの発達センターつくしんぼ	特別支援学校小・中学部	特別支援学校高等部	普通学級（小・中学校）	特別支援学級（小・中学校）	通級指導学級（小・中学校）
0～5歳	13	46.2	30.8	-	-	23.1	-	-	-	-	-
6～10歳	37	5.4	-	2.7	-	2.7	32.4	-	16.2	40.5	8.1
11～15歳	38	-	-	-	-	-	44.7	5.3	13.2	15.8	-
16～20歳	37	-	-	-	-	-	-	75.7	-	-	-
21～25歳	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	盲・ろう学校	高等学校（全日制）	高等学校（定時制を含むその他の課程）	職業訓練校	専門学校・専修学校	短大	大学・大学院	その他	無回答
0～5歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6～10歳	-	-	-	-	-	-	-	-	-
11～15歳	10.5	2.6	-	-	-	-	-	2.6	5.3
16～20歳	-	10.8	8.1	2.7	-	-	2.7	-	2.7
21～25歳	-	-	-	-	12.5	-	87.5	-	-

【問6で「1. 通園・通学している」と回答した方】

問8 通園・通学をする上で、お困りのことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

通園・通学をする上で困ることは、全体で「特にない」が最も多くなっているものの、知的と発達では「通園・通学先が遠い」が2割近くとなっています。

年齢別でみると、16歳以上で「特にない」が6割を超えている一方で、6～10歳では「通園・通学先が遠い」と「職員・教員の理解が不足」が2割を超えています。

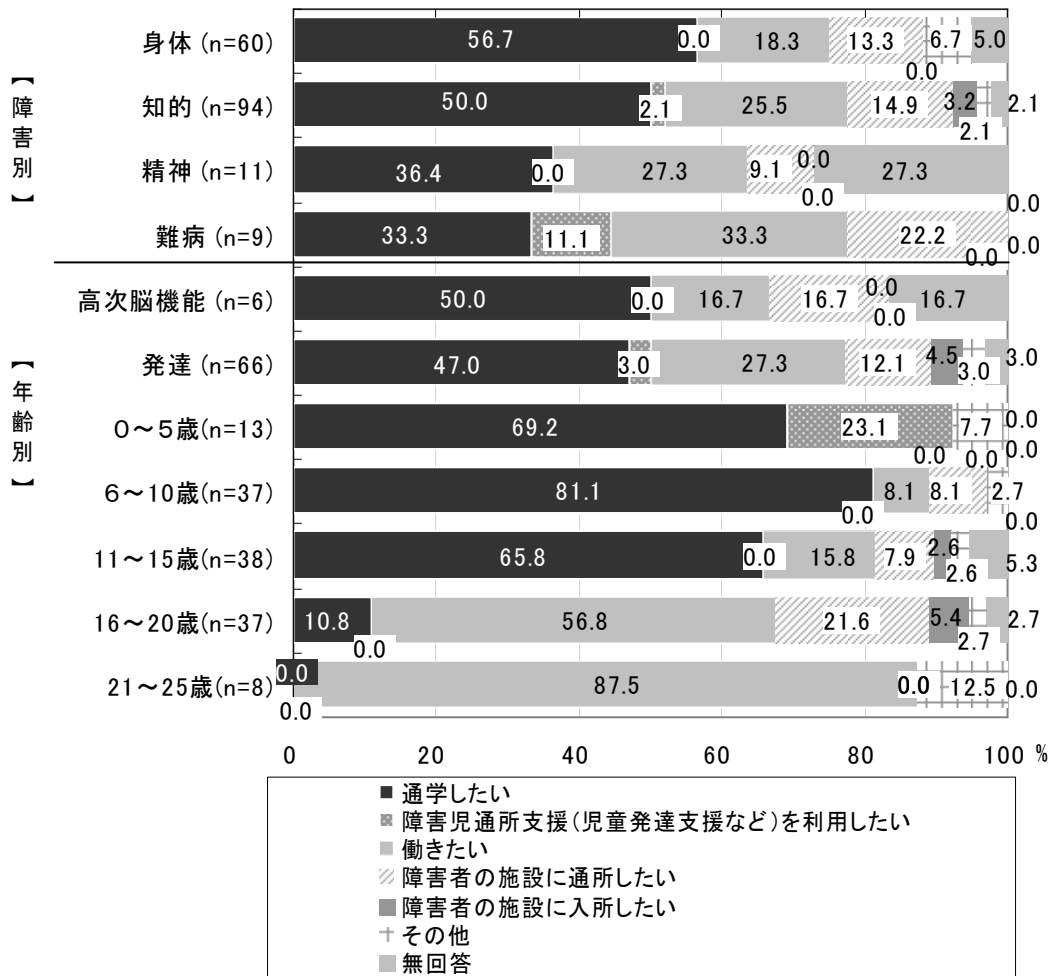
	n	通園・通学先が遠い	通園・通学の付き添いの確保が不十分	トイレ等の設備が不十分	園内・校内での介助・支援が不十分	職員・教員の理解が不足	通園・通学している人同士の障害への理解が不足	希望する学級に入れない	その他	特にない	無回答
身体	60	16.7	8.3	5.0	5.0	6.7	6.7	1.7	18.3	48.3	6.7
知的	94	19.1	11.7	6.4	11.7	16.0	8.5	4.3	17.0	41.5	1.1
精神	11	18.2	-	-	9.1	9.1	18.2	-	18.2	36.4	18.2
難病	9	-	11.1	11.1	11.1	-	-	-	22.2	55.6	-
高次脳機能	6	-	-	-	-	16.7	-	16.7	33.3	33.3	33.3
発達	66	19.7	13.6	4.5	12.1	13.6	7.6	4.5	15.2	42.4	3.0
0～5歳	13	15.4	-	-	-	7.7	-	7.7	46.2	46.2	-
6～10歳	37	21.6	16.2	8.1	18.9	21.6	10.8	5.4	16.2	37.8	-
11～15歳	38	21.1	13.2	5.3	5.3	2.6	2.6	-	21.1	39.5	2.6
16～20歳	37	13.5	8.1	-	8.1	10.8	10.8	2.7	-	62.2	2.7
21～25歳	8	-	-	12.5	-	-	12.5	-	12.5	62.5	-

【問6で「1. 通園・通学している」と回答した方】

問9 今後、どのような進路を希望しますか。現在通っている園・学校の卒業後の進路をお答えください。(〇は1つ)

今後希望する進路は、身体と知的、高次脳機能では「通学したい」が5割を超え、最も多くなっています。また、難病では「働きたい」が3割を超えています。

年齢別で見ると、「通学したい」が6～10歳では8割を超え最も多くなっている一方、21～25歳では「働きたい」が9割近くとなっています。



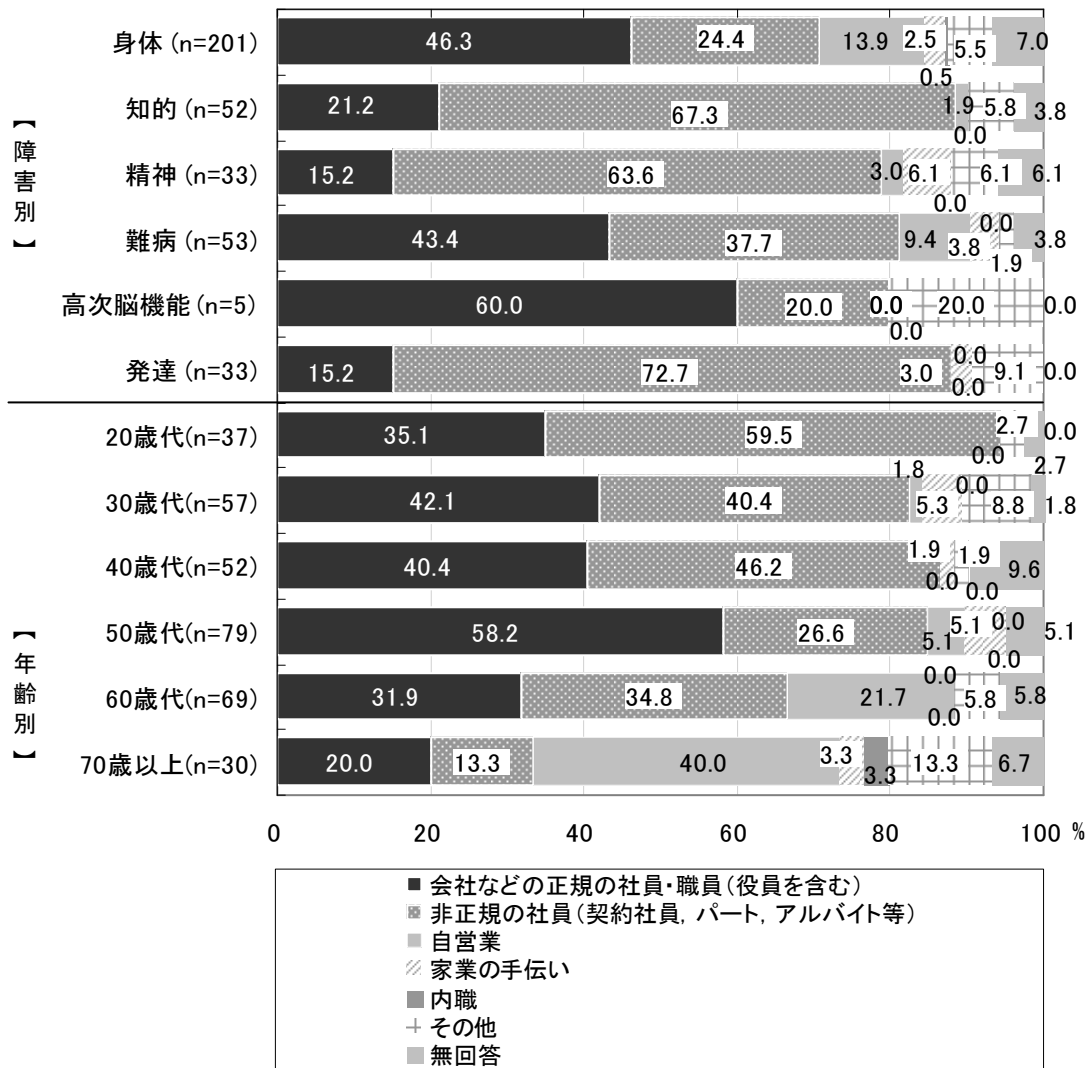
3 就労状況について

【問6で「2. 仕事をしている(※給料等が出ている場合でも通所事業所は含みません)」と回答した方】

問 10 仕事の形態は次のどれですか。(○は1つ)

仕事の形態は、「会社などの正規の社員・職員(役員を含む)」が高次脳機能では6割、身体と難病では4割を超え最も多くなっています。一方、「非正規の社員(契約社員, パート, アルバイト等)」が発達では7割以上, 知的と精神では6割を超え最も多くなっています。

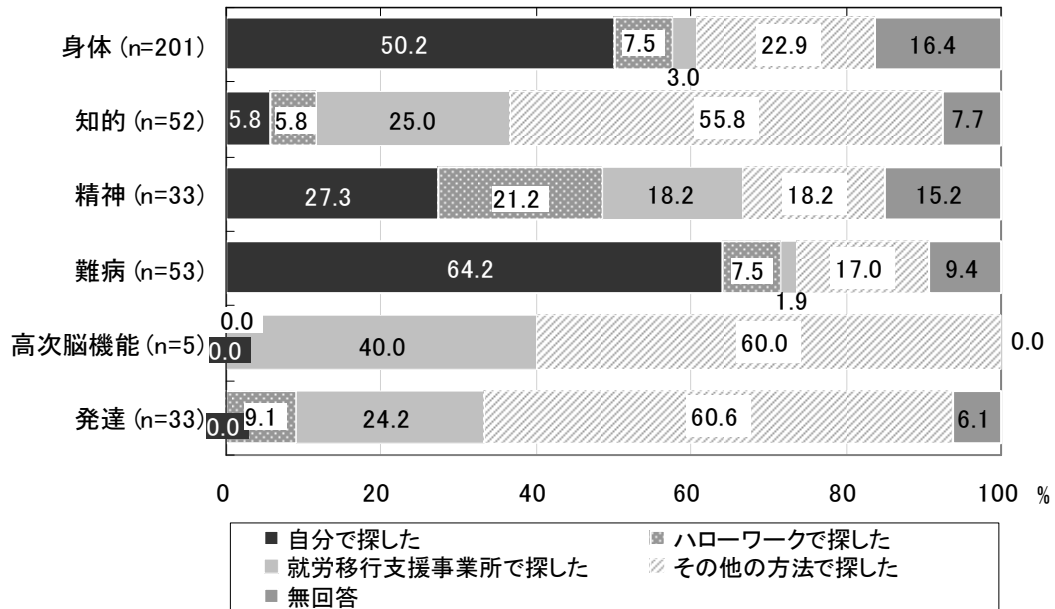
年齢別にみると, 20歳代では「非正規の社員(契約社員, パート, アルバイト等)」が約6割, また, 70歳以上では「自営業」が4割とそれぞれ最も多くなっています。



【問6で「2. 仕事をしている(※給料等が出ている場合でも通所事業所は含みません)」と回答した方】

問11 どのように仕事を探しましたか。(○は主なもの1つ)

仕事を探した方法は、「自分で探した」が身体と難病で半数以上を占め、最も多くなっています。また、知的と高次脳機能、発達では「その他の方法で探した」が半数以上を占めている一方で、「就労移行支援事業所で探した」の割合もやや多くなっています。



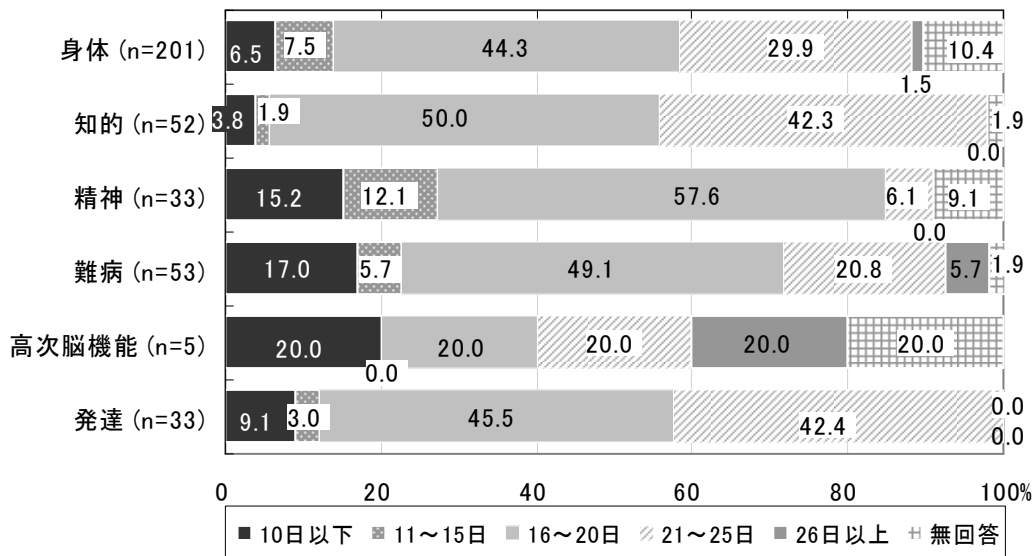
【問6で「2. 仕事をしている(※給料等が出ている場合でも通所事業所は含みません)」と回答した方】

問12 あなたは、毎月、平均して何日ぐらい働いていますか。また、1日の労働時間は平均して何時間ぐらいですか。

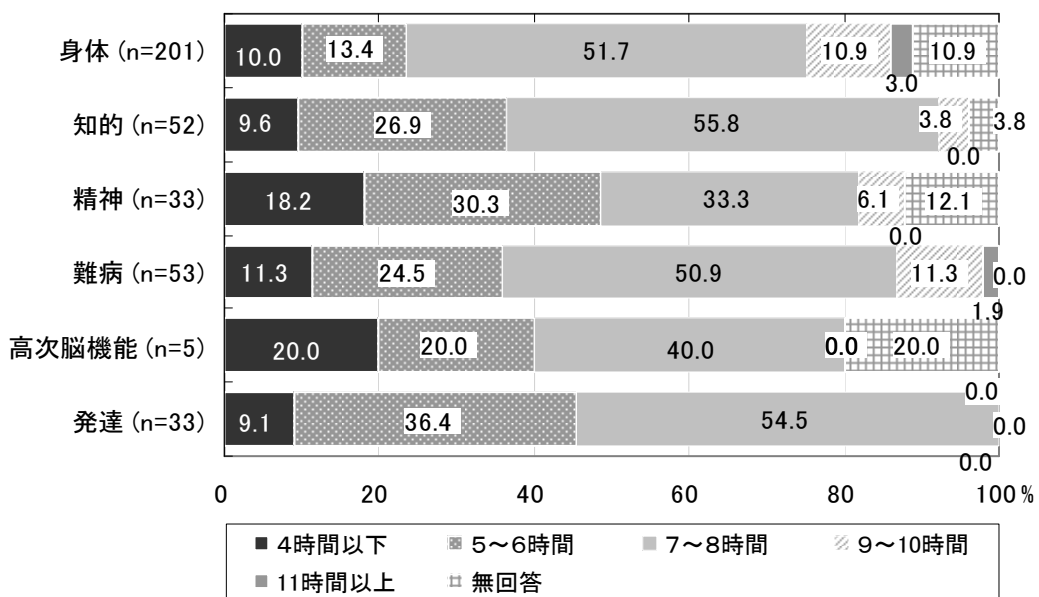
ひと月の平均労働日数は、全体的に「16～20日」の割合が多くなっているものの、知的と発達では「21～25日」が4割を超えています。

1日の平均労働時間は、全体的に「7～8時間」の割合が多くなっているものの、身体と難病では「11時間以上」もわずかにみられます。

【ひと月の平均日数】



【1日の平均時間】



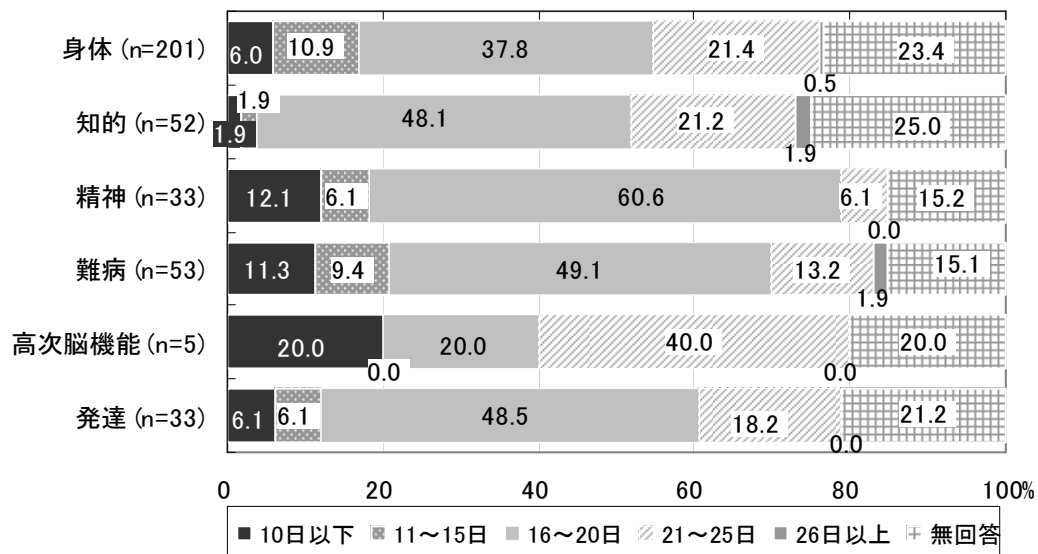
【問6で「2. 仕事をしている(※給料等が出ている場合でも通所事業所は含みません)」と回答した方】

問13 あなたは、毎月、平均して何日ぐらい働きたいですか。また、1日の労働時間は平均何時間ぐらいを希望しますか。

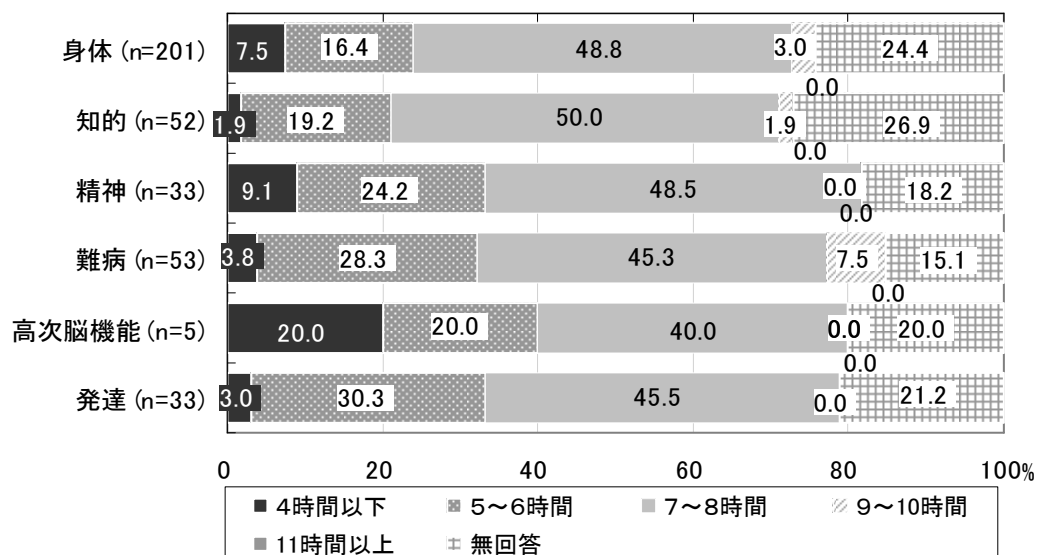
ひと月の平均希望労働日数は、全体的に「16～20日」の割合が多くなっているものの、精神と難病では「10日以下」が1割程度みられます。

1日の平均希望労働時間は、全体的に「7～8時間」の割合が多くなっています。

【ひと月の平均希望日数】



【1日の平均希望時間】



【問6で「2. 仕事をしている(※給料等が出ている場合でも通所事業所は含みません)」と回答した方】

問 14 現在の仕事について、悩みや不満などはありますか。(あてはまるものすべてに○)

現在の仕事の悩みや不満は、全体的に「特に悩みや不満はない」が最も多くなっているものの、知的と発達では「自分の考えや思ったことが伝えられない」が3割を超えています。

	n	仕事の内容や労働条件(労働時間や日数等)が障害の程度にあっていない	仕事の内容や労働条件(労働時間や日数等)が希望にあわない	職場の障害に対する理解が不足している	職場の人間関係がうまくいかない	通勤が大変である	トイレなどの職場の設備が不十分	賃金や待遇面で不満がある
身体	201	6.5	8.0	9.0	4.0	9.0	3.5	9.0
知的	52	3.8	7.7	15.4	19.2	3.8	5.8	5.8
精神	33	6.1	18.2	12.1	15.2	6.1	-	18.2
難病	53	7.5	9.4	7.5	5.7	11.3	5.7	13.2
高次脳機能	5	20.0	-	-	20.0	20.0	20.0	20.0
発達	33	9.1	18.2	12.1	12.1	3.0	6.1	15.2

	周囲の目が気になる	周囲の人の手助けが得られない	自分の考えや思ったことが伝えられない	相談できる人がいない	その他	特に悩みや不満はない	無回答
身体	3.0	1.0	2.5	4.5	5.5	57.2	10.9
知的	11.5	1.9	30.8	11.5	1.9	40.4	11.5
精神	12.1	-	12.1	12.1	12.1	39.4	6.1
難病	-	1.9	-	3.8	7.5	54.7	3.8
高次脳機能	-	-	-	-	20.0	60.0	-
発達	18.2	-	30.3	18.2	3.0	33.3	9.1

【問6で「2. 仕事をしている(※給料等が出ている場合でも通所事業所は含みません)」と回答した方】

問 15 今後は、どのような形で働きたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

今後希望する就労形態は、全体的に「会社などの正規の社員・職員(役員を含む)」が多くなっているものの、精神では「非正規の社員(契約社員、パート、アルバイト等)」が半数以上を占め、最も多くなっています。

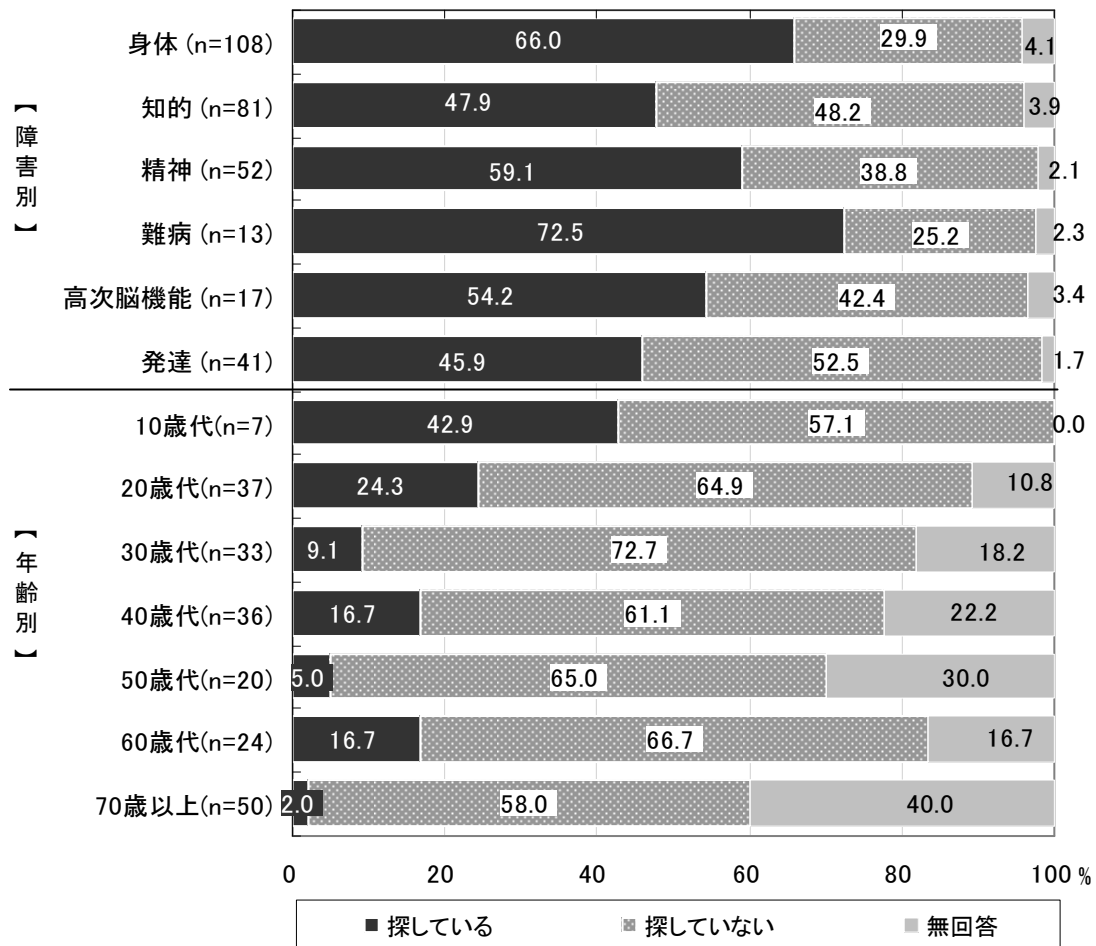
	n	会社などの正規の社員・職員(役員を含む)	非正規の社員(契約社員、パート、アルバイト等)	自営業	家業の手伝い	内職	就労継続支援A型(雇用型)	その他	無回答
身体	201	49.8	17.4	12.4	1.0	1.5	1.5	7.5	15.9
知的	52	57.7	25.0	-	-	-	5.8	5.8	11.5
精神	33	42.4	54.5	9.1	6.1	-	6.1	9.1	9.1
難病	53	49.1	26.4	9.4	7.5	-	1.9	5.7	7.5
高次脳機能	5	80.0	20.0	-	-	-	-	-	-
発達	33	57.6	39.4	3.0	3.0	-	9.1	3.0	6.1

【問6で「3. 通所している」と回答した方】

問 16 あなたは現在、仕事を探していますか。(〇は1つ)

現在、仕事を探しているかについては、「探している」が高次脳機能で7割以上、身体で6割を超えています。一方、発達で「探していない」が半数を占めています。

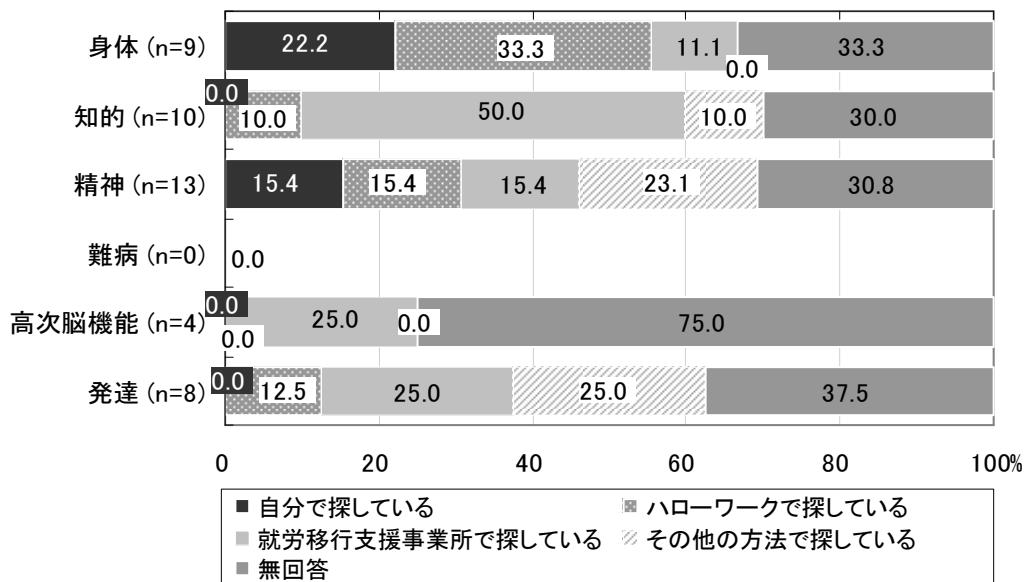
年齢別にみると、「探している」が10歳代では4割以上、20歳代では2割を超えています。



【問16で「1. 探している」と回答した方】

問 16 - 1 どのように探していますか。(〇は主なもの1つ)

仕事を探している方法は、知的で「就労移行支援事業所で探している」が半数を占めています。



【問16で「1. 探している」と回答した方】

問 16 - 2 どのような形で働きたいと思いますか。(あてはまるものすべてに〇)

希望する就労形態は、全体的に「会社などの正規の社員・職員(役員を含む)」や「非正規の社員(契約社員、パート、アルバイト等)」の割合が多くなっています。

	n	会社などの正規の社員・職員(役員を含む)	非正規の社員(契約社員、パート、アルバイト等)	自営業	家業の手伝い	内職	就労継続支援A型(雇用型)	その他	無回答
身体	9	22.2	55.6	-	-	-	-	11.1	22.2
知的	10	50.0	30.0	-	-	-	30.0	10.0	20.0
精神	13	53.8	53.8	-	-	-	7.7	15.4	7.7
難病	0	-	-	-	-	-	-	-	-
高次脳機能	4	75.0	50.0	-	-	-	-	-	-
発達	8	50.0	37.5	-	-	-	12.5	12.5	25.0

4 家計について

問18 あなた個人の1年間の収入は、およそどのくらいですか。18歳未満は主たる生計中心者、18歳以上は本人および配偶者の方（2人の合計額）の収入をお答えください。

（○は1つ）

1年間の収入は、難病では「300～500万円未満」、そのほかでは「100～200万円未満」や「200～300万円未満」の割合が最も多くなっているものの、精神では「無収入」が2割を超え最も多くなっています。

	n	無収入	50万円未満	50～100万円未満	100～200万円未満	200～300万円未満	300～500万円未満	500～800万円未満	800～1,000万円未満	1,000万円以上	わからない	無回答
身体	1,182	9.6	3.6	8.4	15.0	20.7	16.7	7.5	3.1	2.1	2.6	10.7
知的	280	13.6	7.5	14.3	19.6	7.9	6.4	8.2	4.6	3.9	4.3	9.6
精神	242	22.3	6.6	19.4	21.1	5.0	6.2	4.5	0.8	0.4	4.5	9.1
難病	222	10.4	2.3	9.0	12.6	20.3	24.3	7.2	3.6	2.3	2.3	5.9
高次脳機能	59	10.2	1.7	11.9	10.2	27.1	11.9	6.8	5.1	-	6.8	8.5
発達	181	14.9	7.7	11.6	17.7	8.3	8.8	11.0	5.0	2.8	3.3	8.8

問19 あなた（18歳未満は主たる生計中心者、18歳以上は本人および配偶者の方）の生活を支えている主な収入は何ですか。（○は1つ）

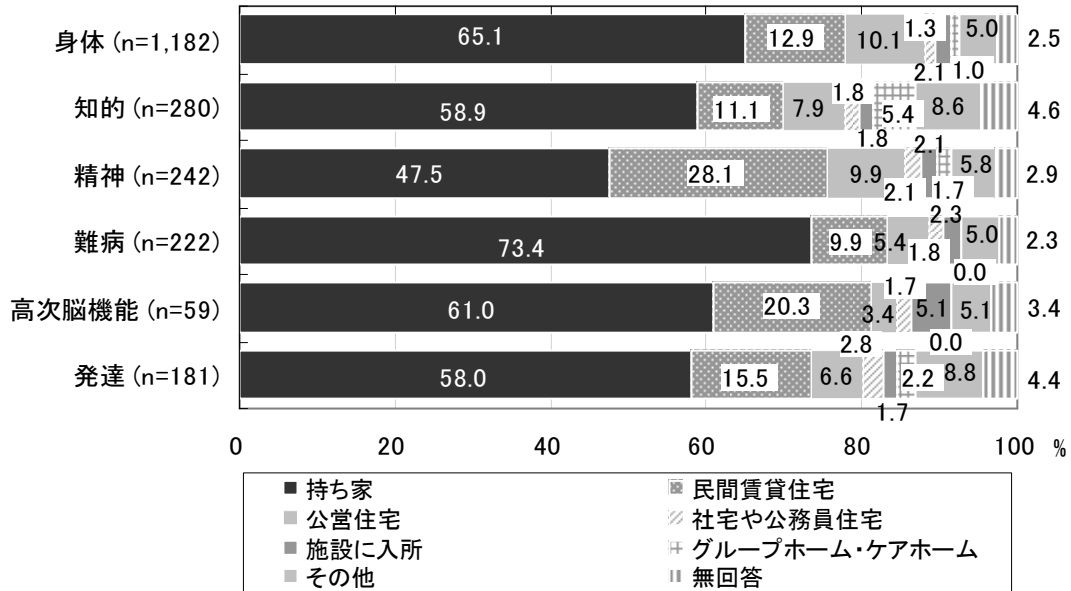
主な収入は、身体と精神、難病、高次脳機能では「公的年金収入（国民年金、厚生年金、障害年金、恩給など）」、知的と発達では、「働いて得た収入」が最も多くなっています。

	n	年金、恩給など 公的年金収入（国民年金、厚生年金、障害年金、恩給など）	生命保険等の私的年金	働いて得た収入	不動産収入や株の配当	親族などからの援助	貯金を切り崩して	生活保護	その他	わからない	無回答
身体	1,182	55.8	0.1	17.4	1.5	2.9	1.8	3.4	1.6	0.2	15.3
知的	280	28.2	-	37.1	1.4	14.6	-	1.8	1.4	1.4	13.9
精神	242	38.4	0.4	11.2	1.7	9.9	2.9	14.9	2.5	0.4	17.8
難病	222	47.7	-	28.8	3.2	5.9	1.4	0.5	2.7	-	9.9
高次脳機能	59	61.0	1.7	11.9	3.4	1.7	-	6.8	-	-	13.6
発達	181	22.7	-	41.4	1.1	17.1	1.1	2.2	3.3	0.6	10.5

5 住宅の状況について

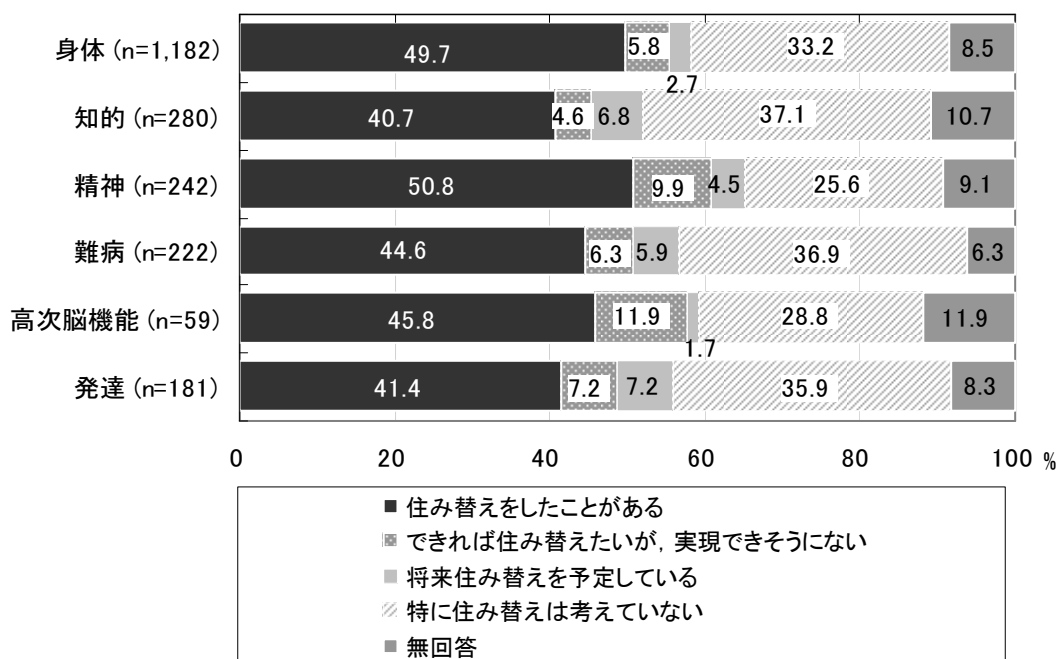
問20 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(〇は1つ)

住まいは、全体的に「持ち家」が最も多くなっているものの、精神では「民間賃貸住宅」が3割近くとなっています。



問21 あなたは、これまでに住み替えをしたことがありますか。(〇は1つ)

住み替えの経験は、全体的に「住み替えをしたことがある」が最も多くなっているものの、精神と高次脳機能では「できれば住み替えたいが、実現できそうにない」が1割前後みられます。



【問21で「1. 住み替えをしたことがある」と回答した方】

問21-1 あなたは、実際に現在の住居に住み替えをした際に、心配したこと、困ったことは何ですか。（あてはまるものすべてに○）

住み替えをした際に、心配したことや困ったことは、全体的に「新しい環境に馴染めるか不安だった」の割合が最も多くなっているものの、次いで、精神と高次脳機能では「毎月の支払いができるか心配だった」が2割半ばとなっています。

	n	新しい環境に馴染めるか不安だった	毎月の支払いができるか心配だった	希望どおりの物件がなかった	家族の同意が得られるか心配だった	保証人になつてくれる人が見つからなかった	不動産屋や大家さんの契約が難しかった	引越しの手続きや作業を自分でできるか不安だった	その他	無回答
身体	588	27.4	15.3	16.2	2.7	3.2	2.0	6.0	23.0	26.2
知的	114	55.3	8.8	9.6	-	2.6	1.8	0.9	15.8	21.1
精神	123	35.8	26.0	13.8	9.8	8.1	8.9	14.6	24.4	15.4
難病	99	28.3	17.2	13.1	-	1.0	2.0	8.1	21.2	25.3
高次脳機能	27	29.6	25.9	22.2	3.7	11.1	3.7	-	18.5	25.9
発達	181	61.3	13.3	10.7	4.0	1.3	-	4.0	21.3	8.0

6 外出について

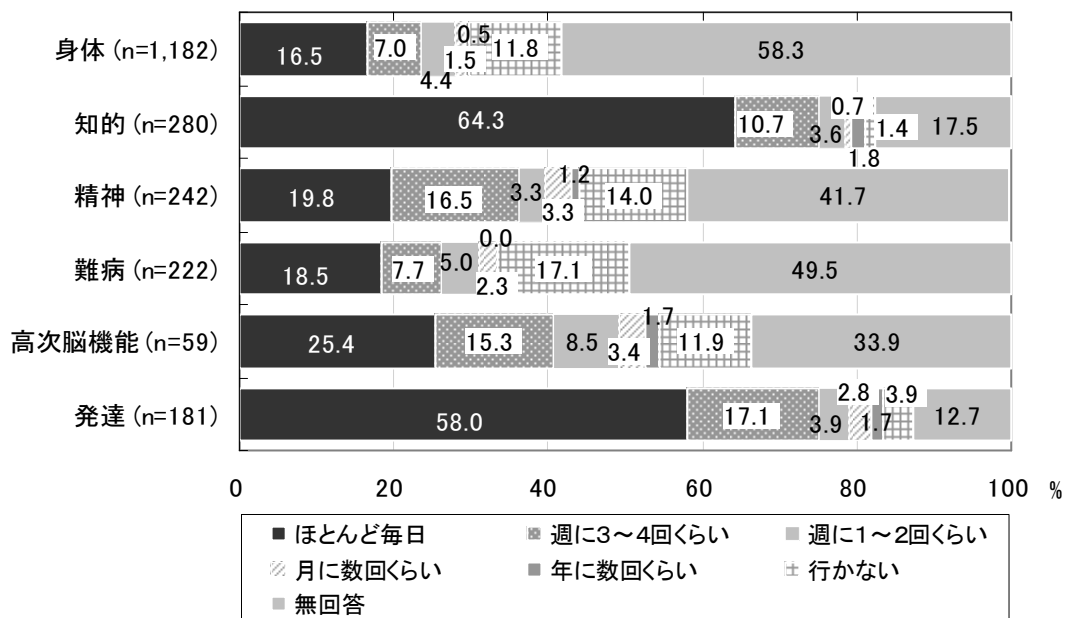
問22 外出の目的ごとに、あなたの出かける回数、主な場所、主な交通手段、一緒に出かける人についてお答えください。(該当するものについて、選択項目から番号を選び、直接ご記入ください。それぞれ数字は1つ)

A 職場、学校等、障害者の通所施設・作業所等への往復

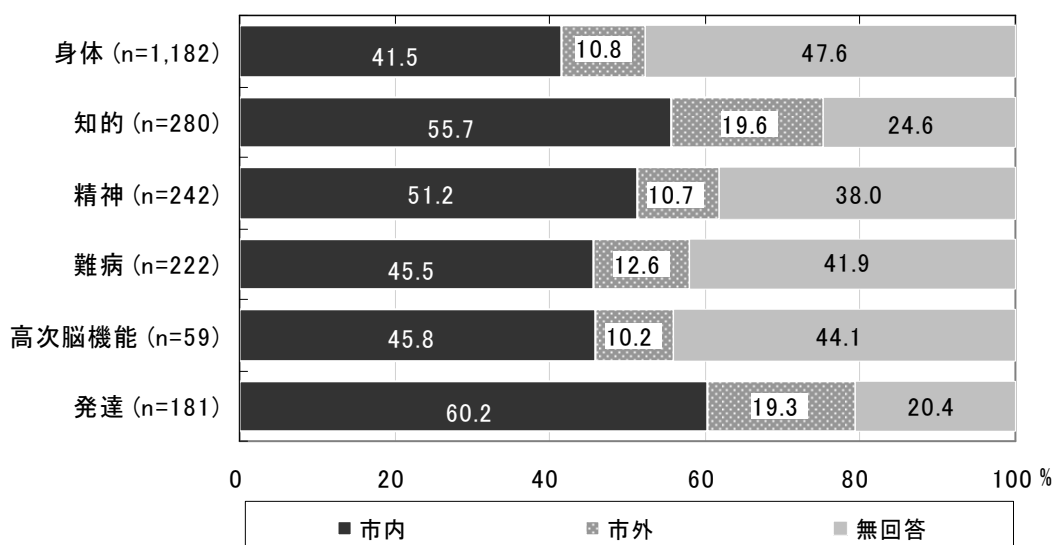
出かける回数は、「ほとんど毎日」が知的では6割以上、発達では6割近くとなっています。

主な場所は、「市外」が知的と発達で4割を超えています。

【出かける回数】



【主な場所】



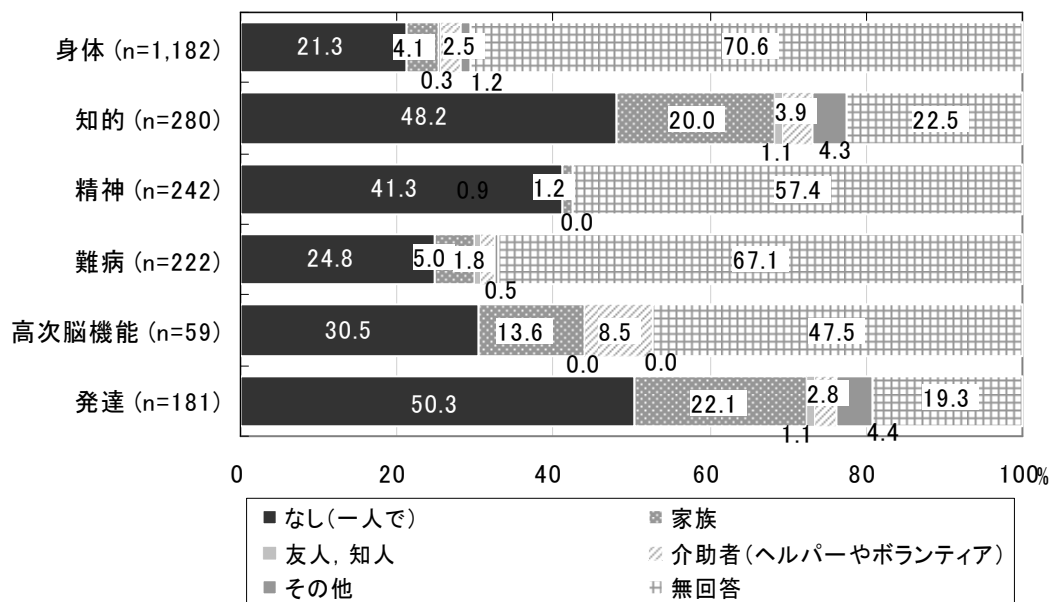
主な交通手段は、全体的に「電車」が多くなっているものの、高次脳機能では「施設の送迎車」が2割を超え最も多くなっています。

一緒に出かける人は、全体的に「なし（一人で）」の割合が最も多くなっているものの、次いで、知的と発達では「家族」が2割を超えています。

【主な交通手段】

	n	徒歩	バス	電車	タクシー	自転車	バイク	自家用車	施設の送迎車	移動サービス (福祉有償運送)	その他	無回答
身体	1,182	3.2	2.5	10.1	0.3	2.3	0.3	4.1	5.3	0.3	0.3	71.2
知的	280	14.6	12.5	23.2	0.4	3.2	-	6.8	11.1	0.4	2.5	25.4
精神	242	5.4	5.8	19.4	-	9.1	-	0.4	2.1	0.4	-	57.4
難病	222	4.5	2.3	10.8	0.9	4.1	-	5.9	4.5	-	0.5	66.7
高次脳機能	59	1.7	1.7	13.6	1.7	3.4	-	5.1	23.7	1.7	-	47.5
発達	181	14.9	10.5	26.0	0.6	7.2	-	7.7	9.9	1.1	1.7	20.4

【一緒に出かける人】

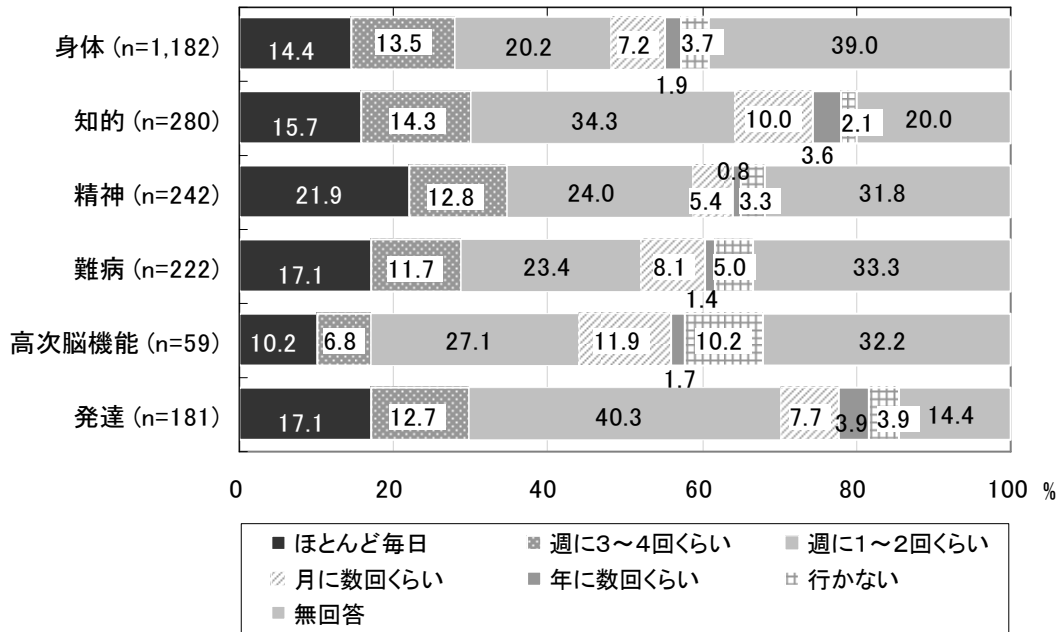


B 日常的な外出（買い物、食事、散歩など）

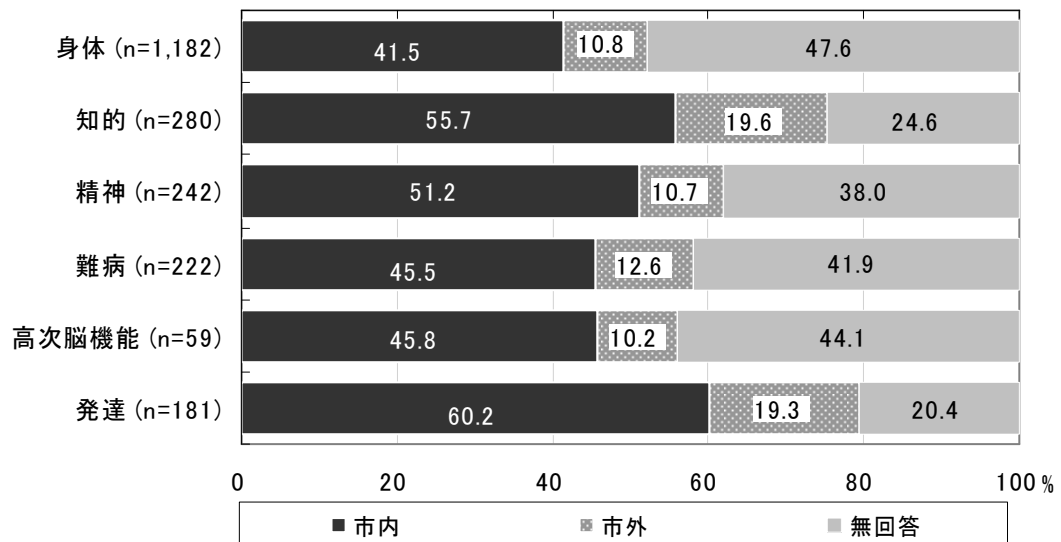
出かける回数は、全体的に「週に1～2回くらい」の割合が最も多くなっているものの、高次脳機能では「行かない」が1割を超えています。

主な場所は、「市外」が知的と発達で約2割となっています。

【出かける回数】



【主な場所】



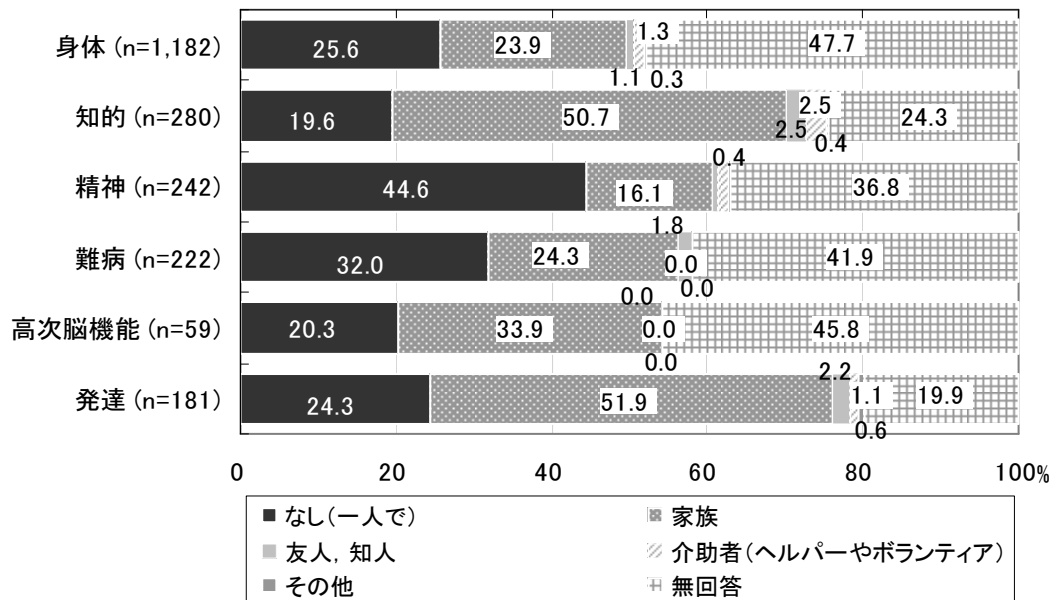
主な交通手段は、全体的に「徒歩」が最も多くなっているものの、次いで、精神では「自転車」が1割半ばとなっています。

一緒に出かける人は、知的と発達では「家族」が半数以上を占めている一方、精神では「なし（一人で）」が4割を超えています。

【主な交通手段】

	n	徒歩	バス	電車	タクシー	自転車	バイク	自家用車	施設の送迎車	移動サービス (福祉有償運送)	その他	無回答
身体	1,182	19.7	4.7	3.9	0.4	6.2	0.1	14.0	0.2	0.3	1.5	49.0
知的	280	26.8	2.9	8.9	-	10.4	-	21.4	0.7	-	1.4	27.5
精神	242	31.4	2.9	4.5	-	16.5	-	6.2	-	-	0.8	37.6
難病	222	22.1	6.3	4.1	-	8.1	0.5	16.2	-	-	1.8	41.0
高次脳機能	59	20.3	6.8	3.4	-	3.4	-	13.6	-	1.7	3.4	47.5
発達	181	30.9	1.1	9.4	-	13.8	-	18.8	0.6	0.6	1.1	23.8

【一緒に出かける人】

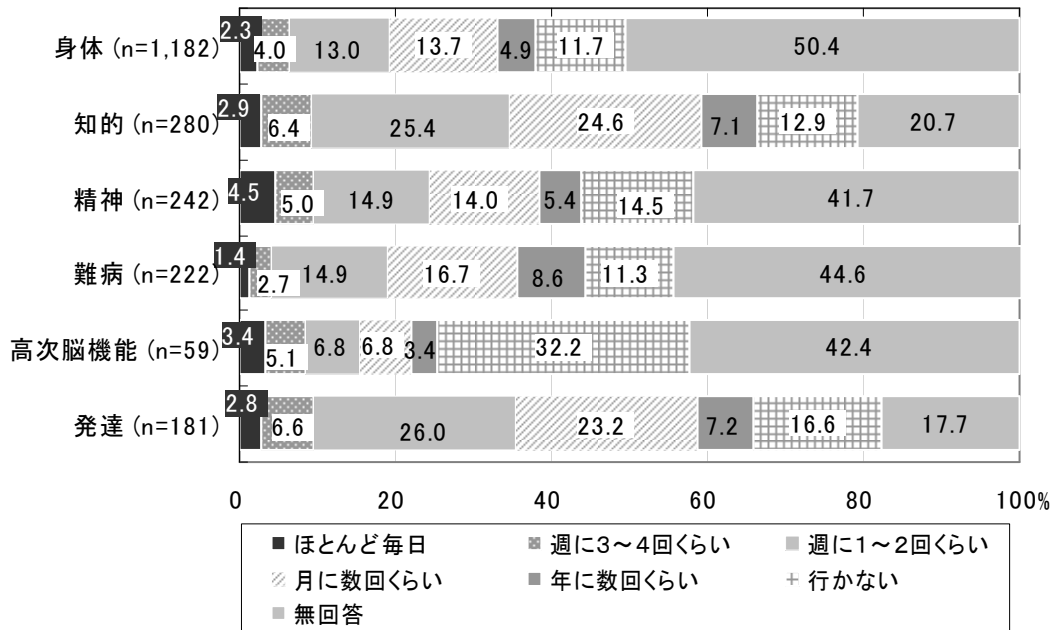


C 余暇活動、趣味活動

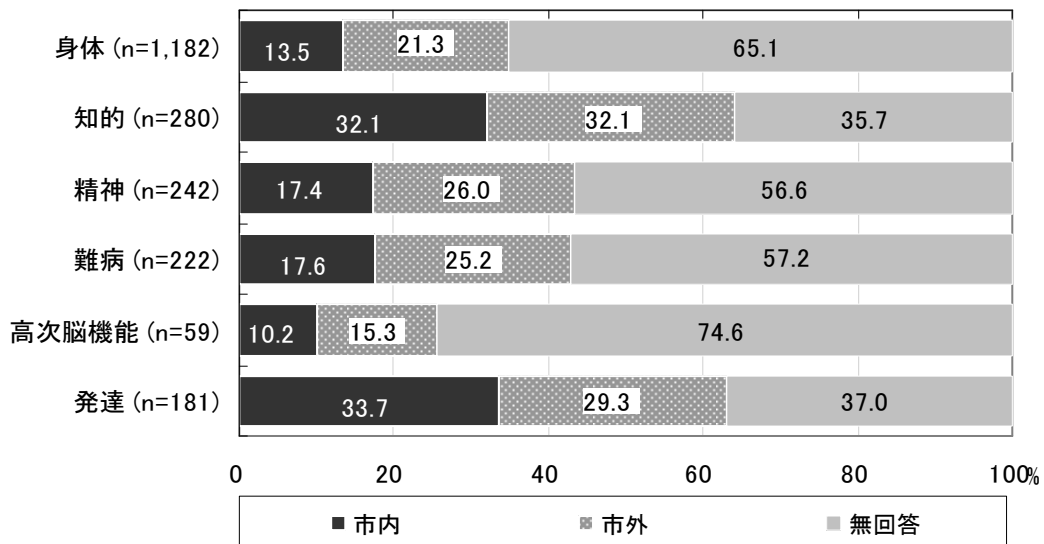
出かける回数は、全体的に「週に1～2回くらい」と「月に数回くらい」が多くなって
いるものの、高次脳機能では「行かない」が3割を超え最も多くなっています。

主な場所は、知的と発達で「市内」と「市外」がどちらも3割前後となっています。

【出かける回数】



【主な場所】



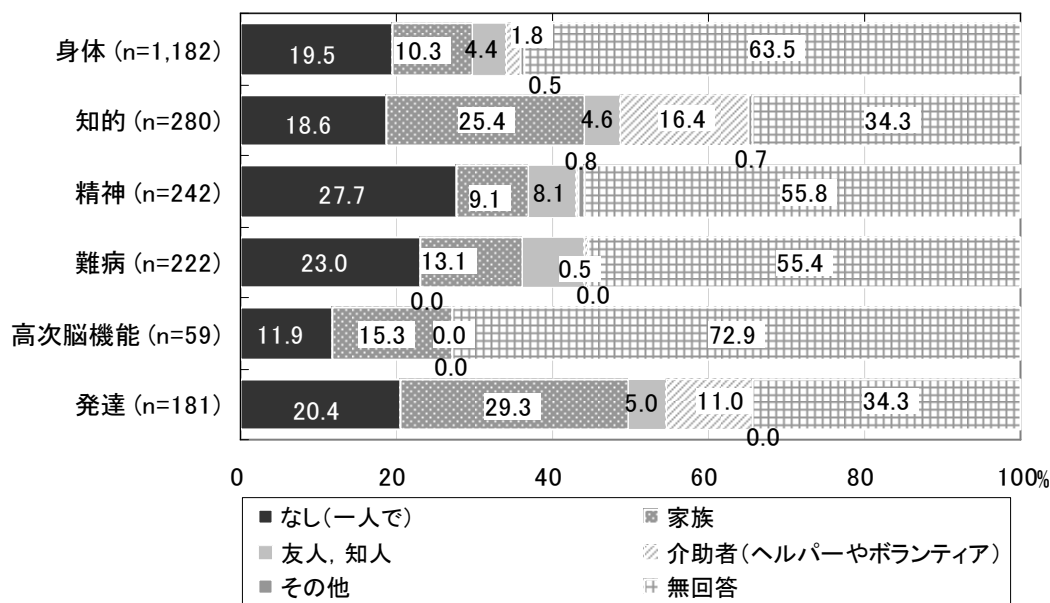
主な交通手段は、全体的に「電車」が最も多くなっているものの、高次脳機能では「徒歩」が最も多くなっています。

一緒に出かける人は、精神では「なし（一人で）」、発達では「家族」がそれぞれ3割近くとなっています。

【主な交通手段】

	n	徒歩	バス	電車	タクシー	自転車	バイク	自家用車	施設の送迎車	移動サービス (福祉有償運送)	その他	無回答
身体	1,182	4.8	3.5	11.2	0.5	3.1	0.3	9.9	0.3	0.5	0.6	65.2
知的	280	14.3	3.9	22.1	-	5.7	0.4	11.4	2.5	2.1	0.7	36.8
精神	242	8.3	4.1	19.4	-	8.3	-	2.9	-	0.4	0.8	55.8
難病	222	7.2	4.1	14.4	-	6.8	-	8.6	0.5	0.5	0.9	57.2
高次脳機能	59	8.5	3.4	3.4	-	5.1	-	6.8	-	-	-	72.9
発達	181	13.8	2.8	20.4	-	8.3	0.6	12.7	2.2	1.7	1.1	36.5

【一緒に出かける人】

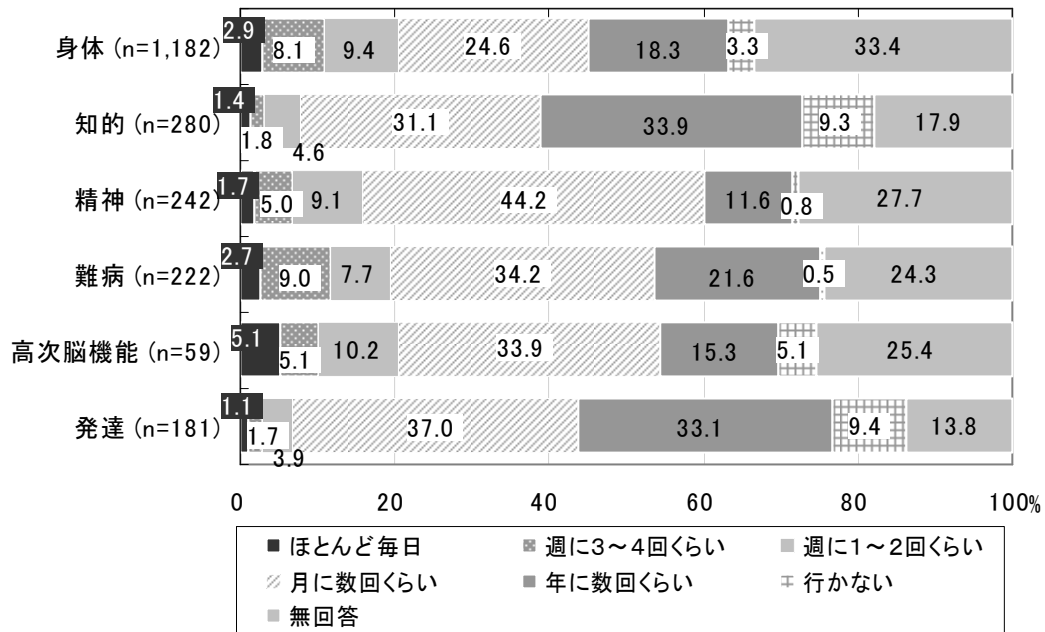


D 医療機関（通院、リハビリなど）への往復

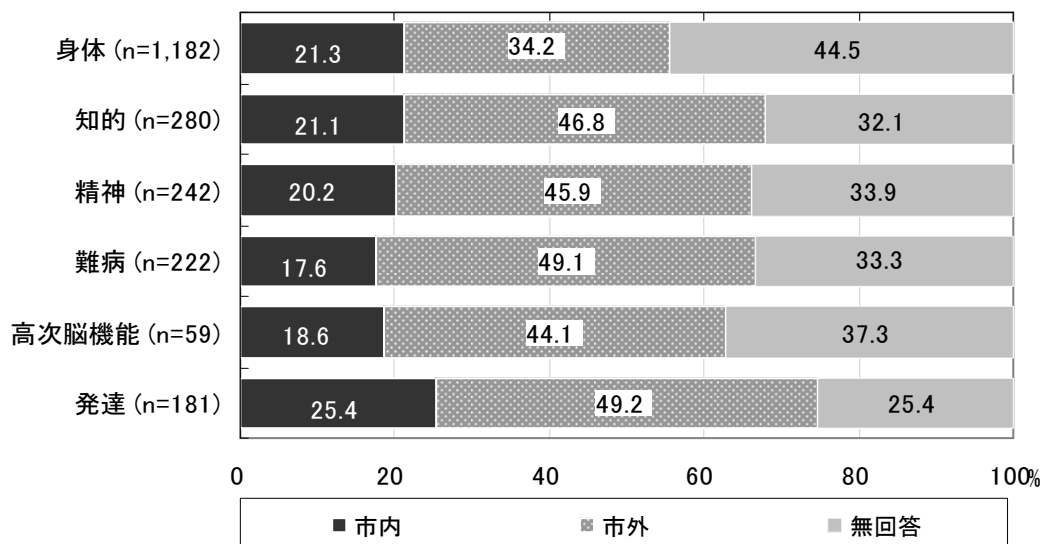
出かける回数は、全体的に「月に数回くらい」と「年に数回くらい」が最も多くなっており、知的と発達では「行かない」が約1割程度となっています。

主な場所は、全体的に「市外」が最も多くなっています。

【出かける回数】



【主な場所】



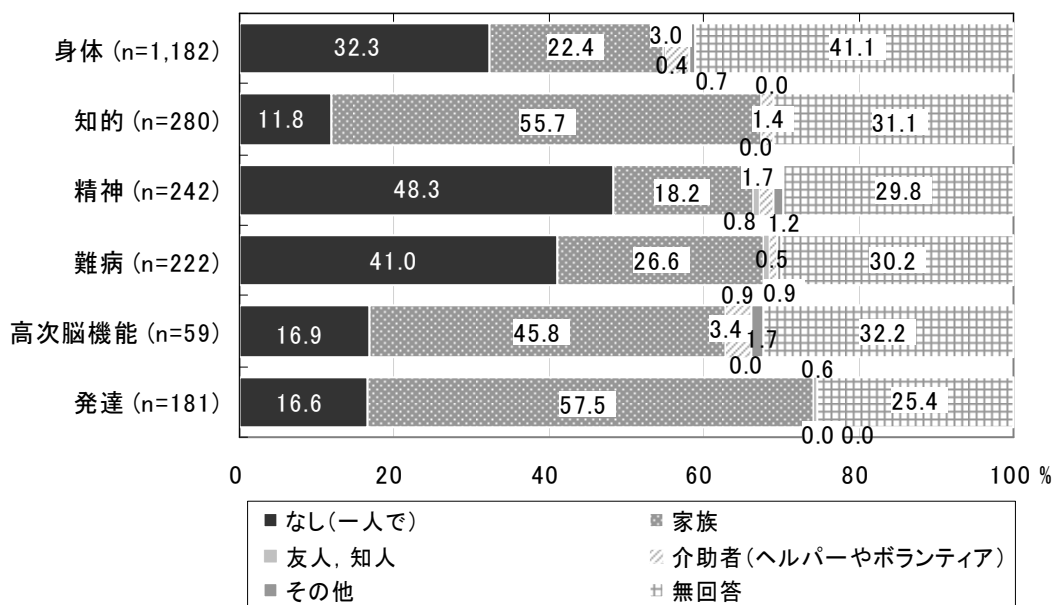
主な交通手段は、全体的に「電車」と「自家用車」が最も多くなっており、特に精神では「電車」が3割近くとなっています。

一緒に出かける人は、知的と発達では「家族」が半数以上を占めている一方、精神では「なし（一人で）」が5割近くとなっています。

【主な交通手段】

	n	徒歩	バス	電車	タクシー	自転車	バイク	自家用車	施設の送迎車	移動サービス (福祉有償運送)	その他	無回答
身体	1,182	6.9	6.2	12.1	4.8	3.8	0.2	14.9	3.2	2.4	1.5	44.1
知的	280	10.7	3.9	14.3	1.8	6.1	0.4	27.1	0.7	0.7	0.7	33.6
精神	242	8.3	2.5	28.9	3.3	10.7	0.4	9.1	0.4	-	2.1	34.3
難病	222	3.6	9.5	17.1	5.0	7.7	0.5	18.0	4.1	3.2	0.5	31.1
高次脳機能	59	5.1	6.8	11.9	5.1	3.4	-	16.9	5.1	5.1	3.4	37.3
発達	181	13.8	2.8	17.7	2.8	8.3	-	26.0	-	0.6	0.6	27.6

【一緒に出かける人】

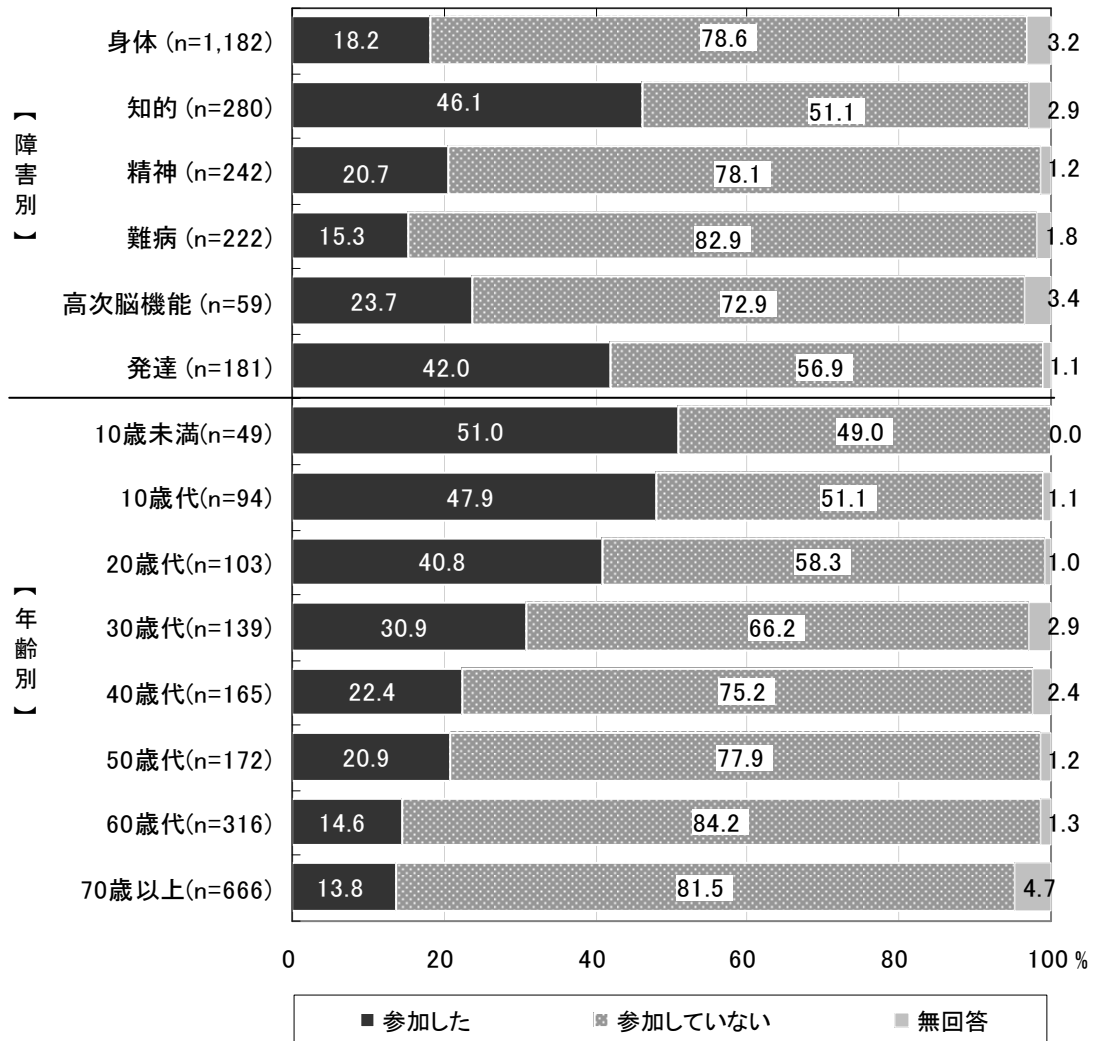


7 災害対策について

問23 あなたは、ここ1年のあいだに防災訓練などに参加しましたか。(〇は1つ)

防災訓練などへの参加は、「参加していない」が難病では8割以上、身体と精神では8割近くとなっています。一方、知的と発達では「参加した」が4割を超えています。

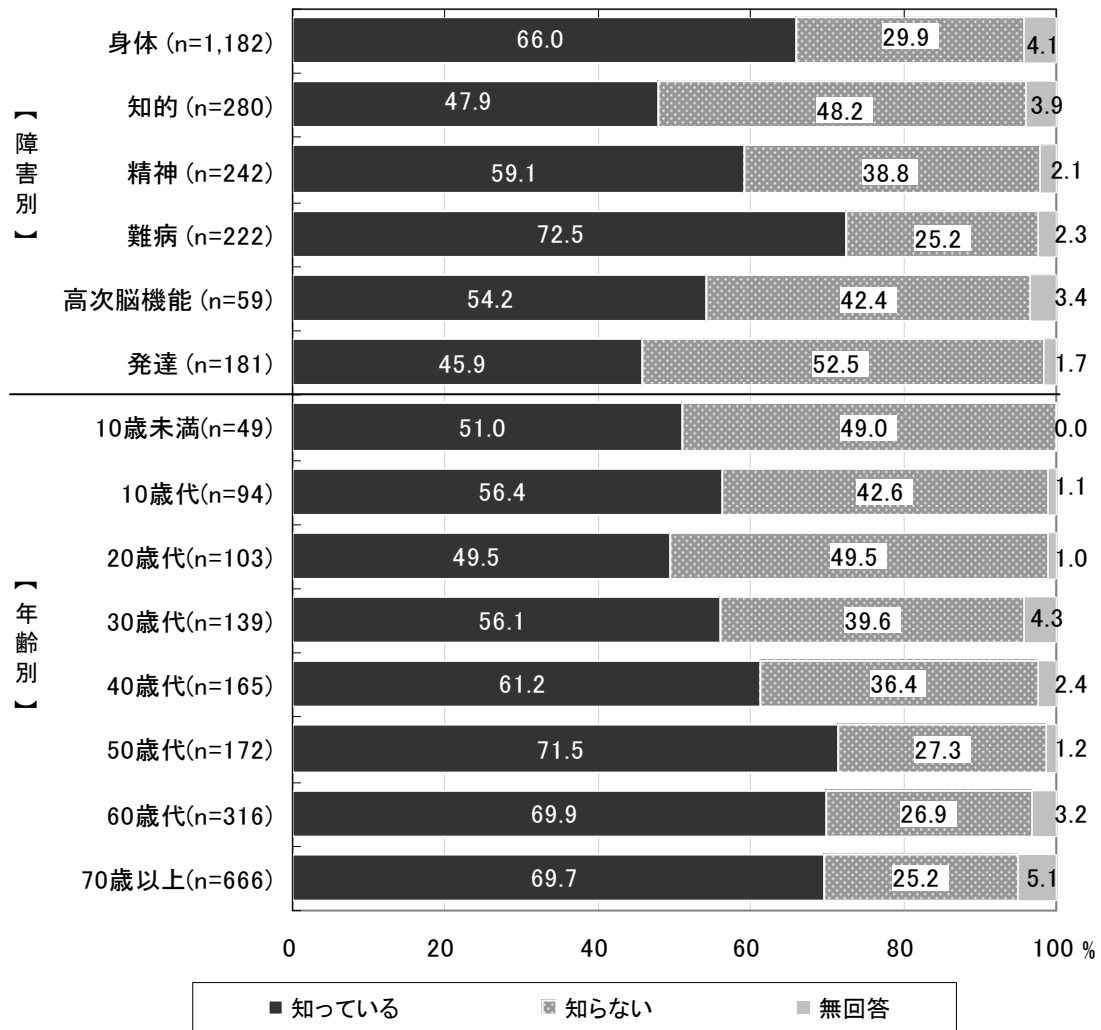
年齢別にみると、「参加した」が10歳未満で半数以上を占めていますが、年齢が上がるとともに割合は減少傾向となっており、60歳以上では1割半ば程度となっています。



問 24 あなたは、災害が起きたときの避難場所をご存知ですか。(〇は1つ)

避難場所の認知状況は、「知っている」が難病では7割以上、身体では6割を超えています。一方、知的と発達では「知らない」が5割前後となっています。

年齢別にみると、「知っている」が50歳以上では7割前後となっている一方、「知らない」が20歳代まで4割を超えています。



問 25 地震などの災害発生時に安否確認をしてくれる人がいますか。

(あてはまるものすべてに○)

災害発生時に安否確認をしてくれる人がいるかについては、身体と高次脳機能では「近所にいる」が4割前後と最も多くなっている一方、難病では「市外にいる」が4割半ばとなっています。

地区別にみると、「近所にいる」が西町では約5割、北町では4割半ば程度となっています。一方、「誰もいない」が内藤と新町で1割半ばとなっています。

	n	近所にいる	市内にいる	市外にいる	誰もいない	無回答
身体	1,182	40.1	24.9	37.2	9.1	6.4
知的	280	35.7	40.0	19.3	13.2	8.2
精神	242	31.0	26.9	34.3	17.4	5.4
難病	222	38.7	25.2	45.0	9.0	4.1
高次脳機能	59	39.0	28.8	33.9	13.6	6.8
発達	181	32.0	39.2	19.3	17.7	5.5
東元町	145	41.4	32.4	31.7	5.5	6.2
西元町	62	43.5	27.4	38.7	8.1	6.5
南町	80	35.0	23.8	43.8	10.0	3.8
泉町	148	31.8	27.0	48.0	10.8	4.7
本町	70	30.0	27.1	37.1	12.9	5.7
本多	102	42.2	27.5	34.3	7.8	4.9
東恋ヶ窪	132	35.6	28.0	31.8	10.6	8.3
西恋ヶ窪	96	31.3	26.0	40.6	12.5	6.3
東戸倉	48	39.6	27.1	33.3	10.4	6.3
戸倉	158	38.0	35.4	30.4	8.2	7.0
日吉町	92	32.6	22.8	25.0	9.8	19.6
内藤	69	31.9	18.8	39.1	15.9	2.9
富士本	67	26.9	26.9	49.3	9.0	4.5
新町	51	35.3	25.5	45.1	15.7	-
並木町	48	39.6	33.3	35.4	10.4	4.2
北町	49	44.9	38.8	42.9	8.2	2.0
光町	80	35.0	35.0	33.8	7.5	5.0
高木町	49	42.9	24.5	34.7	14.3	4.1
西町	156	49.4	19.2	36.5	8.3	5.8

問 26 地震や台風などの災害時について、不安に感じることや心配なことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

災害時の不安や心配なことについては、「まわりの人との意思疎通やコミュニケーションがうまくできない」が発達では6割以上、知的では5割を超え最も多くなっています。また、高次脳機能では「自力では、避難場所まで行くことがむずかしい」が約半数を占め最も多くなっています。

	n	自力では、避難場所まで行くことがむずかしい	障害があるため、救助を求めることがむずかしい	救助を求めても、身近に救助に来てくれる人がいない	障害があるため、災害がおきたことや内容について情報が得られない	自分の障害に配慮した避難所がない	避難所で、自分を介助してくれる人を確保できるか心配
身体	1,182	33.1	17.3	11.3	11.1	19.5	19.5
知的	280	48.2	44.3	16.1	42.9	32.9	40.0
精神	242	16.1	12.0	16.5	10.7	19.0	15.7
難病	222	28.4	14.4	9.9	5.9	19.4	14.9
高次脳機能	59	49.2	39.0	15.3	32.2	25.4	25.4
発達	181	40.3	44.2	16.6	42.5	39.8	39.2

	災害時に、自分の障害に対応した必要な治療など(薬、パウチ、透析場所等)が確保できない	まわりの人との意思疎通やコミュニケーションがうまくできない	その他	特にない	わからない	無回答
身体	26.9	13.5	7.4	27.4	7.5	8.2
知的	27.1	54.3	6.8	10.0	10.4	6.4
精神	34.7	25.2	7.4	27.7	14.5	4.1
難病	38.3	9.9	8.1	27.5	8.1	5.9
高次脳機能	32.2	30.5	6.8	15.3	10.2	5.1
発達	24.9	62.4	6.6	7.2	11.6	5.0

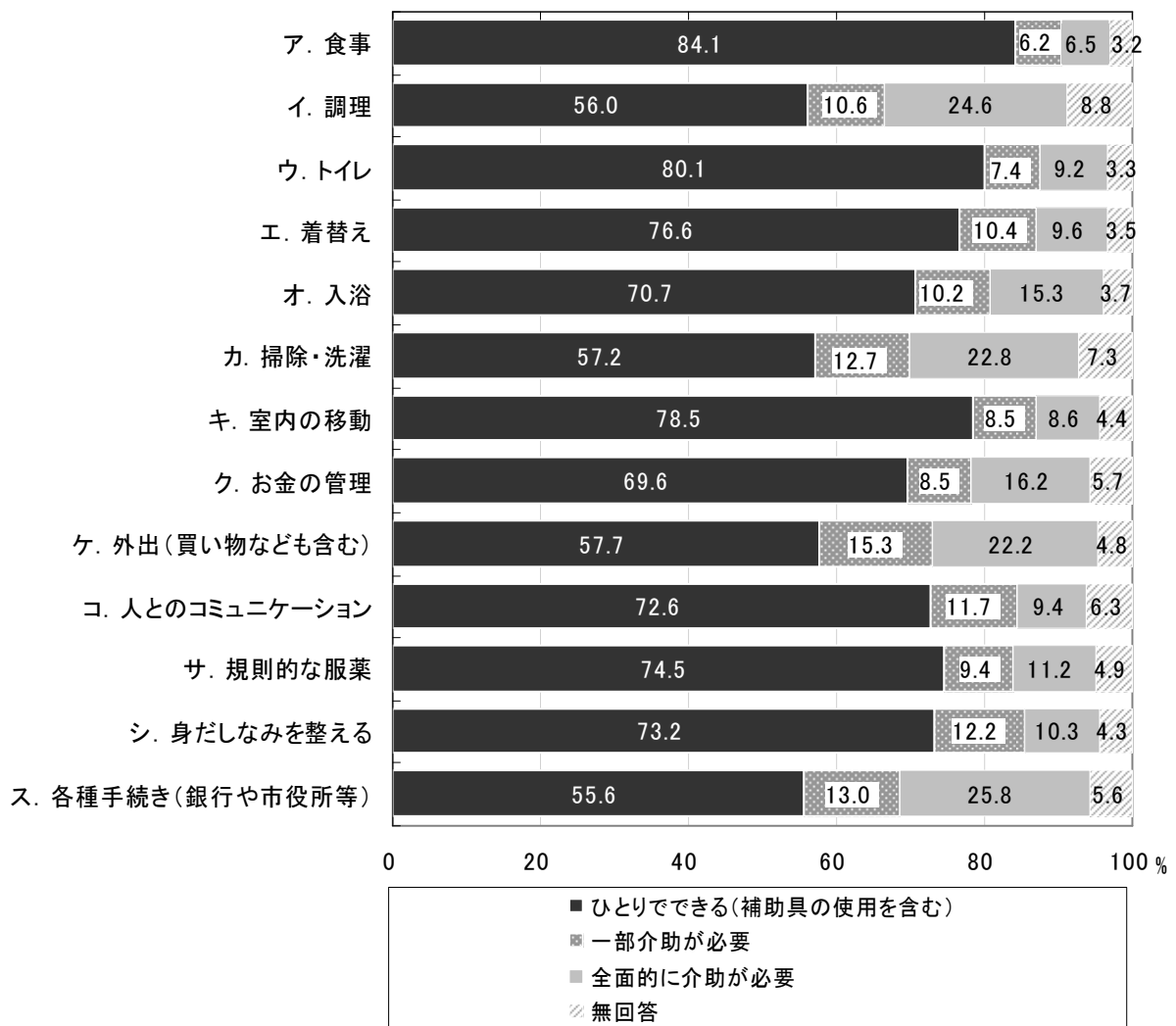
8 日常生活の状況について

問27 あなたの日常生活についておたずねします。次のア～スの項目について、あなたができる程度をお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

■身体障害者

身体の日常生活の状況は、「ひとりでできる(補助具の使用を含む)」が『ア. 食事』と『ウ. トイレ』で8割を超えています。一方、「全面的に介助が必要」は『ス. 各種手続き(銀行や市役所等)』で2割半ばとなっています。

【身体(n=1,182)】



■年齢別

年齢別にみると、全体的に10歳以上では「ひとりでできる（補助具の使用を含む）」の割合が最も多くなっています。一方、『イ. 調理』と『カ. 掃除・洗濯』、『ス. 各種手続き（銀行や市役所等）』では全ての年齢で「全面的に介助が必要」が1割を超えます。

ア. 食事	n	ひとりでできる（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	22	31.8	9.1	50.0	9.1
10歳代	35	65.7	14.3	17.1	2.9
20歳代	31	71.0	16.1	12.9	-
30歳代	57	87.7	3.5	8.8	-
40歳代	73	80.8	1.4	9.6	8.2
50歳代	114	91.2	6.1	1.8	0.9
60歳代	256	87.9	4.7	5.1	2.3
70歳以上	581	85.2	6.7	4.6	3.4

イ. 調理	n	ひとりでできる（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	22	9.1	4.5	72.7	13.6
10歳代	35	31.4	8.6	57.1	2.9
20歳代	31	32.3	19.4	41.9	6.5
30歳代	57	50.9	28.1	17.5	3.5
40歳代	73	54.8	16.4	17.8	11
50歳代	114	72.8	7	16.7	3.5
60歳代	256	70.7	6.6	17.2	5.5
70歳以上	581	51.1	10.7	26.5	11.7

ウ. トイレ	n	ひとりでできる（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	22	31.8	9.1	54.5	4.5
10歳代	35	68.6	8.6	20.0	2.9
20歳代	31	67.7	16.1	16.1	-
30歳代	57	82.5	8.8	8.8	-
40歳代	73	80.8	-	12.3	6.8
50歳代	114	87.7	8.8	2.6	0.9
60歳代	256	85.9	4.7	7.0	2.3
70歳以上	581	79.2	8.6	8.3	4.0

エ. 着替え	n	ひとりでできる（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	22	27.3	22.7	45.5	4.5
10歳代	35	68.6	11.4	17.1	2.9
20歳代	31	67.7	19.4	12.9	-
30歳代	57	82.5	8.8	8.8	-
40歳代	73	79.5	1.4	12.3	6.8
50歳代	114	83.3	13.2	2.6	0.9
60歳代	256	83.2	5.9	8.2	2.7
70歳以上	581	74.4	12.4	9.1	4.1

オ. 入浴	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	22	18.2	22.7	54.5	4.5
10歳代	35	62.9	11.4	22.9	2.9
20歳代	31	64.5	16.1	19.4	-
30歳代	57	73.7	15.8	10.5	-
40歳代	73	78.1	1.4	13.7	6.8
50歳代	114	80.7	8.8	8.8	1.8
60歳代	256	77.7	6.6	11.7	3.9
70歳以上	581	67.3	12.0	16.7	4.0

カ. 掃除・洗濯	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	22	4.5	9.1	72.7	13.6
10歳代	35	37.1	14.3	45.7	2.9
20歳代	31	45.2	9.7	41.9	3.2
30歳代	57	63.2	14.0	21.1	1.8
40歳代	73	60.3	15.1	13.7	11.0
50歳代	114	74.6	10.5	13.2	1.8
60歳代	256	69.9	11.3	13.7	5.1
70歳以上	581	50.8	13.8	26.0	9.5

キ. 室内の移動	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	22	40.9	18.2	36.4	4.5
10歳代	35	71.4	17.1	8.6	2.9
20歳代	31	80.6	-	16.1	3.2
30歳代	57	87.7	3.5	8.8	-
40歳代	73	78.1	2.7	12.3	6.8
50歳代	114	87.7	7.0	2.6	2.6
60歳代	256	85.2	6.3	6.3	2.3
70歳以上	581	74.9	10.7	8.8	5.7

ク. お金の管理	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	22	9.1	4.5	72.7	13.6
10歳代	35	34.3	20.0	42.9	2.9
20歳代	31	35.5	25.8	32.3	6.5
30歳代	57	66.7	10.5	21.1	1.8
40歳代	73	69.9	11.0	11.0	8.2
50歳代	114	83.3	7.0	7.9	1.8
60歳代	256	80.5	5.9	9.4	4.3
70歳以上	581	68.7	8.3	16.4	6.7

ケ. 外出 (買い物 なども 含む)	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	22	9.1	9.1	77.3	4.5
10歳代	35	40.0	22.9	34.3	2.9
20歳代	31	48.4	12.9	35.5	3.2
30歳代	57	70.2	14.0	15.8	-
40歳代	73	58.9	16.4	16.4	8.2
50歳代	114	76.3	12.3	9.6	1.8
60歳代	256	69.1	13.7	13.7	3.5
70歳以上	581	50.8	16.9	26.3	6.0

コ. 人との コミュニ ケーション	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	22	27.3	18.2	50.0	4.5
10歳代	35	42.9	34.3	20.0	2.9
20歳代	31	38.7	38.7	16.1	6.5
30歳代	57	64.9	24.6	10.5	-
40歳代	73	61.6	13.7	16.4	8.2
50歳代	114	79.8	8.8	7.0	4.4
60歳代	256	80.9	9.8	4.7	4.7
70歳以上	581	75.2	8.6	8.4	7.7

サ. 規則的な服薬	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	22	9.1	18.2	68.2	4.5
10歳代	35	45.7	20.0	28.6	5.7
20歳代	31	64.5	-	32.3	3.2
30歳代	57	70.2	21.1	8.8	-
40歳代	73	74.0	5.5	11.0	9.6
50歳代	114	86.8	7.9	2.6	2.6
60歳代	256	82.0	5.9	6.6	5.5
70歳以上	581	74.4	10.3	10.7	4.6

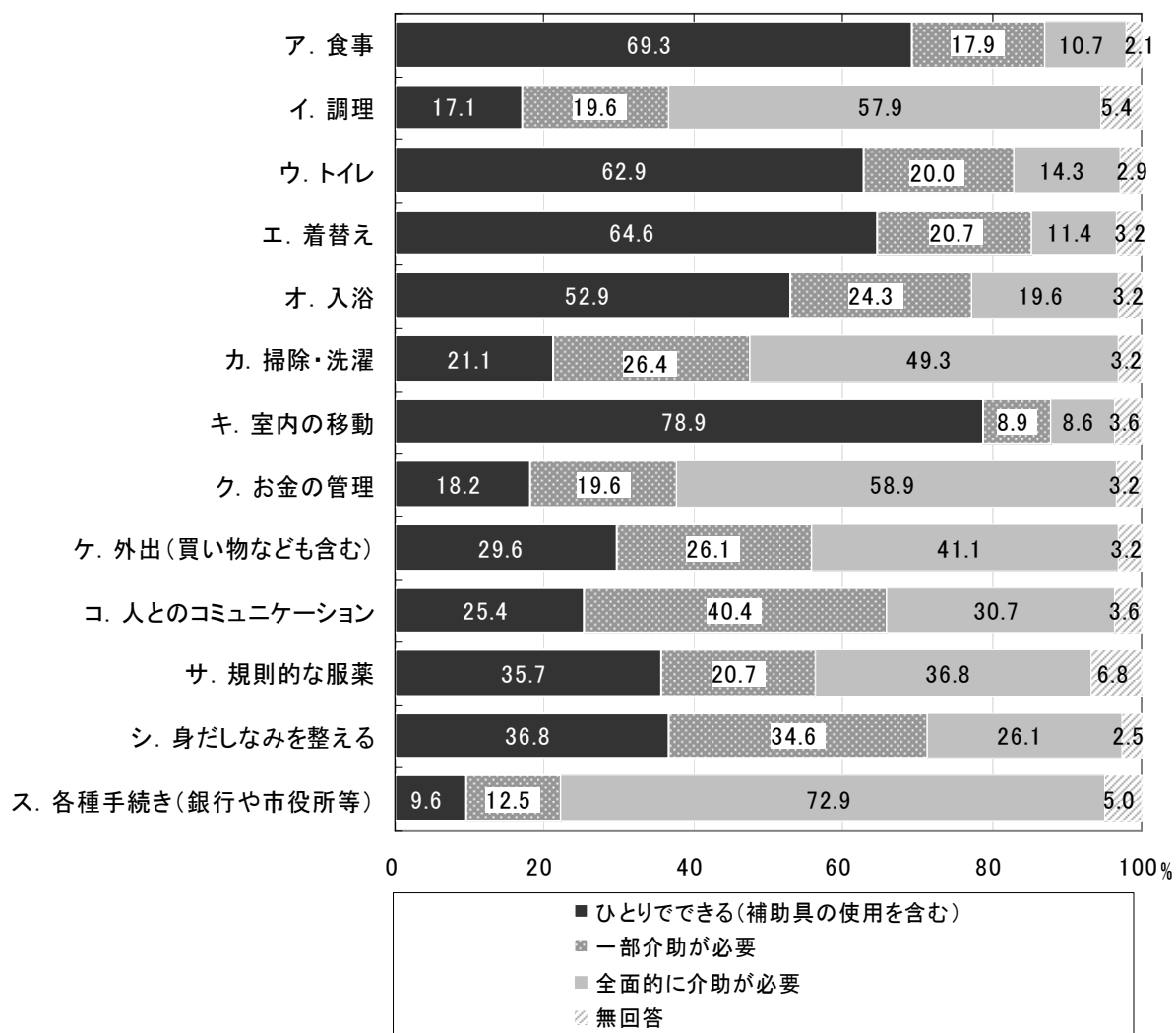
シ. 身だしなみを整える	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	22	22.7	18.2	54.5	4.5
10歳代	35	57.1	17.1	22.9	2.9
20歳代	31	54.8	16.1	25.8	3.2
30歳代	57	77.2	14.0	8.8	-
40歳代	73	71.2	9.6	11.0	8.2
50歳代	114	82.5	13.2	2.6	1.8
60歳代	256	80.9	8.6	6.6	3.9
70歳以上	581	71.8	13.3	10.2	4.8

ス. 各種手続き(銀行や市役所等)	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	22	9.1	-	77.3	13.6
10歳代	35	20.0	17.1	60.0	2.9
20歳代	31	35.5	9.7	48.4	6.5
30歳代	57	52.6	21.1	26.3	-
40歳代	73	56.2	8.2	27.4	8.2
50歳代	114	71.9	15.8	10.5	1.8
60歳代	256	71.1	8.2	17.6	3.1
70歳以上	581	50.6	15.1	27.2	7.1

■知的障害者

知的の日常生活の状況は、「ひとりでできる(補助具の使用を含む)」が『キ. 室内の移動』で約8割、『ア. 食事』で約7割となっています。一方、「全面的に介助が必要」は『ス. 各種手続き(銀行や市役所等)』で7割以上、『イ. 調理』と『ク. お金の管理』で6割近くとなっています。

【知的(n=280)】



■年齢別

年齢別にみると、『ス. 各種手続き（銀行や市役所等）』では60歳代を除く全ての年齢で「全面的に介助が必要」の割合が最も多くなっており、50歳代まで半数以上を占めています。また、『ク. お金の管理』では40歳代まで「全面的に介助が必要」の割合が最も多くなっています。

ア. 食事	n	ひとり でできる （補 助具の 使用を 含む）	一部 介助が 必要	全 面的 に 介 助 が 必 要	無 回 答
10歳未満	35	42.9	25.7	31.4	-
10歳代	67	70.1	22.4	7.5	-
20歳代	67	71.6	22.4	4.5	1.5
30歳代	43	74.4	14	9.3	2.3
40歳代	23	91.3	-	8.7	-
50歳代	11	72.7	9.1	9.1	9.1
60歳代	15	73.3	-	13.3	13.3
70歳以上	15	73.3	13.3	6.7	6.7

イ. 調理	n	ひとり でできる （補 助具の 使用を 含む）	一部 介助が 必要	全 面的 に 介 助 が 必 要	無 回 答
10歳未満	35	-	2.9	91.4	5.7
10歳代	67	10.4	22.4	67.2	-
20歳代	67	13.4	28.4	53.7	4.5
30歳代	43	25.6	14.0	53.5	7.0
40歳代	23	17.4	34.8	47.8	-
50歳代	11	54.5	-	27.3	18.2
60歳代	15	40.0	13.3	26.7	20.0
70歳以上	15	26.7	26.7	33.3	13.3

ウ. トイレ	n	ひとり でできる （補 助具の 使用を 含む）	一部 介助が 必要	全 面的 に 介 助 が 必 要	無 回 答
10歳未満	35	37.1	17.1	45.7	-
10歳代	67	62.7	26.9	10.4	-
20歳代	67	70.1	20.9	6.0	3.0
30歳代	43	60.5	25.6	11.6	2.3
40歳代	23	82.6	8.7	8.7	-
50歳代	11	72.7	9.1	9.1	9.1
60歳代	15	66.7	6.7	6.7	20.0
70歳以上	15	66.7	13.3	13.3	6.7

エ. 着替え	n	ひとり でできる （補 助具の 使用を 含む）	一部 介助が 必要	全 面的 に 介 助 が 必 要	無 回 答
10歳未満	35	34.3	34.3	31.4	-
10歳代	67	67.2	23.9	9.0	-
20歳代	67	68.7	22.4	4.5	4.5
30歳代	43	69.8	16.3	11.6	2.3
40歳代	23	82.6	8.7	8.7	-
50歳代	11	72.7	9.1	9.1	9.1
60歳代	15	66.7	6.7	6.7	20.0
70歳以上	15	66.7	13.3	13.3	6.7

オ. 入浴	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	35	20.0	34.3	45.7	-
10歳代	67	46.3	35.8	17.9	-
20歳代	67	62.7	22.4	11.9	3.0
30歳代	43	58.1	18.6	18.6	4.7
40歳代	23	78.3	13.0	8.7	-
50歳代	11	72.7	9.1	9.1	9.1
60歳代	15	60.0	13.3	6.7	20.0
70歳以上	15	46.7	13.3	33.3	6.7

力. 掃除・洗濯	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	35	-	8.6	85.7	5.7
10歳代	67	11.9	29.9	58.2	-
20歳代	67	16.4	37.3	44.8	1.5
30歳代	43	34.9	16.3	44.2	4.7
40歳代	23	30.4	39.1	30.4	-
50歳代	11	54.5	27.3	9.1	9.1
60歳代	15	46.7	20.0	20.0	13.3
70歳以上	15	26.7	26.7	40.0	6.7

キ. 室内の移動	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	35	68.6	14.3	17.1	-
10歳代	67	82.1	13.4	4.5	-
20歳代	67	88.1	3.0	6.0	3.0
30歳代	43	83.7	4.7	9.3	2.3
40歳代	23	87.0	4.3	8.7	-
50歳代	11	72.7	-	9.1	18.2
60歳代	15	60.0	13.3	6.7	20.0
70歳以上	15	53.3	20.0	13.3	13.3

ク. お金の管理	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	35	2.9	2.9	91.4	2.9
10歳代	67	4.5	14.9	80.6	-
20歳代	67	13.4	31.3	52.2	3.0
30歳代	43	30.2	16.3	51.2	2.3
40歳代	23	26.1	34.8	39.1	-
50歳代	11	45.5	9.1	36.4	9.1
60歳代	15	40.0	26.7	13.3	20.0
70歳以上	15	46.7	20.0	26.7	6.7

ケ. 外出 (買い物 なども 含む)	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	35	-	11.4	85.7	2.9
10歳代	67	17.9	35.8	46.3	-
20歳代	67	34.3	31.3	31.3	3.0
30歳代	43	44.2	23.3	30.2	2.3
40歳代	23	52.2	26.1	21.7	-
50歳代	11	36.4	27.3	27.3	9.1
60歳代	15	46.7	13.3	20.0	20.0
70歳以上	15	33.3	20.0	40.0	6.7

コ. 人との コミュニ ケーション	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	35	14.3	37.1	48.6	-
10歳代	67	14.9	50.7	34.3	-
20歳代	67	20.9	47.8	28.4	3.0
30歳代	43	32.6	34.9	30.2	2.3
40歳代	23	26.1	47.8	21.7	4.3
50歳代	11	36.4	27.3	27.3	9.1
60歳代	15	66.7	6.7	6.7	20.0
70歳以上	15	46.7	26.7	13.3	13.3

サ. 規則的な服薬	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	35	-	11.4	80.0	8.6
10歳代	67	22.4	32.8	41.8	3.0
20歳代	67	47.8	14.9	32.8	4.5
30歳代	43	48.8	11.6	27.9	11.6
40歳代	23	34.8	43.5	21.7	-
50歳代	11	54.5	27.3	9.1	9.1
60歳代	15	60.0	13.3	6.7	20.0
70歳以上	15	53.3	13.3	20.0	13.3

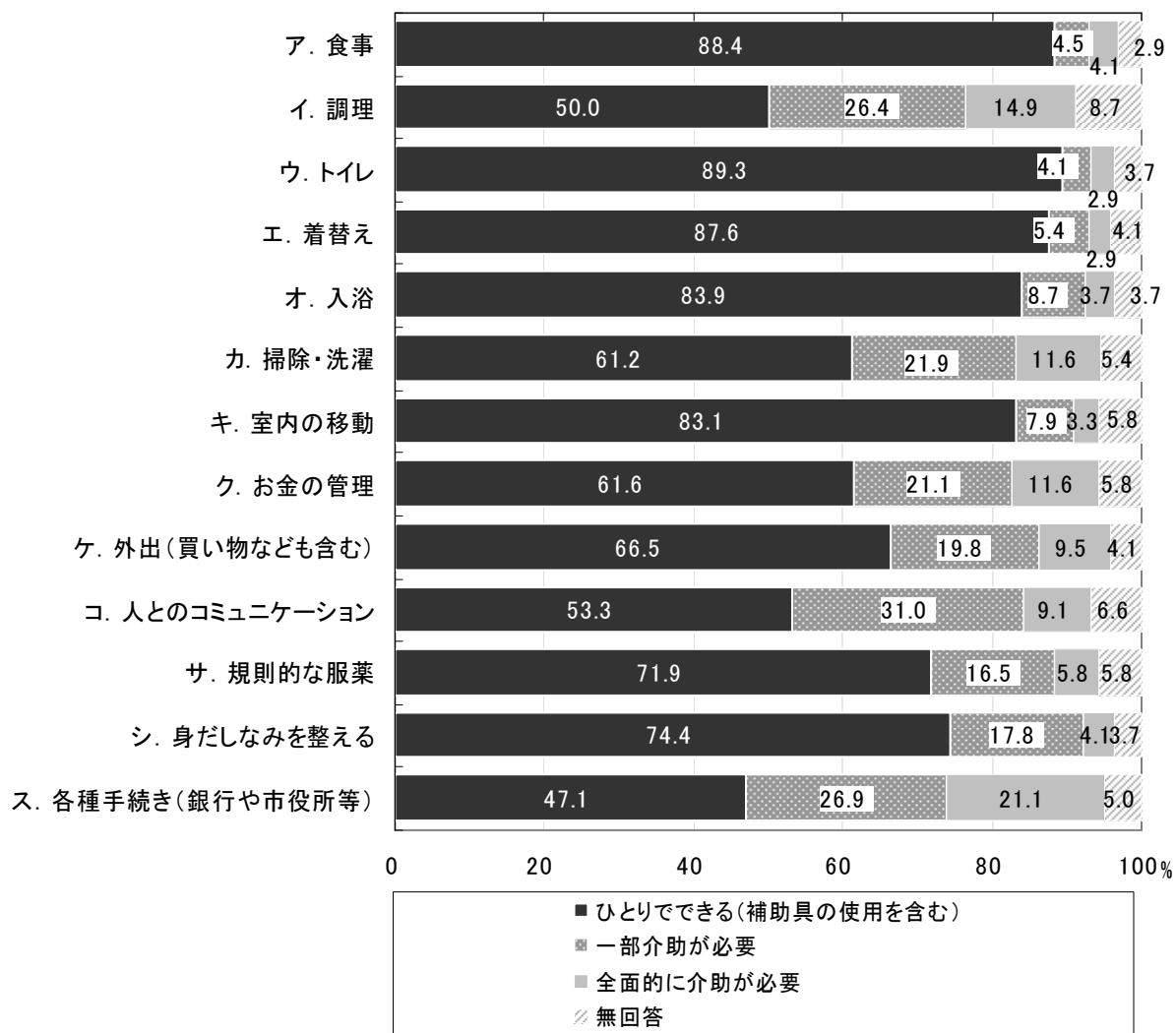
シ. 身だしなみを整える	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	35	17.1	28.6	54.3	-
10歳代	67	29.9	43.3	26.9	-
20歳代	67	37.3	38.8	22.4	1.5
30歳代	43	44.2	27.9	25.6	2.3
40歳代	23	39.1	47.8	13.0	-
50歳代	11	45.5	36.4	9.1	9.1
60歳代	15	66.7	6.7	6.7	20.0
70歳以上	15	53.3	26.7	13.3	6.7

ス. 各種手続き(銀行や市役所等)	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	35	-	-	94.3	5.7
10歳代	67	1.5	7.5	91.0	-
20歳代	67	4.5	16.4	76.1	3.0
30歳代	43	16.3	23.3	58.1	2.3
40歳代	23	13.0	17.4	65.2	4.3
50歳代	11	18.2	18.2	54.5	9.1
60歳代	15	40.0	13.3	26.7	20.0
70歳以上	15	33.3	6.7	40.0	20.0

■精神障害者

精神の日常生活の状況は、「ひとりでできる（補助具の使用を含む）」が『ア. 食事』と『ウ. トイレ』、『エ. 着替え』で9割近くとなっています。一方、「全面的に介助が必要」は『ス. 各種手続き（銀行や市役所等）』で2割を超えています。

【精神(n=242)】



■年齢別

年齢別にみると、全体的に「ひとりでできる（補助具の使用を含む）」の割合が多くなっているものの、『コ. 人とのコミュニケーション』では10歳代まで「一部介助が必要」の割合が最も多くなっています。

ア. 食事	n	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	3	100.0	-	-	-
10歳代	6	100.0	-	-	-
20歳代	17	94.1	-	-	5.9
30歳代	53	92.5	5.7	1.9	-
40歳代	60	91.7	1.7	1.7	5.0
50歳代	40	87.5	7.5	5.0	-
60歳代	24	79.2	8.3	8.3	4.2
70歳以上	37	81.1	5.4	10.8	2.7

イ. 調理	n	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	3	-	33.3	66.7	-
10歳代	6	50.0	16.7	33.3	-
20歳代	17	58.8	35.3	-	5.9
30歳代	53	34.0	45.3	17.0	3.8
40歳代	60	53.3	33.3	6.7	6.7
50歳代	40	67.5	15.0	12.5	5.0
60歳代	24	54.2	4.2	25.0	16.7
70歳以上	37	45.9	13.5	21.6	18.9

ウ. トイレ	n	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	3	66.7	33.3	-	-
10歳代	6	100.0	-	-	-
20歳代	17	94.1	5.9	-	-
30歳代	53	92.5	7.5	-	-
40歳代	60	93.3	1.7	-	5.0
50歳代	40	92.5	5.0	2.5	-
60歳代	24	83.3	-	8.3	8.3
70歳以上	37	78.4	2.7	10.8	8.1

エ. 着替え	n	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	3	66.7	33.3	-	-
10歳代	6	100.0	-	-	-
20歳代	17	94.1	5.9	-	-
30歳代	53	94.3	5.7	-	-
40歳代	60	90.0	5.0	-	5
50歳代	40	90.0	7.5	2.5	-
60歳代	24	83.3	-	8.3	8.3
70歳以上	37	73.0	5.4	10.8	10.8

オ. 入浴	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	3	33.3	66.7	-	-
10歳代	6	100.0	-	-	-
20歳代	17	82.4	17.6	-	-
30歳代	53	84.9	15.1	-	-
40歳代	60	90.0	3.3	1.7	5.0
50歳代	40	92.5	2.5	5.0	-
60歳代	24	79.2	4.2	8.3	8.3
70歳以上	37	70.3	10.8	10.8	8.1

カ. 掃除・洗濯	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	3	-	33.3	66.7	-
10歳代	6	66.7	16.7	16.7	-
20歳代	17	70.6	23.5	5.9	-
30歳代	53	52.8	35.8	9.4	1.9
40歳代	60	65.0	20.0	6.7	8.3
50歳代	40	80.0	10.0	7.5	2.5
60歳代	24	62.5	16.7	16.7	4.2
70歳以上	37	45.9	21.6	21.6	10.8

キ. 室内の移動	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	3	100.0	-	-	-
10歳代	6	100.0	-	-	-
20歳代	17	94.1	5.9	-	-
30歳代	53	90.6	9.4	-	-
40歳代	60	85.0	8.3	1.7	5.0
50歳代	40	87.5	5.0	2.5	5.0
60歳代	24	79.2	4.2	8.3	8.3
70歳以上	37	59.5	13.5	10.8	16.2

ク. お金の管理	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	3	-	33.3	66.7	-
10歳代	6	16.7	50.0	33.3	-
20歳代	17	41.2	41.2	11.8	5.9
30歳代	53	58.5	24.5	15.1	1.9
40歳代	60	70.0	25.0	-	5.0
50歳代	40	72.5	15.0	10.0	2.5
60歳代	24	66.7	4.2	16.7	12.5
70歳以上	37	59.5	13.5	16.2	10.8

ケ. 外出 (買い物 なども 含む)	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	3	-	-	100.0	-
10歳代	6	33.3	50.0	16.7	-
20歳代	17	82.4	17.6	-	-
30歳代	53	71.7	22.6	5.7	-
40歳代	60	73.3	16.7	3.3	6.7
50歳代	40	77.5	12.5	7.5	2.5
60歳代	24	66.7	16.7	8.3	8.3
70歳以上	37	40.5	29.7	24.3	5.4

コ. 人との コミュニ ケーション	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	3	33.3	66.7	-	-
10歳代	6	16.7	83.3	-	-
20歳代	17	47.1	35.3	11.8	5.9
30歳代	53	50.9	37.7	11.3	-
40歳代	60	56.7	30.0	8.3	5.0
50歳代	40	65.0	20.0	5.0	10.0
60歳代	24	54.2	33.3	4.2	8.3
70歳以上	37	48.6	21.6	16.2	13.5

サ. 規則的な服薬	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	3	-	33.3	66.7	-
10歳代	6	33.3	50.0	16.7	-
20歳代	17	76.5	17.6	-	5.9
30歳代	53	66.0	32.1	-	1.9
40歳代	60	83.3	8.3	1.7	6.7
50歳代	40	85.0	10.0	2.5	2.5
60歳代	24	70.8	12.5	8.3	8.3
70歳以上	37	59.5	10.8	18.9	10.8

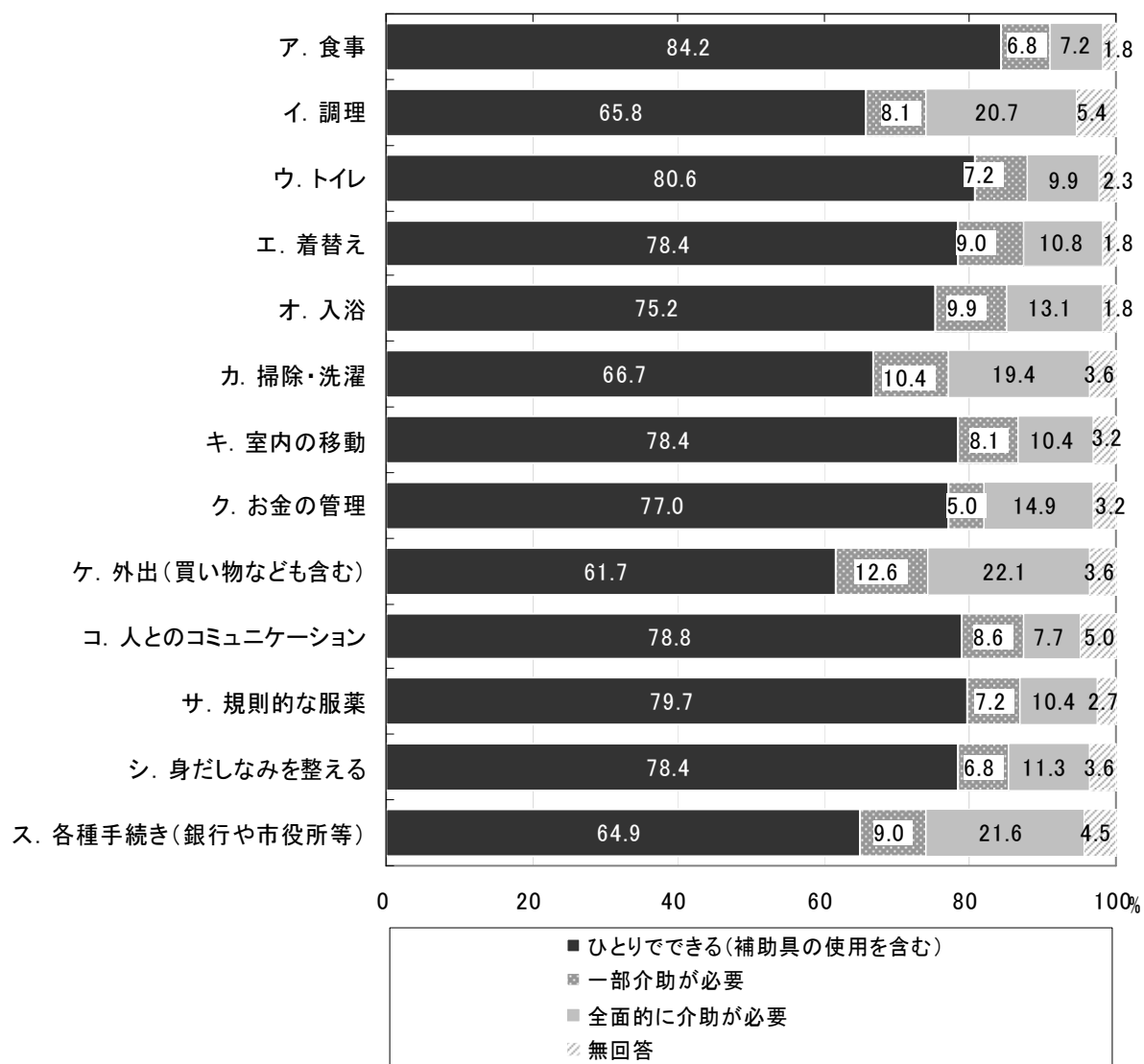
シ. 身だしなみを整える	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	3	33.3	33.3	33.3	-
10歳代	6	83.3	16.7	-	-
20歳代	17	76.5	23.5	-	-
30歳代	53	81.1	18.9	-	-
40歳代	60	78.3	15.0	1.7	5.0
50歳代	40	85.0	12.5	2.5	-
60歳代	24	62.5	20.8	8.3	8.3
70歳以上	37	56.8	21.6	13.5	8.1

ス. 各種手続き(銀行や市役所等)	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	3	-	-	100.0	-
10歳代	6	-	33.3	66.7	-
20歳代	17	41.2	41.2	11.8	5.9
30歳代	53	35.8	37.7	26.4	-
40歳代	60	60.0	25.0	10.0	5.0
50歳代	40	57.5	32.5	7.5	2.5
60歳代	24	50.0	16.7	25.0	8.3
70歳以上	37	43.2	10.8	35.1	10.8

■難病患者

難病の日常生活の状況は、「ひとりでできる（補助具の使用を含む）」が『ア. 食事』と『ウ. トイレ』で8割を超えています。一方、「全面的に介助が必要」は『イ. 調理』と『ケ. 外出（買い物なども含む）』、『ス. 各種手続き（銀行や市役所等）』で2割を超えています。

【難病（n=222）】



■年齢別

年齢別にみると、全体的に10歳代までは「全面的に介助が必要」、20歳代以降では「ひとりで行える（補助具の使用を含む）」の割合が多くなっています。一方、70歳以上では『イ. 調理』と『ケ. 外出（買い物なども含む）』、『ス. 各種手続き（銀行や市役所等）』がそれぞれ3割前後で「全面的に介助が必要」と回答しています。

ア. 食事	n	ひとりで行える（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	1	-	100.0	-	-
10歳代	6	33.3	16.7	50.0	-
20歳代	8	87.5	-	12.5	-
30歳代	19	94.7	-	5.3	-
40歳代	25	96.0	-	4.0	-
50歳代	27	88.9	7.4	-	3.7
60歳代	46	82.6	8.7	6.5	2.2
70歳以上	85	81.2	8.2	8.2	2.4

イ. 調理	n	ひとりで行える（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	1	-	-	100.0	-
10歳代	6	33.3	-	66.7	-
20歳代	8	87.5	-	12.5	-
30歳代	19	89.5	-	10.5	-
40歳代	25	88.0	8.0	4.0	-
50歳代	27	81.5	7.4	7.4	3.7
60歳代	46	67.4	8.7	19.6	4.3
70歳以上	85	48.2	11.8	29.4	10.6

ウ. トイレ	n	ひとりで行える（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	1	-	-	100.0	-
10歳代	6	50.0	-	50.0	-
20歳代	8	75.0	12.5	12.5	-
30歳代	19	94.7	-	5.3	-
40歳代	25	96.0	-	4.0	-
50歳代	27	92.6	-	3.7	3.7
60歳代	46	78.3	8.7	10.9	2.2
70歳以上	85	72.9	12.9	10.6	3.5

エ. 着替え	n	ひとりで行える（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	1	-	100.0	-	-
10歳代	6	50.0	-	50.0	-
20歳代	8	87.5	-	12.5	-
30歳代	19	89.5	5.3	5.3	-
40歳代	25	92.0	4.0	4.0	-
50歳代	27	85.2	7.4	3.7	3.7
60歳代	46	78.3	6.5	13.0	2.2
70歳以上	85	71.8	12.9	12.9	2.4

オ. 入浴	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	1	-	100.0	-	-
10歳代	6	33.3	16.7	50.0	-
20歳代	8	75.0	12.5	12.5	-
30歳代	19	89.5	-	10.5	-
40歳代	25	96.0	-	4.0	-
50歳代	27	88.9	3.7	3.7	3.7
60歳代	46	73.9	8.7	15.2	2.2
70歳以上	85	64.7	16.5	16.5	2.4

カ. 掃除・洗濯	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	1	-	-	100.0	-
10歳代	6	33.3	-	66.7	-
20歳代	8	75.0	12.5	12.5	-
30歳代	19	84.2	5.3	10.5	-
40歳代	25	96.0	-	4.0	-
50歳代	27	77.8	11.1	7.4	3.7
60歳代	46	65.2	15.2	19.6	-
70歳以上	85	54.1	11.8	25.9	8.2

キ. 室内の移動	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	1	100.0	-	-	-
10歳代	6	33.3	33.3	33.3	-
20歳代	8	87.5	-	12.5	-
30歳代	19	94.7	-	5.3	-
40歳代	25	96.0	-	4.0	-
50歳代	27	85.2	7.4	3.7	3.7
60歳代	46	76.1	8.7	10.9	4.3
70歳以上	85	69.4	11.8	14.1	4.7

ク. お金の管理	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	1	-	-	100.0	-
10歳代	6	33.3	16.7	50.0	-
20歳代	8	75.0	25.0	-	-
30歳代	19	89.5	5.3	5.3	-
40歳代	25	96.0	-	4.0	-
50歳代	27	85.2	3.7	7.4	3.7
60歳代	46	73.9	4.3	17.4	4.3
70歳以上	85	70.6	4.7	20.0	4.7

ケ. 外出 (買い物なども含む)	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	1	-	-	100.0	-
10歳代	6	33.3	-	66.7	-
20歳代	8	75.0	12.5	12.5	-
30歳代	19	84.2	5.3	10.5	-
40歳代	25	84.0	8.0	8.0	-
50歳代	27	70.4	18.5	7.4	3.7
60歳代	46	60.9	15.2	21.7	2.2
70歳以上	85	49.4	11.8	31.8	7.1

コ. 人との コミュニケーション	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	1	-	100.0	-	-
10歳代	6	50.0	16.7	33.3	-
20歳代	8	87.5	-	12.5	-
30歳代	19	89.5	10.5	-	-
40歳代	25	96.0	-	4.0	-
50歳代	27	85.2	3.7	7.4	3.7
60歳代	46	76.1	13.0	6.5	4.3
70歳以上	85	71.8	9.4	9.4	9.4

サ. 規則的な服薬	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	1	-	-	100.0	-
10歳代	6	33.3	-	66.7	-
20歳代	8	75.0	12.5	12.5	-
30歳代	19	89.5	5.3	5.3	-
40歳代	25	96.0	-	4.0	-
50歳代	27	85.2	11.1	-	3.7
60歳代	46	82.6	4.3	10.9	2.2
70歳以上	85	74.1	10.6	10.6	4.7

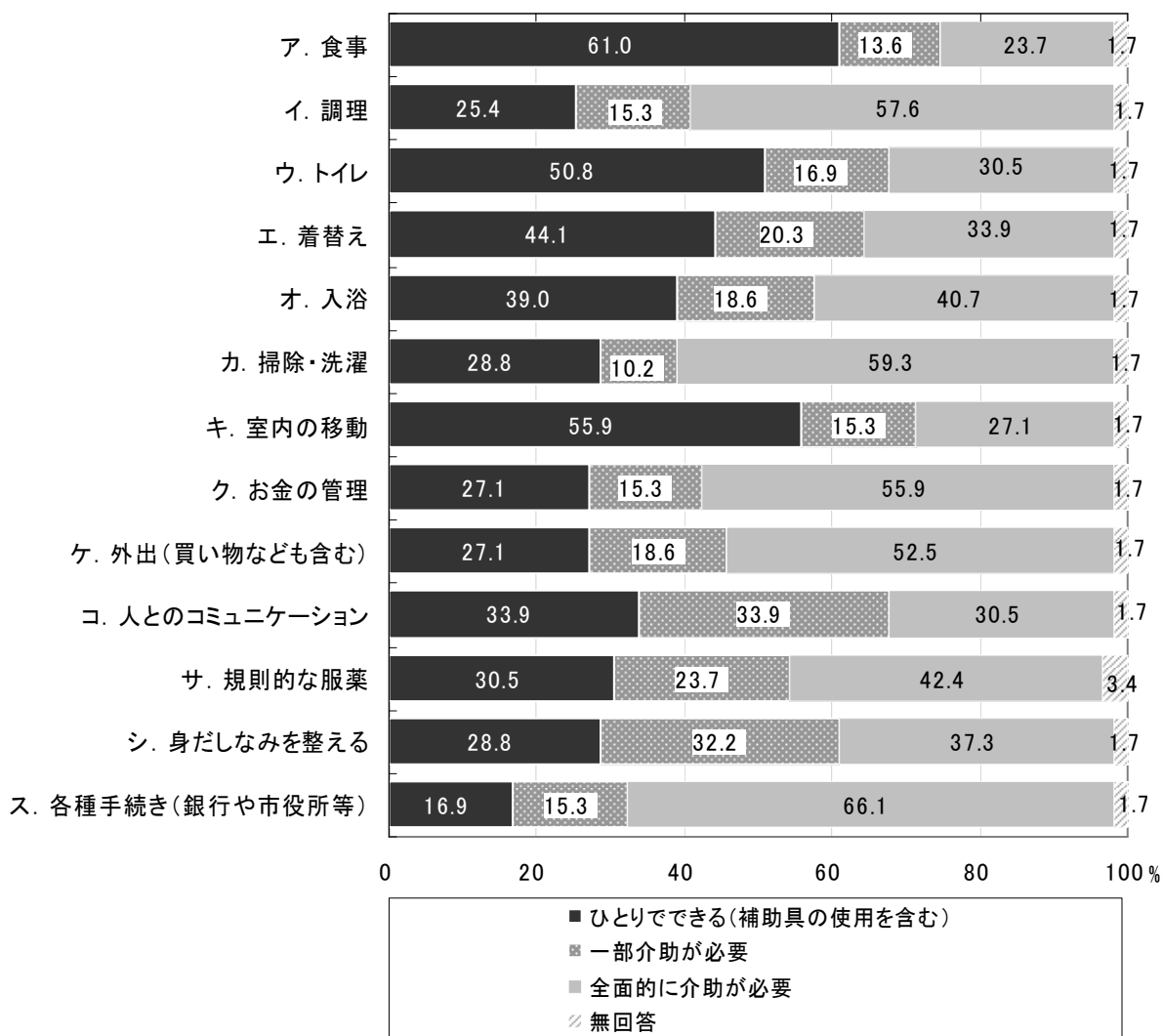
シ. 身だしなみを整える	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	1	-	-	100.0	-
10歳代	6	33.3	16.7	50.0	-
20歳代	8	75.0	12.5	12.5	-
30歳代	19	89.5	5.3	5.3	-
40歳代	25	96.0	-	4.0	-
50歳代	27	88.9	3.7	3.7	3.7
60歳代	46	78.3	4.3	13.0	4.3
70歳以上	85	70.6	10.6	12.9	5.9

ス. 各種手続き(銀行や市役所等)	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	1	-	-	100.0	-
10歳代	6	33.3	-	66.7	-
20歳代	8	75.0	-	25.0	-
30歳代	19	89.5	-	10.5	-
40歳代	25	80.0	12.0	8.0	-
50歳代	27	77.8	14.8	3.7	3.7
60歳代	46	65.2	6.5	23.9	4.3
70歳以上	85	51.8	10.6	29.4	8.2

■高次脳機能障害者

高次脳機能の日常生活の状況は、「ひとりでできる（補助具の使用を含む）」が『ア. 食事』で6割以上、『ウ. トイレ』と『キ. 室内の移動』で5割を超えています。一方、「全面的に介助が必要」が『ス. 各種手続き（銀行や市役所等）』で6割半ば、『カ. 掃除・洗濯』で約6割となっています。

【高次脳機能（n=59）】



■年齢別

年齢別にみると、「全面的に介助が必要」では70歳以上で『力. 掃除・洗濯』と『ケ. 外出（買い物なども含む）』, 『ス. 各種手続き（銀行や市役所等）』がそれぞれ8割を超えています。

ア. 食事	n	ひとり でできる (補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面 的に 介助が 必要	無 回 答
10歳未満	3	-	66.7	33.3	-
10歳代	2	50.0	50.0	-	-
20歳代	2	100.0	-	-	-
30歳代	3	100.0	-	-	-
40歳代	8	87.5	-	12.5	-
50歳代	5	100.0	-	-	-
60歳代	14	50.0	21.4	21.4	7.1
70歳以上	22	50.0	9.1	40.9	-

イ. 調理	n	ひとり でできる (補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面 的に 介助が 必要	無 回 答
10歳未満	3	-	-	100.0	-
10歳代	2	50.0	-	50.0	-
20歳代	2	50.0	50.0	-	-
30歳代	3	33.3	66.7	-	-
40歳代	8	62.5	25.0	12.5	-
50歳代	5	40.0	-	60.0	-
60歳代	14	21.4	7.1	64.3	7.1
70歳以上	22	9.1	13.6	77.3	-

ウ. トイレ	n	ひとり でできる (補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面 的に 介助が 必要	無 回 答
10歳未満	3	-	33.3	66.7	-
10歳代	2	50.0	50.0	-	-
20歳代	2	100.0	-	-	-
30歳代	3	66.7	33.3	-	-
40歳代	8	87.5	-	12.5	-
50歳代	5	80.0	20.0	-	-
60歳代	14	50.0	7.1	35.7	7.1
70歳以上	22	31.8	22.7	45.5	-

エ. 着替え	n	ひとり でできる (補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面 的に 介助が 必要	無 回 答
10歳未満	3	-	33.3	66.7	-
10歳代	2	50.0	50.0	-	-
20歳代	2	100.0	-	-	-
30歳代	3	66.7	33.3	-	-
40歳代	8	87.5	-	12.5	-
50歳代	5	80.0	20.0	-	-
60歳代	14	42.9	14.3	35.7	7.1
70歳以上	22	18.2	27.3	54.5	-

オ. 入浴	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	3	-	33.3	66.7	-
10歳代	2	50.0	50.0	-	-
20歳代	2	100.0	-	-	-
30歳代	3	33.3	66.7	-	-
40歳代	8	87.5	-	12.5	-
50歳代	5	60.0	20.0	20.0	-
60歳代	14	42.9	7.1	42.9	7.1
70歳以上	22	13.6	22.7	63.6	-

カ. 掃除・洗濯	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	3	-	-	100.0	-
10歳代	2	50.0	-	50.0	-
20歳代	2	50.0	50.0	-	-
30歳代	3	33.3	66.7	-	-
40歳代	8	75.0	12.5	12.5	-
50歳代	5	40.0	20.0	40.0	-
60歳代	14	21.4	7.1	64.3	7.1
70歳以上	22	13.6	-	86.4	-

キ. 室内の移動	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	3	33.3	33.3	33.3	-
10歳代	2	50.0	50.0	-	-
20歳代	2	100.0	-	-	-
30歳代	3	66.7	33.3	-	-
40歳代	8	87.5	-	12.5	-
50歳代	5	80.0	20.0	-	-
60歳代	14	50.0	7.1	35.7	7.1
70歳以上	22	40.9	18.2	40.9	-

ク. お金の管理	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	3	-	-	100.0	-
10歳代	2	-	-	100.0	-
20歳代	2	50.0	50.0	-	-
30歳代	3	33.3	33.3	33.3	-
40歳代	8	75.0	12.5	12.5	-
50歳代	5	60.0	20.0	20.0	-
60歳代	14	7.1	21.4	64.3	7.1
70歳以上	22	18.2	9.1	72.7	-

ケ. 外出 (買い物 なども 含む)	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	3	-	-	100.0	-
10歳代	2	50.0	50.0	-	-
20歳代	2	50.0	50.0	-	-
30歳代	3	33.3	33.3	33.3	-
40歳代	8	75.0	12.5	12.5	-
50歳代	5	60.0	20.0	20.0	-
60歳代	14	21.4	21.4	50.0	7.1
70歳以上	22	4.5	13.6	81.8	-

コ. 人との コミュニ ケーション	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
10歳未満	3	33.3	33.3	33.3	-
10歳代	2	50.0	50.0	-	-
20歳代	2	50.0	50.0	-	-
30歳代	3	33.3	66.7	-	-
40歳代	8	75.0	12.5	12.5	-
50歳代	5	40.0	40.0	20.0	-
60歳代	14	21.4	42.9	28.6	7.1
70歳以上	22	22.7	27.3	50.0	-

サ. 規則的な服薬	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	3	-	-	100.0	-
10歳代	2	-	50.0	50.0	-
20歳代	2	100.0	-	-	-
30歳代	3	66.7	33.3	-	-
40歳代	8	62.5	-	25.0	12.5
50歳代	5	80.0	20.0	-	-
60歳代	14	21.4	28.6	42.9	7.1
70歳以上	22	9.1	31.8	59.1	-

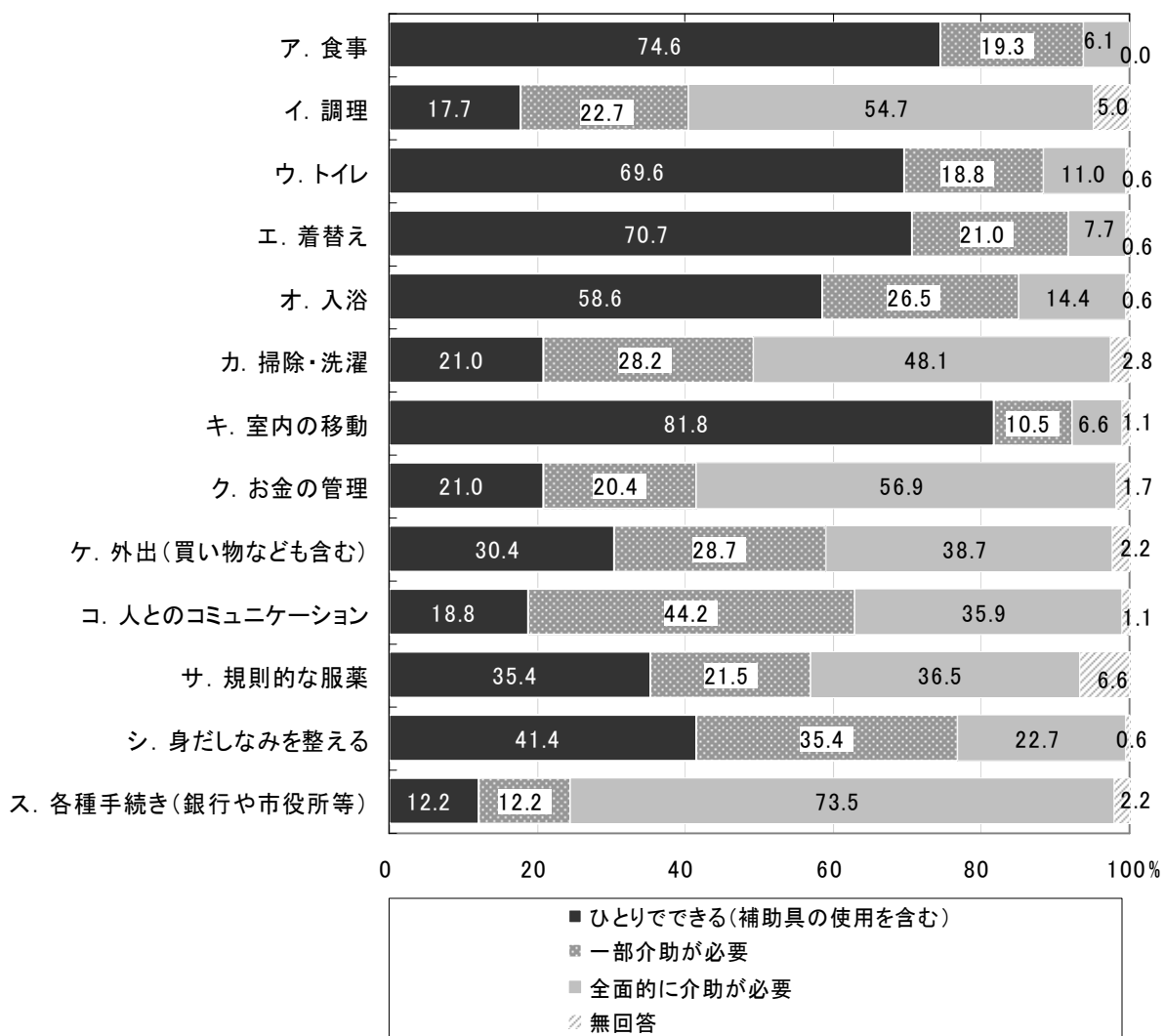
シ. 身だしなみを整える	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	3	-	33.3	66.7	-
10歳代	2	50.0	50.0	-	-
20歳代	2	50.0	50.0	-	-
30歳代	3	33.3	66.7	-	-
40歳代	8	75.0	12.5	12.5	-
50歳代	5	60.0	40.0	-	-
60歳代	14	21.4	35.7	35.7	7.1
70歳以上	22	9.1	27.3	63.6	-

ス. 各種手続き(銀行や市役所等)	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	3	-	-	100.0	-
10歳代	2	-	-	100.0	-
20歳代	2	50.0	50.0	-	-
30歳代	3	33.3	33.3	33.3	-
40歳代	8	50.0	25.0	25.0	-
50歳代	5	40.0	20.0	40.0	-
60歳代	14	7.1	7.1	78.6	7.1
70歳以上	22	4.5	13.6	81.8	-

■発達障害者

発達者の日常生活の状況は、「ひとりでできる(補助具の使用を含む)」が『キ. 室内の移動』で8割以上、『ア. 食事』と『エ. 着替え』で7割を超えています。一方、「全面的に介助が必要」は『ス. 各種手続き(銀行や市役所等)』で7割を超えています。

【発達 (n=181)】



■年齢別

年齢別にみると、『イ. 調理』と『ク. お金の管理』、『ス. 各種手続き（銀行や市役所等）』では特に「全面的に介助が必要」の割合が多くなっています。また、『カ. 掃除・洗濯』では、20歳代まで「全面的に介助が必要」の割合が最も多くなっています。

ア. 食事	n	ひとり でできる （補助 具の 使用を 含む）	一部 介助が 必要	全 面的 に 介 助 が 必 要	無 回 答
10歳未満	29	55.2	31.0	13.8	-
10歳代	43	74.4	23.3	2.3	-
20歳代	46	76.1	21.7	2.2	-
30歳代	32	90.6	6.3	3.1	-
40歳代	15	93.3	-	6.7	-
50歳代	9	77.8	11.1	11.1	-
60歳代	4	25.0	25.0	50.0	-
70歳以上	2	50.0	50.0	-	-

イ. 調理	n	ひとり でできる （補助 具の 使用を 含む）	一部 介助が 必要	全 面的 に 介 助 が 必 要	無 回 答
10歳未満	29	-	3.4	86.2	10.3
10歳代	43	9.3	25.6	65.1	-
20歳代	46	19.6	32.6	45.7	2.2
30歳代	32	18.8	31.3	43.8	6.3
40歳代	15	40.0	26.7	26.7	6.7
50歳代	9	66.7	-	22.2	11.1
60歳代	4	25.0	-	50.0	25.0
70歳以上	2	-	-	100.0	-

ウ. トイレ	n	ひとり でできる （補助 具の 使用を 含む）	一部 介助が 必要	全 面的 に 介 助 が 必 要	無 回 答
10歳未満	29	51.7	13.8	34.5	-
10歳代	43	67.4	27.9	4.7	-
20歳代	46	78.3	17.4	4.3	-
30歳代	32	75.0	21.9	3.1	-
40歳代	15	93.3	6.7	-	-
50歳代	9	66.7	22.2	11.1	-
60歳代	4	25.0	-	50.0	25.0
70歳以上	2	50.0	-	50.0	-

エ. 着替え	n	ひとり でできる （補助 具の 使用を 含む）	一部 介助が 必要	全 面的 に 介 助 が 必 要	無 回 答
10歳未満	29	48.3	31.0	20.7	-
10歳代	43	72.1	23.3	4.7	-
20歳代	46	76.1	21.7	2.2	-
30歳代	32	84.4	12.5	3.1	-
40歳代	15	93.3	6.7	-	-
50歳代	9	66.7	22.2	11.1	-
60歳代	4	25.0	-	50.0	25.0
70歳以上	2	-	50.0	50.0	-

オ. 入浴	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	29	48.3	31.0	20.7	-
10歳代	43	72.1	23.3	4.7	-
20歳代	46	76.1	21.7	2.2	-
30歳代	32	84.4	12.5	3.1	-
40歳代	15	93.3	6.7	-	-
50歳代	9	66.7	22.2	11.1	-
60歳代	4	25.0	-	50.0	25.0
70歳以上	2	-	50.0	50.0	-

カ. 掃除・洗濯	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	29	-	10.3	79.3	10.3
10歳代	43	9.3	32.6	58.1	-
20歳代	46	17.4	39.1	43.5	-
30歳代	32	40.6	28.1	31.3	-
40歳代	15	40.0	40.0	13.3	6.7
50歳代	9	66.7	11.1	22.2	-
60歳代	4	25.0	-	50.0	25.0
70歳以上	2	-	-	100.0	-

キ. 室内の移動	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	29	75.9	10.3	13.8	-
10歳代	43	88.4	9.3	2.3	-
20歳代	46	89.1	6.5	4.3	-
30歳代	32	90.6	6.3	3.1	-
40歳代	15	80.0	20.0	-	-
50歳代	9	44.4	33.3	11.1	11.1
60歳代	4	25.0	-	50.0	25.0
70歳以上	2	50.0	-	50.0	-

ク. お金の管理	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	29	3.4	3.4	86.2	6.9
10歳代	43	4.7	20.9	74.4	-
20歳代	46	19.6	32.6	47.8	-
30歳代	32	34.4	25.0	40.6	-
40歳代	15	66.7	20.0	13.3	-
50歳代	9	44.4	11.1	44.4	-
60歳代	4	25.0	-	50.0	25.0
70歳以上	2	-	-	100.0	-

ケ. 外出 (買い物 なども 含む)	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	29	3.4	10.3	82.8	3.4
10歳代	43	14.0	46.5	39.5	-
20歳代	46	34.8	37.0	26.1	2.2
30歳代	32	53.1	28.1	18.8	-
40歳代	15	60.0	13.3	20.0	6.7
50歳代	9	55.6	11.1	33.3	-
60歳代	4	25.0	-	50.0	25.0
70歳以上	2	-	-	100.0	-

コ. 人との コミュニ ケーション	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を 含む)	一部 介助が 必要	全 面的 に介 助が 必要	無 回 答
10歳未満	29	17.2	41.4	41.4	-
10歳代	43	4.7	58.1	37.2	-
20歳代	46	17.4	43.5	39.1	-
30歳代	32	31.3	43.8	25.0	-
40歳代	15	26.7	26.7	40.0	6.7
50歳代	9	44.4	33.3	22.2	-
60歳代	4	25.0	50.0	-	25.0
70歳以上	2	-	-	100.0	-

サ. 規則的な服薬	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	29	-	10.3	79.3	10.3
10歳代	43	23.3	30.2	41.9	4.7
20歳代	46	47.8	19.6	28.3	4.3
30歳代	32	46.9	25.0	18.8	9.4
40歳代	15	66.7	20.0	6.7	6.7
50歳代	9	66.7	22.2	11.1	-
60歳代	4	25.0	25.0	25.0	25.0
70歳以上	2	-	-	100.0	-

シ. 身だしなみを整える	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	29	24.1	27.6	48.3	-
10歳代	43	34.9	41.9	23.3	-
20歳代	46	41.3	43.5	15.2	-
30歳代	32	56.3	31.3	12.5	-
40歳代	15	60.0	40.0	-	-
50歳代	9	66.7	22.2	11.1	-
60歳代	4	25.0	-	50.0	25.0
70歳以上	2	-	-	100.0	-

ス. 各種手続き(銀行や市役所等)	n	ひとりのできる(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
10歳未満	29	-	-	89.7	10.3
10歳代	43	-	9.3	90.7	-
20歳代	46	13.0	13.0	73.9	-
30歳代	32	15.6	25.0	59.4	-
40歳代	15	40.0	13.3	46.7	-
50歳代	9	44.4	22.2	33.3	-
60歳代	4	25.0	-	50.0	25.0
70歳以上	2	-	-	100.0	-

■障害別

障害別にみると、『ア. 食事』と『ウ. トイレ』、『エ. 着替え』、『キ. 室内の移動』では全ての障害で「ひとりでできる（補助具の使用を含む）」の割合が最も多くなっています。一方、知的と高次脳機能、発達では『イ. 調理』と『カ. 掃除・洗濯』『ク. お金の管理』『ケ. 外出（買い物なども含む）』『サ. 規則的な服薬』『ス. 各種手続き（銀行や市役所等）』で「全面的に介助が必要」の割合が最も多くなっています。

ア. 食事	n	ひとりでできる（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
身体	1,182	84.1	6.2	6.5	3.2
知的	280	69.3	17.9	10.7	2.1
精神	242	88.4	4.5	4.1	2.9
難病	222	84.2	6.8	7.2	1.8
高次脳機能	59	61.0	13.6	23.7	1.7
発達	181	74.6	19.3	6.1	-

イ. 調理	n	ひとりでできる（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
身体	1,182	56.0	10.6	24.6	8.8
知的	280	17.1	19.6	57.9	5.4
精神	242	50.0	26.4	14.9	8.7
難病	222	65.8	8.1	20.7	5.4
高次脳機能	59	25.4	15.3	57.6	1.7
発達	181	17.7	22.7	54.7	5.0

ウ. トイレ	n	ひとりでできる（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
身体	1,182	80.1	7.4	9.2	3.3
知的	280	62.9	20.0	14.3	2.9
精神	242	89.3	4.1	2.9	3.7
難病	222	80.6	7.2	9.9	2.3
高次脳機能	59	50.8	16.9	30.5	1.7
発達	181	69.6	18.8	11.0	0.6

エ. 着替え	n	ひとりでできる（補助具の使用を含む）	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
身体	1,182	76.6	10.4	9.6	3.5
知的	280	64.6	20.7	11.4	3.2
精神	242	87.6	5.4	2.9	4.1
難病	222	78.4	9.0	10.8	1.8
高次脳機能	59	44.1	20.3	33.9	1.7
発達	181	70.7	21.0	7.7	0.6

オ. 入浴	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
身体	1,182	70.7	10.2	15.3	3.7
知的	280	52.9	24.3	19.6	3.2
精神	242	83.9	8.7	3.7	3.7
難病	222	75.2	9.9	13.1	1.8
高次脳機能	59	39.0	18.6	40.7	1.7
発達	181	58.6	26.5	14.4	0.6

力. 掃除・洗濯	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
身体	1,182	57.2	12.7	22.8	7.3
知的	280	21.1	26.4	49.3	3.2
精神	242	61.2	21.9	11.6	5.4
難病	222	66.7	10.4	19.4	3.6
高次脳機能	59	28.8	10.2	59.3	1.7
発達	181	21.0	28.2	48.1	2.8

キ. 室内の移動	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
身体	1,182	78.5	8.5	8.6	4.4
知的	280	78.9	8.9	8.6	3.6
精神	242	83.1	7.9	3.3	5.8
難病	222	78.4	8.1	10.4	3.2
高次脳機能	59	55.9	15.3	27.1	1.7
発達	181	81.8	10.5	6.6	1.1

ク. お金の管理	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
身体	1,182	69.6	8.5	16.2	5.7
知的	280	18.2	19.6	58.9	3.2
精神	242	61.6	21.1	11.6	5.8
難病	222	77.0	5.0	14.9	3.2
高次脳機能	59	27.1	15.3	55.9	1.7
発達	181	21.0	20.4	56.9	1.7

ケ. 外出 (買い物 なども含 む)	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
身体	1,182	57.7	15.3	22.2	4.8
知的	280	29.6	26.1	41.1	3.2
精神	242	66.5	19.8	9.5	4.1
難病	222	61.7	12.6	22.1	3.6
高次脳機能	59	27.1	18.6	52.5	1.7
発達	181	30.4	28.7	38.7	2.2

コ. 人との コミュニ ケーション	n	ひとり でできる(補 助具の 使用を含む)	一部 介助が 必要	全面的 に介助 が必要	無回 答
身体	1,182	72.6	11.7	9.4	6.3
知的	280	25.4	40.4	30.7	3.6
精神	242	53.3	31.0	9.1	6.6
難病	222	78.8	8.6	7.7	5.0
高次脳機能	59	33.9	33.9	30.5	1.7
発達	181	18.8	44.2	35.9	1.1

サ. 規則的な服薬	n	ひとりで行ける(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
身体	1,182	74.5	9.4	11.2	4.9
知的	280	35.7	20.7	36.8	6.8
精神	242	71.9	16.5	5.8	5.8
難病	222	79.7	7.2	10.4	2.7
高次脳機能	59	30.5	23.7	42.4	3.4
発達	181	35.4	21.5	36.5	6.6

シ. 身だしなみを整える	n	ひとりで行ける(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
身体	1,182	73.2	12.2	10.3	4.3
知的	280	36.8	34.6	26.1	2.5
精神	242	74.4	17.8	4.1	3.7
難病	222	78.4	6.8	11.3	3.6
高次脳機能	59	28.8	32.2	37.3	1.7
発達	181	41.4	35.4	22.7	0.6

ス. 各種手続き(銀行や市役所等)	n	ひとりで行ける(補助具の使用を含む)	一部介助が必要	全面的に介助が必要	無回答
身体	1,182	55.6	13.0	25.8	5.6
知的	280	9.6	12.5	72.9	5.0
精神	242	47.1	26.9	21.1	5.0
難病	222	64.9	9.0	21.6	4.5
高次脳機能	59	16.9	15.3	66.1	1.7
発達	181	12.2	12.2	73.5	2.2

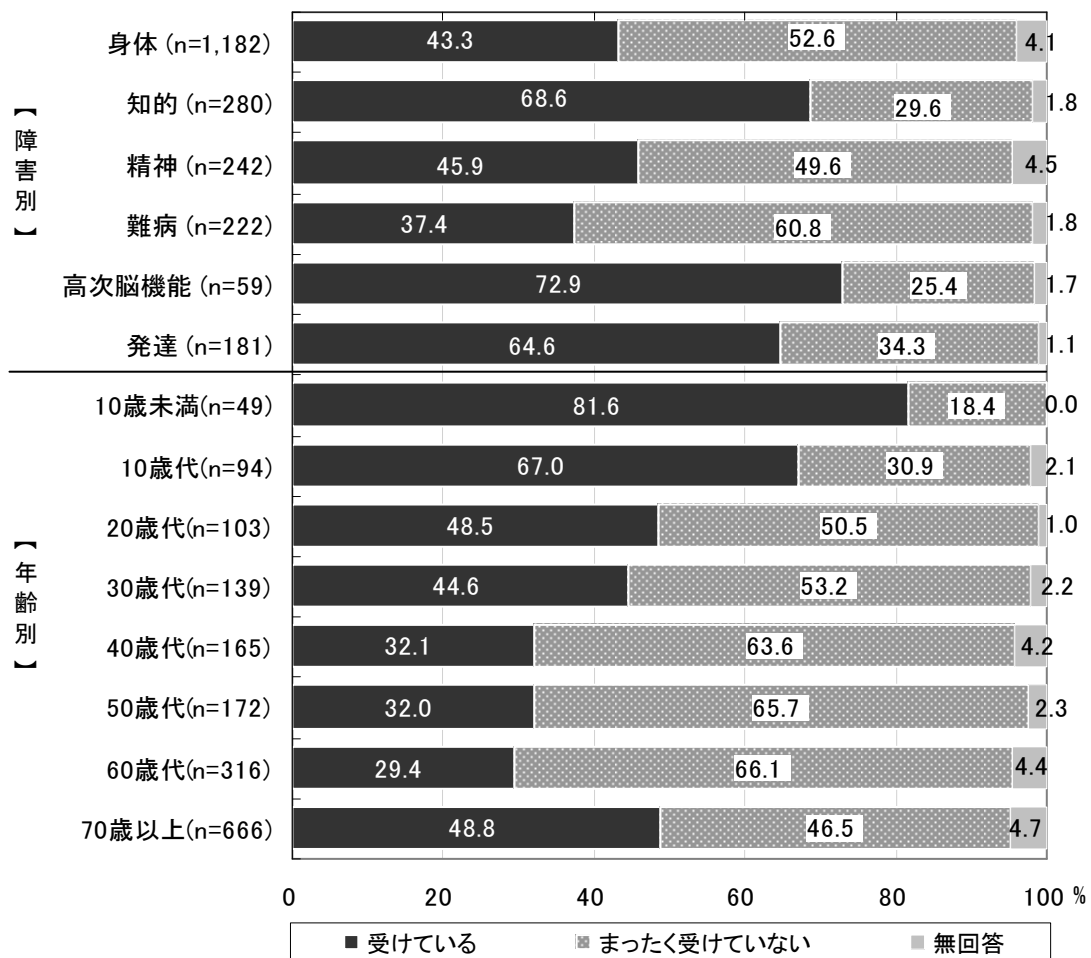
【全面的に介助が必要なもの 上位3つ】

	1位	2位	3位
身体 (n=1,182)	ス. 各種手続き(銀行や市役所等) 25.8%	イ. 調理 24.6%	カ. 掃除・洗濯 22.8%
知的 (n=617)	ス. 各種手続き(銀行や市役所等) 72.9%	ク. お金の管理 58.9%	イ. 調理 57.9%
精神 (n=280)	ス. 各種手続き(銀行や市役所等) 21.1%	イ. 調理 14.9%	カ. 掃除・洗濯 ク. お金の管理 11.6%
難病 (n=337)	ケ. 外出(買い物なども含む) 22.1%	ス. 各種手続き(銀行や市役所等) 21.6%	イ. 調理 20.7%
高次脳機能 (n=64)	ス. 各種手続き(銀行や市役所等) 66.1%	カ. 掃除・洗濯 59.3%	イ. 調理 57.6%
発達 (n=278)	ス. 各種手続き(銀行や市役所等) 73.5%	ク. お金の管理 56.9%	イ. 調理 54.7%

問 28 日常生活において、あなたは何らかの介助を受けていますか。(ここで言う「介助」は、公的なサービスと親族などの私的なものの両方を含みます。)(○は1つ)

日常生活で何らかの介助を受けているかについては、「受けている」が高次脳機能では7割以上、知的と発達では6割を超えています。一方、「まったく受けていない」が難病では6割以上、身体では5割を超えています。

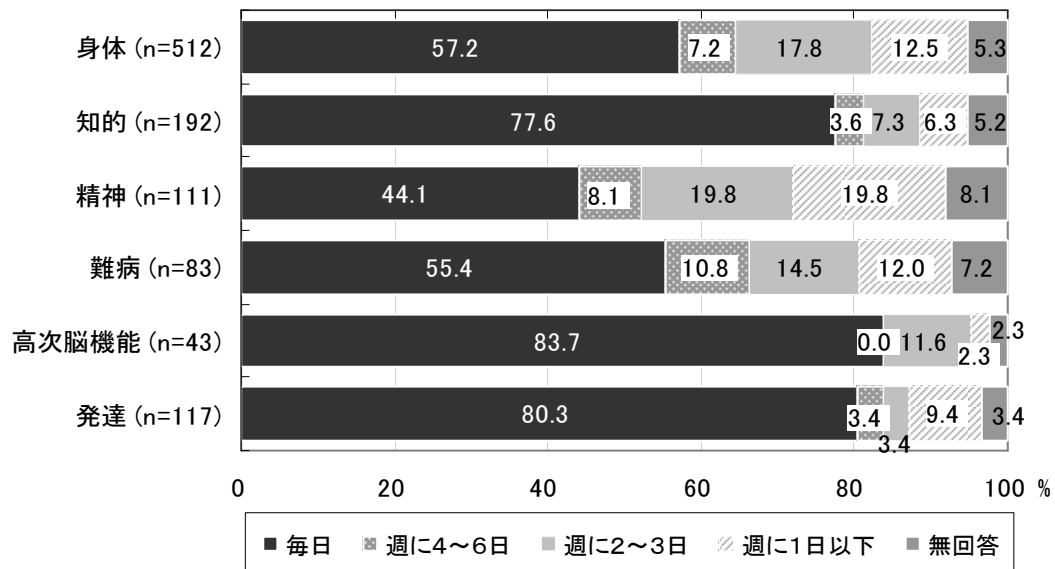
年齢別では、「受けている」が10歳未満では8割を超えており、60歳代までは年齢が上がるとともに減少傾向となっていますが、70歳以上では5割近くまで割合が増加しています。



【問28で「1. 受けている」と回答した方】

問28-1 介助が必要なのは、1週間のうち何日ぐらいですか。1日にわずかでも介助が必要であれば、ご回答ください。(〇は1つ)

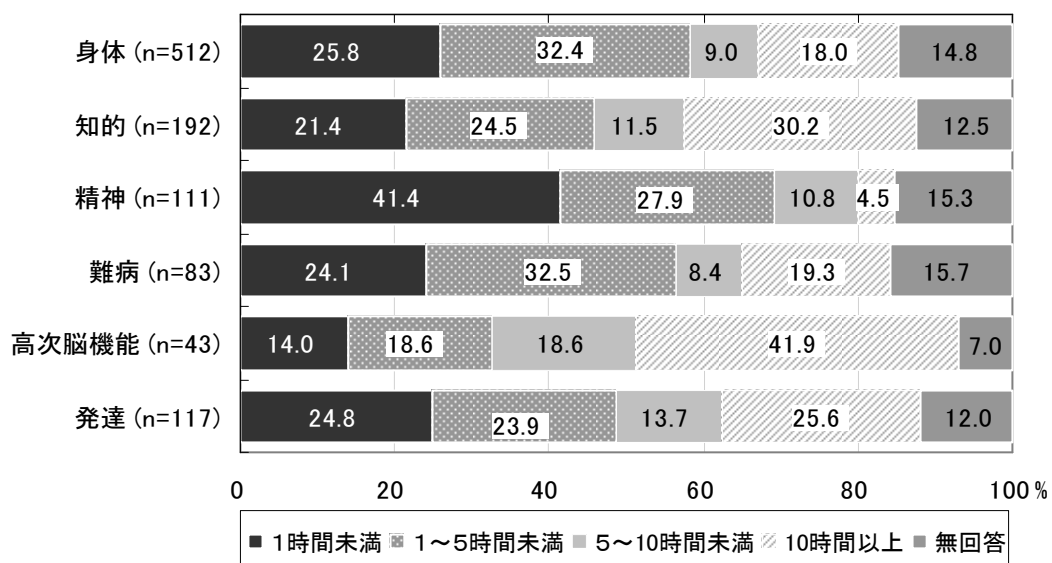
介助が必要な日数は、「毎日」が高次脳機能と発達では8割以上、知的では7割を超えています。



【問28で「1. 受けている」と回答した方】

問28-2 介助に必要な時間は1日平均どのくらいですか。(〇は1つ)

介助が必要な1日の平均時間は、「10時間以上」が高次脳機能では4割以上、知的では3割を超えています。また、精神では「1時間未満」が4割を超えています。



【問28で「1. 受けている」と回答した方】

問28-3 主な介助者はどなたですか。また、その方以外に介助されている方はいますか。

主な介助者は、全体的に「親」または「配偶者」の割合が最も多くなっているものの、特に発達では「親」が8割近くとなっています。

他の介助者は、全体的に「家族」の割合が最も多くなっていると同時に、知的では「ヘルパー」も同様に2割半ばと最も多くなっています。

【ア. 主な介助者（○は1つ）】

	n	親	配偶者	子ども	子どもの配偶者	兄弟姉妹	その他の親族	・友人 近隣の人・知人	ヘルパー	ボランティア	その他	無回答
身体	512	15.8	28.3	12.9	2.0	2.0	0.2	0.8	12.9	0.2	5.3	19.7
知的	192	67.7	0.5	2.1	1.0	1.0	-	0.5	3.1	0.5	7.8	15.6
精神	111	31.5	10.8	6.3	1.8	2.7	0.9	1.8	13.5	-	7.2	23.4
難病	83	10.8	38.6	15.7	1.2	1.2	-	1.2	4.8	-	3.6	22.9
高次脳機能	43	11.6	53.5	4.7	2.3	2.3	2.3	-	2.3	-	7.0	14.0
発達	117	77.8	4.3	-	-	-	-	-	0.9	-	5.1	12.0

【イ. 他の介助者（あてはまるものすべてに○）】

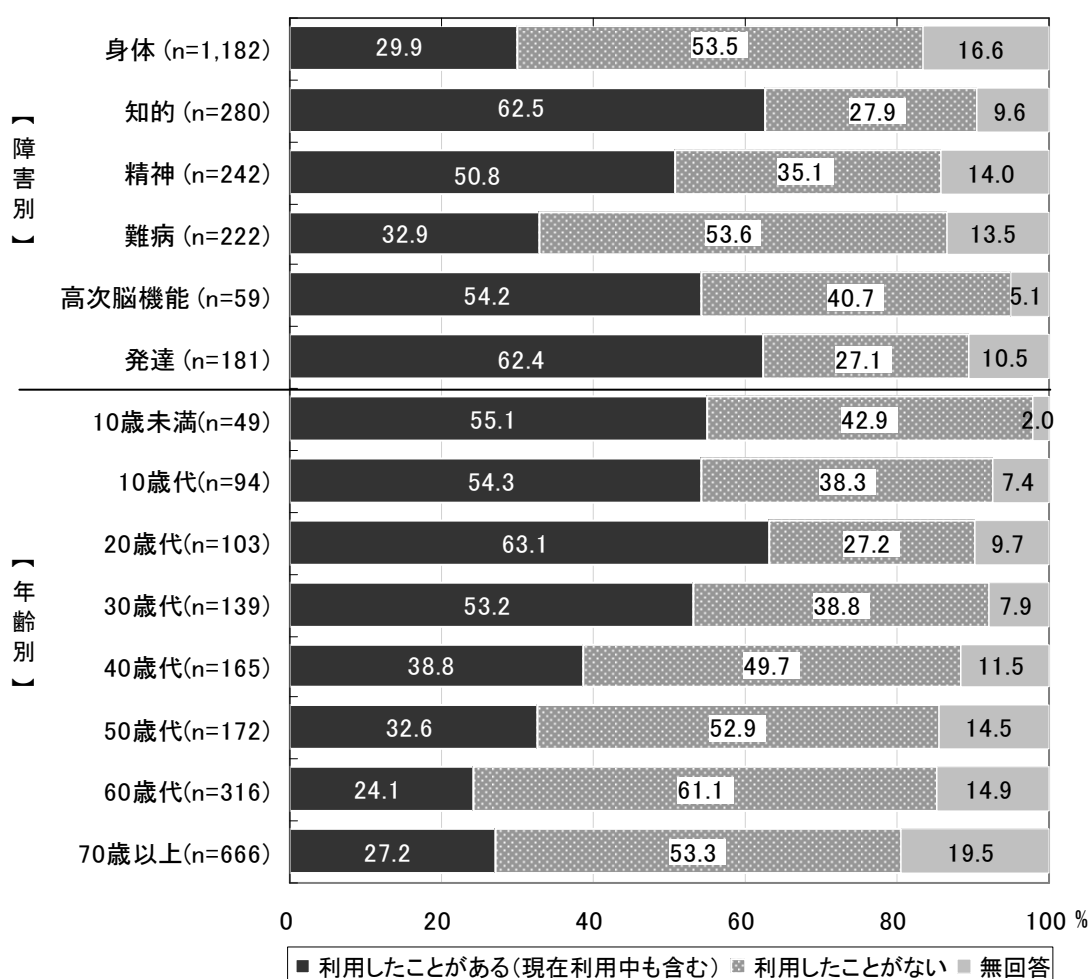
	n	家族	ヘルパー	ボランティア	その他	無回答
身体	512	22.7	17.0	2.7	8.2	59.0
知的	192	25.0	25.0	5.2	13.0	48.4
精神	111	18.0	11.7	-	8.1	65.8
難病	83	20.5	18.1	3.6	10.8	60.2
高次脳機能	43	23.3	16.3	2.3	7.0	58.1
発達	117	23.1	20.5	3.4	10.3	53.0

9 障害福祉サービス等の利用状況について

問29 あなたは、現在、障害福祉サービス等を利用していますか。問30 であげられている項目を参考にお答えください。(〇は1つ)

障害福祉サービス等の利用状況は、「利用したことがある(現在利用中も含む)」が知的と発達では6割以上、精神と高次脳機能では5割を超えています。一方、身体と難病では「利用したことがない」が5割を超えています。

年齢別でみると、「利用したことがある(現在利用中も含む)」が30歳代までは5割を超えている一方、60歳代以降では2割程度となっています。



【問29で「2. 利用したことがない」と回答した方】

問29-1 あなたが、障害福祉サービス等を利用していない理由としてあてはまるものに○をつけてください。（あてはまるものすべてに○）

障害福祉サービス等を利用していない理由は、全体的に「必要がなかったため」の割合が最も多くなっており、次いで「内容がよくわからなかったため」となっています。

前回調査では、身体と知的では「必要がなかったため」の割合が最も多くなっている一方、精神と高次脳機能では「内容がよくわからなかったため」の割合が最も多くなっています。

	n	内容がよくわからなかったため	手続きが面倒であるため	利用料の負担が大きいため	サービスの質に不満があるため	申請したが利用できなかったため	必要がなかったため	その他	無回答
身体	632	22.0	5.2	2.8	1.9	1.6	62.0	8.4	10.8
知的	78	25.6	7.7	9.0	3.8	5.1	51.3	10.3	14.1
精神	85	36.5	11.8	7.1	4.7	1.2	42.4	14.1	14.1
難病	119	18.5	5.9	2.5	0.8	0.8	67.2	10.1	9.2
高次脳機能	24	33.3	8.3	8.3	-	8.3	45.8	-	16.7
発達	49	38.8	10.2	8.2	2.0	-	44.9	10.2	10.2

【前回調査】

	n	内容がよくわからなかったため	手続きが面倒であるため	利用料の負担が大きいため	サービスの質に不満があるため	申請したが利用できなかったため	必要がなかったため	その他	無回答
身体	656	17.8	6.4	2.7	1.2	3.8	20.4	4.0	56.3
知的	269	13.8	6.7	3.7	2.6	7.1	14.5	7.1	60.6
精神	389	14.4	5.7	5.4	3.1	2.1	12.3	4.1	66.8
高次脳機能	26	23.1	11.5	3.8	3.8	7.7	3.8	7.7	57.7
発達	190	15.3	5.8	5.3	3.2	7.4	15.3	7.4	59.5

※前回とお聞きする対象者の条件が違うため、n数に違いがみられます。

問 30 A 現在利用中, また, B 今後利用したい障害福祉サービス等について, ①~③からそれぞれお答えください。(該当するものについて, 選択項目から番号を選び, 直接ご記入ください。あてはまるものすべて記入)

■身体

身体が①障害福祉サービス等で現在利用中のものは, 「居宅介護」の割合が最も多く, 次いで「短期入所(ショートステイ)」となっています。

また, 今後利用したいものは, 「短期入所(ショートステイ)」の割合が最も多く, 次いで「生活介護」となっています。

①障害福祉サービス等

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
居宅介護	4.9	3.5
重度訪問介護	1.2	0.9
行動援護	1.9	2.5
同行援護	1.7	2.5
重度障害者等包括支援	0.3	1.0
生活介護	3.1	4.5
短期入所(ショートステイ)	3.6	4.7
療養介護	0.8	1.8
共同生活介護(ケアホーム)	1.3	1.4
施設入所支援	0.9	2.0
就労移行支援	0.3	1.2
就労継続支援(A型)	0.3	1.1
就労継続支援(B型)	1.4	1.0
自立訓練(機能訓練)	2.6	3.9

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
自立訓練(生活訓練)	0.4	1.6
共同生活援助(グループホーム)	0.3	1.1
障害児相談支援	0.3	0.3
計画相談支援	1.0	0.9
地域移行支援	-	0.3
地域定着支援	0.2	0.4
児童発達支援	0.3	0.2
医療型児童発達支援	0.3	0.1
放課後等デイサービス	0.6	1.3
保育所等訪問支援	0.1	0.2
福祉型障害児入所施設	0.1	0.2
医療型障害児入所施設	0.3	0.2
無回答	82.4	78.4

(n=1, 182)

『今後利用したい』もの(上位3つまで)

【前回調査】

1位	グループホーム・ケアホーム
2位	短期入所
3位	就労継続支援

【今回調査】

1位	短期入所(ショートステイ)
2位	生活介護
3位	自立訓練(機能訓練)

*前回調査: 「現在も利用しており, 今後も利用したい」と「現在利用していないが, 今後は利用したい」

身体が②地域生活支援事業で現在利用中のものは、「日常生活用具給付等」の割合が最も多くなっています。また、今後利用したいものは、「日常生活用具給付等」と「住宅設備改善費の給付」の割合が最も多くなっています。

③医療費の助成、その他で現在利用中のものは、「理容・美容券の支給」の割合が最も多くなっています。また、今後利用したいものは、「緊急通報システムの貸与」の割合が最も多くなっています。

②地域生活支援事業

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
障害者相談支援事業	3.3	4.0
意思疎通支援	1.0	1.5
日常生活用具給付等	5.6	6.8
住宅設備改善費の給付	1.8	6.8
自動車運転免許取得費の助成	0.3	1.4
自動車改造費の助成	0.2	2.4
移動支援事業	2.7	5.4
地域活動支援センター事業	1.1	1.8
日中時間預かり事業(日中一時支援事業)	2.0	2.5
重度心身障害者(児)巡回入浴サービス	1.0	0.9
無回答	86.0	78.1

③医療費の助成、その他

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
自立支援医療(育成医療)	0.8	1.3
自立支援医療(更生医療)	0.8	1.7
自立支援医療(精神通院医療)	4.8	1.5
心身障害者(児)医療費助成	7.1	5.7
難病患者等医療費助成	5.5	3.5
成年後見制度	0.5	3.1
給食サービス	1.0	6.9
心身障害者(児)通院・通所訓練等交通費助成	6.8	3.8
理容・美容券の支給	7.9	7.3
緊急通報システムの貸与	0.6	8.2
無回答	74.5	73.7

(n=1,182)

『今後利用したい』もの(上位3つまで)

【前回調査】

1位	補装具費支給制度
2位	相談支援事業
3位	理容・美容券の支給

【今回調査】

1位	緊急通報システムの貸与
2位	理容・美容券の支給
3位	日常生活用具給付等
3位	住宅設備改善費の給付

※今回調査：「②地域生活支援事業」、「③医療費の助成、その他」を合わせた順位

■知的

知的が①障害福祉サービス等で現在利用中のものは、「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多く、次いで「就労継続支援（B型）」と「放課後等デイサービス」となっています。

また、今後利用したいものは、「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多く、次いで「共同生活援助（グループホーム）」となっています。

①障害福祉サービス等

	A 現在 利用 中	B 今 後 利 用 し た い
居宅介護	5.4	2.5
重度訪問介護	0.4	1.8
行動援護	2.9	8.2
同行援護	0.7	2.1
重度障害者等包括支援	-	1.1
生活介護	6.8	5.0
短期入所(ショートステイ)	23.6	15.7
療養介護	-	-
共同生活介護(ケアホーム)	6.8	6.8
施設入所支援	1.8	3.9
就労移行支援	2.1	6.1
就労継続支援(A型)	2.9	5.4
就労継続支援(B型)	8.9	7.5
自立訓練(機能訓練)	0.7	2.9

	A 現在 利用 中	B 今 後 利 用 し た い
自立訓練(生活訓練)	2.1	7.9
共同生活援助(グループホーム)	1.1	12.5
障害児相談支援	1.4	3.9
計画相談支援	5.4	7.1
地域移行支援	-	2.1
地域定着支援	0.4	1.8
児童発達支援	2.1	3.9
医療型児童発達支援	0.7	1.8
放課後等デイサービス	8.9	9.3
保育所等訪問支援	0.7	0.4
福祉型障害児入所施設	0.4	1.4
医療型障害児入所施設	1.1	0.7
無回答	45.7	47.1

(n=280)

『今後利用したい』もの（上位3つまで）

【前回調査】

1位	グループホーム・ケアホーム
2位	短期入所
3位	就労継続支援

【今回調査】

1位	短期入所(ショートステイ)
2位	共同生活援助(グループホーム)
3位	放課後等デイサービス

知的が②地域生活支援事業で現在利用中のものは、「移動支援事業」の割合が最も多くなっています。また、今後利用したいものとしても、「移動支援事業」の割合が最も多くなっています。

③医療費の助成、その他で現在利用中のものは、「理容・美容券の支給」の割合が最も多くなっています。また、今後利用したいものは、「成年後見制度」の割合が最も多くなっています。

②地域生活支援事業

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
障害者相談支援事業	12.1	14.3
意思疎通支援	0.4	1.8
日常生活用具給付等	4.3	3.2
住宅設備改善費の給付	-	2.5
自動車運転免許取得費の助成	-	1.4
自動車改造費の助成	-	0.7
移動支援事業	25.4	20.0
地域活動支援センター事業	3.6	5.0
日中時間預かり事業(日中一時支援事業)	18.9	12.9
重度心身障害者(児)巡回入浴サービス	1.1	1.8
無回答	57.1	59.3

③医療費の助成、その他

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
自立支援医療(育成医療)	1.1	2.9
自立支援医療(更生医療)	1.1	1.1
自立支援医療(精神通院医療)	11.4	6.1
心身障害者(児)医療費助成	13.2	8.2
難病患者等医療費助成	2.5	2.1
成年後見制度	1.1	27.1
給食サービス	0.4	3.2
心身障害者(児)通院・通所訓練等交通費助成	12.5	6.8
理容・美容券の支給	13.6	6.1
緊急通報システムの貸与	0.4	5.7
無回答	63.9	57.5

(n=280)

『今後利用したい』もの(上位3つまで)

【前回調査】

1位	移動支援事業
2位	成年後見制度
3位	相談支援事業

【今回調査】

1位	成年後見制度
2位	移動支援事業
3位	障害者相談支援事業

■精神

精神が①障害福祉サービス等で現在利用中のものは、「就労継続支援（B型）」の割合が最も多く、次いで「就労移行支援」となっています。

また、今後利用したいものは、「就労移行支援」と「就労継続支援（A型）」の割合が最も多く、次いで「就労継続支援（B型）」となっています。

①障害福祉サービス等

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
居宅介護	5.0	3.7
重度訪問介護	0.4	-
行動援護	1.2	3.3
同行援護	-	1.2
重度障害者等包括支援	0.8	0.8
生活介護	2.9	4.1
短期入所(ショートステイ)	2.5	2.1
療養介護	0.8	0.8
共同生活介護(ケアホーム)	0.4	1.2
施設入所支援	0.4	1.7
就労移行支援	5.4	6.6
就労継続支援(A型)	0.8	6.6
就労継続支援(B型)	9.5	6.2
自立訓練(機能訓練)	1.2	2.1

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
自立訓練(生活訓練)	2.5	5.4
共同生活援助(グループホーム)	0.8	4.5
障害児相談支援	0.8	1.2
計画相談支援	3.3	4.5
地域移行支援	-	2.9
地域定着支援	0.4	2.9
児童発達支援	0.4	0.8
医療型児童発達支援	-	0.4
放課後等デイサービス	-	0.8
保育所等訪問支援	-	0.4
福祉型障害児入所施設	-	-
医療型障害児入所施設	0.8	0.4
無回答	70.2	66.1

(n=242)

『今後利用したい』もの（上位3つまで）

【前回調査】

1位	居宅介護
2位	精神障害者の通所施設
3位	自立訓練

【今回調査】

1位	就労移行支援
1位	就労継続支援(A型)
2位	就労継続支援(B型)

精神が②地域生活支援事業で現在利用中のもの、今後利用したいものとともに、「障害者相談支援事業」の割合が最も多くなっています。

③医療費の助成、その他で現在利用中のもの、今後利用したいものとともに、「自立支援医療（精神通院医療）」の割合が最も多くなっています。

②地域生活支援事業

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
障害者相談支援事業	14.5	14.9
意思疎通支援	2.9	2.1
日常生活用具給付等	1.2	2.9
住宅設備改善費の給付	-	3.7
自動車運転免許取得費の助成	0.4	3.7
自動車改造費の助成	-	0.4
移動支援事業	1.7	5.0
地域活動支援センター事業	7.9	8.3
日中時間預かり事業(日中一時支援事業)	-	4.1
重度心身障害者(児)巡回入浴サービス	0.4	0.8
無回答	74.8	67.8

③医療費の助成、その他

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
自立支援医療(育成医療)	2.5	1.7
自立支援医療(更生医療)	0.8	0.8
自立支援医療(精神通院医療)	49.2	19.0
心身障害者(児)医療費助成	1.7	3.3
難病患者等医療費助成	1.7	1.7
成年後見制度	1.7	7.4
給食サービス	2.1	7.4
心身障害者(児)通院・通所訓練等交通費助成	2.1	5.8
理容・美容券の支給	0.8	9.5
緊急通報システムの貸与	1.2	6.2
無回答	45.0	60.7

(n=242)

『今後利用したい』もの（上位3つまで）

【前回調査】

1位	自立支援訓練
2位	相談支援事業
3位	地域活動支援センター事業

【今回調査】

1位	自立支援医療(精神通院医療)
2位	障害者相談支援事業
3位	理容・美容券の支給

■難病

難病が①障害福祉サービス等で現在利用中のものは、「居宅介護」の割合が最も多く、次いで「生活介護」となっています。

また、今後利用したいものは、「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多く、次いで「居宅介護」となっています。

①障害福祉サービス等

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
居宅介護	7.2	3.6
重度訪問介護	1.8	1.8
行動援護	1.8	2.3
同行援護	1.8	0.9
重度障害者等包括支援	-	0.9
生活介護	3.2	2.7
短期入所(ショートステイ)	4.1	5.9
療養介護	1.8	2.7
共同生活介護(ケアホーム)	1.4	0.9
施設入所支援	0.9	2.3
就労移行支援	0.5	1.8
就労継続支援(A型)	-	1.8
就労継続支援(B型)	-	1.8
自立訓練(機能訓練)	3.6	3.6

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
自立訓練(生活訓練)	0.9	0.9
共同生活援助(グループホーム)	-	2.3
障害児相談支援	-	0.5
計画相談支援	0.9	0.9
地域移行支援	-	0.5
地域定着支援	-	0.9
児童発達支援	0.5	-
医療型児童発達支援	-	-
放課後等デイサービス	0.5	-
保育所等訪問支援	-	-
福祉型障害児入所施設	-	0.5
医療型障害児入所施設	-	-
無回答	82.9	79.3

(n=222)

難病が②地域生活支援事業で現在利用中のものは、「日常生活用具給付等」の割合が最も多くなっています。また、今後利用したいものは、「住宅設備改善費の給付」の割合が最も多くなっています。

③医療費の助成，その他で現在利用中のもの，今後利用したいものとともに、「難病患者等医療費助成」の割合が最も多くなっています。

②地域生活支援事業

	A 現在 利用 中	B 今 後 利 用 し た い
障害者相談支援事業	1.8	4.5
意思疎通支援	-	0.9
日常生活用具給付等	5.4	5.0
住宅設備改善費の給付	1.8	7.7
自動車運転免許取得費の助成	0.5	1.4
自動車改造費の助成	-	2.7
移動支援事業	2.3	2.7
地域活動支援センター事業	1.8	1.8
日中時間預かり事業(日中一時支援事業)	1.4	3.6
重度心身障害者(児)巡回入浴サービス	3.2	0.5
無回答	87.4	80.2

③医療費の助成，その他

	A 現 在 利 用 中	B 今 後 利 用 し た い
自立支援医療(育成医療)	0.5	0.5
自立支援医療(更生医療)	0.5	1.4
自立支援医療(精神通院医療)	1.8	1.4
心身障害者(児)医療費助成	2.7	3.2
難病患者等医療費助成	51.8	23.4
成年後見制度	-	2.3
給食サービス	0.9	5.9
心身障害者(児)通院・通所訓練等交通費助成	2.3	3.2
理容・美容券の支給	3.6	3.6
緊急通報システムの貸与	0.5	6.3
無回答	45.5	62.2

(n=222)

■ 高次脳機能

高次脳機能が①障害福祉サービス等で現在利用中のものは、「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多く、次いで「居宅介護」となっています。

また、今後利用したいものは、「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多く、次いで「居宅介護」と「自立訓練（機能訓練）」となっています。

① 障害福祉サービス等

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
居宅介護	10.2	10.2
重度訪問介護	-	1.7
行動援護	1.7	6.8
同行援護	1.7	1.7
重度障害者等包括支援	1.7	-
生活介護	8.5	5.1
短期入所(ショートステイ)	20.3	11.9
療養介護	1.7	5.1
共同生活介護(ケアホーム)	-	1.7
施設入所支援	5.1	-
就労移行支援	1.7	5.1
就労継続支援(A型)	1.7	-
就労継続支援(B型)	5.1	3.4
自立訓練(機能訓練)	8.5	10.2

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
自立訓練(生活訓練)	1.7	-
共同生活援助(グループホーム)	-	1.7
障害児相談支援	-	-
計画相談支援	6.8	1.7
地域移行支援	-	1.7
地域定着支援	-	1.7
児童発達支援	-	-
医療型児童発達支援	-	-
放課後等デイサービス	1.7	3.4
保育所等訪問支援	-	-
福祉型障害児入所施設	-	-
医療型障害児入所施設	-	-
無回答	55.9	62.7

(n=59)

『今後利用したい』もの（上位3つまで）

【前回調査】

1位	居宅介護
2位	短期入所
3位	行動援護

【今回調査】

1位	短期入所(ショートステイ)
2位	居宅介護
2位	自立訓練(機能訓練)

高次脳機能が②地域生活支援事業で現在利用中のものは、「障害者相談支援事業」の割合が最も多くなっています。また、今後利用したいものは、「移動支援事業」の割合が最も多くなっています。

③医療費の助成，その他で現在利用中のものは、「心身障害者（児）通院・通所訓練等交通費助成」の割合が最も多くなっています。また、今後利用したいものは、「理容・美容券の支給」の割合が最も多くなっています。

②地域生活支援事業

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
障害者相談支援事業	10.2	8.5
意思疎通支援	1.7	6.8
日常生活用具給付等	6.8	10.2
住宅設備改善費の給付	8.5	6.8
自動車運転免許取得費の助成	1.7	1.7
自動車改造費の助成	-	3.4
移動支援事業	1.7	15.3
地域活動支援センター事業	1.7	3.4
日中時間預かり事業（日中一時支援事業）	5.1	6.8
重度心身障害者（児）巡回入浴サービス	1.7	1.7
無回答	71.2	69.5

③医療費の助成，その他

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
自立支援医療（育成医療）	-	1.7
自立支援医療（更生医療）	1.7	5.1
自立支援医療（精神通院医療）	11.9	3.4
心身障害者（児）医療費助成	8.5	10.2
難病患者等医療費助成	10.2	6.8
成年後見制度	5.1	11.9
給食サービス	3.4	11.9
心身障害者（児）通院・通所訓練等交通費助成	15.3	6.8
理容・美容券の支給	8.5	20.3
緊急通報システムの貸与	1.7	11.9
無回答	45.8	52.5

(n=59)

『今後利用したい』もの（上位3つまで）

【前回調査】

1位	理容・美容券の支給
2位	成年後見制度
3位	相談支援事業

【今回調査】

1位	理容・美容券の支給
2位	移動支援事業
3位	

※3位が複数あるため、省略

■ 発達

発達者が①障害福祉サービス等で現在利用中のものは、「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多く、次いで「放課後等デイサービス」となっています。

また、今後利用したいものは、「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多く、次いで「共同生活援助（グループホーム）」となっています。

①障害福祉サービス等

	A 現在 利用 中	B 今 後 利 用 し た い
居宅介護	3.9	1.7
重度訪問介護	-	1.1
行動援護	1.1	9.4
同行援護	-	1.1
重度障害者等包括支援	-	1.7
生活介護	6.1	4.4
短期入所(ショートステイ)	19.9	17.7
療養介護	-	-
共同生活介護(ケアホーム)	3.9	5.5
施設入所支援	0.6	6.1
就労移行支援	3.3	9.9
就労継続支援(A型)	3.3	7.2
就労継続支援(B型)	7.7	8.3
自立訓練(機能訓練)	2.2	2.8

	A 現在 利用 中	B 今 後 利 用 し た い
自立訓練(生活訓練)	3.3	7.2
共同生活援助(グループホーム)	-	13.3
障害児相談支援	2.2	5.5
計画相談支援	3.9	8.3
地域移行支援	-	2.2
地域定着支援	-	2.8
児童発達支援	4.4	3.9
医療型児童発達支援	0.6	1.7
放課後等デイサービス	10.5	7.7
保育所等訪問支援	0.6	0.6
福祉型障害児入所施設	0.6	2.2
医療型障害児入所施設	1.1	1.1
無回答	47.0	39.8

(n=181)

『今後利用したい』もの（上位3つまで）

【前回調査】

1位	短期入所
2位	グループホーム・ケアホーム
3位	就労移行支援

【今回調査】

1位	短期入所(ショートステイ)
2位	共同生活援助(グループホーム)
3位	就労移行支援

発達②地域生活支援事業で現在利用中のもの、今後利用したいものとともに、「移動支援事業」の割合が最も多くなっています。

③医療費の助成、その他で現在利用中のものは、「自立支援医療（精神通院医療）」の割合が最も多くなっています。また、今後利用したいものは、「成年後見制度」の割合が最も多くなっています。

②地域生活支援事業

	A 現在 利用 中	B 今 後 利 用 し た い
障害者相談支援事業	16.6	22.7
意思疎通支援	0.6	2.2
日常生活用具給付等	2.2	4.4
住宅設備改善費の給付	1.1	2.8
自動車運転免許取得費の助成	-	2.2
自動車改造費の助成	-	1.1
移動支援事業	19.3	23.8
地域活動支援センター事業	2.2	7.7
日中時間預かり事業(日中一時支援事業)	18.2	12.2
重度心身障害者(児)巡回入浴サービス	0.6	1.1
無回答	55.2	50.3

③医療費の助成、その他

	A 現在 利用 中	B 今 後 利 用 し た い
自立支援医療(育成医療)	1.1	4.4
自立支援医療(更生医療)	0.6	1.1
自立支援医療(精神通院医療)	20.4	12.2
心身障害者(児)医療費助成	11.6	9.4
難病患者等医療費助成	3.9	1.7
成年後見制度	0.6	33.1
給食サービス	-	4.4
心身障害者(児)通院・通所訓練等交通費助成	9.9	5.0
理容・美容券の支給	11.6	8.8
緊急通報システムの貸与	1.1	7.7
無回答	56.9	47.5

(n=181)

『今後利用したい』もの（上位3つまで）

【前回調査】

1位	相談支援事業
1位	成年後見制度
2位	移動支援事業

【今回調査】

1位	成年後見制度
2位	移動支援事業
3位	障害者相談支援事業

■要介護認定を受けていない人

問5（8）において、介護保険制度を利用している場合の要介護認定の有無を聞いています。介護保険制度の利用対象者となる場合には、障害福祉サービスに優先して介護保険制度のサービスを利用することが原則となっていることから、ここで、要介護認定を受けていない人の状況について明らかにすることとします。

要介護認定を受けていない人が①障害福祉サービス等で現在利用中のものは、「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多く、次いで「就労継続支援（B型）」となっています。

また、今後利用したいものは、「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多く、次いで「生活介護」となっています。

①障害福祉サービス等

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
居宅介護	2.5	3.1
重度訪問介護	0.5	0.5
行動援護	0.7	3.4
同行援護	1.0	2.0
重度障害者等包括支援	0.1	0.9
生活介護	1.7	4.1
短期入所(ショートステイ)	5.2	4.9
療養介護	0.1	1.2
共同生活介護(ケアホーム)	1.3	1.6
施設入所支援	0.3	1.7
就労移行支援	1.3	3.3
就労継続支援(A型)	0.5	3.1
就労継続支援(B型)	3.3	2.9
自立訓練(機能訓練)	0.3	2.5

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
自立訓練(生活訓練)	1.1	2.2
共同生活援助(グループホーム)	0.4	3.7
障害児相談支援	0.5	1.5
計画相談支援	1.9	3.0
地域移行支援	-	0.8
地域定着支援	0.1	1.3
児童発達支援	1.0	1.2
医療型児童発達支援	0.4	0.4
放課後等デイサービス	2.1	2.8
保育所等訪問支援	0.2	0.3
福祉型障害児入所施設	0.1	0.4
医療型障害児入所施設	0.4	0.1
無回答	83.0	72.9

(n=1, 121)

要介護認定を受けていない人が②地域生活支援事業で現在利用中のもの、今後利用したいものとともに、「障害者相談支援事業」の割合が最も多くなっています。

③医療費の助成、その他で現在利用中のものは、「自立支援医療（精神通院医療）」の割合が最も多くなっています。また、今後利用したいものは、「成年後見制度」の割合が最も多くなっています。

②地域生活支援事業

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
障害者相談支援事業	5.6	8.0
意思疎通支援	0.7	1.6
日常生活用具給付等	3.7	5.7
住宅設備改善費の給付	0.2	6.1
自動車運転免許取得費の助成	0.4	2.1
自動車改造費の助成	0.2	2.1
移動支援事業	5.2	6.7
地域活動支援センター事業	2.1	3.7
日中時間預かり事業(日中一時支援事業)	4.0	4.0
重度心身障害者(児)巡回入浴サービス	0.5	0.8
無回答	83.5	73.1

③医療費の助成、その他

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
自立支援医療(育成医療)	0.9	2.0
自立支援医療(更生医療)	0.8	1.5
自立支援医療(精神通院医療)	11.2	5.1
心身障害者(児)医療費助成	6.5	5.8
難病患者等医療費助成	10.6	7.0
成年後見制度	0.4	7.9
給食サービス	0.8	4.8
心身障害者(児)通院・通所訓練等交通費助成	5.6	4.1
理容・美容券の支給	6.1	6.4
緊急通報システムの貸与	0.4	7.0
無回答	65.7	65.8

(n=1, 121)

■問 28 日常生活で介助を「受けている」人

日常生活で介助を受けている人が①障害福祉サービス等で現在利用中のものは、「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多く、次いで「居宅介護」となっています。

また、今後利用したいものは、「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多く、次いで「居宅介護」と「行動援護」となっています。

①障害福祉サービス等

	A 現在 利用 中	B 今後 利用 した い
居宅介護	9.9	5.4
重度訪問介護	1.7	1.4
行動援護	3.8	5.4
同行援護	2.5	4.2
重度障害者等包括支援	0.4	1.1
生活介護	7.0	6.3
短期入所（ショートステイ）	11.3	10.4
療養介護	1.6	1.8
共同生活介護（ケアホーム）	3.4	3.3
施設入所支援	1.8	2.8
就労移行支援	0.8	2.8
就労継続支援（A型）	0.5	2.9
就労継続支援（B型）	5.0	3.3
自立訓練（機能訓練）	3.8	4.7

	A 現在 利用 中	B 今後 利用 した い
自立訓練（生活訓練）	1.4	4.3
共同生活援助（グループホーム）	0.5	5.0
障害児相談支援	0.8	2.4
計画相談支援	3.3	3.0
地域移行支援	-	1.3
地域定着支援	0.4	0.9
児童発達支援	1.3	1.6
医療型児童発達支援	0.5	0.8
放課後等デイサービス	3.2	3.9
保育所等訪問支援	0.1	0.5
福祉型障害児入所施設	0.3	0.5
医療型障害児入所施設	0.5	0.3
無回答	59.1	61.8

(n=761)

日常生活で介助を受けている人が②地域生活支援事業で現在利用中のもの、今後利用したいものとともに、「移動支援事業」の割合が最も多くなっています。

③医療費の助成、その他で現在利用中のものは、「理容・美容券の支給」の割合が最も多くなっています。また、今後利用したいものは、「成年後見制度」の割合が最も多くなっています。

②地域生活支援事業

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
障害者相談支援事業	8.4	8.1
意思疎通支援	1.3	2.1
日常生活用具給付等	7.1	7.0
住宅設備改善費の給付	3.2	6.7
自動車運転免許取得費の助成	0.3	1.3
自動車改造費の助成	0.3	2.9
移動支援事業	10.9	12.5
地域活動支援センター事業	4.2	4.3
日中時間預かり事業(日中一時支援事業)	7.6	7.0
重度心身障害者(児)巡回入浴サービス	1.7	1.4
無回答	68.3	65.7

③医療費の助成、その他

	A 現在 利用中	B 今後 利用 したい
自立支援医療(育成医療)	1.3	2.0
自立支援医療(更生医療)	1.1	1.6
自立支援医療(精神通院医療)	10.0	4.3
心身障害者(児)医療費助成	9.9	7.1
難病患者等医療費助成	9.1	5.1
成年後見制度	1.3	10.6
給食サービス	1.3	7.2
心身障害者(児)通院・通所訓練等交通費助成	9.5	4.7
理容・美容券の支給	11.4	9.3
緊急通報システムの貸与	0.7	8.7
無回答	60.6	62.3

(n=761)

■年齢別

年齢別にみると、①障害福祉サービス等で現在利用中のものは、10歳未満では「児童発達支援」、10歳代では「放課後等デイサービス」が2割を超え、それぞれ最も多くなっています。また、30歳代と40歳代では「就労継続支援（B型）」の割合が最も多くなっています。

①障害福祉サービス等【A 現在利用中】

	n	居宅介護	重度訪問介護	行動援護	同行援護	重度障害者等 包括支援	生活介護	短期入所（シヨ トステイ）	療養介護	共同生活介護 （ケアホーム）	施設入所支援	就労移行支援	就労継続支援 （A型）	就労継続支援 （B型）
10歳未満	49	-	-	-	-	-	-	12.2	-	-	-	-	-	-
10歳代	94	8.5	-	3.2	-	-	3.2	23.4	-	5.3	1.1	-	-	2.1
20歳代	103	3.9	1.0	1.9	1.0	-	7.8	21.4	-	4.9	-	6.8	3.9	9.7
30歳代	139	3.6	1.4	1.4	0.7	-	6.5	8.6	-	5.8	1.4	3.6	2.9	9.4
40歳代	165	4.8	-	0.6	1.2	0.6	2.4	3.6	1.2	1.8	0.6	2.4	1.2	7.9
50歳代	172	4.1	0.6	0.6	1.7	-	0.6	1.2	-	0.6	-	1.7	-	2.9
60歳代	316	3.5	2.2	0.6	0.6	0.3	3.2	2.5	0.3	0.3	0.6	-	-	2.2
70歳以上	666	4.8	0.5	2.9	1.8	0.3	2.9	2.0	1.5	0.8	1.2	-	-	-

	訓練 自立訓練（機能 訓練）	自立訓練（生活 自立訓練） （グループホーム）	共同生活援助（ゲ ループホーム）	障害児相談支援	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	児童発達支援	医療型児童発達 支援	放課後等デイ サービス	支援 保育所等訪問 支援	福祉型障害児 入所施設	医療型障害児 入所施設	無回答
10歳未満	-	-	-	10.2	2.0	-	-	22.4	8.2	4.1	4.1	-	-	55.1
10歳代	-	2.1	-	-	2.1	-	-	-	-	25.5	-	1.1	-	54.3
20歳代	1.0	3.9	1.0	1.0	6.8	-	-	-	-	-	-	-	-	54.4
30歳代	2.2	2.9	0.7	0.7	4.3	-	-	-	-	-	-	-	-	65.5
40歳代	1.2	1.2	1.2	-	3.6	-	-	-	-	-	-	-	0.6	77.6
50歳代	0.6	1.2	0.6	-	0.6	-	0.6	-	-	-	-	-	0.6	84.9
60歳代	1.9	-	0.3	-	0.6	-	-	-	-	-	-	-	0.6	86.4
70歳以上	3.6	0.5	-	-	0.5	-	0.3	-	-	0.2	-	0.2	-	84.5

年齢別にみると、①障害福祉サービス等で今後利用したいものは、10歳未満では「放課後等デイサービス」が4割以上、10歳代と30歳代、70歳以上では「短期入所（ショートステイ）」の割合が最も多くなっており、特に10歳代では2割を超えています。

①障害福祉サービス等【B 今後利用したい】

	n	居宅介護	重度訪問介護	行動援護	同行援護	重度障害者等 包括支援	生活介護	短期入所（ショートステイ）	療養介護	共同生活介護（ケアホーム）	施設入所支援	就労移行支援	就労継続支援（A型）	就労継続支援（B型）
10歳未満	49	-	2.0	10.2	6.1	-	-	14.3	-	2.0	-	4.1	4.1	2.0
10歳代	94	4.3	2.1	13.8	2.1	-	8.5	23.4	-	5.3	2.1	16.0	14.9	12.8
20歳代	103	1.0	-	1.9	1.9	-	4.9	10.7	-	6.8	3.9	4.9	3.9	5.8
30歳代	139	2.9	1.4	4.3	2.2	2.9	4.3	6.5	1.4	6.5	4.3	6.5	6.5	5.8
40歳代	165	1.8	-	1.8	1.2	0.6	3.0	1.2	0.6	0.6	1.2	3.0	4.2	6.1
50歳代	172	2.9	0.6	2.9	2.3	1.2	1.7	1.2	1.2	1.2	2.3	2.3	1.2	1.7
60歳代	316	4.1	0.3	1.9	1.9	0.6	6.0	2.8	1.6	0.6	0.9	0.6	0.6	0.3
70歳以上	666	5.0	0.6	2.0	2.4	0.9	4.5	5.7	2.4	0.6	2.1	0.2	-	-

	自立訓練（機能訓練）	自立訓練（生活訓練）	共同生活援助（グループホーム）	障害児相談支援	計画相談支援	地域移行支援	地域定着支援	児童発達支援	医療型児童発達支援	放課後等デイサービス	支援	保育所等訪問支援	福祉型障害児入所施設	医療型障害児入所施設	無回答
10歳未満	4.1	4.1	6.1	26.5	12.2	2.0	2.0	22.4	8.2	44.9	8.2	6.1	-	-	26.5
10歳代	4.3	11.7	14.9	5.3	9.6	2.1	3.2	3.2	2.1	8.5	-	1.1	-	-	33
20歳代	1.0	4.9	13.6	-	6.8	-	1.0	-	-	-	-	-	1.0	-	55.3
30歳代	1.4	5.8	5.8	0.7	5.0	2.9	1.4	-	-	0.7	-	-	-	0.7	66.9
40歳代	1.2	3.0	4.2	-	1.8	3.0	3.0	-	-	-	-	-	-	-	77.6
50歳代	4.1	2.3	0.6	-	1.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	78.5
60歳代	4.7	0.6	0.6	-	0.3	-	0.6	-	-	-	-	-	-	0.3	82.6
70歳以上	2.6	0.6	0.5	-	-	0.3	0.5	-	-	0.2	-	-	-	-	81.4

年齢別にみると、②地域生活支援事業で現在利用中のものは、10歳未満では「日中時間預かり事業（日中一時支援事業）」、10歳代では「移動支援事業」が最も多くなっており、2割を超えています。また、50歳以上では「日常生活用具給付等」の割合が最も多くなっています。

②地域生活支援事業【A 現在利用中】

	n	障害者相談支援事業	意思疎通支援	日常生活用具給付等	住宅設備改善費の給付	自動車運転免許取得費の助成	自動車改造費の助成	移動支援事業	地域活動支援センター事業	日中時間預かり事業（日中一時支援事業）	重度心身障害者（児）巡回入浴サービス	無回答
10歳未満	49	6.1	-	6.1	-	-	-	8.2	-	22.4	-	67.3
10歳代	94	8.5	-	7.4	-	-	-	27.7	-	25.5	2.1	57.4
20歳代	103	15.5	1.0	2.9	-	-	-	19.4	4.9	12.6	1.0	58.3
30歳代	139	17.3	2.2	5.0	-	-	-	10.1	7.2	3.6	2.2	64.0
40歳代	165	7.3	0.6	1.8	-	0.6	-	2.4	5.5	1.2	0.6	84.2
50歳代	172	4.1	1.7	5.2	-	1.7	1.2	1.2	2.9	-	-	84.3
60歳代	316	2.5	0.3	4.7	1.9	0.3	-	1.3	1.6	-	0.6	89.2
70歳以上	666	1.5	0.9	3.3	2.7	-	-	1.7	1.5	1.1	0.6	90.2

年齢別にみると、②地域生活支援事業で今後利用したいものは、10歳未満では「日中時間預かり事業（日中一時支援事業）」が2割半ば、10歳代では「移動支援事業」が約3割とそれぞれ最も多くなっています。また、20～50歳代では「障害者相談支援事業」、50歳以上では「住宅設備改善費の給付」の割合が最も多くなっています。

②地域生活支援事業【B 今後利用したい】

	n	障害者相談支援事業	意思疎通支援	日常生活用具給付等	住宅設備改善費の給付	自動車運転免許取得費の助成	自動車改造費の助成	移動支援事業	地域活動支援センター事業	日中時間預かり事業（日中一時支援事業）	重度心身障害者（児）巡回入浴サービス	無回答
10歳未満	49	18.4	2.0	8.2	2.0	-	2.0	18.4	4.1	24.5	4.1	49.0
10歳代	94	17.0	3.2	6.4	5.3	7.4	1.1	29.8	5.3	14.9	2.1	43.6
20歳代	103	16.5	1.9	3.9	3.9	6.8	-	15.5	3.9	5.8	1.0	60.2
30歳代	139	11.5	1.4	6.5	6.5	3.6	2.2	9.4	10.1	5.0	1.4	68.3
40歳代	165	7.3	1.2	1.8	3.0	2.4	2.4	4.8	7.3	1.8	0.6	75.8
50歳代	172	7.6	1.2	5.8	7.6	0.6	4.1	4.7	1.2	1.7	0.6	75.6
60歳代	316	4.4	1.6	7.0	7.6	0.6	2.8	3.5	2.5	1.9	-	80.4
70歳以上	666	2.1	1.5	5.1	5.6	0.5	0.8	3.8	1.2	1.8	0.8	83.2

年齢別にみると、③医療費の助成、その他で現在利用中のものは、10歳代までは「心身障害者（児）通院・通所訓練等交通費助成」、20歳代では「心身障害者（児）医療費助成」、30歳代と40歳代では「自立支援医療（精神通院医療）」の割合が最も多くなっています。また、50歳代と60歳代では「難病患者等医療費助成」の割合が最も多くなっています。

③医療費の助成、その他【A 現在利用中】

	n	自立支援医療（育成医療）	自立支援医療（更生医療）	自立支援医療（精神通院医療）	心身障害者（児）医療費助成	難病患者等医療費助成	成年後見制度	給食サービス	訓練等交通費助成	心身障害者（児）通院・通所	理容・美容券の支給	緊急通報システムの貸与	無回答
10歳未満	49	-	2.0	4.1	2.0	2.0	-	2.0	20.4	4.1	-	73.5	
10歳代	94	2.1	-	12.8	7.4	6.4	-	-	17.0	13.8	-	61.7	
20歳代	103	1.0	1.0	19.4	20.4	7.8	1.0	1.0	11.7	10.7	-	48.5	
30歳代	139	0.7	0.7	33.1	10.8	12.2	1.4	0.7	5.0	7.9	0.7	39.6	
40歳代	165	0.6	1.8	26.1	5.5	15.8	0.6	3.0	1.2	3.6	0.6	47.3	
50歳代	172	1.7	1.2	13.4	8.1	16.3	0.6	0.6	1.7	2.3	0.6	60.5	
60歳代	316	0.6	0.9	3.8	7.6	13.3	0.6	0.6	5.4	6.0	0.3	71.2	
70歳以上	666	0.3	0.3	0.6	2.9	6.9	0.5	1.4	4.1	7.4	0.8	81.2	

年齢別にみると、③医療費の助成、その他で今後利用したいものは、20歳代までは「成年後見制度」、30歳代と40歳代では「自立支援医療（精神通院医療）」、50歳代では「難病患者等医療費助成」の割合が最も多くなっています。また、60歳以上では「緊急通報システムの貸与」の割合が最も多くなっています。

③医療費の助成、その他【B 今後利用したい】

	n	自立支援医療(育成医療)	自立支援医療(更生医療)	自立支援医療(精神通院医療)	心身障害者(児)医療費助成	難病患者等医療費助成	成年後見制度	給食サービス	心身障害者(児)通院・通所 訓練等交通費助成	理容・美容券の支給	緊急通報システムの貸与	無回答
10歳未満	49	2.0	2.0	4.1	12.2	10.2	20.4	-	10.2	4.1	8.2	55.1
10歳代	94	9.6	3.2	13.8	9.6	3.2	35.1	3.2	12.8	10.6	8.5	40.4
20歳代	103	-	-	4.9	4.9	3.9	21.4	3.9	4.9	7.8	9.7	58.3
30歳代	139	-	0.7	12.2	7.9	10.1	11.5	6.5	7.9	6.5	4.3	55.4
40歳代	165	1.2	1.8	12.1	3.0	10.3	6.1	2.4	2.4	7.3	2.4	63.0
50歳代	172	1.2	1.7	2.3	8.1	9.3	3.5	5.8	2.9	8.7	7.0	64.0
60歳代	316	1.6	1.3	1.3	6.0	6.6	2.2	7.3	2.8	6.6	8.5	70.9
70歳以上	666	0.6	1.4	0.3	2.3	4.5	1.4	7.4	2.4	6.3	8.4	78.4

問 31 あなたは、通所サービスを利用する上で、お困りのことはありますか。

(あてはまるものすべてに○)

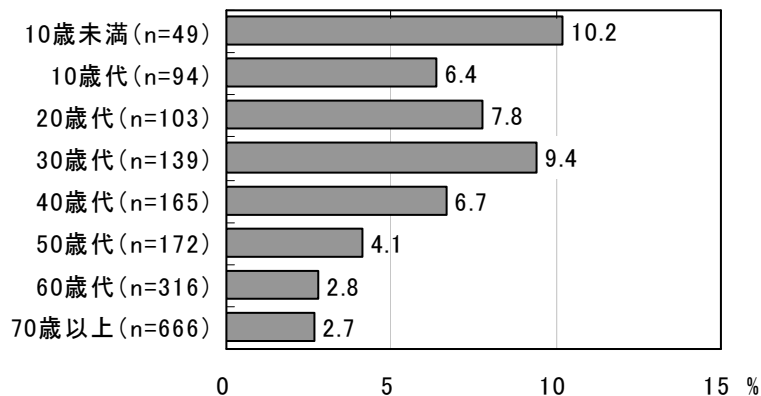
通所サービスを利用する上での困りごとは、全体的に「特にない」が最も多くなっているものの、次いで、高次脳機能では「サービスの内容が自分に合っていない」が1割を超えています。

年齢別に「サービスの内容が自分に合っていない」についてみると、10歳未満と30歳代では1割前後が該当しています。

	n	場所が遠い	付き添いの確保	設備が不十分	職員の理解が不足	希望する施設を利用できない	サービスの内容が自分に合っていない	その他	特にない	無回答
身体	1,182	4.1	2.0	0.8	1.9	2.3	4.1	4.2	32.0	54.0
知的	280	10.7	6.8	1.8	3.6	6.1	5.7	5.4	39.6	36.8
精神	242	13.6	4.1	2.9	7.0	4.1	12.0	6.6	31.0	36.4
難病	222	3.2	1.8	0.5	0.5	2.3	1.8	9.5	36.5	48.2
高次脳機能	59	8.5	6.8	5.1	3.4	6.8	11.9	6.8	30.5	35.6
発達	181	13.8	9.4	1.1	3.9	9.4	9.9	7.7	33.7	33.1

【年齢別：サービスの内容が自分に合っていない】

(複数回答) n=1,754

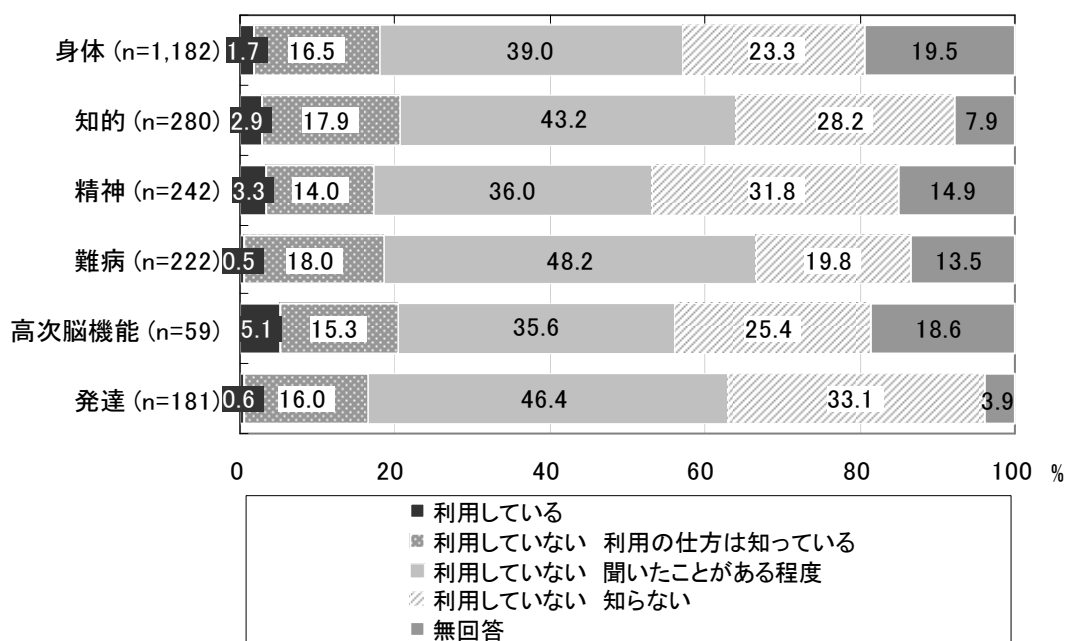


10 福祉に関する制度や事業の認知度について

問32 あなたは、次の制度や事業について、どの程度知っていますか。
 (それぞれ〇は1つつ)

ア. 成年後見制度

成年後見制度の認知状況は、全体的に「利用していない 聞いたことがある程度」の割合が最も多くなっているものの、精神と発達では「利用していない 知らない」が3割を超えています。

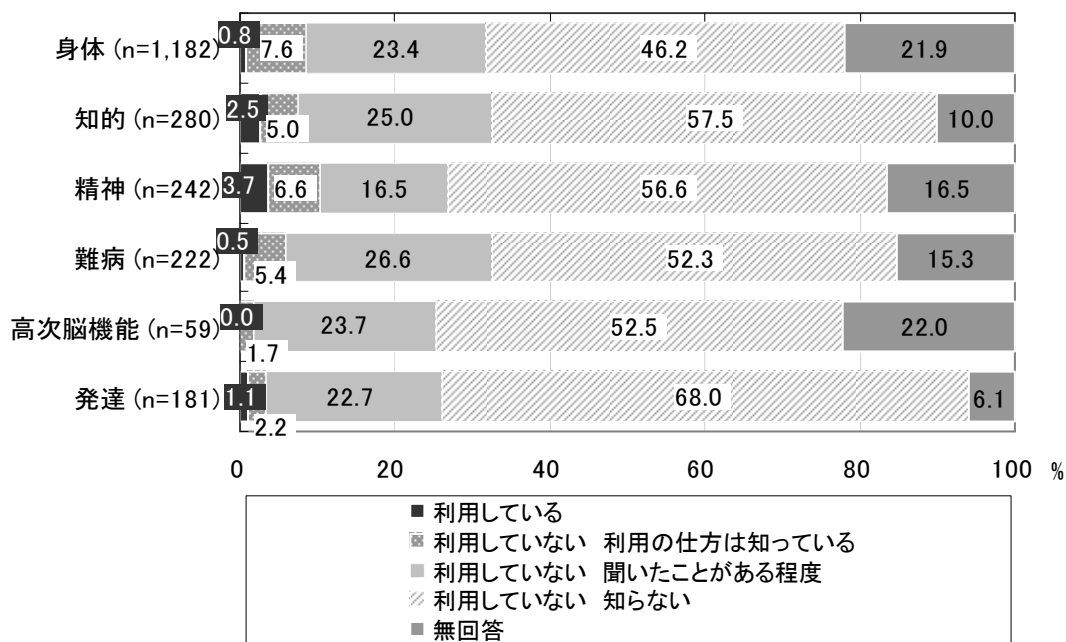


*成年後見制度

認知症や知的・精神障害があり、判断能力の不十分な方の権利を守るために、契約や法的手続の場面で、法律面からサポートする制度

イ. 地域福祉権利擁護事業

地域福祉権利擁護事業の認知状況は、全体的に「利用していない 知らない」の割合が最も多くなっており、概ね半数以上を占めています。

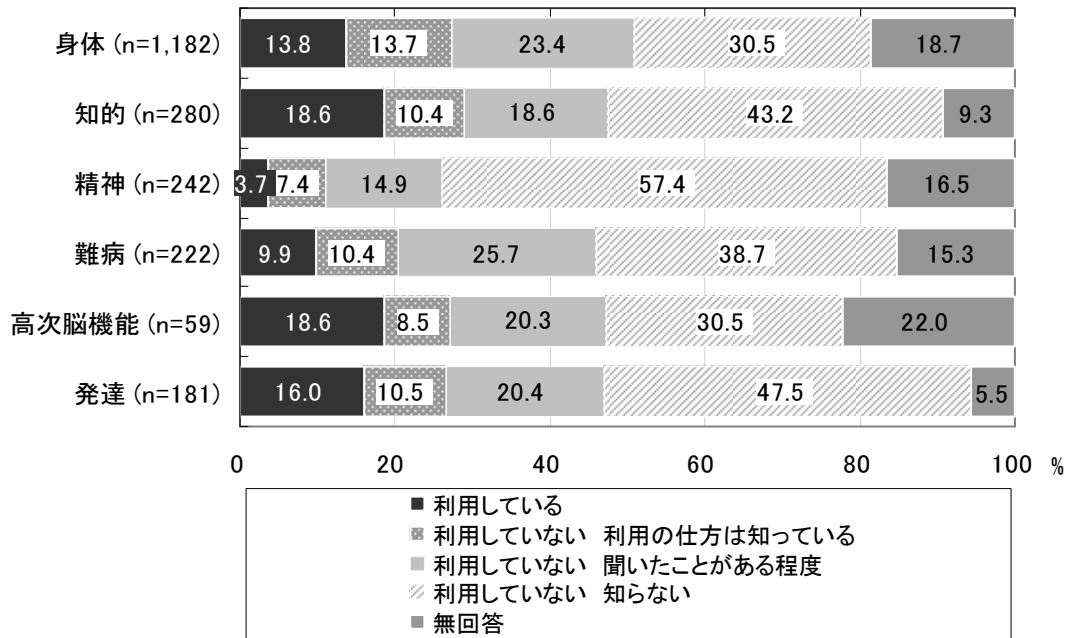


*地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

判断能力が不十分な方へのサービスで、福祉サービスの利用支援や日常的金銭管理サービス、書類等の預かりサービスなどがある

ウ. 災害時要援護者登録制度

災害時要援護者登録制度の認知状況は、全体的に「利用していない 知らない」の割合が最も多くなっており、特に精神では5割を超えています。一方、「利用している」が知的と高次脳機能、発達では1割半ば以上となっています。

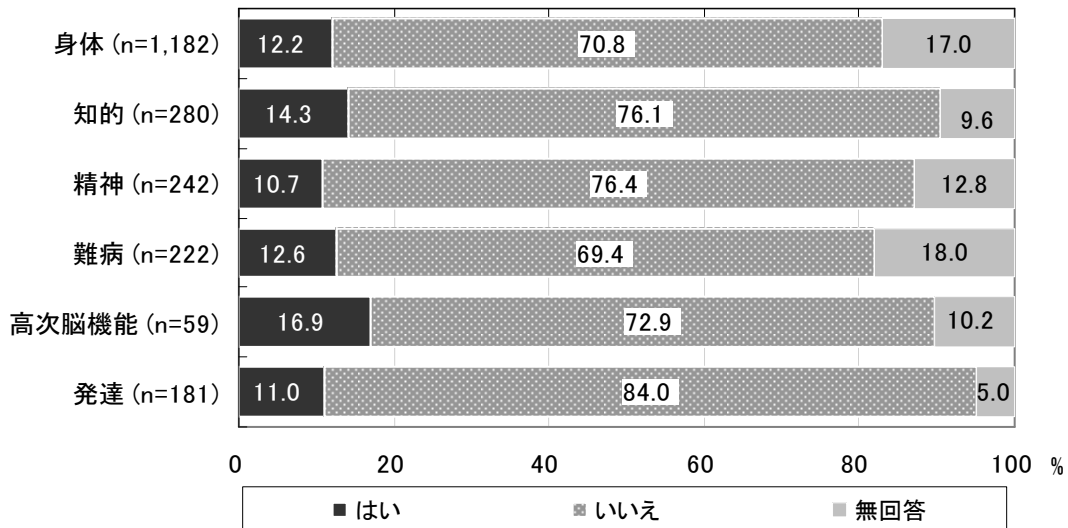


*災害時要援護者登録制度

災害発生時に自力での避難が困難な方を対象に、地域の支援者（民生委員・児童委員，社会福祉協議会，国分寺消防署，自治会・町内会）が，安否確認や避難の介助を行うための制度

問33 あなたは、市の障害者虐待防止の相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

市の障害者虐待防止の相談窓口を知っているかは、全体的に「いいえ」が最も多くなっており、「はい」は高次脳機能で1割半ば以上となっています。



11 情報の入手，相談について

問34 障害者に対するサービスや施策についての情報は，どこから得ていますか。

(あてはまるものすべてに○)

障害者に対するサービスや施策についての情報の入手先は，全体的に「市のお知らせ(窓口や広報紙など)」が最も多くなっているものの，次いで，「家族や近所の人」が発達で3割以上，知的と高次脳機能では2割を超えています。

	n	市のお知らせ (窓口や広報紙など)	社会福祉協議会のお知らせ (窓口や広報紙など)	保健・医療機関	民生委員・児童委員や 身体・知的障害者相談員	障害者団体	福祉施設
身体	1,182	57.1	14.4	11.5	3.7	7.2	5.1
知的	280	50.0	12.5	7.1	4.3	23.2	18.6
精神	242	46.3	11.6	19.8	2.9	9.5	16.9
難病	222	58.6	15.8	21.6	1.8	5.0	3.6
高次脳機能	59	52.5	13.6	22.0	6.8	6.8	13.6
発達	181	49.2	11.6	12.2	4.4	23.2	19.3

	家族や近所の人	テレビや新聞・雑誌	インターネット	その他	特に得ていない	無回答
身体	12.8	15.7	9.3	4.1	16.4	10.5
知的	26.4	7.9	8.9	7.5	11.8	5.7
精神	17.8	12.4	11.6	6.6	17.4	6.6
難病	13.5	19.4	9.9	4.1	11.3	9.0
高次脳機能	20.3	16.9	11.9	5.1	11.9	10.2
発達	31.5	9.4	10.5	9.4	12.2	3.3

問35 あなたが、日常生活や障害のことなどについて困った時には、主にどなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

日常生活や障害のことなどについて困った時の相談先は、全体的に「家族」が最も多くなっているものの、次いで、身体で「あまり相談したことはない」が2割近くとなっています。

	n	家族	障害のある仲間	友人・知人	病院のスタッフ	施設や勤務先のスタッフ	民生委員・児童委員や 身体・知的障害者相談員	プラッツ・虹のスタッフ 相談支援事業(つばさ・)
身体	1,182	60.2	8.2	10.2	20.9	5.5	2.1	3.5
知的	280	70.7	14.3	12.5	12.8	18.2	2.5	11.4
精神	242	55.4	9.9	15.3	12.1	8.7	3.7	16.1
難病	222	64.9	6.8	8.6	31.5	3.6	0.9	0.9
高次脳機能	59	55.9	15.3	5.1	25.4	16.9	1.7	11.9
発達	181	69.6	13.8	12.2	22.1	17.1	2.2	14.4

	ヘルパーなど ホームヘルパー、ガイド	地域活動支援センター	市役所の相談窓口	相談する人がいない	あまり相談したことはない	その他	無回答
身体	5.3	3.6	12.8	2.3	18.7	5.8	8.7
知的	1.8	6.1	12.1	2.5	9.6	7.1	5.7
精神	5.8	7.0	15.7	5.0	11.2	9.9	5.4
難病	6.3	3.6	12.2	4.5	16.7	3.6	8.1
高次脳機能	6.8	3.4	15.3	-	10.2	13.6	6.8
発達	2.2	6.1	11.6	3.9	9.9	10.5	2.8

問36 あなたは、以下のような公的な相談支援機関に相談したことがありますか。

(あてはまるものすべてに○)

相談したことがある相談支援機関については、全体的に「市障害者相談室」もしくは「相談したことがない」が最も多くなっており、特に難病では「相談したことがない」が5割半ばとなっています。また、「こどもの発達センターつくしんぼ」が知的と発達で2割半ばとなっています。

	n	つばさ 地域活動支援センター	プラットフォーム 地域生活支援センター	地域活動支援センター虹	地域包括支援センター	市障害者相談室	障害者基幹相談支援センター	相談員 身体・知的障害者福祉
身体	1,182	4.5	1.6	1.1	7.4	19.7	0.5	1.0
知的	280	17.9	0.7	5.7	2.5	27.9	2.1	2.9
精神	242	20.2	20.2	1.2	4.5	22.3	0.8	1.7
難病	222	2.7	0.5	0.9	10.8	14.0	-	0.5
高次脳機能	59	18.6	1.7	3.4	13.6	32.2	-	1.7
発達	181	25.4	3.3	5.5	2.8	28.7	2.8	3.3

	保健所	市健康推進課	子ども家庭支援センター	つくしんぼ こどもの発達センター	相談したことがない	その他	無回答
身体	3.4	2.5	0.3	1.4	45.5	2.7	19.6
知的	5.4	3.2	4.6	25.0	21.8	7.5	13.6
精神	11.6	4.5	2.1	2.5	29.3	7.9	11.6
難病	5.4	3.6	0.9	2.3	56.8	0.9	12.6
高次脳機能	5.1	6.8	3.4	3.4	22.0	3.4	16.9
発達	9.9	3.9	5.0	27.1	23.2	9.4	6.1

地区別にみると、全体的に「相談したことがない」が4割を超え最も多くなっており、次いで「市障害者相談室」の割合が多くなっています。また、東部では「地域活動支援センターつばさ」が約1割となっています。

	n	地域活動支援センター つばさ	地域生活支援センター プラットフォーム	地域活動支援センター 虹	地域包括支援センター	市障害者相談室	障害者基幹相談支援 センター	身体・知的障害者福祉 相談員
東部	352	9.4	4.8	1.1	6.5	19.9	0.6	2.3
西部	846	5.9	2.4	1.9	7.0	18.4	0.8	0.9
南部	504	8.7	4.2	2.0	6.3	19.2	0.8	0.8

	保健所	市健康推進課	子ども家庭支援センター	つくしんぼ こどもの発達センター	相談したことがない	その他	無回答
東部	5.7	2.3	1.4	5.1	41.5	4.3	16.2
西部	3.9	3.5	1.3	4.8	44.7	2.8	17.5
南部	2.8	2.6	1.6	4.6	42.5	4.4	16.7

※東部：本多，東恋ヶ窪，東戸倉，本町

西部：北町，並木町，新町，戸倉，富士本，西恋ヶ窪，日吉町，高木町，光町，西町

南部：南町，泉町，東元町，西元町，内藤

問37 相談機能を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

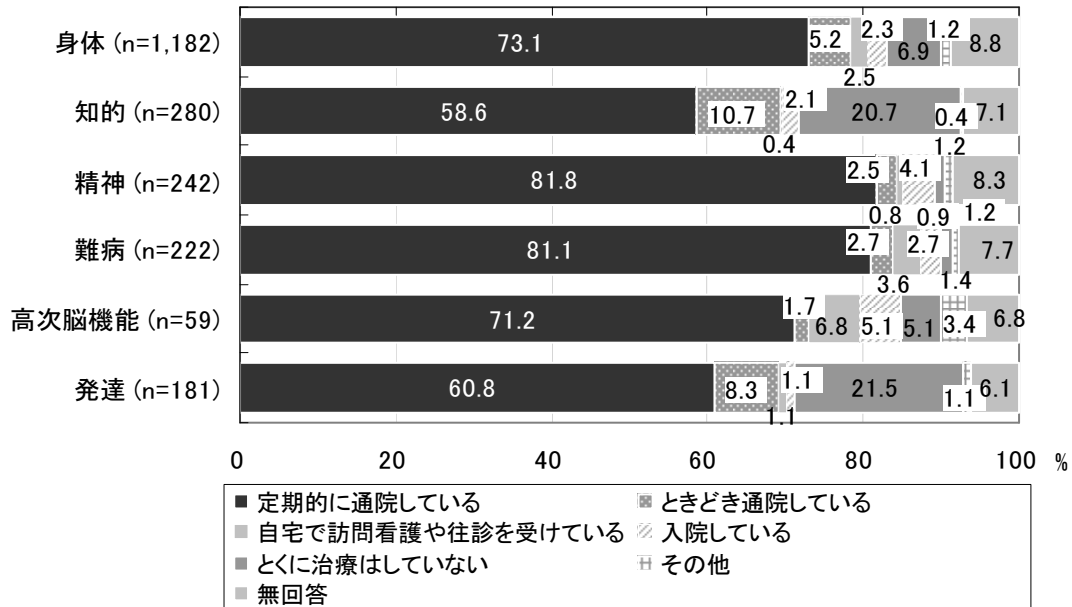
相談機能を充実させるために必要だと思うことは、「適切なアドバイスができる人材がいる」が発達では6割以上、知的では5割を超えています。また、「気軽に話を聞いてもらえる」が精神では5割半ば、身体では4割近くとそれぞれ最も多くなっています。

	n	気軽に話を聞いてもらえる	身近なところで相談できる	電話やファクス、メール(E-mail)等により相談できる	手話通訳や要約筆記といった対応ができる	総合的な相談に対応できる	適切なアドバイスができる人材がいる	プライバシーに配慮がなされている	相談からサービス提供まで一貫した支援体制がなされている	その他	無回答
身体	1,182	38.8	32.7	22.1	4.9	28.5	33.9	23.2	35.0	3.6	-
知的	280	48.2	40.0	16.4	2.9	38.9	50.4	29.3	49.3	5.0	-
精神	242	55.0	46.3	30.6	2.9	36.4	47.9	37.6	37.2	11.2	-
難病	222	41.9	32.0	20.7	4.5	31.1	40.1	31.1	41.9	4.1	-
高次脳機能	59	42.4	35.6	20.3	3.4	33.9	39.0	27.1	47.5	3.4	-
発達	181	52.5	44.8	21.0	1.7	38.7	60.2	32.6	54.1	6.6	-

12 医療・保健について

問38 あなたは、現在、医師の治療を受けていますか。(〇は1つ)

現在の医師の治療状況は、全体的に「定期的に通院している」の割合が最も多くなっており、特に精神と難病では8割を超えています。一方、「とくに治療はしていない」が知的と発達では2割を超えています。



**問39 あなたは、医療などについて困っていることや、不安を感じることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)**

医療などについて困っていることや、不安を感じることは、全体的に「特に困っていることや、不安を感じることはない」の割合が最も多くなっており、特に身体と難病では4割を超えています。また、発達では「医師や看護師とのコミュニケーションがうまくとれない」が2割を超えています。

	n	近所にみてくれる医者 がない	専門的な治療を行って いる医療機関が身近に ない	通院するときに、付き 添いをしてくれる人が いない	医師や看護師とのコミュ ニケーションがうまく とれない	診療を断られる	かかりつけ医・歯科医が いない	気軽に往診を頼める 医師がいない	歯科診療を受けられ ない	定期的に健康診断を 受けられない
身体	1,182	4.6	8.8	4.4	3.6	0.9	1.6	5.7	1.4	2.5
知的	280	7.5	13.9	5.4	14.6	2.1	5.0	5.4	3.2	2.9
精神	242	7.9	8.3	6.2	9.5	1.7	2.1	7.9	2.1	8.7
難病	222	10.4	12.2	3.6	3.2	1.4	2.7	6.8	2.7	1.8
高次脳機能	59	6.8	13.6	10.2	8.5	1.7	1.7	5.1	3.4	6.8
発達	181	7.7	17.7	5.5	22.7	1.1	7.2	6.6	3.9	5.0

	障害のため症状が正確 に伝わらず、必要な 治療が受けられない	受診手続きや案内など 障害者への配慮が不十分	医療費の負担が大きい	入院のとき付き添いや 個室を強いられる	訪問看護などの、在宅 サービスが不十分	その他	特に困っていることや、 不安を感じることはない	無回答
身体	3.6	3.3	10.4	1.4	1.2	5.4	45.9	21.7
知的	15.4	5.0	11.4	4.3	1.4	7.1	34.6	15.4
精神	9.5	5.8	14.5	0.4	1.7	8.7	36.4	22.3
難病	1.8	1.4	15.3	1.8	0.9	9.5	43.7	14.9
高次脳機能	11.9	5.1	15.3	6.8	1.7	11.9	25.4	16.9
発達	18.8	5.0	9.9	3.9	2.2	8.3	28.7	12.2

13 将来の生活について

問40 今後の生活に対して、主にどのような不安がありますか。(〇は3つまで)

今後の生活に対する主な不安は、全体的に「身体のことについて」と「生活費について」が最も多くなっているものの、知的では「介助者・支援者の高齢化について」が4割を超えて最も多くなっています。また、発達では「就職・仕事のことについて」が4割を超えています。

年齢別にみると、10歳未満では「進学・学校生活について」、10歳代では「就職・仕事のことについて」など進学や就職についての割合が多くなっています。一方、20歳代～40歳代では「生活費について」、50歳以降では「身体のことについて」の割合が最も多くなっています。

	n	身体のことについて	生活費について	住宅・生活の場所について	介助・支援をしてくれる人について	進学・学校生活について	就職・仕事のことについて	介助者・支援者の高齢化について	その他	特に不安はない	無回答
身体	1,182	53.6	30.5	13.4	18.2	2.5	9.5	20.7	3.0	14.0	11.3
知的	280	26.4	41.1	25.4	27.1	13.2	33.2	41.4	2.1	6.8	7.9
精神	242	35.1	54.1	24.0	17.4	2.9	34.7	17.4	7.9	6.6	12.4
難病	222	65.8	36.0	13.1	20.7	1.8	12.6	18.9	3.2	9.5	7.7
高次脳機能	59	59.3	45.8	13.6	27.1	5.1	16.9	39.0	1.7	8.5	8.5
発達	181	23.2	47.0	33.7	29.3	16.0	42.5	40.9	4.4	4.4	7.7
10歳未満	49	32.7	32.7	14.3	28.6	63.3	36.7	44.9	-	4.1	-
10歳代	94	14.9	51.1	28.7	25.5	23.4	59.6	31.9	1.1	3.2	5.3
20歳代	103	32.0	46.6	32.0	26.2	4.9	41.7	32.0	8.7	8.7	3.9
30歳代	139	43.9	49.6	20.1	16.5	0.7	33.8	23.7	5.0	10.1	7.2
40歳代	165	47.9	51.5	20.6	18.8	0.6	37.0	17.6	3.6	8.5	9.7
50歳代	172	61.0	48.3	19.8	11.6	0.6	18.0	14.0	4.7	8.1	5.2
60歳代	316	56.3	35.8	17.7	17.7	0.3	3.5	18.4	2.8	16.1	7.0
70歳以上	666	51.8	20.9	8.4	19.7	0.2	0.5	21.6	3.0	16.4	15.9

問41 あなたは、将来（親の高齢化や親、配偶者等亡き後も含めて）どのように生活したいと思いますか。（〇は1つ）

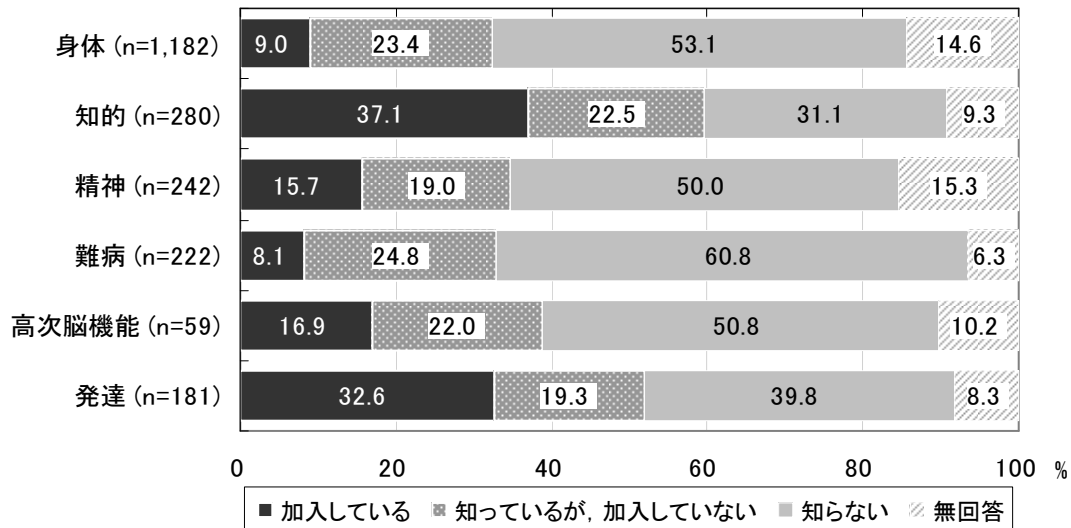
将来どのように生活したいと思うかについては、「家族の介助・支援を受けたり、福祉サービスを利用したりして、家庭で生活したい」が難病と高次脳機能では3割以上、身体で2割半ばとそれぞれ最も多くなっています。また、「身の回りの世話を助けてくれる人がいて、仲間と一緒に共同住宅で生活したい（グループホーム・ケアホーム）」が知的では約3割、発達では2割半ばとそれぞれ最も多くなっています。一方、精神では「わからない」の割合が最も多くなっています。

	n	結婚して自立して生活したい	家族だけに世話をしてもらって、家庭で生活したい	家族の介助・支援を受けたり、福祉サービスを利用したりして、家庭で生活したい	福祉サービスを利用して、一人で自立して生活したい	身の回りの世話を助けてくれる人がいて、仲間と一緒に共同住宅で生活したい（グループホーム・ケアホーム）	入所型施設で暮らしたい	その他	わからない	無回答
身体	1,182	5.2	7.5	26.1	13.2	4.8	6.5	3.5	14.2	19.0
知的	280	8.2	5.4	15.4	6.4	29.3	6.1	2.1	16.4	10.7
精神	242	18.2	4.5	12.0	17.4	3.7	1.2	5.0	18.6	19.4
難病	222	5.9	6.8	30.2	10.4	5.0	9.0	1.4	16.7	14.9
高次脳機能	59	8.5	8.5	32.2	6.8	5.1	1.7	3.4	20.3	13.6
発達	181	13.8	5.0	12.2	8.3	26.5	5.5	1.1	17.1	10.5

14 障害福祉のまちづくりについて

問42 市内には各種の障害者団体がありますが、あなたはそのいずれかの団体に加入していますか。（ご家族が家族会などの団体に加入している場合も含む。）（○は1つ）

障害者団体への加入状況は、全体的に「知らない」が多くなっており、特に難病では6割を超えています。一方、知的では「加入している」が4割近くで最も多くなっています。



**問43 あなたが地域で暮らしやすくしていくために、特に力を入れてほしいものは何ですか。
以下の中からあてはまるものをお選びください。(〇は5つまで)**

地域で暮らしやすくしていくために、特に力を入れてほしいものは、全体的に「情報提供・相談体制の充実」が多くなっているものの、高次脳機能では「福祉サービスの充実・質の向上」が3割半ばで最も多くなっています。また、発達では「障害者に対する住民の理解促進」が約4割、難病の「医療機関の充実・質の向上」と精神の「経済的援助の充実」が3割半ば程度となっています。

	n	情報提供・相談体制の充実	障害者に対する住民の理解促進	交流・福祉教育の充実	権利擁護・財産管理の充実	意思疎通・移動支援の充実	療育・教育の充実	福祉サービスの充実・質の向上	医療機関の充実・質の向上	入所施設の充実
身体	1,182	34.8	11.6	3.7	3.9	7.1	4.1	32.7	25.4	18.4
知的	280	35.7	33.2	8.2	17.9	15.0	16.4	41.1	14.3	29.3
精神	242	38.8	25.2	7.0	10.7	8.3	5.8	30.2	21.5	7.0
難病	222	37.8	12.6	2.7	5.9	5.9	5.9	28.8	34.2	22.5
高次脳機能	59	30.5	18.6	5.1	3.4	18.6	8.5	35.6	23.7	15.3
発達	181	40.3	39.2	10.5	16.6	16.0	17.7	38.1	16.0	30.4

	障害者交流の促進	経済的援助の充実	災害時における障害者への支援	生涯学習・スポーツの充実	職業訓練など就労支援の充実	働く場の確保	障害者に配慮した道路・建物等の整備	ボランティア・NPO・当事者団体等の活動支援	その他
身体	5.1	20.8	24.7	5.8	5.0	10.2	22.5	5.2	3.5
知的	8.9	33.6	31.4	7.5	17.9	33.2	9.3	8.9	3.6
精神	9.9	35.5	16.1	7.0	19.8	30.2	6.6	6.6	3.7
難病	4.1	30.2	23.9	4.5	4.5	11.7	16.2	4.1	3.6
高次脳機能	3.4	25.4	20.3	8.5	13.6	13.6	23.7	5.1	8.5
発達	11.6	33.7	26.5	7.2	28.2	35.4	6.1	10.5	2.8

問 40 で示された今後の生活に対する不安別に上位5つまでをみると、『就職・仕事のことについて』不安を感じている人では「働く場の確保」が約6割、『進学・学校生活について』不安を感じている人では「療育・教育の充実」が5割以上、『生活費について』不安を感じている人では「経済的援助の充実」が5割近くとなっており、それぞれ最も多くなっています。また、『住宅・生活の場所について』と『介助・支援をしてくれる人について』不安を感じている人では「福祉サービスの充実・質の向上」の割合が最も多くなっています。

【問 40 今後の生活に対する不安別】

	1位	2位	3位	4位	5位
身体のことについて (n=855)	情報提供・相談体制の充実	福祉サービスの充実・質の向上	医療機関の充実・質の向上	災害時における障害者への支援	経済的援助の充実
	46.3%	42.1%	35.9%	28.5%	27.6%
生活費について (n=617)	経済的援助の充実	情報提供・相談体制の充実	福祉サービスの充実・質の向上	医療機関の充実・質の向上	働く場の確保
	48.8%	44.1%	39.2%	29.8%	26.9%
住宅・生活の場所について (n=280)	福祉サービスの充実・質の向上	情報提供・相談体制の充実	経済的援助の充実	医療機関の充実・質の向上	入所施設の充実
	44.3%	41.8%	41.8%	29.6%	29.6%
介助・支援をしてくれる人について (n=337)	福祉サービスの充実・質の向上	情報提供・相談体制の充実	医療機関の充実・質の向上	経済的援助の充実	入所施設の充実
	50.7%	48.7%	33.8%	33.5%	33.2%
進学・学校生活について (n=64)	療育・教育の充実	情報提供・相談体制の充実	働く場の確保	福祉サービスの充実・質の向上	障害者に対する住民の理解促進
	54.7%	53.1%	43.8%	40.6%	34.4%
就職・仕事のことについて (n=278)	働く場の確保	情報提供・相談体制の充実	経済的援助の充実	福祉サービスの充実・質の向上	職業訓練など就労支援の充実
	59.7%	47.1%	40.6%	38.1%	32.0%
介助者・支援者の高齢化について (n=381)	情報提供・相談体制の充実	福祉サービスの充実・質の向上	災害時における障害者への支援	経済的援助の充実	入所施設の充実
	43.8%	43.8%	36.5%	31.0%	29.7%
その他 (n=63)	情報提供・相談体制の充実	福祉サービスの充実・質の向上	医療機関の充実・質の向上	経済的援助の充実	災害時における障害者への支援
	38.1%	30.2%	28.6%	27.0%	22.2%
特に不安はない (n=220)	情報提供・相談体制の充実	福祉サービスの充実・質の向上	障害者に配慮した道路・建物等の整備	医療機関の充実・質の向上	入所施設の充実
	23.6%	22.3%	17.3%	16.8%	16.4%

■ 介助者・支援者の方について

★こちらは、ご家族、ご友人の介助者・支援者を対象とします。(事業者は含みません)

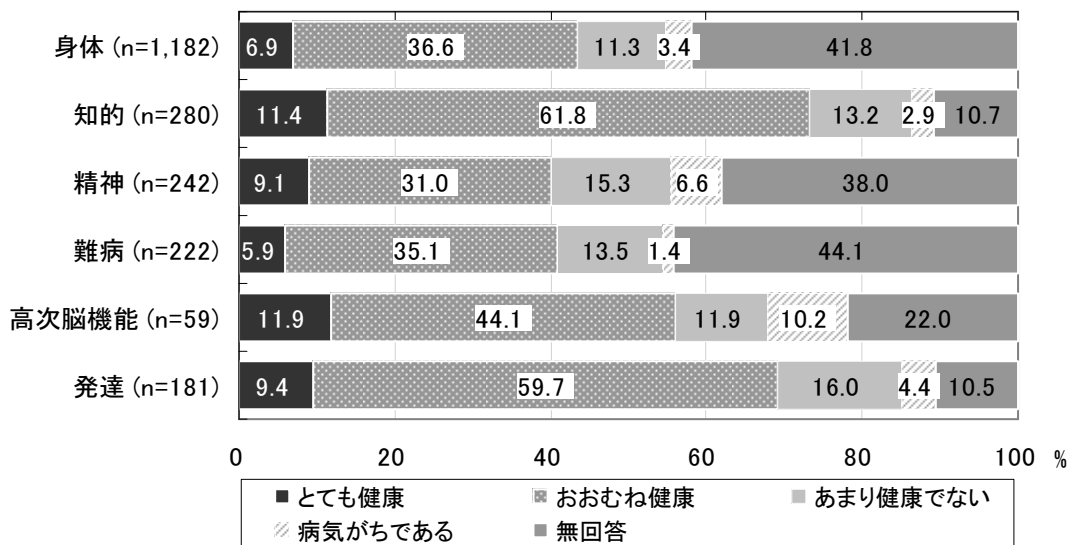
問45 介助者・支援者の方の年代をお答えください。(〇は1つ)

介助者・支援者の方の年代は、知的では「40代」、発達では「50代」の割合が最も多くなっています。一方、身体と精神、難病、高次脳機能では「70歳以上」の割合が最も多くなっており、特に高次脳機能では3割近くとなっています。

	n	10代	20代	30代	40代	50代	60歳 ～ 64歳	65歳 ～ 69歳	70歳以上	無回答
身体	1,182	0.2	0.3	2.3	9.3	10.2	6.3	8.3	21.0	42.2
知的	280	-	0.4	6.8	27.1	23.9	8.6	10.0	12.9	10.4
精神	242	-	1.7	4.5	7.9	8.7	8.7	12.0	18.2	38.4
難病	222	0.5	0.5	4.1	11.3	8.6	4.1	7.2	18.9	45.0
高次脳機能	59	-	-	6.8	13.6	15.3	6.8	5.1	28.8	23.7
発達	181	-	1.1	7.7	27.6	23.2	8.8	10.5	9.4	11.6

問46 介助者・支援者の方の健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

介助者・支援者の方の健康状態は、全体的に「とても健康」と「おおむね健康」を合わせた『健康』の割合が多くなっており、特に知的では7割以上、発達では7割近くとなっています。一方、高次脳機能では「病気がちである」が1割を超えています。



問47 介助・支援をする際にどのような悩みをお持ちですか。(あてはまるものすべてに○)

介助・支援をする際の悩みは、全体的に「将来どうなるかが不安」の割合が最も多くなっており、特に知的と発達では7割を超えています。次いで、身体と難病では「特にない」の割合が多くなっている一方、高次脳機能と発達では「自分の時間がもてない」、精神では「経済的な負担が大きい」、知的では「相談や世話を頼める人がいない」の割合が多くなっています。

	n	介助・支援の方法がわからない	自分の時間がもてない	外出ができない	仕事に出られない	経済的な負担が大きい	家族の世話ができない	家族の理解が不足している
身体	1,182	4.4	12.2	7.8	4.8	10.6	2.0	2.4
知的	280	5.7	20.4	12.9	13.9	15.7	5.4	5.4
精神	242	7.0	11.6	5.0	5.8	12.8	0.8	7.4
難病	222	6.8	10.4	9.5	5.9	8.6	1.8	3.2
高次脳機能	59	5.1	40.7	18.6	16.9	28.8	6.8	6.8
発達	181	6.1	23.8	13.8	14.4	18.2	5.5	7.2

	地域の人の理解が不足している	相談や世話を頼める人がいない	将来どうなるかが不安	その他	特にない	無回答
身体	3.0	8.8	32.2	2.1	12.5	45.0
知的	14.3	22.1	70.0	8.9	9.3	12.9
精神	3.7	11.2	40.5	3.7	11.6	39.3
難病	2.3	8.1	36.0	3.2	11.3	46.4
高次脳機能	5.1	22.0	52.5	3.4	6.8	22.0
発達	12.7	23.2	71.8	8.3	8.8	11.0

問48 自分が介助・支援ができなくなった場合、どのようにしたいとお考えですか。

(○は1つ)

介助・支援ができなくなった場合の対策は、全体的に「施設・病院を利用する」または「本人が自活できるようにしたい」の割合が最も多くなっています。次いで、難病では「家族・親族に介助・支援を頼む」、身体と高次脳機能では、「ホームヘルパーに介助・支援を頼む」の割合が1割前後となっています。

	n	家族・親族に介助・支援を頼む	友人・知人に介助・支援を頼む	ホームヘルパーに介助・支援を頼む	ボランティアに介助・支援を頼む	施設・病院を利用する	本人が自活できるようにしたい	その他	特に考えていない	無回答
身体	1,182	8.5	0.3	9.6	0.8	19.5	7.2	1.9	6.1	46.1
知的	280	10.7	0.4	8.6	1.8	23.6	21.8	8.2	3.2	21.8
精神	242	4.5	0.4	6.6	1.2	14.0	17.8	3.3	7.9	44.2
難病	222	12.6	0.5	3.6	1.8	19.4	6.8	0.9	4.5	50.0
高次脳機能	59	5.1	-	10.2	-	33.9	6.8	6.8	3.4	33.9
発達	181	14.9	0.6	9.4	2.8	19.9	22.7	6.6	3.9	19.3

第 3 章 単純集計表

◎記入者

No.	カテゴリー名	n	%
1	ご本人が回答	914	52.1
2	ご家族が回答	271	15.5
3	その他の方の回答	20	1.1
	全体	1,754	

問1 性別

No.	カテゴリー名	n	%
1	男性	867	49.4
2	女性	853	48.6
	無回答	34	1.9
	全体	1,754	

問2 だれと住んでいるか

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとり暮らし	267	15.2
2	親	440	25.1
3	兄弟姉妹	227	12.9
4	祖父母	37	2.1
5	配偶者(妻, 夫)	778	44.4
6	子ども(子どもの配偶者)	415	23.7
7	孫	76	4.3
8	その他の親族	14	0.8
9	友人・知人	4	0.2
10	グループホーム・ケアホームの仲間	27	1.5
11	施設の仲間	30	1.7
12	その他	26	1.5
	無回答	38	2.2
	全体	1,754	

問3 お住まいの地域

No.	カテゴリー名	n	%
1	東元町	145	8.3
2	西元町	62	3.5
3	南町	80	4.6
4	泉町	148	8.4
5	本町	70	4.0
6	本多	102	5.8
7	東恋ヶ窪	132	7.5
8	西恋ヶ窪	96	5.5
9	東戸倉	48	2.7
10	戸倉	158	9.0
11	日吉町	92	5.2
12	内藤	69	3.9
13	富士本	67	3.8
14	新町	51	2.9
15	並木町	48	2.7
16	北町	49	2.8
17	光町	80	4.6
18	高木町	49	2.8
19	西町	156	8.9
	無回答	52	3.0
	全体	1,754	

問4 国分寺市に住んでどのくらいか

No.	カテゴリー名	n	%
1	1年未満	26	1.5
2	1年以上3年未満	72	4.1
3	3年以上5年未満	64	3.6
4	5年以上10年未満	176	10.0
5	10年以上20年未満	360	20.5
6	20年以上	1,022	58.3
	無回答	34	1.9
	全体	1,754	

問5 身体障害者手帳について

No.	カテゴリー名	n	%
1	1級	460	26.2
2	2級	203	11.6
3	3級	234	13.3
4	4級	240	13.7
5	5級	41	2.3
6	6級	4	0.2
7	持っていない	410	23.4
	無回答	162	9.2
	全体	1,754	

問5(1)-1 障害の種類・部位

No.	カテゴリー名	n	%
1	視覚障害	88	5.0
2	聴覚障害	71	4.0
3	平衡機能障害	40	2.3
4	音声・言語・そしゃく機能障害	86	4.9
5	肢体不自由(上肢)	251	14.3
6	肢体不自由(下肢)	477	27.2
7	肢体不自由(体幹機能)	167	9.5
8	内部障害(心臓, 呼吸器, じん臓, ぼうこう, 直腸, 小腸, 肝臓)	494	28.2
9	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	10	0.6
10	その他	239	13.6
	無回答	350	20.0
	全体	1,754	

問5(1)-2 主な障害の種類・部位

No.	カテゴリー名	n	%
1	視覚障害	49	3.5
2	聴覚障害	38	2.7
3	平衡機能障害	9	0.6
4	音声・言語・そしゃく機能障害	22	1.6
5	肢体不自由(上肢)	76	5.4
6	肢体不自由(下肢)	196	14.0
7	肢体不自由(体幹機能)	84	6.0
8	内部障害(心臓, 呼吸器, じん臓, ぼうこう, 直腸, 小腸, 肝臓)	305	21.7
9	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害	4	0.3
10	その他	69	4.9
	無回答	552	39.3
	全体	1,404	

問5(2) 愛の手帳

No.	カテゴリー名	n	%
1	1度	22	1.3
2	2度	84	4.8
3	3度	65	3.7
4	4度	109	6.2
5	持っていない	925	52.7
	無回答	549	31.3
	全体	1,754	

問5(3) 精神障害者保健福祉手帳

No.	カテゴリー名	n	%
1	1級	35	2.0
2	2級	130	7.4
3	3級	77	4.4
4	持っていない	982	56.0
	無回答	530	30.2
	全体	1,754	

問5(4) 自立支援医療(精神通院医療)受給者証

No.	カテゴリー名	n	%
1	持っている	262	14.9
2	持っていない	992	56.6
	無回答	500	28.5
	全体	1,754	

問5(5) 特殊疾病(難病)者福祉手当

No.	カテゴリー名	n	%
1	受けている	222	12.7
2	受けていない	1,012	57.7
	無回答	520	29.6
	全体	1,754	

問5(6) 高次脳機能障害

No.	カテゴリー名	n	%
1	高次脳機能障害がある	59	3.4
2	高次脳機能障害はない	1,143	65.2
	無回答	552	31.5
	全体	1,754	

問5(7) 発達障害

No.	カテゴリー名	n	%
1	発達障害がある	181	10.3
2	発達障害はない	1,032	58.8
3	無回答	541	30.8
	全体	1,754	

問5(8) 要介護認定を受けているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	要介護認定を受けている	384	21.9
2	要介護認定を受けていない	1,121	63.9
3	無回答	249	14.2
	全体	1,754	

問5(8) 認定要介護度区分

No.	カテゴリー名	n	%
1	要支援1	50	13.0
2	要支援2	51	13.3
3	要介護1	72	18.8
4	要介護2	65	16.9
5	要介護3	44	11.5
6	要介護4	40	10.4
7	要介護5	52	13.5
8	無回答	10	2.6
	全体	384	

問6 主に行っている日中活動

No.	カテゴリー名	n	%
1	通園・通学している	144	8.2
2	仕事をしている(※給料等が出ている場合でも通所事業所は含みません)	333	19.0
3	通所している	211	12.0
4	その他	687	39.2
	無回答	379	21.6
	全体	1,754	

問7 現在の通園・通学先

No.	カテゴリー名	n	%
1	通園施設(療育施設)	9	6.3
2	保育所・保育園	4	2.8
3	幼稚園	1	0.7
4	特別支援学校幼稚部	0	0.0
5	こどもの発達センターつくしんぼ	4	2.8
6	特別支援学校小・中学部	31	21.5
7	特別支援学校高等部	30	20.8
8	普通学級(小・中学校)	11	7.6
9	特別支援学級(小・中学校)	22	15.3
10	通級指導学級(小・中学校)	3	2.1
11	盲・ろう学校	4	2.8
12	高等学校(全日制)	6	4.2
13	高等学校(定時制を含むその他の課程)	3	2.1
14	職業訓練校	1	0.7
15	専門学校・専修学校	1	0.7
16	短大	0	0.0
17	大学・大学院	9	6.3
18	その他	4	2.8
	無回答	5	3.5
	全体	144	

問8 通園・通学上、困っていること

No.	カテゴリー名	n	%
1	通園・通学先が遠い	25	17.4
2	通園・通学の付き添いの確保が不十分	14	9.7
3	トイレ等の設備が不十分	7	4.9
4	園内・校内での介助・支援が不十分	13	9.0
5	職員・教員の理解が不足	16	11.1
6	通園、通学している人同士の障害への理解が不足	12	8.3
7	希望する学級に入れない	4	2.8
8	その他	22	15.3
9	特になし	67	46.5
	無回答	5	3.5
	全体	144	

問9 卒業後の進路

No.	カテゴリー名	n	%
1	通学したい	71	49.3
2	障害児通所支援(児童発達支援など)を利用したい	3	2.1
3	働きたい	39	27.1
4	障害者の施設に通所したい	16	11.1
5	障害者の施設に入所したい	3	2.1
6	その他	6	4.2
	無回答	6	4.2
	全体	144	

問10 仕事の形態

No.	カテゴリー名	n	%
1	会社などの正規の社員・職員(役員を含む)	137	41.1
2	非正規の社員(契約社員, パート, アルバイト等)	121	36.3
3	自営業	33	9.9
4	家業の手伝い	9	2.7
5	内職	1	0.3
6	その他	15	4.5
	無回答	17	5.1
	全体	333	

問11 どのように仕事を探したか

No.	カテゴリー名	n	%
1	自分で探した	151	45.3
2	ハローワークで探した	27	8.1
3	就労移行支援事業所で探した	24	7.2
4	その他の方法で探した	84	25.2
	無回答	47	14.1
	全体	333	

問 12(1) ひと月の平均何日就労日数

No.	カテゴリー名	n	%
1	10 日以下	29	8.7
2	11～15 日	26	7.8
3	16～20 日	156	46.8
4	21～25 日	94	28.2
5	26 日以上	5	1.5
	無回答	23	6.9
	全体	333	

問 12(2)1 日の平均就労時間

No.	カテゴリー名	n	%
1	4時間以下	35	10.5
2	5～6時間	64	19.2
3	7～8時間	169	50.8
4	9～10 時間	33	9.9
5	11 時間以上	7	2.1
	無回答	25	7.5
	全体	333	

問 13(1)ひと月の希望就労日数

No.	カテゴリー名	n	%
1	10 日以下	20	6.0
2	11～15 日	33	9.9
3	16～20 日	142	42.6
4	21～25 日	66	19.8
5	26 日以上	3	0.9
	無回答	69	20.7
	全体	333	

問 13(2)1 日の希望就労時間

No.	カテゴリー名	n	%
1	4時間以下	21	6.3
2	5～6時間	65	19.5
3	7～8時間	161	48.3
4	9～10 時間	13	3.9
5	11 時間以上	0	0.0
	無回答	73	21.9
	全体	333	

問 14 仕事に関する悩みや不満

No.	カテゴリー名	n	%
1	仕事の内容や労働条件(労働時間や日数等)が障害の程度にあっていない	16	4.8
2	仕事の内容や労働条件(労働時間や日数等)が希望にあわない	26	7.8
3	職場の障害に対する理解が不足している	31	9.3
4	職場の人間関係がうまくいかない	21	6.3
5	通勤が大変である	23	6.9
6	トイレなどの職場の設備が不十分	14	4.2
7	賃金や待遇面で不満がある	29	8.7
8	周囲の目が気になる	13	3.9
9	周囲の人の手助けが得られない	4	1.2
10	自分の考えや思ったことが伝えられない	19	5.7
11	相談できる人がいない	21	6.3
12	その他	21	6.3
13	特に悩みや不満はない	180	54.1
	無回答	33	9.9
	全体	333	

問 15 今後働きたい形態

No.	カテゴリー名	n	%
1	会社などの正規の社員・職員(役員を含む)	169	50.8
2	非正規の社員(契約社員, パート, アルバイト等)	78	23.4
3	自営業	34	10.2
4	家業の手伝い	8	2.4
5	内職	5	1.5
6	就労継続支援 A 型(雇用型)	8	2.4
7	その他	24	7.2
	無回答	41	12.3
	全体	333	

問 16 現在、仕事を探しているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	探している	28	13.3
2	探していない	135	64.0
3	無回答	48	22.7
	全体	211	

問 16-1 どのように探しているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	自分で探している	4	14.3
2	ハローワークで探している	5	17.9
3	就労移行支援事業所で探している	7	25.0
4	その他の方法で探している	4	14.3
	無回答	8	28.6
	全体	28	

問 16-2 どのような形で働きたいか

No.	カテゴリー名	n	%
1	会社などの正規の社員・職員(役員を含む)	13	46.4
2	非正規の社員(契約社員, パート, アルバイト等)	12	42.9
3	自営業	0	0.0
4	家業の手伝い	0	0.0
5	内職	0	0.0
6	就労継続支援 A 型(雇用型)	4	14.3
7	その他	4	14.3
	無回答	4	14.3
	全体	28	

問 17 障害のある人が働くために必要なこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	企業などが積極的に障害のある人を雇うこと	400	22.8
2	障害のある人に配慮した職場の施設・設備が整っていること	420	23.9
3	労働条件(短時間労働など)が整っていること	344	19.6
4	生活できる給料がもらえること	367	20.9
5	事業主や職場の仲間の理解があること	446	25.4
6	障害のある人を雇用する, または雇用しようとする企業への公的支援	343	19.6
7	仕事をするための訓練・研修の機会が充実していること	277	15.8
8	自営業を希望する障害のある人への支援が充実していること	155	8.8
9	通勤(交通)手段が確保されていること	271	15.5
10	働く場の紹介や職場になれるまで仕事場に同行したり, 相談にのる人がいること	268	15.3
11	健康管理が充実していること	244	13.9
12	働く場が整備されていること	243	13.9
13	公営住宅やアパート, グループホームなどの住居が整備されていること	197	11.2
14	その他	40	2.3
15	特に必要ない	34	1.9
	無回答	1,086	61.9
	全体	1,754	

問 18 1年間の収入

No.	カテゴリー名	n	%
1	無収入	190	10.8
2	50万円未満	76	4.3
3	50～100万円未満	173	9.9
4	100～200万円未満	274	15.6
5	200～300万円未満	306	17.4
6	300～500万円未満	271	15.5
7	500～800万円未満	139	7.9
8	800～1,000万円未満	55	3.1
9	1,000万円以上	40	2.3
10	わからない	55	3.1
	無回答	175	10.0
	全体	1,754	

問 19 生活を支えている主な収入

No.	カテゴリー名	n	%
1	公的年金収入(国民年金, 厚生年金, 障害年金, 恩給など)	844	48.1
2	生命保険等の私的年金	2	0.1
3	働いて得た収入	392	22.3
4	不動産収入や株の配当	31	1.8
5	親族などからの援助	92	5.2
6	貯金を切り崩して	29	1.7
7	生活保護	63	3.6
8	その他	34	1.9
9	わからない	9	0.5
	無回答	258	14.7
	全体	1,754	

問 20 お住まい

No.	カテゴリー名	n	%
1	持ち家	1,119	63.8
2	民間賃貸住宅	240	13.7
3	公営住宅	157	9.0
4	社宅や公務員住宅	29	1.7
5	施設に入所	34	1.9
6	グループホーム・ケアホーム	25	1.4
7	その他	94	5.4
	全体	1,754	

問 21 住み替えの経験

No.	カテゴリー名	n	%
1	住み替えをしたことがある	856	48.8
2	できれば住み替えたいが、実現できそうにない	106	6.0
3	将来住み替えを予定している	59	3.4
4	特に住み替えは考えていない	574	32.7
	無回答	159	9.1
	全体	1,754	

問 21-1 住み替えの際の心配事、困ったこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	新しい環境に馴染めるか不安だった	275	32.1
2	毎月の支払いができるか心配だった	138	16.1
3	希望どおりの物件がなかなか見当たらなかった	126	14.7
4	家族の同意が得られるか心配だった	25	2.9
5	保証人になってくれる人が見つからなかった	28	3.3
6	不動産屋や大家さんとの契約が難しかった	22	2.6
7	引越しの手続きや作業を自分でできるか不安だった	54	6.3
8	その他	188	22.0
	無回答	209	24.4
	全体	856	

問 22 A職場学校、通所施設 出かける回数

No.	カテゴリー名	n	%
1	ほとんど毎日	421	
2	週に3～4回くらい	153	
3	週に1～2回くらい	71	
4	月に数回くらい	29	
5	年に数回くらい	13	
6	行かない	207	
	無回答	860	
	全体	1,754	

問 22 B日常的な外出 出かける回数

No.	カテゴリー名	n	%
1	ほとんど毎日	295	16.8
2	週に3～4回くらい	243	13.9
3	週に1～2回くらい	419	23.9
4	月に数回くらい	123	7.0
5	年に数回くらい	34	1.9
6	行かない	56	3.2
	無回答	584	33.3
	全体	1,754	

問 22 C余暇、趣味 出かける回数

No.	カテゴリー名	n	%
1	ほとんど毎日	45	2.6
2	週に3～4回くらい	78	4.4
3	週に1～2回くらい	269	15.3
4	月に数回くらい	281	16.0
5	年に数回くらい	102	5.8
6	行かない	212	12.1
	無回答	767	43.7
	全体	1,754	

問 22 D医療機関 出かける回数

No.	カテゴリー名	n	%
1	ほとんど毎日	46	2.6
2	週に3～4回くらい	118	6.7
3	週に1～2回くらい	142	8.1
4	月に数回くらい	512	29.2
5	年に数回くらい	357	20.4
6	行かない	73	4.2
	無回答	506	28.8
	全体	1,754	

問 22 A職場学校、通所施設 主な場所

No.	カテゴリー名	n	%
1	市内	284	16.2
2	市外	391	22.3
	無回答	1,079	61.5
	全体	1,754	

問 22 B日常的な外出 主な場所

No.	カテゴリー名	n	%
1	市内	824	47.0
2	市外	208	11.9
	無回答	722	41.2
	全体	1,754	

問 22 C余暇、趣味 主な場所

No.	カテゴリー名	n	%
1	市内	305	17.4
2	市外	424	24.2
	無回答	1,025	58.4
	全体	1,754	

問 22 D医療機関 主な場所

No.	カテゴリー名	n	%
1	市内	377	21.5
2	市外	682	38.9
	無回答	695	39.6
	全体	1,754	

問 22 A職場学校、通所施設 主な交通手段

No.	カテゴリー名	n	%
1	徒歩	97	5.5
2	バス	66	3.8
3	電車	249	14.2
4	タクシー	5	0.3
5	自転車	62	3.5
6	バイク	5	0.3
7	自家用車	71	4.0
8	施設の送迎車	87	5.0
9	移動サービス(福祉有償運送)	6	0.3
10	その他	10	0.6
	無回答	1,096	62.5
	全体	1,754	

問 22 B日常的な外出 主な交通手段

No.	カテゴリー名	n	%
1	徒歩	404	23.0
2	バス	77	4.4
3	電車	86	4.9
4	タクシー	6	0.3
5	自転車	153	8.7
6	バイク	2	0.1
7	自家用車	257	14.7
8	施設の送迎車	2	0.1
9	移動サービス(福祉有償運送)	4	0.2
10	その他	22	1.3
	無回答	741	42.2
	全体	1,754	

問 22 C余暇、趣味 主な交通手段

No.	カテゴリー名	n	%
1	徒歩	125	7.1
2	バス	64	3.6
3	電車	258	14.7
4	タクシー	6	0.3
5	自転車	81	4.6
6	バイク	4	0.2
7	自家用車	157	9.0
8	施設の送迎車	9	0.5
9	移動サービス(福祉有償運送)	11	0.6
10	その他	11	0.6
	無回答	1,028	58.6
	全体	1,754	

問 22 D医療機関 主な交通手段

No.	カテゴリー名	n	%
1	徒歩	134	7.6
2	バス	109	6.2
3	電車	278	15.8
4	タクシー	69	3.9
5	自転車	99	5.6
6	バイク	6	0.3
7	自家用車	269	15.3
8	施設の送迎車	44	2.5
9	移動サービス(福祉有償運送)	31	1.8
10	その他	25	1.4
	無回答	690	39.3
	全体	1,754	

問 22 A職場学校、通所施設 一緒にでかける人

No.	カテゴリー名	n	%
1	なし(一人で)	510	29.1
2	家族	91	5.2
3	友人, 知人	8	0.5
4	介助者(ヘルパーやボランティア)	38	2.2
5	その他	23	1.3
	無回答	1,084	61.8
	全体	1,754	

問 22 B日常的な外出 一緒にでかける人

No.	カテゴリー名	n	%
1	なし(一人で)	519	29.6
2	家族	463	26.4
3	友人, 知人	29	1.7
4	介助者(ヘルパーやボランティア)	22	1.3
5	その他	4	0.2
	無回答	717	40.9
	全体	1,754	

問 22 C余暇、趣味 一緒にでかける人

No.	カテゴリー名	n	%
1	なし(一人で)	389	22.2
2	家族	209	11.9
3	友人, 知人	95	5.4
4	介助者(ヘルパーやボランティア)	56	3.2
5	その他	7	0.4
	無回答	998	56.9
	全体	1,754	

問 22 D医療機関 一緒にでかける人

No.	カテゴリー名	n	%
1	なし(一人で)	605	34.5
2	家族	444	25.3
3	友人, 知人	9	0.5
4	介助者(ヘルパーやボランティア)	45	2.6
5	その他	9	0.5
	無回答	642	36.6
	全体	1,754	

問 23 防災訓練等に参加したか

No.	カテゴリー名	n	%
1	参加した	373	21.3
2	参加していない	1,326	75.6
	無回答	55	3.1
	全体	1,754	

問 24 避難場所を知っているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	知っている	1,148	65.5
2	知らない	541	30.8
	無回答	65	3.7
	全体	1,754	

問 25 災害発生時、安否確認してくれる人

No.	カテゴリー名	n	%
1	近所にいる	652	37.2
2	市内にいる	483	27.5
3	市外にいる	643	36.7
4	誰もいない	174	9.9
	無回答	111	6.3
	全体	1,754	

問 26 災害時の不安や心配事

No.	カテゴリー名	n	%
1	自力では、避難場所まで行くことがむずかしい	524	29.9
2	障害があるため、救助を求めることがむずかしい	318	18.1
3	救助を求めても、身近に救助に来てくれる人がいない	210	12.0
4	障害があるため、災害がおきたことや内容について情報が得られない	242	13.8
5	自分の障害に配慮した避難所がない	345	19.7
6	避難所で、自分を介助してくれる人を確保できるか心配	337	19.2
7	災害時に、自分の障害に対応した必要な治療など(薬、パウチ、透析場所等)が確保できない	477	27.2
8	まわりの人との意思疎通やコミュニケーションがうまくできない	336	19.2
9	その他	124	7.1
10	特になし	472	26.9
11	わからない	156	8.9
	無回答	130	7.4
	全体	1,754	

問 27 ア. 食事

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	1,486	84.7
2	一部介助が必要	122	7.0
3	全面的に介助が必要	94	5.4
	無回答	52	3.0
	全体	1,754	

問 27 イ. 調理

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	958	54.6
2	一部介助が必要	214	12.2
3	全面的に介助が必要	447	25.5
	無回答	135	7.7
	全体	1,754	

問 27 ウ. トイレ

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	1,424	81.2
2	一部介助が必要	144	8.2
3	全面的に介助が必要	132	7.5
	無回答	54	3.1
	全体	1,754	

問 27 エ. 着替え

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	1,377	78.5
2	一部介助が必要	190	10.8
3	全面的に介助が必要	130	7.4
	無回答	57	3.2
	全体	1,754	

問 27 オ. 入浴

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	1,270	72.4
2	一部介助が必要	205	11.7
3	全面的に介助が必要	220	12.5
	無回答	59	3.4
	全体	1,754	

問 27 カ. 掃除・洗濯

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	982	56.0
2	一部介助が必要	262	14.9
3	全面的に介助が必要	399	22.7
	無回答	111	6.3
	全体	1,754	

問 27 キ. 室内の移動

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	1,433	81.7
2	一部介助が必要	134	7.6
3	全面的に介助が必要	118	6.7
	無回答	69	3.9
	全体	1,754	

問 27 ク. お金の管理

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	1,142	65.1
2	一部介助が必要	183	10.4
3	全面的に介助が必要	343	19.6
	無回答	86	4.9
	全体	1,754	

問 27 ケ. 外出(買い物なども含む)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	1,019	58.1
2	一部介助が必要	292	16.6
3	全面的に介助が必要	365	20.8
	無回答	78	4.4
	全体	1,754	

問 27 コ. 人とのコミュニケーション

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	1,185	67.6
2	一部介助が必要	282	16.1
3	全面的に介助が必要	190	10.8
	無回答	97	5.5
	全体	1,754	

問 27 サ. 規則的な服薬

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	1,264	72.1
2	一部介助が必要	186	10.6
3	全面的に介助が必要	220	12.5
	無回答	84	4.8
	全体	1,754	

問 27 シ. 身だしなみを整える

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	1,246	71.0
2	一部介助が必要	260	14.8
3	全面的に介助が必要	181	10.3
	無回答	67	3.8
	全体	1,754	

問 27 ス. 各種手続き(銀行や市役所等)

No.	カテゴリー名	n	%
1	ひとりでできる(補助具の使用を含む)	921	52.5
2	一部介助が必要	244	13.9
3	全面的に介助が必要	504	28.7
	無回答	85	4.8
	全体	1,754	

問 28 日常生活で介助を受けているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	受けている	761	43.4
2	まったく受けていない	925	52.7
3	無回答	68	3.9
	全体	1,754	

問 28-1 介助が必要な日数 1 週間につき

No.	カテゴリー名	n	%
1	毎日	453	59.5
2	週に4～6日	48	6.3
3	週に2～3日	116	15.2
4	週に1日以下	101	13.3
	無回答	43	5.7
	全体	761	

問 28-2 介助に必要な時間 1 日平均

No.	カテゴリー名	n	%
1	1時間未満	204	26.8
2	1～5時間未満	235	30.9
3	5～10 時間未満	71	9.3
4	10 時間以上	132	17.3
	無回答	119	15.6
	全体	761	

問 28-3 ア. 主な介助者

No.	カテゴリー名	n	%
1	親	202	26.5
2	配偶者	174	22.9
3	子ども	71	9.3
4	子どもの配偶者	14	1.8
5	兄弟姉妹	14	1.8
6	その他の親族	1	0.1
7	近隣の人・知人・友人	6	0.8
8	ヘルパー	85	11.2
9	ボランティア	2	0.3
10	その他	41	5.4
	無回答	151	19.8
	全体	761	

問 28-3 イ. 他の介助者

No.	カテゴリー名	n	%
1	家族	168	22.1
2	ヘルパー	132	17.3
3	ボランティア	19	2.5
4	その他	62	8.1
	無回答	450	59.1
	全体	761	

問 29 障害福祉サービスを利用しているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用したことがある(現在利用中も含む)	605	34.5
2	利用したことがない	885	50.5
	無回答	264	15.1
	全体	1,754	

問 29-1 サービスを利用していない理由

No.	カテゴリー名	n	%
1	内容がよくわからなかったため	184	20.8
2	手続きが面倒であるため	50	5.6
3	利用料の負担が大きい	27	3.1
4	サービスの質に不満があるため	16	1.8
5	申請したが利用できなかったため	13	1.5
6	必要がなかったため	550	62.1
7	その他	75	8.5
	無回答	100	11.3
	全体	885	

問 30 ①障害福祉サービス等 A現在利用中

No.	カテゴリー名	n	%
1	居宅介護	79	4.5
2	重度訪問介護	14	0.8
3	行動援護	31	1.8
4	同行援護	22	1.3
5	重度障害者等包括支援	4	0.2
6	生活介護	56	3.2
7	短期入所(ショートステイ)	94	5.4
8	療養介護	13	0.7
9	共同生活介護(ケアホーム)	28	1.6
10	施設入所支援	14	0.8
11	就労移行支援	19	1.1
12	就労継続支援(A型)	10	0.6
13	就労継続支援(B型)	52	3.0
14	自立訓練(機能訓練)	37	2.1
15	自立訓練(生活訓練)	17	1.0
16	共同生活援助(グループホーム)	6	0.3
17	障害児相談支援	7	0.4
18	計画相談支援	29	1.7
19	地域移行支援	0	0.0
20	地域定着支援	3	0.2
21	児童発達支援	11	0.6
22	医療型児童発達支援	4	0.2
23	放課後等デイサービス	27	1.5
24	保育所等訪問支援	2	0.1
25	福祉型障害児入所施設	2	0.1
26	医療型障害児入所施設	4	0.2
	無回答	1,377	78.5
	全体	1,754	

問 30 ②地域生活支援事業 A現在利用中

No.	カテゴリー名	n	%
1	障害者相談支援事業	89	5.1
2	意思疎通支援	15	0.9
3	日常生活用具給付等	71	4.0
4	住宅設備改善費の給付	26	1.5
5	自動車運転免許取得費の助成	5	0.3
6	自動車改造費の助成	2	0.1
7	移動支援事業	89	5.1
8	地域活動支援センター事業	45	2.6
9	日中時間預かり事業(日中一時支援事業)	63	3.6
10	重度心身障害者(児)巡回入浴サービス	13	0.7
	無回答	1,446	82.4
	全体	1,754	

問 30 ③医療費の助成, その他 A現在利用中 (MA)

No.	カテゴリー名	n	%
1	自立支援医療(育成医療)	12	0.7
2	自立支援医療(更生医療)	13	0.7
3	自立支援医療(精神通院医療)	162	9.2
4	心身障害者(児)医療費助成	114	6.5
5	難病患者等医療費助成	180	10.3
6	成年後見制度	11	0.6
7	給食サービス	20	1.1
8	心身障害者(児)通院・通所訓練等交通費助成	96	5.5
9	理容・美容券の支給	120	6.8
10	緊急通報システムの貸与	9	0.5
	無回答	1,186	67.6
	全体	1,754	

問 30 ①障害福祉サービス等 B今後利用したい

No.	カテゴリー名	n	%
1	居宅介護	63	3.6
2	重度訪問介護	12	0.7
3	行動援護	56	3.2
4	同行援護	40	2.3
5	重度障害者等包括支援	15	0.9
6	生活介護	78	4.4
7	短期入所(ショートステイ)	103	5.9
8	療養介護	26	1.5
9	共同生活介護(ケアホーム)	33	1.9
10	施設入所支援	35	2.0
11	就労移行支援	43	2.5
12	就労継続支援(A型)	41	2.3
13	就労継続支援(B型)	43	2.5
14	自立訓練(機能訓練)	53	3.0
15	自立訓練(生活訓練)	42	2.4
16	共同生活援助(グループホーム)	52	3.0
17	障害児相談支援	19	1.1
18	計画相談支援	37	2.1
19	地域移行支援	15	0.9
20	地域定着支援	17	1.0
21	児童発達支援	14	0.8
22	医療型児童発達支援	6	0.3
23	放課後等デイサービス	34	1.9
24	保育所等訪問支援	4	0.2
25	福祉型障害児入所施設	5	0.3
26	医療型障害児入所施設	2	0.1
	無回答	1,300	74.1
	全体	1,754	

問 30 ②地域生活支援事業 B今後利用したい

No.	カテゴリー名	n	%
1	障害者相談支援事業	113	6.4
2	意思疎通支援	28	1.6
3	日常生活用具給付等	94	5.4
4	住宅設備改善費の給付	101	5.8
5	自動車運転免許取得費の助成	29	1.7
6	自動車改造費の助成	31	1.8
7	移動支援事業	122	7.0
8	地域活動支援センター事業	56	3.2
9	日中時間預かり事業(日中一時支援事業)	65	3.7
10	重度心身障害者(児)巡回入浴サービス	14	0.8
	無回答	1,324	75.5
	全体	1,754	

問 30 ③医療費の助成, その他 B今後利用したい

No.	カテゴリー名	n	%
1	自立支援医療(育成医療)	23	1.3
2	自立支援医療(更生医療)	24	1.4
3	自立支援医療(精神通院医療)	67	3.8
4	心身障害者(児)医療費助成	85	4.8
5	難病患者等医療費助成	115	6.6
6	成年後見制度	116	6.6
7	給食サービス	105	6.0
8	心身障害者(児)通院・通所訓練等交通費助成	68	3.9
9	理容・美容券の支給	121	6.9
10	緊急通報システムの貸与	133	7.6
	無回答	1,198	68.3
	全体	1,754	

問 31 通所サービスを利用する上での困りごと

No.	カテゴリー名	n	%
1	場所が遠い	94	5.4
2	付き添いの確保	46	2.6
3	設備が不十分	19	1.1
4	職員の理解が不足	40	2.3
5	希望する施設を利用できない	47	2.7
6	サービスの内容が自分に合っていない	77	4.4
7	その他	86	4.9
8	特になし	589	33.6
	無回答	876	49.9
	全体	1,754	

問 32 ア. 成年後見制度

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	26	1.5
2	利用していない 利用の仕方は知っている	294	16.8
3	利用していない 聞いたことがある程度	709	40.4
4	利用していない 知らない	422	24.1
	無回答	303	17.3
	全体	1,754	

問 32 イ. 地域福祉権利擁護事業

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	20	1.1
2	利用していない 利用の仕方は知っている	123	7.0
3	利用していない 聞いたことがある程度	417	23.8
4	利用していない 知らない	860	49.0
	無回答	334	19.0
	全体	1,754	

問 32 ウ. 災害時要援護者登録制度

No.	カテゴリー名	n	%
1	利用している	202	11.5
2	利用していない 利用の仕方は知っている	212	12.1
3	利用していない 聞いたことがある程度	394	22.5
4	利用していない 知らない	648	36.9
	無回答	298	17.0
	全体	1,754	

問 33 障害者虐待防止相談窓口を知っているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	はい	210	12.0
2	いいえ	1,274	72.6
	無回答	270	15.4
	全体	1,754	

問 34 情報の入手先

No.	カテゴリー名	n	%
1	市のお知らせ(窓口や広報紙など)	957	54.6
2	社会福祉協議会のお知らせ(窓口や広報紙など)	238	13.6
3	保健・医療機関	223	12.7
4	民生委員・児童委員や身体・知的障害者相談員	57	3.2
5	障害者団体	150	8.6
6	福祉施設	136	7.8
7	家族や近所の人	252	14.4
8	テレビや新聞・雑誌	263	15.0
9	インターネット	171	9.7
10	その他	84	4.8
11	特に得ていない	276	15.7
	無回答	173	9.9
	全体	1,754	

問 35 困ったときの相談先

No.	カテゴリー名	n	%
1	家族	1,074	61.2
2	障害のある仲間	145	8.3
3	友人・知人	195	11.1
4	病院のスタッフ	382	21.8
5	施設や勤務先のスタッフ	120	6.8
6	民生委員・児童委員や身体・知的障害者相談員	30	1.7
7	相談支援事業(つばさ・プラッツ・虹)のスタッフ	94	5.4
8	ホームヘルパー, ガイドヘルパーなど	77	4.4
9	地域活動支援センター	79	4.5
10	市役所の相談窓口	205	11.7
11	相談する人がいない	46	2.6
12	あまり相談したことはない	297	16.9
13	その他	105	6.0
	無回答	148	8.4
	全体	1,754	

問 36 公的相談支援機関への相談経験

No.	カテゴリー名	n	%
1	地域活動支援センターつばさ	128	7.3
2	地域生活支援センタープラッツ	58	3.3
3	地域活動支援センター虹	30	1.7
4	地域包括支援センター	118	6.7
5	市障害者相談室	332	18.9
6	障害者基幹相談支援センター	13	0.7
7	身体・知的障害者福祉相談員	20	1.1
8	保健所	68	3.9
9	市健康推進課	53	3.0
10	子ども家庭支援センター	24	1.4
11	こどもの発達センターつくしんぼ	83	4.7
12	相談したことがない	757	43.2
13	その他	64	3.6
	無回答	308	17.6
	全体	1,754	

問 37 相談機能充実のために必要なこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	気軽に話を聞いてもらえる	739	42.1
2	身近なところで相談できる	615	35.1
3	電話やファクス, メール(E-mail)等により相談できる	388	22.1
4	手話通訳や要約筆記といった対応ができる	80	4.6
5	総合的な相談に対応できる	530	30.2
6	適切なアドバイスができる人材がいる	666	38.0
7	プライバシーに配慮がなされている	476	27.1
8	相談からサービス提供まで一貫した支援体制がなされている	670	38.2
9	その他	79	4.5
	無回答	352	20.1
	全体	1,754	

問 38 医師の治療を受けているか

No.	カテゴリー名	n	%
1	定期的に通院している	1,274	72.6
2	ときどき通院している	96	5.5
3	自宅で訪問看護や往診を受けている	36	2.1
4	入院している	39	2.2
5	とくに治療はしていない	140	8.0
6	その他	20	1.1
	無回答	149	8.5
	全体	1,754	

問 39 医療等で困っていること、不安を感じること

No.	カテゴリー名	n	%
1	近所にみてくれる医者がいない	106	6.0
2	専門的な治療を行っている医療機関が身近にない	171	9.7
3	通院するときに、付き添いをしてくれる人がいない	70	4.0
4	医師や看護師とのコミュニケーションがうまくとれない	103	5.9
5	診療を断られる	17	1.0
6	かかりつけ医・歯科医がいない	44	2.5
7	気軽に往診を頼める医師がいない	107	6.1
8	歯科診療を受けられない	26	1.5
9	定期的に健康診断を受けられない	46	2.6
10	障害のため症状が正確に伝わらず、必要な治療を受けられない	98	5.6
11	受診手続きや案内など障害者への配慮が不十分	60	3.4
12	医療費の負担が大きい	206	11.7
13	入院のとき付き添いや個室を強いられる	28	1.6
14	訪問看護などの、在宅サービスが不十分	21	1.2
15	その他	106	6.0
16	特に困っていることや、不安を感じることはない	758	43.2
	無回答	360	20.5
	全体	1,754	

問 40 今後の生活に対する不安

No.	カテゴリー名	n	%
1	身体のことについて	855	48.7
2	生活費について	617	35.2
3	住宅・生活の場所について	280	16.0
4	介助・支援をしてくれる人について	337	19.2
5	進学・学校生活について	64	3.6
6	就職・仕事のことについて	278	15.8
7	介助者・支援者の高齢化について	381	21.7
8	その他	63	3.6
9	特に不安はない	220	12.5
	無回答	183	10.4
	全体	1,754	

問 41 将来どのように生活したいか

No.	カテゴリー名	n	%
1	結婚して自立して生活したい	127	7.2
2	家族だけに世話をしてもらって、家庭で生活したい	122	7.0
3	家族の介助・支援を受けたり、福祉サービスを利用したりして、家庭で生活したい	401	22.9
4	福祉サービスを利用して、一人で自立して生活したい	228	13.0
5	身の回りの世話を助けてくれる人がいて、仲間と一緒に共同住宅で生活したい(グループホーム・ケアホーム)	134	7.6
6	入所型施設で暮らしたい	105	6.0
7	その他	58	3.3
8	わからない	272	15.5
	無回答	307	17.5
	全体	1,754	

問 42 障害者団体への加入

No.	カテゴリー名	n	%
1	加入している	219	12.5
2	知っているが、加入していない	399	22.7
3	知らない	900	51.3
	無回答	236	13.5
	全体	1,754	

問 43 特に力を入れて欲しいこと

No.	カテゴリー名	n	%
1	情報提供・相談体制の充実	632	36.0
2	障害者に対する住民の理解促進	271	15.5
3	交流・福祉教育の充実	73	4.2
4	権利擁護, 財産管理の充実	114	6.5
5	意思疎通, 移動支援の充実	139	7.9
6	療育・教育の充実	107	6.1
7	福祉サービスの充実・質の向上	575	32.8
8	医療機関の充実・質の向上	436	24.9
9	入所施設の充実	334	19.0
10	障害者交流の促進	99	5.6
11	経済的援助の充実	445	25.4
12	災害時における障害者への支援	403	23.0
13	生涯学習, スポーツの充実	110	6.3
14	職業訓練など就労支援の充実	137	7.8
15	働く場の確保	271	15.5
16	障害者に配慮した道路・建物等の整備	311	17.7
17	ボランティア・NPO・当事者団体等の活動支援	102	5.8
18	その他	58	3.3
	無回答	359	20.5
	全体	1,754	

問 45 介助者・支援者の年代

No.	カテゴリー名	n	%
1	10代	3	0.2
2	20代	9	0.5
3	30代	58	3.3
4	40代	196	11.2
5	50代	197	11.2
6	60～64歳	107	6.1
7	65～69歳	140	8.0
8	70歳以上	342	19.5
	無回答	702	40.0
	全体	1,754	

問 46 介助者・支援者の健康状態

No.	カテゴリー名	n	%
1	とても健康	133	7.6
2	おおむね健康	663	37.8
3	あまり健康でない	196	11.2
4	病気がちである	62	3.5
	無回答	700	39.9
	全体	1,754	

問 47 介助・支援をする際の悩み

No.	カテゴリー名	n	%
1	介助・支援の方法がわからない	88	5.0
2	自分の時間がもてない	208	11.9
3	外出ができない	126	7.2
4	仕事に出られない	94	5.4
5	経済的な負担が大きい	192	10.9
6	家族の世話ができない	38	2.2
7	家族の理解が不足している	53	3.0
8	地域の人々の理解が不足している	76	4.3
9	相談や世話を頼める人がいない	177	10.1
10	将来どうなるかが不安	642	36.6
11	その他	50	2.9
12	特になし	209	11.9
	無回答	744	42.4
	全体	1,754	

問 48 介助・支援できなくなった場合

No.	カテゴリー名	n	%
1	家族・親族に介助・支援を頼む	153	8.7
2	友人・知人に介助・支援を頼む	6	0.3
3	ホームヘルパーに介助・支援を頼む	144	8.2
4	ボランティアに介助・支援を頼む	16	0.9
5	施設・病院を利用する	329	18.8
6	本人が自活できるようにしたい	174	9.9
7	その他	43	2.5
8	特に考えていない	99	5.6
	無回答	790	45.0
	全体	1,754	

第 4 章 自由回答

◆情報提供に関すること

まず、障害者に分かりやすい情報提供をしてほしい（すべてに関して）。グループホーム等を増やしてほしいです。余暇活動場所，機会を増やしてほしいです。24時間専門スタッフに（医療的な話も含め）相談できるところが欲しい。特に対応方法など。

相反する事になるが，個人情報の確立と地域住民への理解。

様々な情報提供～福祉サービスや手当の申請を一貫して担当してくれる担当者がほしい。手当の申請は市役所のこの窓口，親の会などの情報提供は泉プラザの別の窓口へ，など，精神的にズタズタの時に何度も外にでる&同じ内容をゼロから説明を複数回しなければならなかったのはとてもつらかったし，「提供してあげるんだから（来なさいよ）」といわれているような気がした。特別児童扶養手当を申請しに窓口に行った時に「どちらでお聞きになりましたか?」と尋ねられたのは非常に不愉快でした。手当の情報も教えてくれない。申請しにいったらいったで疑われているような問いをされる。情報提供は乏しすぎる。全て自分で調べないと，何の情報も入ってこない。サービスや手当の情報は全て病院か親の会からだった。

一級の障害の為（脳梗塞）情報が伝わらず立会でもあり，希望が持てずに日々過ごしている。せめて食べる楽しみを持ってもらうことが唯一の家族の希望である。介護している私も無理が利かぬ財産で不安がつる日々である。この調査が少しでも平安な日に連なることを希望している。（せめて自宅への施設からのタクシーチケット配布などお願いしたいです）（えん下をスムーズにする補助食品の店が市内に有るといいのですが…）

障害児を育てていく上で不安だけです。いろいろ情報を得るということが大切だと感じました。誰しもが，いつ障害者になるかわからないのです。障害を持った人もそうでない人も安心して暮らせる国分寺になればいいなと思います。

専門用語や，手続きなど「メルマガ」みたいな形ですぐに情報が得られると関心をもちやすくなると思う。手話通訳，要約筆記があると思いますが，今はスマートフォン等で遠隔情報保障できると思います。用途に応じて使い分ける等，情報保障の充実を更に願っております。

いろいろな利用できるサービスの情報を得ること自体がむずかしく，利用できないままでいるように思います。このアンケート自体もとても難しいものであると思います。（わかりづらい）経済的援助が必要に思います。

このアンケートを記入しながらたくさんの障害に対する補助制度が存在することを知りました。障害の一人身ですと，生活することに注意が注がれてしまい，細かい情報を知ることなく日々を過ごすようになってしまいがちです。（知っていれば得なのに…ということが多数）形は分かりませんが，もう少し分かりやすいフリーペーパー（宅配サービス）など情報コンテンツを（1つにまとめたもの）を知りたいです。

自分から市役所へ足を運んで聞かないとどんな制度やサービスがあるのかわからないのが現状。市側からの積極的なアプローチ，情報提供を充実してほしい。聞きにいける位の時元気な状態。本当に必要な時は症状が重くて聞きにくいなど無理。

◆情報提供に関すること

近所の人たちに障害を知られたくない。障害は最小限の人にだけ知ってほしい。(仕事等にさしつかえる) 近所やボランティア, NPO の助け合い, 支援はプライバシーの点から利用をしていません。障害者にもいろいろなパターンや考え方があるので, 一律に支援策を決めるのは, よく考えてほしい。プライバシー, 個人情報一度もれたら取り返しがつかない。後で謝られても, とり返しがつかないので, くれぐれも注意して下さい。

今はホームページをごらん下さいと言ってパソコンを使えない者にとって不便を感じております。情報が入りませんので情報が他の方法で欲しいです。

障害のある人へ最新の情報等を, 手紙等でお知らせしてほしい。色々なサービスを利用させてもらっていますが, 市役所に行かなくても出来る様な手続きの仕方があれば, より助かります。自分の障害でどのサービスが受けられるかも個別に教えてほしい。よろしくお願い致します。

福祉サービスの総合案内など情報が定期的に欲しいです。バリアフリーの建物やトイレなどが増えることを望みます。

私が障害者手帳をもらうことになった時, 分厚い冊子をもらったがあまり説明がなく, 後から障害者仲間からいろんなサービスが受けられることを知らされた。なぜ窓口で分かりやすく説明してくれなかったのかと思うことがいくつもありました。

市報で身近な情報を分かりやすく提供してほしい。

自分の現況に一番合った福祉施設が簡単に検索できるシステムがあると, 利用しやすいのではないと思う(現在はどうかよく知りませんが…)。

区・市などの小さな単位では, 住居場所によって差がでる。人は平等なサービスや権利を受けべきであって情報を発信してほしい。

市の福祉施策の内容紹介の不足。同程度の障害者同志の交流の場をつくる。本アンケートの集計結果を必要に応じてオープンにして下さい。他地域の差異等も知らせて下さい。

日中預かりの時間を拡大してほしい。知人からなどの情報で親がアクションをおこさなければならい事が多すぎる。利用可能なサービス(民間も含め)の情報を的確に教えてほしい。医師の診断書など制度によって書式が複数ありすぎ。流用できるように。手帳の級, 度でうけれる訓練を制度化してほしい。(親が動かないと受けれない) 親の負担も大きく混乱する。児にも介護レベルをつけて。同じ2度でも多動児は常時介護なので手帳交付の児には健診案内を考慮してください。別枠に実施するとか。ふつうの健診はとても行けません。年齢でざっくり案内するのはやめてほしい。

市のホームページ等は大変理解しづらい。わかりやすく解説すべきだと思う。

サービスがあること自体, 知らないことも多いので, この年齢頃は, このサービス・対策が必要とか, 一覧表が欲しい。サービス自体があることを知らなければ, 何も始まらない。

◆相談に関すること

相談サービス、情報提供などが一貫していないので分かりづらい。なのでムダが多い（＝家族の負担になる）（本人に話してもまず理解できない。意思が分からない）あちこち行かされるのが大変である。

本人の将来が特に不安です。どこに行って何を相談したら良いのかわからないでいます。情報もなく、3月に学校を卒業したら、どうしたらよいか不安です。（母）

将来、夫が先に亡くなった場合、入れる施設（透析施設がある、または通所させてくれる）をどう探すのかがまったくわからない。そういう時に相談にのってほしい。

軽度発達障害は1人で行動できてしまうので福祉サービスを利用する機会がないが、在宅（仕事などしていない）で困りごとを家庭で抱えているケースが多いと思う。親が高齢化すると相談に行くこともできず、孤立する心配がある。困りごとを相談（自分から）できない人（障害）なので、定期的に様子を見てもらえるシステムがほしい。

市町村の中でも国分寺市は、弱者に対して相談体制が不十分である。特に障害者に対し、他の市町村よりずさんである。

職員の意識改善がないと相談に行く気になれない。医療証更新の時、本人が必ず来いと言われ親族に休んでもらい付き添って窓口に行ったら代理人でも可能ですと言われ親族共々あきれた。何事も市役所へ来いと言わずに、ひかりプラザ内に福祉事務所をつくって欲しい。生活保護費の中からバス乗り継いで行くのは予想外の出費になる。

発達障害や高次脳機能障害者への理解がもっと広まり相談・支援を求めやすい地域（場所）になってほしい。

結婚相談センターの設置。

発達障害に関して、小学校入学後も、定期的に相談、アドバイスを受けられる窓口がほしい。市の心理相談は極めて優秀で、必要な支援（療育施設紹介、医師への相談、入学時の適切な進路相談、定期的な本人の観察等）を全てしてくれました。大局に立った横串の総合支援として非常に有用で、感謝しています。高い能力と思いやり、コミュニケーション力を持つ心理士の配置が条件になると思いますが、小学校入学後もこうした体制に頼れると、とても心強く思います。

子どもなし、夫と2人生活で夫の居宅介護と通所介護を得ています。もしもの時の通報、さらにその先の生活（施設、財産、療養etc）を誰にゆだねたら良いのか。

発達障害に対応できるプロフェッショナルな人材の確保（十分な人数）。

将来安心して知的障がい者の方々が暮らせるトータル的な窓口を設けてほしい。

保健師の相談を受けられるようにしてほしい。

◆制度（介護保険含む）に関すること

ガイドヘルプの受給量を制限しないで欲しい。また、日常生活用具の充実、特にパソコン関係の購入や買い替えを認めて欲しい。

重い障害の方も軽い障害の方も、同じようなサービスが受けられるといいなと思う。

H15よりサービスを利用するためには、事業者と契約することになった。制度的には利用者と事業者は対等な立場になったが、福祉サービスは充分でないため、利用者はまだ事業者を選ぶことはできず、内容に不満があっても我慢している状況である。以前は苦情があれば市は事業者を指導してくれたが、今はなかなか動いてくれない。市民である障害者のために、市は事業者に対して問題があった時に、目をそむけず、指導してもらいたい。

日常生活用具給付サービスの拡充。

介護保険を限度額以上使わないと、重度訪問介護の福祉サービスをうけられないのは、納得いかない。

精神障害者への施策がほとんどない現状をなんとかしてほしい。

財政が厳しいと思うが、福祉サービスを低下させず、どうしても必要とする人にだけ提供するようにする。収入制限の導入で低下させないよう検討すべきである。

認知症への市の対応、対策は？

ケアマネジャーの人員不足ということでケアマネジャーが居ない。地域包括支援センターの方に更新の時お目にかかるのみ。通所リハビリに週一度通っているが体調の悪い時の欠席の連絡や常に感じている不安感を聴いていただける方がなく心細い思いがある。

40歳を過ぎている為、障害者というより介護保険を利用するようになっている。ショートステイしてもらいたくても私たちは我慢するしかない。障害者用のショートステイする所を使わせてほしい。

現在の介護保険のシステムがわかると聞いた。私は要支援2で、ヘルパーさんが週2回訪問してくれ、布団のシーツ交換など、とても助かっている。

介護保険制度との連携強化。介護保険制度が優先されると言う事で利用出来る福祉サービスが少ない。

民営バス料金の割引について。いまだにどの民営バス会社が該当するのかが全くもってよくわからない。西武バスの運転手は聞いたことがないと拒否された。関東バスはよいのか。いずれにしても不親切極まりない“障害者のしおり”である。また、航空券割引は相談室へ手帳を持参しないと受けられないのか。しおりの説明ではわからない。

◆施設に関すること

こどもの発達センターつくしんぼは、国分寺市が他市に誇れる療育及び相談実績を持つ施設だと思います。今後もより一層の充実を望みます。

費用負担の格差が少ない通所やショートステイができる施設の充実（量的にも質的にも）が望まれる。

入所施設で家族に負担のかからぬ老後を送りたい（終末期）ので、倒産の心配のない施設を希望する。

デイサービスの施設が少ない。

視覚障害者専用施設の建設。

適度な運動が必要だけど、ジムなどでは経済的にも負担が大きいのので市の施設など少ない費用で利用できたらよい。

現在は元気で毎日を過ごしておりますが、これから先ひとりになった場合、ホーム等に入所できるかどうか、少々心配しております。

介護保険を利用する年齢に達しない人たちが利用できるリハビリテーション施設が欲しい。

認知症で薬で今のところ進行をおさえていますが、何もする意欲がなく一日中ボーとしている状態なので、軽い症状でも入れる施設などあったらいいと思います。年金暮らしなので、そのところも考えていただけたらと思います。

ショートステイなどは確実に確保できる場所が少ない。ニーズに対して、事業所が少ないと思う。

成人になった後の入所できる施設を斡旋して下さい。

公共施設と民間施設、サービスなどかなりの差があります。がまんやあきらめる人が多いのではないのでしょうか。

日中預かりを利用していますが、施設が住んでいる西町周辺になく、かたよっている様な気がします。広く点在していると助かります。

患者も家族も高齢化がすすみ、出来るだけ国分寺市内の施設にお世話になりたいと思いますが、転院の際希望してもみつかりません。障害者施設の増設を希望します。

障がい者を介護している父母等の高齢化でその介護者（父母等）を支える策があるとよいと思います。例えば入所やショートステイの充実。重度障がい者の入所、ショートステイを受け入れてくれる施設は大変少ない（国分寺市にはない）のでできたらうれしいです。

特に力を入れてほしいのが入所施設です。親が介助できなくなった時にどのように生活していくのか、精神面においてもどうなるのか心配です。

だんだん高齢者の多い社会になりますがもっと国分寺には施設がほしいです。高齢者の介護施設が少ないのもっと利用する施設がほしい。

近くに身体障害者のグループホームを作して下さい。

以前つばさに通っていましたが、自宅からバス、電車、徒歩（15分位）と時間がかかり、受けたいプログラムは午後が多く病気の悪化もあり通うのが遠くて行けません。光町の近

◆施設に関すること

辺にも障害で他の人と同じように出来ないし、障害者の人だけが使える施設は、理解があって気兼ねなく参加できます。

◆グループホーム・ケアホームについて

グループホーム入所のための前段階としてショートステイを利用したいが、満床と言われ、なかなか利用できない。

施設に入所していますが、老健ですので3ヶ月しか入所できず、施設はほとんど車イスでの移動ですので、家に帰っても一人で歩けません。又、次の施設が決まるまで心配です。特養を申し込んでますが、200人待ちとの事。妻も身体が弱く大変負担をかけてます。施設にスムーズに入れるようにお願いします。入所中に病院にかかると医療費に負担がかかります。入所しても病院の医療費を1割にしてほしい。

ケアホームに使える場所を確保してほしい。

グループホーム、ケアホームの充実をお願いします。法人後見をしてくれる法人が今後必要と思います。社会福祉法人、NPO法人への支援を充実していただきたいと思います。

グループホームの充実を図っていただき、親亡き後でも住み慣れた地域で暮らし続けられるように配慮していただきたい。

グループホーム、ケアホームを希望する方がたくさんいます。親亡き後も安心して暮らせるようにグループホーム、ケアホームを増やしてほしいです。

市内に、知的障害者（成人）の入所施設が必要だと思えます。そこを基幹にして、ケアホーム、グループホームを増やして行ってほしいです。

親が年をとり、収入もなくなってきたとき、今のまま息子と暮らせるか不安です。将来的にはグループホームで暮らさせたいのですが、グループホームの建設は場所の確保（周りの住人の理解を含めて）が難しいと感じます。各福祉法人はがんばって下さっていますが、市でも援助していただき、バックアップして下さい。

グループホーム、ケアホームの増設（親なき後、地域で今まで通りくらしに行くために必要である）。

一人暮らしをしたいが、家の近くに住むか、グループホームにはいりたいが、グループホームが定員がいっぱいで入れない。グループホームを増やしてほしい。

本人はほとんど理解していない為、亡くなった両親に変わり、姉が介助支援しています。先が不安な為グループホームを充実して欲しいと思っています。

現在、特児の手当を受給していますが、18才～20才までの2年間で空白（手当等何も受給されない）とても不安です。20才以降自立させたいと考えていますが、受け入れてくれるグループホームがあるのか不安です。母子家庭では働かなければいけないのですが、高校生になると学童がないので日中預かり先がないのが最大の悩みです。助けて下さい。

ケアホーム、グループホームの充実をお願いします。

たくさんの障害を持つ方が居場所を手さぐりで探している状態だと思います。特に軽度知

◆グループホーム・ケアホームについて

的障害は「できることは多いけれどひとりでは無理」ということが多く福祉支援もあまり手厚いとはいえないが家族が手（目）を放しておけるわけではないというふうに周りの方が思われるよりずっと家庭負担は大きいです。気軽に利用できる余暇支援等の施設や将来的にはグループホームなどもっと増えたらと切に希望します。

障害者のグループホームなどの施設建設で、住民の反対運動など起こらないような地域づくり，“人づくり”が最重要かと思う。

現在娘は国分寺市障害者センター太陽に通所していますが、娘はそこが非常に気に入っており毎日ニコニコしながら通っています。親も現在66歳で娘を自宅で看れるのがあと10年位かと思っています。是非日中は太陽に通所出来るケアホームを作ってください。

国分寺市内に社会福祉法人の障害者が働く事業が増えず、以前から在る法人は利用者が高齢化してきている状況の中、卒後すぐに通所したいと思われる事業所がとても少なく感じられます。又、ケアホーム等も今後利用したいと思われる方も多くなると思いますが、増えているようには思えません。これからは、親も老いて介護が必要になってきますので、親と障害者が一緒に暮らせる様なケアホームが多く出来たら嬉しく思います。市の予算も厳しいことは十分承知しておりますが、是非公設民営のケアホームや施設を作りたいです。

若い障害者が自立できる（法的支援含む）ような環境をつくってほしい。（例）障害年金と働いた収入等をあわせて、協同生活できるようなところ。又、介護者、支援者にも1人の人生があり、正直気持ちが重たすぎる。

◆学校・園に関すること

障害者の進学についてのサポートを充実してほしい。現在は就労に力点がおかれているように感じる。

中学校以降、高校それ以上の者に対しての、相談業務を充実させ、適切なアドバイスを行って欲しい。障害を持っている子どもの通学に対する支援、普通学級在籍児童に対する対策をお願いしたいです。普通学級においても、副担任を置くなどフォローできる体制を作ってほしいです。

つくしんぼでは大変お世話になっております。来年度より都立の支援学校に入学する予定ですが、一方で学童保育は市で運営しておられるため、連絡体制等、不安と感じています。相談に伺うことがあるかもしれませんがよろしくお願い致します。

小、中、高等の学校敷地の管理責任を教育委員会、文科省が握っていて、学校以外の用途に使わせないでいる。全市民、全国民が徒歩で通える範囲内に、学校の敷地という広大な未開発エリアがあるのである。中規模病院、老人、保育施設、緊急避難施設等多目的利用を強力に推進してほしい。

教育委員会による特別支援級の予算を削減しないで下さい。

普通の小・中・高校に通っている期間は「学校」という“教育機関”の中で生活すること

◆学校・園に関すること

が主となるのに教育機関と福祉のつながりがないのは市民、生活者として違和感がある。

現在、市の特別支援学級に通学していますが、先生の質がとても悪く困っています。障がいに対しての知識が全くなく、機能訓練の先生に子どもへの指導方法を頼っている状態です。支援学級の先生方には特別な専門的な講習を行うなどした上で、受け持ってもらえたらと思います。

障害児を持つ保護者も色々といいますが希望する障害児（者）が地域で暮らしていけるよう生活を点ではなく動線で支援を考えていただきたいです。例えば小学校、支援学級、通級の数を増やして下さい。またそこに行くまでの通学手段の確保、学校から学童までの通所手段の確保もお願いしたい。また、幼少時から成年に到るまでの総合的な支援を考えていただきたいと思います。

特別支援学級における、教員の数が少ない。目が行き届いていない。

保育園の障害児枠の拡充もしくは保育要件“兄弟が障害をもち常に対応が必要な親”を入れてほしい。

保育園の障がい児わくを年度によって変えてほしい（増やしてほしい）。また、市の幼稚園をつくってほしい。

◆教育環境に関すること

市の財政がきびしい状況である事理解はできますが、教育や福祉に対するものを減額せぬよう、節をお願いします。

学校への送迎のお手伝いをできるヘルパーさんがいたらありがたいです。学校へ登校するのに嫌がる親とヘルパーさんの力をかりて登校させる援助をしてもらいたい。

放課後、休日に小学校内で、お絵書きや国語・算数の復習（塾みたいな）体操教室などの場をぜひ設けていただきたい。

小学校入学時より、介助員さんが毎日付き添っていてくれて本当に助かります。登下校は母親がやっていますが、学校まで全て付きっきりにはなかなか出来ません。国分寺に介助員制度があり助かりました。きっと困っている人はたくさんいると思うので、なるべく要望に沿っていただけたらと思います。

◆就労の場の確保について

障害者の方々の就労支援はありますが、難病の人たちの就労支援をどうにかしてほしい。

身体障害者福祉手当等の増額、身体障害者の就労支援もよろしく御願い致します。

本人、復職のための就労訓練サービスを受けているも、対する職場側の障害者雇用に関する理解、認識が浅い…というかないのが悲しい。ぜひ問 43 にある「働く場の確保」を促進していただくと幸いです。特に復職先が行政であるにも関わらずこういった対応の場合は一体どうすれば…と頭を抱えてしまいます。

障害者の雇用の確保。障害者の活動拡大への支援。健常者への障害（者）理解推進。

国分寺図書館などで、障害者雇用を推進してほしい。

障害者の働く場所を増やしていただきたい。

就職、仕事ができる方法を知りたい。

とにかく働く場所がないと聞きます。働ければよいけれどそれができるほどの場所がないので将来どうなるのか不安です。通所などはあちこちにあると思いますが、もっと障がい者の住みやすい街づくりおねがいしたいです。今は学校に行ってるけれど卒業したら通所や働く場所が古い人がやめないから全くないと聞きます。要介護なので大人になる頃からが心配。

高齢障害者の働く場所が一番ほしい。できれば親の介護との両立。

国分寺市のガイハルの利用時間を深夜 1：00 までに延長してほしい。国分寺の作業所で、お菓子作り、ビーズのアクセサリー作り、手芸づくりをやってくれる作業所を増やしてほしい。万葉の里のグループホームを増やしてほしい。万葉の里でもう一つ、私を働かせてくれる作業所を作ってほしい。

◆就労への理解について

障害者就労支援室に相談を入れたこともあります、私の健康状態の問題からお役に立ててもらえませんでした。

精神障害発達障害の場合、話が理解しづらい。相手の気持ちがわかりづらい、家事、お金の管理が苦手などがあり就労支援で仕事を探していましたが、良いのがなくて家族が探しました。いろいろ問題がおきたとき就労支援の人に助けてもらいたいと言ったら紹介した仕事でないのでできないといわれましたが、親がでることができませんし、仕事がクビになり大変です。そのような支援をもっとしていただきたいです。

子どもが高校 1 年生なのでできれば国分寺市内で障害に理解ある働ける会社を探しています。

本人、復職のための就労訓練サービスを受けているも、対する職場側の障害者雇用に関する理解、認識が浅い…というかないのが悲しい。

市の問題ではないが、会社など働く場で精神障害についてもっと理解があればと思う。いつか障害がばれるのではないかと常に不安を感じる。

◆就労への理解について

自立してなんとか職場を探してもなかなか、今の世の中きびしく、またハローワークなどでも障害者での仕事を探しても、数がすくなく、また、年齢とかにこだわる職場も多く、仕事をしたくてもできないでいます。国分寺市がもっと広く障害者に働く場所の案内などに力を入れてくれたらいいなと。福祉事業で最も理解のある町に育ってくれたらと思う。

◆就労訓練について

職業訓練など就労支援の充実に力を入れてほしい。

市内の福祉団体で就労支援が行なわれていますが、それぞれの団体で特色を活かし、障害者にさらなる選択肢を与えるため団体相互間でも利用者の訓練ができやすくなるといいですね。

体幹バランスが脳障害のためとれず車椅子ですが、そのことにより足の筋力が低下し、転倒しやすくなっている悪循環があります。ぜひ、PTST の指導の元運動訓練を提供していただけるサービスがあると嬉しいです（多摩スポへは週1通っていますがどちらかという自分で判断できる人（身体障害）向けに感じます）。

一人一人が訓練をきちんと受けられ、出来る仕事を確保してもらい、経済的に自立出来る収入を得られるようにしてもらいたいです。

◆保健・医療に関すること

障害者を受け入れてくれる内科，小児科，耳鼻科，眼科を知りたい（市内の）（車いすで入りやすい）

人工内耳にも補聴器のような助成をお願いしたいです。実施している市町村もあります。全額は無理でも少しでもぜひお願いします。

現在まで他の病気と併せて 10 回入退院を繰り返しているが、状態は同じで全く改善されていない。私の素人考えだが大病院は新しい機械・器具を揃えているが十分に生かしていない。一方、病院は採算を回ることが第一で病気を治すことに腫注されていないと思う。

総合病院の開院。温泉を増やしてほしい。

市民として（市報で紹介される）健康診断を受けられないのは、おかしい。

◆医療費に関すること

今回、難病申請して医療券に助けられました。また、福祉手当がありがたいです。半年後に手が治ると元のしごとができるようになりますように。早く治りたいです。ありがとうございました。

医療費助成について、所得制限をなくしてほしい（少し所得が増えただけで助成が受けられないのは負担である）

難病患者等医療費助成は、拡充強化してほしい。

難病の医療費助成が少なくなるので困ります。私は骨折を何回もしていますし（薬を長く飲んでいるため）歯もボロボロです。他の医療にも費用が掛かるので負担が多く大変です。私の場合、収入から医療費を一番に確保し、残りでの生活ですし仕事の日数を多くすると体が痛く、頑張る気力はあるのですがバランスが難しい。

他の地域から転入したが、老人が活動する団体や地域の活動、コミュニティーの活力が弱い。特に行政機関の財政力が弱いのか、医療費への支援が欲しい。不安だ。国が3割負担とした中で、地方自治体の支援が必要。転入前の地域（市）では医療費は無料だった。障害者への医療負担を軽減してほしい。安心して年のとれる市政をお願いします。

私は要支援の障害者ですが難病患者でありますので毎月多摩総合医療センターに通院しています。このため療養が主体となり障害者としてのヘルプは医療センター依存となっており、医療費がとても多額になります。これに対して要介護の障害者は福祉施策の恩恵を荷重に受けて医療費負担が少なくなっているように見えます。優雅とさえ見える。通院療養は自力で、自己負担覚悟でやっているのです。医療費控除など物の数ではないのです。このハンデを何とかしてほしい。

難病医療費の充実。

医療の所得制限をなくして欲しい。病院利用回数多いのに、ほんの少し制限越えてると子の医療証もなくなり、とても困っています。所得制限をなくし、中3の義務教育までも医療費の負担をなくして欲しい。

医療費を考えて欲しい！

難病の助成は続けて欲しい。見た目で生活に不自由することが分からず、医療従事者にもあまり認知されていない病気なのでなかなか理解を得られないため、説明をすることにも二の足を踏んでしまう。せめて市の担当の方、窓口の方、医療や保険を扱う方には病名を伝えただけである程度の共通認識がもてるようになって欲しい。

医療費がかかり大変です。経済的な支援があると助かります。

難病患者等医療費助成が少なすぎる。主人がアルバイトになってしまったので、昨年の収入の医療費になった。高すぎてまいてる。脳こうそくになってしまって、最近てんかん（後遺症）が多くなった。何か、援助はないでしょうか。

「カウンセリング」を保健また、自立支援手帳、障害者手帳、保健証を使えるようにしていただきたい。金額が高くて受けられません。困っています。それでも定期的に受けなければ、治らない。定期的に受けなければいけません。どうか助けて下さい。

◆医療費に関すること

特定疾患の給付金の限度額を廃止してほしい。

月に1～2回、整体に通い、何とか歩けるようにしていますが、その費用負担がバカになりません。まだまだ働き続けなければならず、国分寺市として、通院費に対する援助はいただけないでしょうか。

自立支援、国保受給制度を持続してほしい。

身の丈に合った暮らしを望んで来ましたが、健康保険料、介護保険料の相次ぐ値上げ年金の天引き、その上年金引き下げに今後どこを減らし、切り詰めればいいのか大変厳しい生活を強いられています。

特定疾患の中には原因不明なものも多々あります。体調が悪く来院して医者に聞いたところで、病気に関係しているのか分からず、通常の診察病院（近隣の）に行ってくれといわれ、3割負担の診療をしてもらうことになることが多くて、毎月、負担額がバカになりません。どうにかならないでしょうか？年々医療費が上がる。特定疾患の医療費限度額の区切りも世帯数も多い家族には（収入以外にも）配慮してほしい。

自分自身難病であり、無理しない程度の就労をさせてもらっているが、難病医療費助成の制度の改正で軽度の者への申請が許可されなくなる話がある。助成がなくなったの再発予防治療費用はかなりの高額であり、生活を圧迫せざるを得ないと思う。この問題について、市としても何らかのアクションを政府に訴えてほしいと心から思います。よろしく願いいたします。現状医療において完治は難しく余命にとっても不安を感じています。

愛の手帳4度と軽度があるが、医療費の補助などがあるとありがたい。所得制限なしで。

国保料金を値下げして欲しい。

支援医療のメリットが感じられない。窓口負担をゼロにしてほしい。

◆移動支援に関すること

精神障害福祉手帳を持っているので、都内のバス料金は半額だが、JRや私鉄は適用外なので、医療機関へ行くにも、交通費がかかりすぎる。買い物へ出かけるにも交通費を気にしなければならない。病気の症状のために就労できないので、精神障害に対しても、公的交通機関の割り引きをして欲しい。

移動支援の時間数を個々に応じてだしてほしい。以前28時間→規定時間しかでない。内容も学校や放課後デイサービスへの送迎を認めてほしい。

親の介護のお金をもらっていても、移動支援がうけられるようにして下さい。

福祉センターにて車椅子をお借りしていた時期がありまして。半年くらいでしょうか、タイヤの修理で行ったところ、症状が大分落ち着いていたので少ししか使用していなかったので返却を求められました。購入（市からの援助費あり）しましたが、あともう少しお借りできれば購入することも市税も使うことがなかったと思いました。

足が悪いため外出はすべて自家用車を自分で運転しています。「駐車禁止除外」のカードをいただいているのですが、路上駐車はしにくくて、駐車場を利用することになります。その際

◆移動支援に関すること

障害者手帳のある人には、駐車料金の補助（一部または全額の補助）をお願いしたいです。

通勤通学にガイドヘルパーを利用できるようにして欲しい。

移動支援利用に際して、学校・スクールバス停留所までの迎えを可能にしてほしい。

医療的ケアがあっても利用できる学校へのお迎えつきの放課後等デイサービスを作ってほしい。移動支援事業で学校・自宅間を作ってほしい。

国分寺市では移動支援が学校のお迎えに使えないので、不便に思います。

通学に関して移動支援のサービスが欲しい。

◆障害に対する理解促進について

老人ホームを利用することに、老人ホームの欠点を気にしている。経済的に同ホームを選ぶのを躊躇する。養護老人ホームのような本人の負担が軽いところを、増設できないかと思っている。福祉タクシー、介助（護）タクシーを増車してほしい。運転手の教育を必要かと思うところがあった。

通勤の際、満員電車に立ちっぱなしで乗るのが困難なため、かなり早朝に出勤せねばなりません。国が作成する妊婦マークのようなものを障害者にも作る等障害者の通勤問題を解決できるような施策を検討願います。障害者や高齢者の中にも、外見ではわからない人はいます。妊婦だけ特別扱いするのは平等とは言えないのではないのでしょうか。是非、国分寺市独自の施策をお願いします。

◆視覚、聴覚障害に対する支援について

登録手話通訳者を対して読み取れない。単語が誤り、文章が分かりにくい。だから登録手話通訳者試験を設立したい。手話講演会の講師はほとんど登録手話通訳者が多すぎて、講習生がとても効果がないので講師は必ずろう者をお願いします。

手話通訳者の充実。

目の見えない人に対する配慮。銀行等に行って記名する事が出来ないので妻が書くのに少し配慮してほしいと思う。

◆年金、手当で、権利等に関すること

国分寺市障害者センターでは、今まで通り自由に、利用者が事務室を出入りできるようにして貰いたいです。それに、障害者年金でも、一ヶ月単位にして、最低でも10万へと値上げして貰いたいです。

6年前に杉並区から国分寺市に引越した。手当額が14,500円から6,000円に。各市区で違うと知って、かなりびっくりした。助かるし有難いが、現在は腸と肝臓合わせると、かなりオーバーしている（検査で2,3日入院も含む）他の病気も有り。治療中で年金暮ら

◆年金、手当、権利等に関すること

しなので、この先ずっとと思うと、不安。

親亡き後、兄弟に経済的負担がない事を望みます。中軽度と言っても就労できるわけもなく親が活着ている間は何んとしてもするつもりですが重度の方との手当の金額等、悪いのですが、違い過ぎるのではと思ってしまう。本人が訴えられる訳ではないのでニュースで報じられるような虐待がないように切に願います。

親の高齢化に伴い、介護のサービスを考慮してほしい。また、郵便局で通帳を紛失したりした時、成年後見人がいないとまったく手続できない状況を、行政の立場からも働きかけ、改善を促してほしい。

◆ぶんバスについて

障害者に対するぶんバスの無料化をぜひにお願い致します。

恋ヶ窪にもぶんバスを通らせてもらいたい。市役所や西国分寺に行きづらく、その辺のルートを考えてほしい。

ぶんバスに乗りたいが、ステップが高すぎるので考えてほしい。

ぶんバスを府中街道のトヨタ自動車から自宅泉町2丁目まで通して頂きたいのです。何度か市役所にお問い合わせに行きましたが予算がないので無理と断られました。私は姉の家にて食事外を生活してもらい自宅から東恋ヶ窪の姉の家近タクシーで通っております。大変かって申し上げますが、ぶんバスを通して頂きたいお願い致します。

今迄自転車でも何でも用を足していましたが、最近不安になって来ました。バスを利用したいのですが、とても不便で、歩く事が、出来ないのでは何げなく自転車が足がわりでしたので考えさせられます。ぶんバスがあるといいなと思っています。

◆タクシー券について

移動の為の対策、バスが無料といいます。家からそこまで(バス停etc)の移動ができません。又他市のように気軽にタクシーの利用をお願いします。

通院交通費助成について、他自治体で実施しているタクシー券支給を取り入れ、金額の上限を設けたうえで、利用者が併用できる(もしくは選択)制度にして欲しい。

介護認定を受けていますが、このアンケートは障害者へのサービス、介護のサービス、どちらの点から答えればよいか迷う質問があり、わかりづらいと思いました。障害があり、(車いす利用)、外出をしたくても交通手段が契約している介護タクシーが主になっていますが、急に体調を崩した時、土日には対応ができず困っています。

タクシー券支給制度の確立。

クシー券の支給制度を実施してほしい。

タクシー券がもらえると助かります。

中央区から転居して来ましたが、障害者福祉施策について自治体の格差が大きすぎる。例

◆タクシー券について

例えば中央区では年間4万円相当のタクシー券が支給されていたが、国分寺では無い。例えば1/10でも支給してほしい。

東京都・市内でタクシー券の給付が無いのは国分寺市のみと知る(障害者)これから先一人で通院が出来なくなるとタクシー券が受けられると助かるが…。

交通費助成ではなく、タクシー券支給制度にして欲しい。

◆公共の場や施設整備に関すること

障害者の支援施設の充実とバリアフリーマップをお願いします。

公共の場でのトイレで、障害者向けではない一般的なトイレで、洋式・和式の表示がない事が目につく。各扉に表示がほしい。又、高齢者の増加も考えれば出来る限り洋式便器に取り替えてほしい。小学校は和式がほとんどで困った。

両膝が硬直し、曲がらないため、椅子に座ったり立ったりするのが非常に難しい。そこで、座面の高い椅子(普通の椅子より10cm位)を公民館や、障害者センター、ひかりプラザ等に一つか二つ用意して頂けたら有難いです。

駅から登る道路に(市役所通り)手すりをつけてほしい。

◆まちの整備に関すること

住環境から道路等の整備が最悪…災害時には健常者でも不安。

今後、家屋のバリアフリー化等も考えなくてはいけない時期が来ると思いますが、その際のアドバイスとか信頼できる業者等の相談が出来るとよいのですが。

市内の歩道(バリアフリー等)広さを含め充実させて下さい。

歩道が狭すぎて、とても不安です。かつあたりまえの如く歩道走っている自転車の方々に對して、市としてなんとかならないものでしょうか。ぶんバスの通る視野が狭すぎて障害者には非常利用価値がなく困ってます。なんとかかきめ細かく走って頂けたらと願ってます。

市の道路整備の配慮があると良いと思う。段差や電柱のどっぴりが多く、車、歩行者、自転車と障害者の車椅子での使用も利用してみると危険が多く、出かけられないと声を挙げられない方々、盲目の方々、沢山います。よろしくをお願いします。

車椅子を利用して平らな所を捜し、歩行の訓練をしています。坂が多い事と道の中もせまく、舗装も悪くて不便を感じています。いざとなった時の事を考えると不安。

国分寺のことだけではないのですが、車椅子で生活しています。横断歩道を渡った先の歩道へ登る傾斜がきつくて車道に取り残されたことが何回もあり、こわいとても危険です。段差はもちろんですが傾斜へも配慮を。

歩道の段差をなくして欲しい。(車椅子で困る各所)。道路に変化をつけるため凸凹にタイルが埋められていると走りにくい。(平いらな道路を)

足の悪い私には道路の整備がとてもよくないのでその方面に市として力を入れてほしい。

◆まちの整備に関すること

また、自転車の歩道通行は禁止のはずがそうでない人が多い。歩道も車道もこの日本はせま過ぎるのだと思うが何か考えて車も人も安心して住める街づくりをこの先考えてもらいたいです。

市役所の最寄駅から、市役所までの道に、点字ブロックがないので不便です。また、道が狭くて通りづらいです。

国分寺駅のサービス前の灰皿を撤去してほしい。通るたびに苦しくなる。

歩道の設置、整備。バリアフリー化の促進。

国分寺は道路が悪く、足の悪い者には歩きづらいです。障害者に使いやすいということは、高齢者にも、健常者にも使いやすいということだと思います。

店舗の段差、道路、歩道の整備を早急をお願いしたいと思います。一人で気がねなく出歩けるようにしていただければもっと障害者が外出できると思います。

道幅がせまく、道路の整備をお願いしたい。国分寺駅の北口東口側にエレベーターがないのが不自由です。

道路の整備（特に国分街道の歩道は、段差が有り歩きにくい。）所どころに電柱が歩道をさまたげている為、車道に降りなければならない。雨の日は傘が車道にはみ出る為危険です。ショッピングカーも使えません。安全に買物や通院が出来るようにして下さい。

国分寺の道路は道幅も狭く歩道も整備されていない所が多く弱者が安心して暮らせる街づくりになっていないのが実情です。公設の特養施設をもっと増やしてほしいと思います。

障害者が安心しておだやかな生活のできる環境を整えて頂きたい。

歩道をものすごいスピードで走る自転車を何とかしていただきたい。車イスにぶつかったことがあります危険でした。

足が悪いと速くは歩けません。青信号の間に横断歩道を渡り切れません。人のための横断歩道であってほしいと思います。また足に障害のある方は足腰が疲れやすくちょっと休むところがほしいのです。それは腰かけるところ街の中にもう少しベンチがうまく設けられていればとまた足の不自由だけでなく高齢化社会に向けての一つの提案でもあります。ベンチは人と人との交流を生みます。障害者に向けてこのような調査をされる国分寺市に心より感謝申し上げます。

かつて市長への直訴箱に北口駅の階段が大変で、北口開発の前にエスカレーターもしくはエレベーターを早く設置してほしいとのレターを書いたが、北口開発まで待てとの回答しかなかった。市政はどこを向いているのか。北口開発がスタートしたが、より障害者に優しい駅前環境づくりに尽力していただきたい。

国分寺北口～西友裏口のマンション入り口の間、違法駐輪が多い。また、街灯が暗く、歩きにくい。

つい1週間前、主人が透析の後、外へ出て4～5歩いたところで転倒（一瞬気を失って）し、顔面を強打。ERへタクシーで行き、30～40針縫い現在も未だ痛々しい（内出血であちらこちらまっ黒）症状です。幸い頭も打たなかったし入院までには至らなかったのが良かったです。多分、街路樹の植え込みのコンクリートの縁で顔面打ったのだと思います。

◆まちの整備に関すること

す。その縁がなかったらあれ程ひどくは切れなかったのだと思います。今後、何かの参考にさせていただきたく一筆書かせていただきました。

◆緊急時・災害時に関すること

災害時の福祉避難所の確保。重度の障害者・児と家族が気がねなく過ごせる場所を確保してほしい。自宅避難時の配給等への配慮をお願いしたい。障害者・児にとって福祉サービスの充実が絶対必要！皆が平等に利用できるようにしてほしい。

災害時、要援護者登録制度は良い制度だと思います。しかし、障害者居住の地区民生委員に伝える事は個人のプライバシー。個人情報伝わってしまう。近所の方という事で個人的には抵抗があります。

一人暮らしの障害者、および高齢者の緊急時の対応。ホームヘルパーの24時間の対応。ボランティアの育成。

何かあった時、すぐに対応してもらえようをお願いしたい。

息子の一人と同居してはいはいるが一日の大半は一人、災害時には心細い。今後のことを考えなければと強く感じた。

◆福祉サービス・施策に関すること

福祉サービスを充実させ手続き等が簡単にできる様にして欲しいです。他市と比べて、国分寺市の福祉サービスは、あまり良くないと思います。(障害者世帯へのガソリン代の支給やおむつ代の支給、タクシー券の配布など)通院のための交通費の支給制度はあっても申請方法がかなりめんどろです。診断書の様式についても「国分寺市はいろいろとうるさく言われるから」と医療機関で言われます。手続き等を簡単にできる様にして欲しいです。日中一時支援が利用できる場所を西町にもつくって欲しいです。保育園で障害を預ってもらえる様、障害児枠を作って欲しいです。

高齢化社会を迎え、福祉サービスの体制づくりはますます重要になると思いますが、障害者とそうでない人の割合や、それぞれの医療費がどれくらいかかっているかを分析して、使用する税金など市民の妥協点を探っていただきたい。そうすることで我々障害者への理解や、いくらかでも助けがいただければありがたい。

高次脳の家族会に加入したいが日中仕事かつ子育て中(幼児)でもあり、参加が難しいのが残念。

障害者団体のことが、なにもわかりません。内部障害のため、ゆっくりでも1人で歩けるし作業もできているため、団体に加入しなくても今は、生活できていますが、この先は不安ですね。

現在まで障害者福祉施設、施策に直接関与する機会がありませんでしたが、夫婦で年齢が高くなるにつれ、「将来」の不安が深まります。すなわち、ひとりで身体不自由度が高くな

◆福祉サービス・施策に関すること
った場合、うまく『施設』に入れるか等々。
福祉サービスの充実と質の向上に期待します。
年齢のこともありこれから国分寺市の施設について勉強していきたい。
全国で年間800～1000人といわれる、下咽頭、声帯摘出手術を受けました（癌部）。その際、首の筋と肉も少しとったので、頭を支えるバランスが狂ってきて、左肩関節が変形しました。左肩にはマヒもあります。この障害が時間とともにどう変化してゆくか個別のケースではバラバラでなかなか予測できないと医者に言われています。国分寺市在住で同病の方3名と知り合いになりましたが、そのつながりは食道発声練習会でできました。そのようなつながりをバックアップする体制が市の支援でできればいいと思っております。
他市の施設にお世話になっているため国分寺市の福祉の状況や個人的なつながりが少ない。また、他市に通所の者にも今後も変わらず支援や認識を続けてほしいです。
国分寺市は福祉施策が遅れていると聞いていますが、同じ東京都ですから同じ様な福祉施策になってほしい。もう少し福祉施策に力を入れていただきたいと思います。立川、国立はだいぶ充実していると聞いていますが。
他市より助成やサービスが少ないところの改善
他の自治体に比べ遅れている分野が多い。財政難を言い訳にしてないか。
まだ娘は2歳なので、全面的に親がなんでもやっていますが、いずれ自分の意思で行動するようになった際（就学等）、市としてのサポート体制等に意見や要望が出てくると思います。
とおり一篇の福祉施策ならやらない方がいい。他市町村の参考になる施策を積極的に取り入れて福祉充実都市を目指して下さい。
私は今難病指定を受けています。今は何とか働けるようになり元気に暮らしております。そうでない方々に少しでも、支援を拡充していただくようお願いします。
在宅で最後まで暮らしたいので個別の要望を満足させてもらえるような支援組織の充実を望みたい。
病院の3ヶ月毎の転院は病人、家族にとっての負担は多く、国分寺市の特養の必要性を早急に進めて病人のたらい回しを無くすよう、福祉を一番に進めてほしい。
今回このアンケートを見て市の障害福祉計画を知りました。市が全部完璧ならどんなにすべての人達にとって理想郷でしょうか。嬉しく思いました。何でも出来る所は協力して少しでも住み良い社会を作る為努力協力致します。心から応援致します。有難うございます。今後共よろしく願いいたします。
今の所はなんとか自分で生活できる状態ですが、できればこの状態を維持していきたいので、自分で試行錯誤しながら努力しています。最後まで、自分の力で動けるようにするには（障害を持っていない人でもそうかと思いますが）どういう生活を送って行くことが大切か等、教えていただき皆で努力していけたらいいなと思います。
人生の最後までおだやかに生活して行けるよう福祉の充実を図っていただきたい。身内に

◆福祉サービス・施策に関すること

心配かけず希望通り、施設に入所になり入院等出来ますように。

このアンケートを元にして作る地域福祉計画が机上の物で終らない様にしてくださいと思います。国分寺が福祉のまちとして知られるくらいになって欲しいと思います。人が本気で動けば、やれない事はないと思います。

障害者1人1人の事情を理解し、福祉全体のサービスを向上してもらいたい。

福祉は良くゆきとどいていると思います。

障害福祉に力を入れようとして下さることを大へんうれしく思います。

障害者手帳をもらえないが、手術後、自転車にも乗れるようになり自力歩行、外出も出来るようになった。1年前、痛みであるけなくなった時、すぐに介護認定は受けられず、大変苦労した。その時、いろいろな援助を受けたかった。

具体的となるとまだよくわかりませんが多種多様な生活様式が選択できる位だといいなと思ったりします。高齢者、障害者、母子家庭など相互扶助が気軽に自然にできるような住まいづくり、環境づくりというか、親なき後、安心して暮らせることが何より有難いです。障害は負っていてもそれぞれが出来ることをして社会貢献できるのだと通所施設で深く感じました。障害者が一生懸命やることで一般の人達も、どことなく将来に安心して生活し働けるのではと思います。

軽度の自閉症で、就労しているために、家族（特に母親だけ）で、面倒を見ています。親への丸投げはやめてほしいと思います。

国分寺市は制度が充実していると思います。

高等部卒業後の余暇支援がまだ不足していると思います。障害者の生活学習という視点で、夕方、夜、休みの日など外で楽しめる、生きていく活力になる、場所・人の提供をお願いします。

◆障害への理解に関すること

障害を持って生活していくのは大変ですし、心細くもなります。でも理解をしてくれる人達がいれば、一つ一つ乗り越えながら暮らしていけます。すべての人に理解をしてほしいとは思いますが、ひとりでも多く、私たちのことを知っていただいて、一緒の地域に生きて生活していることを感じてもらえたらと思います。自分をわかってくれる人がいると、強くなります。障害をリカバリーできます。宜しくお願い致します。

私の病状は外から見られても、常人と見られてしまう。中々他人にはわからないようです。内面で苦しんでいる人もたくさんいると思います。

現在私は難病自己免疫性肝炎で6年になります。外見は皆から何でもないように思われ、共同住宅に住んでいるので掃除当番など回ってきます。とても困る。

障害者施策に限らず全てに共通する事であるが、何事も当事者の意向を充分聴いてそれを基にして施策の立案をお願いしたいと思います。こうしたら良いだろうという上から目線でなく当事者に実際に体験してもらおう事が重要と思います。

◆障害への理解に関すること

障害の有無を判断する場合に全身はだかにする事がとても苦であった。

障害者に対していろいろとご配慮いただき感謝しております。

支援は必要ですが、過度な支援は障害者の自立をさまたげるものになるので、いかにして施設ではなく一般の会社に就職し、かつ継続できるか。当時社の意識をいかにして変えていくかが重要だと思います。

年を重ねただけ死を待つのではなく、毎日の積み重ねが個人の付加価値を生む事への援助。会社人間が社会に出た時に何をして良いかわからず大方何をして良いか不明。身体も何処か傷ついている。毎日やる事、目標、完成、発展（施設）、生きがい、次にチャレンジレベルによって同調できないか。余り地域にかかわらず、制度上の事も認識しておらず適切な答になっているとは思いません。難病で助成金を頂き家計的に大助かりです。

行政の就労支援の方々に助けて頂きつつ今日まで過ごさせて頂いている事感謝しております。今回の様に御通知を頂く際封筒に障害者相談室等と記入されていると同居の家族が嫌がります。私自身は現実なのでいたしかたないと思っておりますが、家族が“障害者”という言葉に嫌悪感を感じる様です。

①差別をしない。「障害者にはおしえない」など→まるで知的障害者みたいだ。（何も知らない）となる。②障害のある人のことを悪く言わない→特別あつかいにしない。③話の仲間に入れない。「あの人には言ったらだめだよ」など。④見て見ぬふりする。こまっていたら（たとえば病院へ）つれていくなど。→あざわらっているみたい。⑤障害のある人も、ない人もともに暮らせる社会の実現！⑥障害のある人にも働ける場（収入となる）生活のなりたつ環境をつくる場をつくる。⑦精神障害者を社会の周辺へおいやらない。重い人も軽い人もはたらける人は人の社会へ導いてほしい。仲間へ加えて下さい。⑧障害者を企業でつくらない。

障害者といっても見た目は全くわからないが、生活する中で医師から制限や、注意点が指示されている人も多いと思います。そのような人が地域活動に参加する時、自身ができる事と身体のためにしない方が望ましいことなどがあり、その都度説明したり、理解をもとめる事があると、参加する事に消極的になる。

障害者を自立させるべくサポートして欲しい。甘やかしは厳禁、厳しく優しく支援するようにして欲しい。また、支援する人の生活も市として保護して下さい。

◆行政サービスに関すること

障害者が介護保険対象になった場合、住みなれた所、団体会で暮らせるような体制の充実を望みます。

市役所にもパートが多すぎて、責任感のない人材が多数有。コスト削減も良いが、反面職務意識の低下を市民が感じ取ることが出来、正規社員と共に意識改革が必要。

障害者相談室の職員が間違った対応をして2度手間になった。都営交通の無料パスで知的なのに勝手に精神と判断された。正しく対応して欲しいし、わからないなら、わかる人に

◆行政サービスに関すること

聞いてから対応してほしい。所得基準の計算も間違えていた。

親の困りごとに親身に対応してくれるのは有難い。15～16年前くらいはふんぞり返ってやる気のない職員が多かったが、近ごろはずいぶん良くなった。

役所に書類申請するときは市役所職員が代筆して欲しい。また、障害者相談室職員は、障害当事者の立場にたって相談に乗って欲しい。

市役所の担当の方が非常に親切で安心して相談が出来る。今後もよろしくお願いします。

障害者相談室にお願いです。市民に寄り添って仕事をしていただきたい。制度も変更になるかもしれませんが、わかりやすく、的確に説明をしていただきたい。

地域包括支援センターの保健師にはまことにお世話になっております。今後もこういったサービスの提供を継続していただきたいと思います。市の障害者相談窓口は対応が迅速で親切です。今後もサービスの継続を希望します。

高齢になってから、病気により障害者となったため、若い方とは違う点が多いかと思いますが、体が不自由になった時に受けられるサービスがある事を全く知らなかった。知るまでの数年間の事を考えるともっと早くわかっていれば、と思うし、ずい分助かったのではとも思います。知ってからは、障害者相談室の方が自宅に来て下さる等、本当に助かりました。逆に言えば、自分が元気だった頃、障害のある方に対し、全く理解も関心もなかったという事。本当に難しい問題だと思う。いざ体が不自由になると、周囲の無理解は精神的に辛かったです。

窓口の人に要望を伝えても上には伝わらないと思うので、年に1回でも市長と市民が語り合う、直接話せるような会があると、もっと障害者の声が市長に届き改善されていくのではないのでしょうか。

アンケート送っていただきありがとうございます。この結果がどう施策に反映されるのか、是非知りたいと思います。結果反映について広い告知をお願いしたいと思います。

交通費助成の請求の簡素化。

税金を大切に。その税金を有効に使ってほしい。

「障害者福祉施策」に限らず「福祉行政サービス」のアウトソーシング化の傾向を強く懸念している。即ち質の低下である。

窓口での対応が良いと安心し、対応が乱暴だと次に行くときに不安、悲しくなります。

支払いに対して集金に来て欲しい。

市の方が夫にもっと親切な、話し方を教えてほしいです。(福祉)いつも単語1つだけ言って、聞きかえすと大声で単語を1つ言うだけでは、時々声がわれて、何の話かわかりません。私より耳の良い他人が私への親切な話し方を説明に家に来ていただきたいです。

市役所に行っても受付をした人がよくわからない事は他の人に聞いて対応してほしい。

障害をもつ人、弱者にやさしい対応を望みます。

手続き窓口の一本化。特別視でなく、一般市民と共にある自然な手助けや声掛けのできるやさしい街作りとしてほしい。健常者の意識改革としてほしいと思います。

申請してサービスを受けられるまでの時間が長い。また1つの機関のみで終了せず、上位

◆行政サービスに関すること

の機関に判断をゆだねる…2度手間である。1回の申請で全てが終わるようにできないか。

障害者は増加するものと思われるが、その対象者の状況は相当異なるので、実情に比例した支援を行うことが大切だと思います。書類だけで判定しない、また、判定したあとの追跡も考えるべきだと思います。

市職員皆が手続きとか出来る様にしてほしい。特定の職員さんだけが毎回大変な感じする。また、必要な書類が足りなかった時の対応が冷めたすぎる。もっと説明して案内してやさしくしてほしい。今後ともよろしくお願いします。

生活福祉課のお世話になっていますが、話し方態度がとても威圧的で怖いです。電話する時、窓口に行く時いつもビクビクしてしまいます。精神の病気に対しても知識がないらしく、ひどい事を言います。精神の障害者の病気に対してどうぞ理解を深めてください。弱者につけ込み、いじわるを言うような係の人に本当に苦しめられています。とても助けてくれる所とは思えません。先日はその人の前で死のうかとさえ思いました。なまけているではありません。様々な症状で働きたくても働くことができないのです。外に行くのも怖いのです。事務的な仕事として病気を理解できる人がいてほしいです。

練馬区富士見台と神保井町に35年くらしました。国分寺市に6年間住んでいますが、市役所の対応の人間味の無さにがくぜんとし失望しました。全く、市民の立場に立たず差別を受けた。人を傷つけ大変事務的かつクールです。21世紀になり、こんなに前時代的な役所もあるのかと驚きました。国分寺市にこして来て大変後悔しています。石神井の区の出張所は素晴らしくあたたかな対応で障害者を大切にしていました。国分寺とは雲泥の差です。改善は困難でしょう。そういう体質が続いて行くのでしょうか。

ケースワーカーさんが変わったり、連絡をしてもほぼつながらない。ケースワーカーさんに全てを話せたり正直に困っている事などを伝えられない。あまり信じられないと思う時が多々ある。

役所は2、3年で配置を変えず、熟年者を増やすべき。

横浜市から最近転入してきたが、サービスの差をとて感じる（市の規模が違うから仕方ない部分もあると思うが）行政、法人共こちらが聞いたことに答えるだけでなくいろいろアドバイス等してほしい。

行政によって福祉施策に違いがあるのはおかしいと思います。以前、住んでいた市と比べると国分寺市は劣っていると感じています。

もっと障害者のための市政をしてほしい。府中市みたいにいろいろなサービスがほしい。

車椅子を作りかえる時が近い将来来くと思いますが、どうか子ども（本人）のために心を持って作ってほしいです。子どもの命を軽く扱わないでください。一度でも訪問してください。どんな状態で暮らしているのか位は知ってほしいと願っています。会ってもいないのでは話になりません。

◆その他

福祉保健部障害者相談室の皆様にお世話頂いて今年も年送りができます。ころばぬよう邪魔がないようにと障害者を見守って下さる相談室の皆様がいらして下さることはげまされてまいりました。ありがとうございます。只私は障害者福祉施設を頂いて間違い（火災等）のない様に日常生活を心してまいりますがよろよろよろけて歩けなくて困ります。皆様よいお年をお迎えになられます様お祈りしてをります。

市役所に相談に行くとたいてい変な人も出てきて隣で壁をたたいたり何かどなったりしている。

二度ほど、相談（生活上のこと、住宅のこと）に行きましたが、借家の家賃が高いために引越しをしたいのですが、費用がなく、引っ越しもままならず住宅支援（半額負担）も出来ないといわれました。（預貯金やいろいろの状況を全部あかさないとだめとのこと。（例）車を所有している。生命保険に加入しているなど生活上、最低限のもの、車は足が悪いので通院の使用、生命保険は子供に対して何も残せないで、せめて保険だけは掛けておきたいのです。年金なし。子どもは（娘）非正規労働者のため生活の安全はないので心配。現在も日当で働いている。休むと支給されず、病気になると生活が立ち行かなくなる。世間のようにボーナスもでない。

現在私は都と市で医療費及び薬代をだしてもらっていますが障害年金が月約 6.5 万円なので母が死亡した場合家を出ていけと兄にいられています。蓄えは少しありますがアパートなど借りて食事をしていくとどのくらい生活できるかわかりません。かかり付けの医者に話をしたら生活が出来なくなったら相談しましょうと言われました。母は 91 才で私が介助しているので自分の事はあまり出来ない。

封筒面に「障害者相談室」と書かれた物を送らないで下さい。郵便配達員、近所の人間に知られるのは困ります。奇異の目で見られる原因となるので、今後は止めて頂くようお願いいたします。プライバシーの面でもこの様なやり方は不十分だと思います。

7 年位前、姉のことで物忘れ外来のことを市役所も、当時の府中病院も知らないと言った。結局心療内科でMRI を撮ったのだが、アルツハイマーばかりが話題になるが、レヴィー小型とかのことも知りたい。知念医院に行っているが駅南口から泉プラザ近くまでバス停がないので困っている。プラザの話では、金銭の管理をしてくれる後見人のような仕事が都ではあるけど、市にはまだないとのことでした。

同年令の方とたびたび食事するのですが地域によってサービスがとてもよいのですが、○タクシー券、○医療費半額…港区、杉並区等。国分時には通院時の交通費のみ請求が出来ます。通院が多くなる年令ですので考えていただけませんか。「後期高齢区分」で 1 月に 77,100 円を 2 度差し引かれましたので、市役所へ行きまして年金生活者ですので予定をたてて生活していますので、いっぺんにひかれると困るので国分寺は年寄りいじめですねと申し上げました。

難病の治療費の補助は大変助かっているが、通院の交通費の負担も大きくそこまでカバーしてほしい。医療券をもつ人が都営や市営住宅に安く（または優先的に）入る事はできま

◆その他

せんか？働かずに賃貸暮らしはきついです。まだ貯金があるから生活保護は受けられないと言われました。あと半年は働く見通しが立たないし、働けても月 10 万くらいです。将来が不安だからムリして貯金しているのに貯金を使いきれと言われるのは酷です。

私が難病になった時にはかなりのショックと今の自分、今後の自分に心配したのですが、このアンケートを見ると、そう思ったことが恥ずかしいほど恵まれていると感じました。しかし、軽い難病の方には医療費が出なくなるのでは、といつも不安。薬があるので、今の状態を保つことができ、その薬がかなり高いので。主人と二人の生活ですが、子どももいないので年がいった時の病院通いなどは不安なので考えないようにしています。障害のある方、病気の方達の不安のない今後を望みます。障害や病に対する研究も進んでくれたら、と思います。

国分寺市はとっても障害者福祉については充実していて満足しております。ただ学習障害、発達障害など、親の意識次第で、福祉に頼らなくても自立できるケースもあると思います。自立を目指すという目標を持つ時親へのアドバイス〈少し厳しいもの〉も必要と思います（人によりケースが違う）。すぐに福祉に頼り、楽であるという意識は変えていかなければならないと思います（小学校など普通学級へなるべく通学できるよう親子で頑張れる受け皿が学校にあると子どもにも忍耐や成長があります）。障害を持っていて社会に出れば傷つくことも健常者より多くなるのは当たり前なので、親は守るよりも少し厳しく育てる気持ちが大事なように思います。

これからもずっと国分寺市で生活したいので、高等部を卒業したあとは国分寺市の施設に通所したいと考えています。卒後に行き場がなくなることはないようにお願いします。そして、人工呼吸器の人は親の付き添いなしで通えるように看護師も増やして下さいをお願いします。親も高齢になっていくので、付き添いはきついと思います。親の都合で通所ができなくなるといことがなくなしてほしいです。今の学校では親の病気、けがでつれて行けないと、ずっと学校を休まないといけなくて悲しいです。ショートステイはりようしていますが、兄弟の用事や、介助者が通院したい時など日中一時預かりを利用できたらと思います。人工呼吸器の人でも利用できるようにしてほしいです。学校では親は外出できないので、用事に今のところショートステイを利用するしかありません。

アンケートが難しく、答えようがない。

よくしていただいているので現時点では困っていません。ありがとうございます。

一般の方、世間の皆様に障害者がいることを知ってほしいです。

市のNPO法人への委託費等のあり方について、適切な査定がされているか疑問である。市民の税金を大切にしてほしい。

生活保護費支給日に並ぶことが恥ずかしかった。担当者の方がとても親切で大満足しています。このようなアンケートをしていただくこと自体がうれしい。以上

パウチの援助を頂いています。良くして頂いていると感謝しております。今後もよろしくお願いします。

社協が役所など、連携がとれていないところや知識不足ともとれることがある。

◆その他

形骸化した自治会ではなく、思いやり深く、社会を支え合う絆でむずばれた明るい自治会の育成に努力し、老齡化、障害者支援社会をつくりたい。

行政のお陰で何とか暮らしております。深く感謝しております。

私は現在、精神障害 3 級ですが、症状からして 2 級だと思っておりますが、障害の判断は、身体障害を基準にしていると聞き、申請もあきらめました。今は親が活着ているので、生活出来ていますが親がいなくなった時には、自殺するつもりです。

定年後、1 年半詐欺師相手に無為な時間とお金を使ってしまった。支援家とか支援団体からお金を差上げますから手続きしてくださいというメールは、無視するように書いてください。

困ってる人の為に、お金を使って下さい。

障害者差別解消法のパブリックコメントを集めたものに、現行犯逮捕規定を設けてというのがのった、法の施行まで 3 年もかかり、現行犯逮捕規定は盛りこまれなかった。上記のような身近な差別こそ取りしめる必要がある。それらを犯罪とし、けい罰のある条例を早くつくるべき。

手話歌をやりたい！

自分の家ですがまだまだローンが有り大変です。主人は、目は見えない、口はきけない、手足はうごかない。今施設に入れてもらってますが、これから先、どれぐらいいきるかわからないのでお金が心配です。税金はまるまるとられ高くてこまっています。市はどのように考えているのでしょうか。私も、先月、脳梗塞でたおれ、入院してました。今はまだ左目が見えません。大変です。主人は施設だし私は入院、どうして良いか解らなくなり、市役所でなんとか考えてほしいです。このような人は大ぜいいますよ。

設問に“親”が前提としてあるのが気になる。孤児もいるだろうし、それにともなう事を思い出させる様な問はむずかしいだろうがして欲しくない。アンケートが届いたのも遅い。年末はいくら障害者と言えどもそれなりに予定がある。もっと早めにしてほしい。

国分寺市から東京都へお伝えいただけると有難いと思い、以下の文章を書きます。6 才の娘は 3 才の時に愛の手帳（4 度）を取得しました。6 才になったので更新の手続きに行きました。すると「知的障害がある事は明らかだが程度が軽い」という理由で更新できず手帳はお返ししました。この先普通に高校受験をし、就職しろ、と言われても不可能です。娘が障害者枠で就職する為には愛の手帳が必要です。お金は要りません。知的障害者に愛の手帳を下さい。

現在、主人も私も障害者です。私は心臓が悪く時にはほっさ、めまい、激しい心房細動で悩まされます。介護は要支援 1 で、マネージャーの話では現在の私の助けにはならないと思います。主人は身体不自由ですから何から何まで調子のよい時に食事の支度等をしていきます。一番困るのは重いものを少し移動するような時。老人ホームに入りたいと思いますが、二人ともこれからの命がどこまで続くか、少し長く続くと、年金だけでは足りない。貯金の取り崩しが終わるまでに死んでいけばいいのですが、そんな事ばかり考えています。

介護支援手続きの簡略化をしてほしい。精神障害者の眠った人材の掘り起し。引きこもり

◆その他

対策。安心して暮らせる国分寺市は、障害者、高齢者が安心して暮らせる街にならないといけないと思っています。安心、安全が街の魅力になります。「日本で一番暮らしてみたい街」にならなくても「日本で一番暮らしてみたくない街」にならなければよいのです。400億円?の赤字はショックです。障害者だってこの様に努力しています。だったら健常者の人々へ、「タバコ」のポイ捨てをやめましょう。健常者のマナーの悪さが、我々マイノリティーへの負担になります（精神的にも）。多く望むのは無理であっても、『行政をはじめ市政を司る方々のモラル』を信じ、今後の福祉計画作成を願います。

統合失調症ですが、私は臭いが気になり、いやな臭いがします。仕事にいきますが、自転車に乗っていると人に臭いといわれたり、へんな目で見られます。仕事は集中しているのでなんとかできるのですが、前のようにできません。収入も減り貯金をきりくずし生活しています。それでも障害者年金ももらえず、これからどうして生活していけばよいかわかりません。自分のこと子供のことはなんとか自分でできるのですが、臭だけが、どうにもなりません。病院の先生とあう薬をさがしているところです。生活費もそこをつきそうです。どうしたらよいでしょうか。皆にばかにされます。命があるので生きないといけません。なんとかならないでしょうか。

国分寺市のゴミ袋有料化の際、「障害者、高齢者、ゴミ袋無償提供」というサービスを利用したのだが当方は当時、移動が困難であった為、通院していた障害者センターまで来てくれるようにセンター職員の方がお願いした所、役所から袋を届けくれた。これは大変感謝しているが、届けに来た方がご丁寧に「こういうことはしないのだが、今日は特別に来た」と職員と当方別々に念を押して帰って行った。そういうことをわざわざ障害者に言わなければならないほど逼迫しているのであれば何故最初から連絡の際に断らなかったのか甚だ疑問である。また支給されたゴミ袋であるが全て一番小さいサイズのもので当方は脳梗塞の後遺症で重度の右半身麻痺があるのだが極めて使い勝手の悪い上、口を縛ることはほぼ不可能である。サービスを受けておきながらこういうことを言うのは大変苦しいが福祉実績の口実として一番売上の伸びないサイズの袋を押し付けるのであればちゃんと購入する。障害者相手の仕事は骨が折れるであろうことは容易に想像がつく。だがだからこそ注意を払って欲しいと希望する。

私は、変形性膝関節症のため、人工関節置換手術を受けました、その結果、障害者手帳を頂くようになりました。手術直後から暫くは、非常に不自由な生活でしたが、5年後の現在は、リハビリの甲斐あって、スムーズに歩けるようになりました。本年、主人が亡くなり一人ぐらしとなりましたが、最近思うことは、粗大ゴミを家の前の道路に出すのは、至難の仕事だと感じました。わが家は、道路から家に入るのに階段を4、5段のぼるのです。障害があってもなくても高齢者（例えば75才以上）の家庭は、階段の上でもよいという特例を出して頂けたらと願っています。

数年前、不慮の事故により、健康だった家族がある日突然最重度の、手足も動かず、口もきけない寝たきりになりました。その時は本人の心の傷やまわりの家族たちの精神的な支え、その上で会社、労災、病院との事務的なやり取りで疲れ果て、行政にどう助けを求め

◆その他

たらよいのかわからないまま、病院から障害者手帳の申請を言われそれだけをしたという程度で今まできているというのが現状です。もしかしたら記憶に残っていないだけで様々な恩恵を受けているのかもしれませんが…。何か起きた時に総合的にアドバイスをしていただける場所があるといいなと思いました。何をどこにどう聞けばいいのかわからない混乱した状態ではまだまだ市役所は私にとっては敷居が高いです。

今配偶者の老化が心配です。

在宅の精神障害者には、生活上の支援がなく、不自由している。これ以上経済的な負担が大きいと将来の貯金もできない。障害者の生活実態を知るためのアンケートとしては不十分だ。特に在宅の精神障害者が、どのような悩みを持っているか、知ってほしい。当事者負担（応益負担）の現状には、厳しいものがある。就労したくても、病気（障害）のために就労できない。障害をおおっぴらに話すことは難しいから、他者とも関われない。病気による困難が、生活の難しさを生んでいる。応益負担が大きくなると、趣味の活動もできなくなる。また、他者との関係に不安があるので、孤立しやすい。「ひきこもり」になるのは、当然だ。軽い買い物と通院以外は、外出していない。

第5章 総括

（１）身体障害者の状況

回答者は 60 歳以上が約 7 割で、約半数が配偶者と一緒に暮らしていますが、ひとり暮らしも 15%を超えています。手帳の等級は 1～2 級が 5 割以上、3～4 級が約 4 割となっています。障害の部位は、「肢体不自由（下肢）」、次いで「内部障害（心臓，呼吸器，じん臓，ぼうこう，直腸，小腸，肝臓）」が多くを占め、およそ 4 人に 1 人が要介護認定を受けています。

仕事をしている人が 2 割近くとなっており、その半数近くが「会社などの正規の社員・職員（役員を含む）」として働いています。月に 21 日以上働いている人も 3 割を超えています。

家計の収入は年間 200～300 万円が約 2 割で最も多く、全体の半数以上が公的年金収入（国民年金，厚生年金，障害年金，恩給など）を主な収入源としています。

日常生活面の自立に関しては、調理，掃除・洗濯，外出，各種手続きにおいてひとりでする割合が 5 割台と他の項目に比べて低く，介助を受けている人は 4 割程度となっています。

障害福祉サービス等について「利用したことがある（現在利用中も含む）」という人は 3 割程度となっています。利用しているサービスは、「居宅介護」と「短期入所（ショートステイ）」が多く，今後利用したいものは「短期入所（ショートステイ）」、「生活介護」の順となっています。

（２）知的障害者の状況

回答者は 20 歳未満が 4 割近く，20～39 歳が約 4 割で，親と一緒に暮らしている割合が 8 割近くを占めています。手帳の等級は「4 度」が約 4 割，「2 度」が 3 割，「3 度」が約 2 割となっています。3 割以上が「通園・通学」をしていると回答し，そのうち 5 人に 1 人が「通園・通学先が遠い」と回答しています。

仕事をしている人が 2 割近くとなっていますが，そのうち 7 割近くが「非正規の社員（契約社員，パート，アルバイト等）」となっています。月に 21 日以上働いている人が 4 割を超えています。仕事の悩みとして「自分の考えや思ったことが伝えられない」という人が 3 割を占めています。

家計の収入は，年間 100～200 万円が約 2 割で最も多く，親族などからの援助の割合（約 15%）も比較的多くなっています。

日常生活面の自立に関しては，室内の移動，食事，トイレ，着替え，入浴以外の項目では，一部または全面的に介助が必要な割合が多く，7 割近い人が介助を受けています。

障害福祉サービス等について「利用したことがある（現在利用中も含む）」という人は 6 割を超えています。

障害福祉サービス等については「短期入所（ショートステイ）」、次いで「就労継続支援（B 型）」と「放課後等デイサービス」の利用割合が多く，今後利用したいものは「短期入所（ショートステイ）」、「共同生活援助（グループホーム）」の順となっています。

（３）精神障害者の状況

回答者は20～49歳が半数以上で、親と一緒に暮らしているのが4割近く、一人暮らしが3割となっています。精神障害者保健福祉手帳の等級は、「2級」が5割以上で、「3級」が約3割、「1級」が約15%となっています。自立支援医療（精神通院医療）受給者証は、8割近くが「持っている」と回答しています。仕事をしているのは1割を超える程度で、そのうち6割以上が「非正規の社員（契約社員、パート、アルバイト等）」となっています。仕事は月に20日以下の割合が8割以上となっています。

また、就労時間は1日に「5～6時間」以下の人が約半数で、他の障害に比較して就労時間が短く、仕事の悩みに関しても「仕事の内容や労働条件（労働時間や日数等）が希望にあわない」と感じている割合が比較的多くなっています。しかし、現在仕事をしている方の今後の就労の形態としては、半数以上が「非正規の社員（契約社員、パート、アルバイト等）」を希望しています。

家計に関しては、無収入の割合が約2割で最も多く、年間100万円未満が約25%、生活保護受給者の割合も約15%と、他の障害者と比較してもっとも経済的に困難な状況にあります。

日常生活面での自立に関しては、各種手続き、調理、人とのコミュニケーションで、一人でできる割合が5割前後と低く、半数近くの人が介助を受けています。

障害福祉サービス等について「利用したことがある（現在利用中も含む）」という人は約5割となっています。

障害福祉サービス等で現在利用中のものは、「就労継続支援（B型）」、次いで「就労移行支援」となっており、今後利用したいものは「就労移行支援」と「就労継続支援（A型）」の割合が多くなっています。

（４）難病患者の状況

回答者は60歳以上が約6割で、6割近くが配偶者と一緒に暮らしています。およそ4人に1人が要介護認定を受けています。仕事をしている人が2割以上と最も多く、その4割以上が「会社などの正規の社員・職員（役員を含む）」として働いています。仕事は月に20日以下の割合が7割以上となっています。

家計の収入は、年間300～500万円以上が約25%と、他の障害と比較して最も多くなっています。また、約5割の人が公的年金収入（国民年金、厚生年金、障害年金、恩給など）を主な収入源としています。

日常生活面では、全般的に自立している傾向にあり、調理、外出、各種手続きなどでひとりではできる割合がやや低くなっていますが、介助を受けている人は4割以下と最も低くなっています。障害福祉サービス等について「利用したことがある（現在利用中も含む）」という人は3割程度となっています。

障害福祉サービス等で現在利用中のものは、「居宅介護」、「生活介護」の割合が多く、今後利用したいものは「短期入所（ショートステイ）」、次いで「居宅介護」の順となっています。

(5) 高次脳機能障害者の状況

回答者は60歳以上が6割を超え、約半数が配偶者と一緒に暮らしています。「高次脳機能障害がある」という人は全体の3.4%ですが、そのうち「要介護認定を受けている」人が約5割以上となっています。就労については、該当する回答者が5名のみ。

家計については、年間の収入が200～300万円が3割近くで最も多く、6割以上が公的年金収入（国民年金、厚生年金、障害年金、恩給など）を主な収入源としています。

日常生活面では、食事、室内の移動、トイレをひとりですることができる割合が5割を超えている以外は、一部または全面的に介助を必要としている割合が多く、7割以上の人が介助を受けています。障害福祉サービス等について「利用したことがある（現在利用中も含む）」という人は5割を超える程度となっています。

障害福祉サービス等で現在利用中のものは、「短期入所（ショートステイ）」、「居宅介護」の割合が多く、今後利用したいものは「短期入所（ショートステイ）」、次いで「居宅介護」と「自立訓練（機能訓練）」となっています。

(6) 発達障害者の状況

回答者は20歳未満が約4割、20～39歳が4割以上で、親と一緒に暮らしている割合が8割以上となっています。日中は4割近くが「通園・通学」をしていると回答し、そのうち5人に1人が「通園・通学先が遠い」と回答しています。

また、仕事をしている人が2割近くいますが、そのうち7割以上が「非正規の社員（契約社員、パート、アルバイト等）」となっています。月に21日以上働いている人が4割を超えています。仕事の悩みとして「自分の考えや思ったことが伝えられない」という人が3割を占めています。

家計の収入は、年間で100～200万円が2割近くで最も多く、親族などからの援助の割合（約17%）も多くなっています。

日常生活面の自立に関しては、室内の移動、食事、トイレ、着替え、入浴以外の項目では、一部または全面的に介助が必要な割合が多く、6割以上の人が介助を受けています。障害福祉サービス等について「利用したことがある（現在利用中も含む）」という人も6割以上となっています。

障害福祉サービス等で現在利用中のものは、「短期入所（ショートステイ）」、「放課後等デイサービス」の割合が多く、今後利用したいものは、「短期入所（ショートステイ）」、「共同生活援助（グループホーム）」の順となっています。

(7) 進学・就労について（全般）

通園・通学している人たちの今後の進路については、0～5歳の約7割、6～10歳の8割以上、11～15歳の6割以上が今後も通学を希望しています。それ以上の年代になると、16～20歳では5割以上が、21～25歳では9割近くが就労を希望しています。

身体障害、難病の方は「会社などの正規の社員・職員（役員を含む）」として働いている割合が多く、身体障害、難病の方の半数以上は仕事を「自分で探した」と回答しています。精

神障害や難病の方では、ひと月の就労日数として20日以下を希望している割合が7～8割と高い傾向にあります。

現在仕事をしている方の今後の希望する就労形態に関しては、精神障害を除き、いずれも「会社などの正規の社員・職員（役員を含む）」の割合が第一位となっています。また、現在通所している人で就労を希望している（「仕事を探している」）のは、10歳代が約4割、20歳代が約4人に1人となっています。

仕事での悩みとしては、職場での障害に対する理解の不足や職場の人間関係、特に知的障害や発達障害の人では意思伝達での困難があげられており、障害に対する理解や障害のある人が職場で働くに当たって合理的配慮を促すなど、障害のある人の就労の促進に向けた社会的環境の整備に取り組んでいく必要があります。

（8）住まいについて（全般）

住まいは、全体的に「持ち家」が最も多くなっているものの、精神では「民間賃貸住宅」が3割近くとなっています。また、全体の4～5割が住み替えの経験があり、その際には、知的障害と発達障害の方で新たな環境への不安が多く、精神障害と高次脳機能障害の方で毎月の支払いへの不安が多くなっています。

障害のある人が地域で望む住まいのあり方を支援するため、優先入居の実施や単身入居を可能とするための取組を進めるとともに、賃貸人、障害者双方に対する情報提供等の支援、必要な相談体制の整備等を行っていく必要があります。

（9）外出について（全般）

職場、学校等、障害者の通所施設・作業所等への往復では、知的障害と発達障害の方で外出の頻度が多くなっており、「ほとんど毎日」が知的では6割以上、発達では6割近くとなっています。行き先は市内が約4割、市外が4～5割で、半数はひとりで出かけており、移動手段は電車、徒歩、バスの順で多くなっています。

日常的な外出（買い物、食事、散歩など）については、週に1～2回くらいの割合が多く、約半数が市内に行っており、徒歩や自家用車、自転車が主な交通手段となっています。

余暇活動、趣味活動は、週に1～2回から月に数回の割合が多く、市外の割合が多くなっています。移動手段は自家用車と電車が多くなっています。これらの外出については、精神障害や難病の方は一人で、知的障害や発達障害の方は家族と一緒に行動している割合が多くなっています。

障害のある人の移動に関する支援の在り方については、今後高齢化が進んでいくことや社会参加の機会の確保の観点から、ニーズや実情を踏まえた検討を行っていく必要があります。

(10) 災害対策について（全般）

防災訓練などへの参加は、知的障害と発達障害の参加は4割を超えていますが、その他の障害の方の参加は少なくなっています。一方で、避難場所については、難病や身体障害の方が「知っている」割合が6～7割と多く、知的障害と発達障害の方では「知らない」が5割前後となっています。

知的障害と発達障害、高次脳機能障害の方では、「自力では避難場所まで行くことが難しい」が4～5割を占め、災害発生時に安否確認をしてくれる人が「誰もいない」という障害のある人が1～2割となっていますが、災害時要援護者登録制度の利用は、知的障害や高次脳機能障害の人でも2割程度であり、制度の利用促進を図っていく必要があります。

また、知的障害と発達障害の方では、「障害があるため、災害がおきたことや内容について情報が得られない」という割合も4割前後と多くなっており、災害発生時に障害者に対して適切に情報を伝達できるよう、障害特性に配慮した情報伝達の体制の整備を進めていく必要があります。

(11) 障害福祉サービス等の利用について（全般）

障害福祉サービス等について、「利用したことがある（現在利用中も含む）」という人は、身体障害や難病の人で3割程度、精神障害と高次脳機能障害では5割を超える程度、知的障害と発達障害では6割以上となっています。

サービス利用上の困難としては、通所サービスにおいて、知的障害、精神障害、発達障害の人で「場所が遠い」というものが1割程度、高次脳機能で「サービスの内容が自分に合っていない」が約1割となっています。

障害福祉サービス等を利用していない理由は、全体的に「必要がなかったため」が多くなっていますが、精神障害や発達障害、高次脳機能障害の人では「内容がよくわからなかったため」という理由も3割を超えています。平成24年度からスタートした障害児通所支援等も含め、障害に応じて必要なサービスを受けることができるよう更なる制度の周知を図っていく必要があります。

(12) 権利擁護について（全般）

成年後見制度や地域福祉権利擁護事業について、制度の利用者は最大で5%程度となっています。また、制度を知らないという割合も多くなっています。成年後見制度について「聞いたことがある程度」「知らない」をあわせると、どの障害種別においても6割程度になることから、成年後見制度について更なる周知を図っていく必要があります。

また、市の障害者虐待防止の相談窓口について知っている人は1～2割となっています。障害者虐待防止法に関する広報・啓発活動を行うとともに、障害者虐待の防止に向けた取り組みについても推進していく必要があります。

(13) 相談等について（全般）

日常生活や障害のことなどについて困った時の相談先は、全体的に「家族」が最も多く、そのほか精神障害の人では「相談支援事業（つばさ・プラッツ・虹）のスタッフ」、知的障害の人では「障害のある仲間」、難病や高次脳機能障害、発達障害の人では「病院のスタッフ」が主な相談先となっています。

相談したことがある相談支援機関としては「市障害者相談室」の割合が多くなっていますが、相談機能を充実させるために必要なこととしては、「適切なアドバイスができる人材がいる」や「気軽に話を聞いてもらえる」などの意見があげられています。

家族と暮らす障害者について、地域で活動し、かつ専門的な人材を有している民間法人等の活用による人材の確保や市障害者相談室等のさらなる充実を図るとともに、ピアカウンセリング等の当事者による相談活動を促進していくことも重要だと考えられます。

(14) 医療・保健について（全般）

定期的に通院しているのは、精神障害と難病の人で約8割、身体障害や高次脳機能障害の人が約7割、知的障害や発達障害の人が約6割となっています。

医療面で困っていることとしては、発達障害や知的障害、高次脳機能障害の人などで「専門的な治療を行っている医療機関が身近にない」、発達障害の人で「医師や看護師とのコミュニケーションがうまくとれない」、全般的に「医療費の負担が大きい」などとなっています。

障害のある人が身近な地域で必要な医療やリハビリテーションを受けられるよう地域医療体制等の充実とともに、福祉サービスと連携した保健・医療サービスの情報提供体制の充実を図っていくことも重要です。

(15) 将来の生活について（全般）

今後の生活に対する主な不安は、全体的に「身体のことについて」もしくは「生活費について」が最も多くなっているほか、知的障害の人では「介助者・支援者の高齢化について」、発達障害の人では「就職・仕事のことについて」などが4割を超えています。

年齢別にみると、10歳未満では「進学・学校生活について」、10歳代では「就職・仕事のことについて」、20歳代～40歳代では「生活費について」、50歳以降では「身体のことについて」の割合が最も多くなっています。

将来の生活については、難病、高次脳機能障害、身体障害の人では、「家族の介助・支援を受けたり、福祉サービスを利用したりして、家庭で生活したい」という意向が多く、地域生活を支援するための福祉サービスの充実と、特に難病患者に対しては医療体制の確保を図っていく必要があります。

知的障害や発達障害の人では「身の回りの世話を助けてくれる人がいて、仲間と一緒に共同住宅で生活したい（グループホーム・ケアホーム）」という割合が高いことから、グループホーム等の充実を図るとともに、障害者に対する住民の理解促進、就労の場の確保等を進めていく必要があります。

(16) まちづくりについて（全般）

地域で暮らしやすくしていくために特に力を入れてほしいものは、全体的に「情報提供・相談体制の充実」が多くなっています。障害者に対するサービスや施策についての情報の入手先は、全体的に「市のお知らせ（窓口や広報紙など）」が最も多く、発達障害や知的障害では「家族や近所の人」、精神障害や難病、高次脳機能障害の人では「保健・医療機関」の割合が比較的多くなっています。

障害者団体については全体的に「知らない」割合が多くなっており、特に難病では6割を超えています。障害者団体への加入については、知的障害や発達障害の人が3割を超えて多く、精神障害や高次脳機能障害の人では15%程度、身体障害や難病の人では1割未満と低くばらつきがみられます。

障害者団体の活動は、地域における障害のある人同士の結びつきを深め、福祉のまちづくりにとっても大きな役割を持っていることから、活動の活性化に向けた支援の充実を図っていく必要があります。

(17) 介助者について（全般）

介助者・支援者の方の年代は、知的障害や発達障害では40～50代、身体障害、難病、高次脳機能障害では60歳以上の年代が多くなっています。また、身体障害、難病、高次脳機能障害の介助者・支援者の方の健康状態は、健康だという割合も比較的低くなっています。

介助・支援をする際の悩みは、全体的に「将来どうなるかが不安」が最も多く、特に知的と発達障害では7割を超えています。介助・支援をできなくなった場合の対策として、全体的に「施設・病院を利用する」と「本人が自活できるようにしたい」の割合が最も多くなっています。

家庭で介助・支援を行っている家族の高齢化も進んでいくことから、障害のある人本人の地域生活での自立に向けた支援とともに、介助者・支援者の健康問題等も含めた情報提供や相談支援等についても充実していく必要があります。

第6章 調査票

こくぶんじしちいきふくしけいかく
国分寺市地域福祉計画

しょうがいふくし かん
障害福祉に関するアンケート

きょう りよく ねが
～ご協力のお願い～

しみん みなさま ひ ごろから ぶんしほけんぎょうせい ぎょうりよく
市民の皆様には、日ごろから福祉保健行政にご協力いただき、ありがとうございます。

こくぶんじし げんざい ぶんしほけんぶんや そうごうてき ほうかつてき けいかく しゃかいふくしほう もと ちいきふくし
国分寺市では、現在、福祉保健分野の総合的・包括的な計画として社会福祉法に基づく地域福祉
けいかく さくてい よてい なか しょうがいしゃへん しょうがいふくし かん けいかく さくてい
計画の策定を予定しています。その中の障害者編として、障害福祉に関する計画を策定いたしま
す。

しみん みなさま しょうがい かん かんが じったい はあく いげん ていげん
つきましては、市民の皆様の障害に関するお考えや実態を把握するとともに、ご意見、ご提言
ひろ き けいかく はんえい おち じっし
を広くお聞きし、計画づくりに反映していきたいと思い、アンケートを実施することといたしま
した。

ちようさき しょうがい かつ たいしやう きょうりよく ねが かいとう
このアンケート調査は、障害のある方を対象に、ご協力をお願いするものです。ご回答いた
ちようさきないやう ちいきふくしけいかく しょうがいしゃへん さくてい さんこう りよう かいとうしゃ
だいた調査内容は、「地域福祉計画（障害者編）」策定の参考として利用するものであり、回答者
こじん とくてい ほか もくてき りよう いっさい
個人が特定されたり、他の目的に利用することは一切ありません。

いそが てする しゅし りかい きょうりよく
お忙しいところ、お手数をおかけしますが、趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよ
ねが もう あ
うお願い申し上げます。

へいせい ねん がつ
平成25年12月

こくぶんじし ちょう
国分寺市長

いざわ くにお
井澤 邦夫

きにゆう ねが
<ご記入にあたってのお願い>

- 1 ちょうさひやう なまえ きにゆう ひつよう こじん ひみつ まも おち
調査票にお名前を記入する必要はありません。個人の秘密は守られますので、思ったこと
をありのままにきにゆうください。お答えにくいところはかかなくても構いません。
- 2 ちょうさひやう ほんにん きにゆう かつち さくせい しつもん ぶんちゆう
この調査票は、ご本人に記入していただく形で作成していますので、質問の文中の「あな
た」は、しょうがい も ほんにん さ しつもんによつて、ご本人のきにゆう むすか ないよう
障害をお持ちのご本人を指していますが、質問によって、ご本人のきにゆう むすか ないよう
につきましては、普段介助・支援をされている方がご本人の立場や気持ちになって記入して
ください。
- 3 お答えは、設問ごとに「(○は1つ)」「(あてはまるものすべてに○)」など、それぞれ指
かた さいてい
定されていますのでご注意ください。
- 4 問によっては、いちぶ かつち こた ねが
一部の方にお答え願うものもございますので、【問●で●と回答した方】や、
【→問●へ】のように案内に沿って所定の設問にお答えください。
- 5 かいとう たい ない ぐたいてき きにゆう
回答が「その他 ()」にあてはまるものは、()内に具体的にきにゆう
記入してください。
- 6 きにゆう ちょうさひやう がつ にち きん どうふう へんしんようふうとう い
ご記入いただいた調査票は、12月27日(金)までに 同封の返信用封筒に入
れ返送ください。(切手は貼らないで結構です。)

ちようさ と あ か き ねが
この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

なほ きにゆう できない ばあい おいても か き れんらく
なお、記入することができない場合においても、下記までご連絡ください。

こくぶんじし ぶんしほけんぶ しょうがいしゃそうだんしつ
国分寺市 福祉保健部 障害者相談室

でんわ ないせん
電話 042 (325) 0111 《内線 202》 ファクス 042 (324) 6831

◎この調査票を記入していただける方はどなたですか。次の中からお選びください。(○は1つ)

1. ご本人が回答：ご本人に相談しながら家族、支援者等が代筆するものを含みます。
2. ご家族が回答：ご本人の立場や気持ちになって記入してください。
3. その他の方の回答（具体的な回答者： ）：ご本人の立場や気持ちになって記入してください。

★この調査票は、ご本人に記入していただく形で作成していますので、質問の文中の「あなた」は、障害をお持ちのご本人を指しています。

1 ご本人についておかがいします

問1 あなたの性別と年齢をお答えください。(平成25年11月1日現在)(○は1つ)

(1) 性別

1. 男性 2. 女性

(2) 年齢

歳

(数字を記入)

問2 あなたはどなたとお住まいですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-----------------|----------------------|
| 1. ひとり暮らし | 7. 孫 |
| 2. 親 | 8. その他の親族 |
| 3. 兄弟姉妹 | 9. 友人・知人 |
| 4. 祖父母 | 10. グループホーム・ケアホームの仲間 |
| 5. 配偶者(妻, 夫) | 11. 施設の仲間 |
| 6. 子ども(子どもの配偶者) | 12. その他() |

問3 あなたのお住まいのまちは次のうち、どれですか。(○は1つ)

- | | | | |
|--------|---------|---------|---------|
| 1. 東元町 | 6. 本多 | 11. 日吉町 | 16. 北町 |
| 2. 西元町 | 7. 東恋ヶ窪 | 12. 内藤 | 17. 光町 |
| 3. 南町 | 8. 西恋ヶ窪 | 13. 富士本 | 18. 高木町 |
| 4. 泉町 | 9. 東戸倉 | 14. 新町 | 19. 西町 |
| 5. 本町 | 10. 戸倉 | 15. 並木町 | |

問4 国分寺市にどれくらい住んでいますか。(○は1つ)

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 1年未満 | 3. 3年以上5年未満 | 5. 10年以上20年未満 |
| 2. 1年以上3年未満 | 4. 5年以上10年未満 | 6. 20年以上 |

問5 あなたの障害の種類・程度などをおたずねします。 ※すべての質問(1)~(8)にお答えください。

(1) 身体障害者手帳 (○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 3. 3級 | 5. 5級 | 7. 持っていない |
| 2. 2級 | 4. 4級 | 6. 6級 | |

(1)－1 あなたの障害の種類、部位について、おたずねします。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--|
| 1. 視覚障害 | 7. 肢体不自由 (体幹機能) |
| 2. 聴覚障害 | 8. 内部障害 (心臓, 呼吸器, じん臓, ぼうこう, 直腸, 小腸, 肝臓) |
| 3. 平衡機能障害 | 9. ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障害 |
| 4. 音声・言語・そしゃく機能障害 | 10. その他 () |
| 5. 肢体不自由 (上肢) | |
| 6. 肢体不自由 (下肢) | |

【問5(1)－1で回答した方】

(1)－2 ○をつけた中で、主なものを1つだけ選び、下の□に番号を記入してください。(身体障害者手帳を参考にして、最も障害の程度の重いものについて記入してください。)

主な障害の種類、部位

※問5(1)－1の番号を記入

★以下の設問も続けてご回答ください。

(2)愛の手帳 (○は1つ)

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1度 | 2. 2度 | 3. 3度 | 4. 4度 | 5. 持っていない |
|-------|-------|-------|-------|-----------|

(3)精神障害者保健福祉手帳 (○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 | 4. 持っていない |
|-------|-------|-------|-----------|

(4)自立支援医療(精神通院医療)受給者証 (○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 持っている | 2. 持っていない |
|----------|-----------|

(5)特殊疾病(難病)者福祉手当 (○は1つ)

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

(6)高次脳機能障害(※) (○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 高次脳機能障害がある | 2. 高次脳機能障害はない |
|---------------|---------------|

※高次脳機能障害とは、交通事故・転倒・転落や脳卒中などの後、性格が変わってしまった、会話が成り立たなくなった、新しいことが覚えられなくなるなどの症状のことを言います。

(7)発達障害(※) (○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 発達障害がある | 2. 発達障害はない |
|------------|------------|

※発達障害とは、他の人と上手につきあえない、ごっこ遊びができない、じっとしていることができないなどの症状があります。自閉症・アスペルガー症候群・学習障害・注意欠陥多動性障害等の総称のことです。

(8) 介護保険制度における要介護認定を受けていますか。受けている方は、認定要介護度の区分もお答えください。(〇はそれぞれ1つ)

1. 要介護認定を受けている	1. 要支援1	4. 要介護2	7. 要介護5
	2. 要支援2	5. 要介護3	
	3. 要介護1	6. 要介護4	
2. 要介護認定を受けていない			

問6 あなたは普段、主にどのような日中活動をしていますか。(〇は1つ)

1. 通園・通学している【→問7へ】
2. 仕事をしている(※給料等が出ている場合でも通所事業所は含みません)【→問10へ】
3. 通所している【→問16へ】
4. その他()【→問18へ】

2 教育についておうかがいします

【問6で「1」と回答した方】

問7 現在、あなたが通園・通学しているところはどこですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 通園施設(療育施設)	10. 通級指導学級(小・中学校)
2. 保育所・保育園	11. 盲・ろう学校
3. 幼稚園	12. 高等学校(全日制)
4. 特別支援学校幼稚部	13. 高等学校(定時制を含むその他の課程)
5. こどもの発達センターつくしんぼ	14. 職業訓練校
6. 特別支援学校小・中学部	15. 専門学校・専修学校
7. 特別支援学校高等部	16. 短大
8. 普通学級(小・中学校)	17. 大学・大学院
9. 特別支援学級(小・中学校)	18. その他()

問8 通園・通学をする上で、お困りのことはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 通園・通学先が遠い	6. 通園、通学している人同士の障害への理解が不足
2. 通園・通学の付き添いの確保が不十分	7. 希望する学級に入れない
3. トイレ等の設備が不十分	8. その他()
4. 園内・校内での介助・支援が不十分	9. 特になし
5. 職員・教員の理解が不足	

問9 今後、どのような進路を希望しますか。現在通っている園・学校の卒業後の進路をお答えください。(〇は1つ)

1. 通学したい	4. 障害者の施設に通所したい
2. 障害児通所支援(児童発達支援など)を利用したい	5. 障害者の施設に入所したい
3. 働きたい	6. その他()

→★続けて、問18をご回答ください。

3 就労状況についておうかがいします

【問6で「2」と回答した方】

問10 仕事の形態は次のどれですか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------------------|------------|
| 1. 会社などの正規の社員・職員 (役員を含む) | 4. 家業の手伝い |
| 2. 非正規の社員 (契約社員, パート, アルバイト等) | 5. 内職 |
| 3. 自営業 | 6. その他 () |

問11 どのように仕事を探しましたか。(○は主なもの1つ)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 自分で探した | 3. 就労移行支援事業所で探した |
| 2. ハローワークで探した | 4. その他の方法で探した () |

問12 あなたは、毎月、平均して何日ぐらい働いていますか。また、1日の労働時間は平均して何時間ぐらいですか。

- (1) ひと月 _____ 日ぐらい
- (2) 1日 _____ 時間ぐらい

問13 あなたは、毎月、平均して何日ぐらい働きたいですか。また、1日の労働時間は平均何時間ぐらいを希望しますか。

- (1) ひと月 _____ 日ぐらい
- (2) 1日 _____ 時間ぐらい

問14 現在の仕事について、悩みや不満などがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|--|
| 1. 仕事の内容や労働条件 (労働時間や日数等) が障害の程度にあっていない |
| 2. 仕事の内容や労働条件 (労働時間や日数等) が希望にあわない |
| 3. 職場の障害に対する理解が不足している |
| 4. 職場の人間関係がうまくいかない |
| 5. 通勤が大変である |
| 6. トイレなどの職場の設備が不十分 |
| 7. 賃金や待遇面で不満がある |
| 8. 周囲の目が気になる |
| 9. 周囲の人の手助けが得られない |
| 10. 自分の考えや思ったことが伝えられない |
| 11. 相談できる人がいない |
| 12. その他 () |
| 13. 特に悩みや不満はない |

問15 今後は、どのような形で働きたいと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------------------|-------------------|
| 1. 会社などの正規の社員・職員 (役員を含む) | 5. 内職 |
| 2. 非正規の社員 (契約社員, パート, アルバイト等) | 6. 就労継続支援A型 (雇用型) |
| 3. 自営業 | 7. その他 () |
| 4. 家業の手伝い | |

【問6で「3」と回答した方】

問16 あなたは現在、仕事を探していますか。(○は1つ)

1. 探している 2. 探していない 【→問17へ】

【問16で「1」と回答した方】

問16-1 どのように探していますか。(○は主なもの1つ)

1. 自分で探している 3. 就労移行支援事業所で探している
2. ハローワークで探している 4. その他の方法で探している
()

【問16で「1」と回答した方】

問16-2 どのような形で働きたいと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 会社などの正規の社員・職員(役員を含む) 5. 内職
2. 非正規の社員(契約社員、パート、アルバイト等) 6. 就労継続支援A型(雇用型)
3. 自営業 7. その他()
4. 家業の手伝い

問17 障害のある人が働くためには、どのようなことが必要だと思えますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 企業などが積極的に障害のある人を雇うこと
2. 障害のある人に配慮した職場の施設・設備が整っていること
3. 労働条件(短時間労働など)が整っていること
4. 生活できる給料がもらえること
5. 事業主や職場の仲間の理解があること
6. 障害のある人を雇用する、または雇用しようとする企業への公的支援
7. 仕事をするための訓練・研修の機会が充実していること
8. 自営業を希望する障害のある人への支援が充実していること
9. 通勤(交通)手段が確保されていること
10. 働く場の紹介や職場になれるまで仕事場に同行したり、相談にのる人がいること
11. 健康管理が充実していること
12. 働く場が整備されていること
13. 公営住宅やアパート、グループホームなどの住居が整備されていること
14. その他()
15. 特に必要ない

4 家計についておうかがいします

問18 あなた個人の1年間の収入は、およそどのくらいですか。18歳未満は主たる生計中心者、18歳以上は本人および配偶者の方(2人の合計額)の収入をお答えください。(〇は1つ)

- | | | |
|----------------|------------------|--------------|
| 1. 無収入 | 5. 200～300万円未満 | 9. 1,000万円以上 |
| 2. 50万円未満 | 6. 300～500万円未満 | 10. わからない |
| 3. 50～100万円未満 | 7. 500～800万円未満 | |
| 4. 100～200万円未満 | 8. 800～1,000万円未満 | |

問19 あなた(18歳未満は主たる生計中心者、18歳以上は本人および配偶者の方)の生活を支えている主な収入は何ですか。(〇は1つ)

- | | |
|-----------------------------------|-------------|
| 1. 公的年金収入(国民年金, 厚生年金, 障害年金, 恩給など) | 6. 貯金を切り崩して |
| 2. 生命保険等の私的年金 | 7. 生活保護 |
| 3. 働いて得た収入 | 8. その他() |
| 4. 不動産収入や株の配当 | 9. わからない |
| 5. 親族などからの援助 | |

5 住宅の状況についておうかがいします

問20 あなたのお住まいは次のうちどれですか。(〇は1つ)

- | | | |
|-----------|------------------|--------|
| 1. 持ち家 | 4. 社宅や公務員住宅 | 7. その他 |
| 2. 民間賃貸住宅 | 5. 施設に入所 | () |
| 3. 公営住宅 | 6. グループホーム・ケアホーム | |

問21 あなたは、これまでに住み替えをしたことがありますか。(〇は1つ)

- | | |
|--------------------------|------------------|
| 1. 住み替えをしたことがある | 3. 将来住み替えを予定している |
| 2. できれば住み替えたいが、実現できそうにない | 4. 特に住み替えは考えていない |

【問21で「1. 住み替えをしたことがある」と回答した方】

問21-1 あなたは、実際に現在の住居に住み替えをした際に、心配したこと、困ったことは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|--------------------------|----------------------------|
| 1. 新しい環境に馴染めるか不安だった | 5. 保証人になってくれる人が見つからなかった |
| 2. 毎月の支払いができるか心配だった | 6. 不動産屋や大家さんとの契約が難しかった |
| 3. 希望どおりの物件がなかなか見当たらなかった | 7. 引越しの手続きや作業を自分でできるか不安だった |
| 4. 家族の同意が得られるか心配だった | 8. その他() |

6 外出についておうかがいします

問22 外出の目的ごとに、あなたの出かける回数、主な場所、主な交通手段、一緒に出かける人についてお答えください。(該当するものについて、選択項目から番号を選び、直接ご記入ください。それぞれ数字は1つ)

	記入例	A 職場、学校等、障害者の通所施設・作業所等への往復	B 日常的な外出(買い物、食事、散歩など)	C 余暇活動、趣味活動	D 医療機関(通院、リハビリなど)への往復
出かける回数	3				
主な場所	1				
主な交通手段	2				
一緒に出かける人	2				

選択項目

【出かける回数】	1. ほとんど毎日	3. 週に1~2回くらい	5. 年に数回くらい
	2. 週に3~4回くらい	4. 月に数回くらい	6. 行かない
【主な場所】	1. 市内	2. 市外	
【主な交通手段】	1. 徒歩	4. タクシー	7. 自家用車
	2. バス	5. 自転車	8. 施設の送迎車 ()
	3. 電車	6. バイク	9. 移動サービス(福祉有償運送)
【一緒に出かける人】	1. なし(一人で)	4. 介助者(ヘルパーやボランティア)	
	2. 家族	5. その他 ()	
	3. 友人、知人		

7 災害対策についておうかがいします

問23 あなたは、ここ1年のあいだに防災訓練などに参加しましたか。(〇は1つ)

1. 参加した	2. 参加していない
---------	------------

問24 あなたは、災害が起きたときの避難場所をご存知ですか。(〇は1つ)

1. 知っている	2. 知らない
----------	---------

問25 地震などの災害発生時に安否確認をしてくれる人がいますか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 近所にいる	2. 市内にいる	3. 市外にいる	4. 誰もいない
----------	----------	----------	----------

問26 地震や台風などの災害時について、不安に感じることや心配なことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自力では、避難場所まで行くことがむずかしい
2. 障害があるため、救助を求めることがむずかしい
3. 救助を求めても、身近に救助に来てくれる人がいない
4. 障害があるため、災害がおきたことや内容について情報が得られない
5. 自分の障害に配慮した避難所がない
6. 避難所で、自分を介助してくれる人を確保できるか心配
7. 災害時に、自分の障害に対応した必要な治療など(薬、パウチ、透析場所等)が確保できない
8. まわりの人との意思疎通やコミュニケーションがうまくできない
9. その他 ()
10. 特にない
11. わからない

8 日常生活の状況についておうかがいします

問27 あなたの日常生活についておたずねします。次のア～スの項目について、あなたができる程度をお答えください。(○はそれぞれ1つずつ)

	ひとりでできる (補助員の使用を含む)	いちぶかいじょ ひつよう 一部介助が必要	ぜんめんてき 全面的に かいじょ ひつよう 介助が必要
ア. 食事	1	2	3
イ. 調理	1	2	3
ウ. トイレ	1	2	3
エ. 着替え	1	2	3
オ. 入浴	1	2	3
カ. 掃除・洗濯	1	2	3
キ. 室内の移動	1	2	3
ク. お金の管理	1	2	3
ケ. 外出(買い物なども含む)	1	2	3
コ. 人とのコミュニケーション	1	2	3
サ. 規則的な服薬	1	2	3
シ. 身だしなみを整える	1	2	3
ス. 各種手続き(銀行や市役所等)	1	2	3

問28 日常生活において、あなたは何らかの介助を受けていますか。(ここで言う「介助」は、公的なサービスと親族などの私的なものの両方を含みます。)(○は1つ)

1. 受けている 2. まったく受けていない 【→問29へ】

【問28で「1」と回答した方】

問28-1 介助が必要なのは、1週間のうち何日くらいですか。1日にわずかでも介助が必要であれば、ご回答ください。(○は1つ)

1. 毎日 2. 週に4～6日 3. 週に2～3日 4. 週に1日以下

【問28で「1」と回答した方】

問28-2 介助に必要な時間は1日平均どのくらいですか。(○は1つ)

1. 1時間未満 2. 1～5時間未満 3. 5～10時間未満 4. 10時間以上

【問28で「1」と回答した方】

問28-3 主な介助者はどなたですか。また、その方以外に介助されている方はいますか。

ア. 主な介助者 (○は1つ)

イ. 他の介助者 (あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 親 | 6. その他の親族 |
| 2. 配偶者 | 7. 近隣の人・知人・友人 |
| 3. 子ども | 8. ヘルパー |
| 4. 子どもの配偶者 | 9. ボランティア |
| 5. 兄弟姉妹 | 10. その他 () |

- | |
|------------|
| 1. 家族 |
| 2. ヘルパー |
| 3. ボランティア |
| 4. その他 () |

9 障害福祉サービス等の利用状況についておうかがいします

問29 あなたは、現在、障害福祉サービス等を利用していますか。問30 であげられている項目を参考にお答えください。(○は1つ)

1. 利用したことがある (現在利用中も含む) 2. 利用したことがない

【問29で「2」と回答した方】

問29-1 あなたが、障害福祉サービス等を利用していない理由としてあてはまるものに○をつけてください。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 内容がよくわからなかったため | 5. 申請したが利用できなかったため |
| 2. 手続きが面倒であるため | 6. 必要がなかったため |
| 3. 利用料の負担が大きいため | 7. その他 () |
| 4. サービスの質に不満があるため | |

問30 **A**現在利用中、また、**B**今後利用したい障害福祉サービス等について、①～③からそれぞれお答えください。
 (該当するものについて、選択項目から番号を選び、直接ご記入ください。あてはまるものすべて記入)

	①障害福祉サービス等	②地域生活支援事業	③医療費の助成、その他
記入例)	3, 6	2	7, 10
A 現在利用中のもの			
B 今後利用したいもの			

選択項目

①障害福祉サービス等

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 居宅介護 | 14. 自立訓練 (機能訓練) |
| 2. 重度訪問介護 | 15. 自立訓練 (生活訓練) |
| 3. 行動援護 | 16. 共同生活援助 (グループホーム) |
| 4. 同行援護 | 17. 障害児相談支援 |
| 5. 重度障害者等包括支援 | 18. 計画相談支援 |
| 6. 生活介護 | 19. 地域移行支援 |
| 7. 短期入所 (ショートステイ) | 20. 地域定着支援 |
| 8. 療養介護 | 21. 児童発達支援 |
| 9. 共同生活介護 (ケアホーム) | 22. 医療型児童発達支援 |
| 10. 施設入所支援 | 23. 放課後等デイサービス |
| 11. 就労移行支援 | 24. 保育所等訪問支援 |
| 12. 就労継続支援 (A型) | 25. 福祉型障害児入所施設 |
| 13. 就労継続支援 (B型) | 26. 医療型障害児入所施設 |

②地域生活支援事業

- | | |
|------------------|--------------------------|
| 1. 障害者相談支援事業 | 6. 自動車改造費の助成 |
| 2. 意思疎通支援 | 7. 移動支援事業 |
| 3. 日常生活用具付等 | 8. 地域活動支援センター事業 |
| 4. 住宅設備改善費の給付 | 9. 日中時間預かり事業 (日中一時支援事業) |
| 5. 自動車運転免許取得費の助成 | 10. 重度心身障害者 (児) 巡回入浴サービス |

③医療費の助成、その他

- | | |
|--------------------|----------------------------|
| 1. 自立支援医療 (育成医療) | 6. 成年後見制度 |
| 2. 自立支援医療 (更生医療) | 7. 給食サービス |
| 3. 自立支援医療 (精神通院医療) | 8. 心身障害者 (児) 通院・通所訓練等交通費助成 |
| 4. 心身障害者 (児) 医療費助成 | 9. 理容・美容券の支給 |
| 5. 難病患者等医療費助成 | 10. 緊急通報システムの貸与 |

問31 あなたは、通所サービスを利用する上で、お困りのことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 場所が遠い	5. 希望する施設を利用できない
2. 付き添いの確保	6. サービスの内容が自分に合っていない
3. 設備が不十分	7. その他 ()
4. 職員の理解が不足	8. 特にない

10 福祉に関する制度や事業の認知度についておうかがいします

問32 あなたは、次の制度や事業について、どの程度知っていますか。(それぞれ○は1つずつ)

	利用 している	利用していない		
		利用の仕方 は知っている	聞いたこと がある程度	知らない
ア. 成年後見制度 認知症や知的・精神障害があり、判断能力の不十分な方の権利を守るために、契約や法的 手続の場面で、法律面からサポートする制度	1	2	3	4
イ. 地域福祉権利擁護事業 (日常生活自立支援事業) 判断能力が不十分な方へのサービスで、福祉 サービスの利用支援や日常的金銭管理サービ ス、書類等の預かりサービスなどがある	1	2	3	4
ウ. 災害時要援護者登録制度 災害発生時に自力での避難が困難な方を対象 に、地域の支援者(民生委員・児童委員、社会 福祉協議会、国分寺消防署、自治会・町内会) が、安否確認や避難の介助を行うための制度	1	2	3	4

問33 あなたは、市の障害者虐待防止の相談窓口を知っていますか。(○は1つ)

1. はい	2. いいえ
-------	--------

11 情報の入手, 相談についておうかがいします

問34 障害者に対するサービスや施策についての情報は、どこから得ていますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. 市のお知らせ (窓口や広報紙など) | 7. 家族や近所の人 |
| 2. 社会福祉協議会のお知らせ (窓口や広報紙など) | 8. テレビや新聞・雑誌 |
| 3. 保健・医療機関 | 9. インターネット |
| 4. 民生委員・児童委員や身体・知的障害者相談員 | 10. その他 () |
| 5. 障害者団体 | 11. 特に得ていない |
| 6. 福祉施設 | |

問35 あなたが、日常生活や障害のことなどについて困った時には、主にどなたに相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|------------------------------|-----------------------|
| 1. 家族 | 8. ホームヘルパー, ガイドヘルパーなど |
| 2. 障害のある仲間 | 9. 地域活動支援センター |
| 3. 友人・知人 | 10. 市役所の相談窓口 |
| 4. 病院のスタッフ | 11. 相談する人がいない |
| 5. 施設や勤務先のスタッフ | 12. あまり相談したことはない |
| 6. 民生委員・児童委員や身体・知的障害者相談員 | 13. その他 () |
| 7. 相談支援事業 (つばさ・ブラッツ・虹) のスタッフ | |

問36 あなたは、以下のような公的な相談支援機関に相談したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 地域活動支援センターつばさ | 8. 保健所 |
| 2. 地域生活支援センターブラッツ | 9. 市健康推進課 |
| 3. 地域活動支援センター虹 | 10. 子ども家庭支援センター |
| 4. 地域包括支援センター | 11. こどもの発達センターつくしんぼ |
| 5. 市障害者相談室 | 12. 相談したことがない |
| 6. 障害者基幹相談支援センター | 13. その他 () |
| 7. 身体・知的障害者福祉相談員 | |

問37 相談機能を充実させるために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|------------------------------------|
| 1. 気軽に話を聞いてもらえる |
| 2. 身近なところで相談できる |
| 3. 電話やファクス, メール (E-mail) 等により相談できる |
| 4. 手話通訳や要約筆記といった対応ができる |
| 5. 総合的な相談に対応できる |
| 6. 適切なアドバイスができる人材がいる |
| 7. プライバシーに配慮がなされている |
| 8. 相談からサービス提供まで一貫した支援体制がなされている |
| 9. その他 () |

12 医療・保健についておうかがいします

問38 あなたは、現在、医師の治療を受けていますか。(〇は1つ)

- | | |
|---------------------|----------------|
| 1. 定期的に通院している | 4. 入院している |
| 2. ときどき通院している | 5. とくに治療はしていない |
| 3. 自宅で訪問看護や往診を受けている | 6. その他 () |

問39 あなたは、医療などについて困っていることや、不安を感じることはありますか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1. 近所にみえてくれる医者がない | |
| 2. 専門的な治療を行っている医療機関が身近にない | |
| 3. 通院するときに、付き添いをしてくれる人がいない | |
| 4. 医師や看護師とのコミュニケーションがうまくとれない | |
| 5. 診療を断られる | |
| 6. かかりつけ医・歯科医がない | |
| 7. 気軽に往診を頼める医師がない | |
| 8. 歯科診療を受けられない | |
| 9. 定期的に健康診断を受けられない | |
| 10. 障害のため症状が正確に伝わらず、必要な治療を受けられない | |
| 11. 受診手続きや案内など障害者への配慮が不十分 | |
| 12. 医療費の負担が大きい | |
| 13. 入院のとき付き添いや個室を強いられる | |
| 14. 訪問看護などの、在宅サービスが不十分 | |
| 15. その他 () | |
| 16. 特に困っていることや、不安を感じることはない | |

13 将来の生活についておうかがいします

問40 今後の生活に対して、主にどのような不安がありますか。(〇は3つまで)

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1. 身体のことについて | 6. 就職・仕事のことについて |
| 2. 生活費について | 7. 介助者・支援者の高齢化について |
| 3. 住宅・生活の場所について | 8. その他 () |
| 4. 介助・支援をしてくれる人について | 9. 特に不安はない |
| 5. 進学・学校生活について | |

問41 あなたは、将来(親の高齢化や親、配偶者等亡き後も含めて)どのように生活したいと思いますか。(〇は1つ)

1. 結婚して自立して生活したい
2. 家族だけに世話をしてもらって、家庭で生活したい
3. 家族の介助・支援を受けたり、福祉サービスを利用したりして、家庭で生活したい
4. 福祉サービスを利用して、一人で自立して生活したい
5. 身の回りの世話を助けてくれる人がいて、仲間と一緒に共同住宅で生活したい(グループホーム・ケアホーム)
6. 入所型施設で暮らしたい
7. その他 ()
8. わからない

14 障害福祉のまちづくりについておうかがいします

問42 市内には各種の障害者団体がありますが、あなたはそのいずれかの団体に加入していますか。(ご家族が家族会などの団体に加入している場合も含む。)(〇は1つ)

1. 加入している
2. 知っているが、加入していない
3. 知らない

問43 あなたが地域で暮らしやすくしていくために、特に力を入れてほしいものは何ですか。以下の中からあてはまるものをお選びください。(〇は5つまで)

- | | |
|-------------------|----------------------------|
| 1. 情報提供・相談体制の充実 | 10. 障害者交流の促進 |
| 2. 障害者に対する住民の理解促進 | 11. 経済的援助の充実 |
| 3. 交流・福祉教育の充実 | 12. 災害時における障害者への支援 |
| 4. 権利擁護、財産管理の充実 | 13. 生涯学習、スポーツの充実 |
| 5. 意思疎通、移動支援の充実 | 14. 職業訓練など就労支援の充実 |
| 6. 療育・教育の充実 | 15. 働く場の確保 |
| 7. 福祉サービスの充実・質の向上 | 16. 障害者に配慮した道路・建物等の整備 |
| 8. 医療機関の充実・質の向上 | 17. ボランティア・NPO・当事者団体等の活動支援 |
| 9. 入所施設の充実 | 18. その他 () |

問44 その他、今後の国分寺市の障害者福祉施策について、ご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。

■ 介助者・支援者の方におうかがいします

★こちらは、ご家族、ご友人の介助者・支援者を対象とします。(事業者は含みません)

問45 介助者・支援者の方の年代をお答えください。(〇は1つ)

1. 10代	3. 30代	5. 50代	7. 65～69歳
2. 20代	4. 40代	6. 60～64歳	8. 70歳以上

問46 介助者・支援者の方の健康状態はいかがですか。(〇は1つ)

1. とても健康	2. おおむね健康	3. あまり健康でない	4. 病気がちである
----------	-----------	-------------	------------

問47 介助・支援をする際にどのような悩みをお持ちですか。(あてはまるものすべてに〇)

1. 介助・支援の方法がわからない	7. 家族の理解が不足している
2. 自分の時間がもてない	8. 地域の人々の理解が不足している
3. 外出ができない	9. 相談や世話を頼める人がいない
4. 仕事に出られない	10. 将来どうなるかが不安
5. 経済的な負担が大きい	11. その他 ()
6. 家族の世話ができない	12. 特にない

問48 自分が介助・支援をできなくなった場合、どのようにしたいとお考えですか。(〇は1つ)

1. 家族・親族に介助・支援を頼む	5. 施設・病院を利用する
2. 友人・知人に介助・支援を頼む	6. 本人が自活できるようにしたい
3. ホームヘルパーに介助・支援を頼む	7. その他 ()
4. ボランティアに介助・支援を頼む	8. 特に考えていない

アンケートは以上で終了です。ご協力ありがとうございました。

回答の終わったアンケート調査票は、同封の返信用封筒に入れて **12月27日(金)**

までにポストに投函してください(切手は不要です)。

**国分寺市地域福祉計画
障害福祉に関するアンケート
結果報告書**

発行：平成 26 年 3 月

編集：国分寺市 福祉保健部 障害者相談室